

令和2年度

行政報告書

岡谷市

令和2年度行政報告書 目次

總議會	1
市長部局	7
企画政策部	19
企画課	21
まち・ひと・しごと創生推進室	23
特別定額給付金対策室	29
秘書広報課	33
行政管理課	37
総務部	47
総務課	53
支所	55
財政課	65
税務課	69
消防課	85
危機管理課	97
市民環境部	103
市民活動課	111
医療保健課	113
環境課	125
健康福祉部	135
(福祉事務所)	147
社会福祉課	149
介護福祉課	165
子ども課	177
健康推進課	189
新型コロナワクチン接種対策室	203
産業振興部	207
工業振興課	209
商業観光課	227
ブランード推進室	233
農林水産課	245
建設水道部	253
都市計画課	255
土木道課	263
水道課	275
会計課	279
教育委員会	283
教育部	285
教育総務課	287
生涯学習課	301
スポーツ振興課	321
選挙管理委員会	333
監査委員会	337
公平委員会	341
農業委員会	345

總說

総 説

令和2年度における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、インバウンド需要の減少・消失、また、感染拡大防止のための社会経済活動の抑制や外出自粛等により、個人消費を中心に内需が下押しされた。さらに、主要貿易相手国における経済活動の停止等に伴い輸出が大幅に減少するなど、感染症はその経済的な波及経路を拡げながら、我が国経済に甚大な影響をもたらした。

本市においては、基幹産業である製造業では、部品供給の停滞や世界的な需要低迷により、工場の稼働日数を減らすなど生産計画の変更を余儀なくされる状況であったが、下半期に入ると、自動車関連部品や半導体関連部品の世界的な需要が増加するなど、中国や米国の外需復調を追い風に改善が進み、総体的には回復傾向に向かう状況となった。

収入の大宗を占める市税収入は、税制改正や一部景気動向の悪化に伴い、法人市民税の大幅な減などにより、前年度を下回る収入となった。

こうした中、令和2年度は、「第5次岡谷市総合計画」の2年目として、将来都市像「人結び 夢と希望を紡ぐ たくましいまち岡谷」の実現に向け、「創造と前進の年」と位置づけ、「未来の担い手育成」、「地域の元気創造」、「暮らし満足度向上」の3つを重点施策に掲げ、岡谷市の未来を展望し、将来のまちに多くの夢と希望を描くことができる確かなまちづくりを進めるため、各種施策・事業を積極的に展開した。

また、新型コロナウイルス感染症の全国的かつ急速なまん延を受けて、政府は4月7日に7都府県に対して緊急事態宣言を発令し、さらに4月16日にはその対象区域が全国に拡大されたことにより、市民生活や地域経済はこれまでにない大きな影響を受けたことから、感染防止対策と社会経済活動の両立を図りつつ、市民生活と雇用の維持、事業活動の継続を支援するための取り組みを適時適切に行った。

1 未来の担い手育成

母子の健やかな成長を支援するため、産後2週間及び産後1か月の産婦を対象に産婦健康診査を実施したほか、支援が必要な産婦が医療機関等において、通所又は宿泊によるケアサービスを受けられる産後ケア事業を実施した。

保育環境及び発達特性のある子どもたちの支援体制の充実を図るため推進してきた新西堀保育園・発達支援施設整備事業では、12月にイルフ西堀保育園を開園した。

学校教育の充実では、快適で、安全・安心な学習環境を整備するため、老朽化が著しい岡谷東部中学校管理教室棟の長寿命化大規模改修工事を進めたほか、川岸小学校のトイレ

洋式化改修工事を実施した。

また、国のG I G Aスクール構想に基づき、児童生徒に1人1台のタブレット端末を配備し、併せて、校内に高速通信ネットワーク環境を整備した。

2 地域の元気創造

工業の振興では、「岡谷市工業活性化計画」に基づき、新技術や新製品の創出、次世代産業分野への参入に係る支援、受注開拓支援などにより市内企業の活性化に努めたほか、新たに、採用活動応援補助事業として、新規学卒者や第二新卒者のU I Jターン就職の促進を図った。

また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受ける市内事業者の資金調達に関する緊急支援策として、「新型コロナウイルス緊急対策資金」及び「新型コロナウイルス緊急対策借換資金」により支援を行い事業活動の継続を後押しした。

移住・定住の促進、交流・関係人口の創出・拡大に向けた取組として、インスタグラムを活用したフォトコンテストを開催して、岡谷市の知名度向上に努めたほか、若者おかや暮らし応援事業として、新規学卒者等が市内の民間賃貸住宅に居住する際の家賃を補助することで、若者の移住・定住を促進した。

市民祭「岡谷太鼓まつり」については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から中止とし、歴代ポスターなどを展示したP R展を行った。

3 暮らし満足度向上

商業・サービス業の振興として、空き店舗の解消や商店街の賑わい創出を図るため、店舗の改修費用や賃借料などに対する補助を行うとともに、新たに、商店街が行う街路灯のLED化工事に対して支援を行ったほか、S N Sを活用して市内店舗の商品やサービスを積極的に発信するなど、回遊性のある商業地の形成を目指し、各種の施策・事業に取り組んだ。

長野県及び諏訪湖周3市町の連携による諏訪湖周サイクリングロードについて、岡谷市管理区間のうち、一部区間（下諏訪町境から諏訪湖ハイツ付近まで）の整備が完了し開通した。

また、身近な道路の整備として、劣化が軽微な段階で修繕などを講じる予防保全型の維持補修を実施した。

このほか、特定健診やがん検診等の受診者に対して、オカヤペイのポイントを付与する健康ポイント事業を拡大して行ったほか、すべての市民が健康で生きがいを持って、長く「ふるさと岡谷」に住み続けることができるよう、各種施策・事業を積極的に展開した。

4 歳入面

令和2年度の一般会計歳入決算額は26,778,926,140円で、前年度決算額に比べ6,671,484,404円、33.2%の増となった。

一般会計 歳入決算額款別比較表

款	令和2年度(A)	令和元年度(B)	(A)／(B)
1 市税	円 6,789,934,902	円 6,972,394,213	% 97.4
2 地方譲与税	145,097,000	139,226,013	104.2
3 利子割交付金	6,117,000	6,462,000	94.7
4 配当割交付金	26,945,000	28,466,000	94.7
5 株式等譲渡所得割交付金	31,005,000	16,383,000	189.3
6 法人事業税交付金	56,202,000	0	—
7 地方消費税交付金	1,146,146,000	939,068,000	122.1
8 ゴルフ場利用税交付金	8,047,395	9,230,774	87.2
9 環境性能割交付金	9,141,000	4,558,000	200.5
10 地方特例交付金	47,253,000	169,775,000	27.8
11 地方交付税	4,188,738,000	4,231,484,000	99.0
12 交通安全対策特別交付金	9,707,000	9,512,000	102.1
13 分担金及び負担金	136,967,416	225,265,485	60.8
14 使用料及び手数料	407,785,843	464,512,430	87.8
15 国庫支出金	(245,774,000) 7,840,985,413	(198,273,000) 1,925,590,854	407.2
16 県支出金	(323,000) 1,077,889,243	(155,000) 974,652,632	110.6
17 財産収入	38,548,609	40,975,393	94.1
18 寄附金	275,925,649	164,011,312	168.2
19 繰入金	256,947,094	174,771,571	147.0
20 繰越金	(86,081,000) 761,815,042	(36,603,000) 695,224,581	109.6
21 諸収入	1,547,006,534	1,017,998,478	152.0
22 市債	(247,200,000) 1,970,722,000	(395,800,000) 1,879,100,000	104.9
自動車取得税交付金	0	18,780,000	—
合 計	(579,378,000) 26,778,926,140	(630,831,000) 20,107,441,736	133.2

※()書の数値は、内書きであり、前年度から繰り越された財源である。

5 歳出面

令和2年度の一般会計歳出決算額は25,925,825,357円で、前年度決算額に比べ6,580,198,663円、34.0%の増となった。

一般会計 歳出決算額款別比較表

款	令和2年度(A)	令和元年度(B)	(A)／(B)
1 議会費	円 187,573,768	円 183,970,686	% 102.0
2 総務費	(30,252,756) 7,152,035,753	2,277,794,062	314.0
3 民生費	(8,965,000) 7,126,008,389	(122,342,156) 6,921,620,362	103.0
4 衛生費	(2,057,000) 1,660,543,865	1,371,181,684	121.1
5 労働費	84,524,911	78,860,529	107.2
6 農林水産業費	(58,755,000) 218,801,883	(14,213,000) 188,670,552	116.0
7 商工費	2,603,066,326	1,549,560,706	168.0
8 土木費	(174,655,213) 1,999,712,927	(56,980,800) 1,872,558,280	106.8
9 消防費	739,713,192	592,849,891	124.8
10 教育費	(302,156,440) 2,049,667,563	(497,884,320) 2,008,175,829	102.1
11 公債費	2,104,176,780	2,300,384,113	91.5
12 予備費	0	0	—
合 計	(576,841,409) 25,925,825,357	(691,420,276) 19,345,626,694	134.0

※()書の数値は、内書きであり、前年度から繰り越された経費の歳出である。

會議

第1 概説

今年度は、定例会4回（会期日数92日、うち開議日数22日）が開催され、130件の議案等が審議された。

議会基本条例の取り組みの一環として、令和元年度より3常任委員会で各々テーマを設定し、政策提言に向けた調査研究を行ってきたが、各常任委員会でまとめた政策提言書を、全議員で構成する政策討論会議での議員間討論にかけ、全議員の総意による政策提言書として議長より市長へ提出した。なお、各常任委員会のテーマについて、総務委員会は「公共施設のあり方について」、社会委員会は「高齢者の運転免許証自主返納に向けた環境整備と交通安全対策について」、産業建設委員会は「生産労働人口減少を見据えた工業の持続的成長について」と設定したものである。

また、市議会として第8回となる議会報告会を2日間、3常任委員会ごと会場と時間帯を分散して開催し、政策提言に向けた取り組み内容を報告するとともに各常任委員会で設定したテーマについて意見交換を行なったほか、議会広報「議会のひろば」を年4回発行するなど、引き続き市民への情報発信の充実に努めた。

第2 実績総括

主な事務事業	内 容
議長、副議長	議 長 渡辺 太郎（令和元年5月20日選挙） 副議長 藤森 博文（〃）
監査委員	監査委員 中島 保明（令和元年5月21日同意）
常任委員会委員の構成	（令和元年5月21日選任・正副委員長互選） 総務委員会（6人） ①今井 康善 ②田村みどり 渡辺 太郎 武井 友則 早出 一真 笠原征三郎 社会委員会（6人） ①小松 壮 ②浜 幸平 藤森 博文 吉田 浩 早出すみ子 大塚 秀樹 産業建設委員会（6人） ①今井 義信 ②遠藤 真弓 山崎 仁 中島 秀明 中島 保明 今井 秀実
議会運営委員会委員の構成	（令和元年5月21日選任・正副委員長互選） 議会運営委員会（7人） ①笠原征三郎 ②早出 一真 吉田 浩 今井 義信 武井 友則 今井 康善 小松 壮
組合議会議員等の構成	（令和元年5月21日選挙） 諏訪広域連合議会議員（5人） 渡辺 太郎 藤森 博文 吉田 浩 今井 秀実 早出 一真

	<p>湖北行政事務組合議会議員（9人）</p> <p>渡辺 太郎 藤森 博文 山崎 仁 田村みどり 今井 義信 早出すみ子 武井 友則 遠藤 真弓 浜 幸平</p> <p>湖周行政事務組合議会議員（4人）</p> <p>渡辺 太郎 今井 康善 小松 壮 笠原征三郎</p> <p>諏訪広域公立大学事務組合議会議員（3人）</p> <p>渡辺 太郎 中島 秀明 大塚 秀樹</p>
決算特別委員会 委員の構成	<p>（令和2年9月3日設置、正副委員長互選）</p> <p>一般・特別会計（8人）</p> <p>◎今井 秀実 ○田村みどり 中島 秀明 今井 義信 早出すみ子 今井 康善 早出 一真 浜 幸平</p> <p>企業会計（8人）</p> <p>◎山崎 仁 ○吉田 浩 藤森 博文 武井 友則 小松 壮 大塚 秀樹 笠原征三郎 遠藤 真弓</p>
会派の構成	<p>会派の構成は、次のとおりである。</p> <p>誠風（7人）</p> <p>山崎 仁 田村みどり 中島 保明 今井 義信 早出 一真 小松 壮 大塚 秀樹</p> <p>おかや未来研究室（5人）</p> <p>吉田 浩 中島 秀明 武井 友則 今井 康善 遠藤 真弓</p> <p>日本共産党岡谷市議団（3人）</p> <p>早出すみ子 今井 秀実 笠原征三郎</p> <p>無会派（1人）</p> <p>浜 幸平</p>

※◎委員長 ○副委員長

第3 主要な統計、行政資料等

1 議 案

議案番号	件 名	提 出 月 日	付 託 委 員 会	議 決 月 日	審 議 結 果
議案第 29 号	岡谷市固定資産評価審査委員会委員の選任について	6. 10		6. 10	同意
議案第 30 号	岡谷市農業委員会委員に占める認定農業者等又はこれらに準ずる者の割合を4分の1以上とすることについて	6. 10		6. 10	同意
議案第 31 号	岡谷市農業委員会委員の任命について	6. 10		6. 10	同意
議案第 32 号	令和2年度岡谷市一般会計補正予算（第3号）	6. 10	3 常 任	6. 10	原案可決
議案第 33 号	令和2年度岡谷市病院事業会計補正予算（第1号）	6. 10	社 会	6. 10	原案可決

議案第 34 号	選挙公報の発行に関する条例の一部を改正する条例	6. 10	総務	6. 24	原案可決
議案第 35 号	岡谷市手数料条例の一部を改正する条例	6. 10	社会	6. 24	原案可決
議案第 36 号	岡谷市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び岡谷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	6. 10	社会	6. 24	原案可決
議案第 37 号	岡谷市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	6. 10	総務	6. 24	原案可決
議案第 38 号	工事請負契約について	6. 10	総務	6. 24	原案可決
議案第 39 号	令和 2 年度岡谷市一般会計補正予算（第 4 号）	6. 10	3 常任	6. 24	原案可決
議案第 40 号	令和 2 年度岡谷市一般会計補正予算（第 5 号）	6. 18	総務会	6. 24	原案可決
議案第 41 号	財産の取得について	6. 24	総務	6. 24	原案可決
議案第 42 号	財産の取得について	6. 24	総務	6. 24	原案可決
議案第 43 号 ※	医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める意見書	6. 24	（社）	6. 24	原案可決
議案第 44 号 ※	新型コロナウイルス感染症対策の強化等を求める意見書	6. 24	（超）	6. 24	原案可決
議案第 45 号 ※	新型コロナウイルス感染症対策の強化等を求める意見書	6. 24	（超）	6. 24	原案可決
議案第 46 号	令和元年度岡谷市一般会計歳入歳出決算認定について	9. 3	決算特別	10. 5	認定
議案第 47 号	令和元年度岡谷市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	9. 3	決算特別	10. 5	認定
議案第 48 号	令和元年度岡谷市地域開発事業特別会計歳入歳出決算認定について	9. 3	決算特別	10. 5	認定
議案第 49 号	令和元年度岡谷市分収造林事業特別会計歳入歳出決算認定について	9. 3	決算特別	10. 5	認定
議案第 50 号	令和元年度岡谷市園芸事業特別会計歳入歳出決算認定について	9. 3	決算特別	10. 5	認定
議案第 51 号	令和元年度岡谷市温泉事業特別会計歳入歳出決算認定について	9. 3	決算特別	10. 5	認定
議案第 52 号	令和元年度岡谷市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	9. 3	決算特別	10. 5	認定
議案第 53 号	令和元年度岡谷市湊財産区一般会計歳入歳出決算認定について	9. 3	決算特別	10. 5	認定
議案第 54 号	令和元年度岡谷市水道事業会計の決算認定について	9. 3	決算特別	10. 5	認定
議案第 55 号	令和元年度岡谷市下水道事業会計の決算認定について	9. 3	決算特別	10. 5	認定
議案第 56 号	令和元年度岡谷市病院事業会計の決算認定について	9. 3	決算特別	10. 5	認定

議案第 57 号	岡谷市教育委員会委員の選任について	9. 4		9. 4	同意
議案第 58 号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	9. 4		9. 4	同意
議案第 59 号	令和 2 年度岡谷市一般会計補正予算（第 8 号）	9. 4	3 常 任	9. 4	原案可決
議案第 60 号	令和 2 年度岡谷市病院事業会計補正予算（第 3 号）	9. 4	社 会	9. 4	原案可決
議案第 61 号	岡谷市子ども発達支援センター条例	9. 4	社 会	10. 5	原案可決
議案第 62 号	令和 2 年度岡谷市一般会計補正予算（第 9 号）	9. 4	総 務 社 会	10. 5	原案可決
議案第 63 号	財産の取得について	10. 5	総 務	10. 5	原案可決
議案第 64 号 ※	県道下諏訪辰野線拡幅改良を求める意見書	10. 5	（ 超 ）	10. 5	原案可決
議案第 65 号 ※	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	10. 5	（ 超 ）	10. 5	原案可決
議案第 66 号	市道路線の廃止について	11. 30	産 業 建 設	11. 30	原案可決
議案第 67 号	市道路線の認定について	11. 30	産 業 建 設	11. 30	原案可決
議案第 68 号	岡谷市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	11. 30	総 務	11. 30	原案可決
議案第 69 号	岡谷市職員の給与に関する条例及び岡谷市会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例	11. 30	総 務	11. 30	原案可決
議案第 70 号	令和 2 年度岡谷市一般会計補正予算（第 15 号）	11. 30	3 常 任	11. 30	原案可決
議案第 71 号	令和 2 年度岡谷市水道事業会計補正予算（第 1 号）	11. 30	産 業 建 設	11. 30	原案可決
議案第 72 号 ※	岡谷市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	11. 30	（ 議 ）	11. 30	原案可決
議案第 73 号	令和 2 年度岡谷市一般会計補正予算（第 16 号）	11. 30		11. 30	原案可決
議案第 74 号	日本童画美術館条例の一部を改正する条例	11. 30	产 業 建 設	12. 14	原案可決
議案第 75 号	岡谷市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税免除に関する条例	11. 30	総 務	12. 14	原案可決
議案第 76 号	岡谷市後期高齢者医療に関する条例等の一部を改正する条例	11. 30	社 会 产 業 建 設	12. 14	原案可決
議案第 77 号	岡谷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	11. 30	社 会	12. 14	原案可決
議案第 78 号	岡谷市都市公園条例の一部を改正する条例	11. 30	产 業 建 設	12. 14	原案可決

議案第 79 号	岡谷市文化会館の指定管理者の指定について	11. 30	産業建設	12. 14	原案可決
議案第 80 号	日本童画美術館の指定管理者の指定について	11. 30	産業建設	12. 14	原案可決
議案第 81 号	岡谷市やまびこ国際スケートセンターの指定管理者の指定について	11. 30	総務	12. 14	原案可決
議案第 82 号	おかや総合福祉センターの指定管理者の指定について	11. 30	社会	12. 14	原案可決
議案第 83 号	岡谷市勤労青少年ホーム及び岡谷市勤労会館の指定管理者の指定について	11. 30	産業建設	12. 14	原案可決
議案第 84 号	岡谷市岡谷駅前広場等及び岡谷市岡谷駅前自転車駐車場の指定管理者の指定について	11. 30	産業建設	12. 14	原案可決
議案第 85 号	岡谷市都市公園の指定管理者の指定について	11. 30	産業建設	12. 14	原案可決
議案第 86 号	諏訪広域連合規約の一部変更について	11. 30	総務	12. 14	原案可決
議案第 87 号	令和 2 年度岡谷市一般会計補正予算（第 17 号）	11. 30	3 常任	12. 14	原案可決
議案第 88 号	令和 2 年度岡谷市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第 1 号）	11. 30	社会	12. 14	原案可決
議案第 89 号	令和 2 年度岡谷市下水道事業会計補正予算（第 1 号）	11. 30	産業建設	12. 14	原案可決
議案第 90 号	令和 2 年度岡谷市病院事業会計補正予算（第 5 号）	11. 30	社会	12. 14	原案可決
議案第 91 号	令和 2 年度岡谷市一般会計補正予算（第 18 号）	12. 14	3 常任	12. 14	原案可決
議案第 92 号 ※	安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るために意見書	12. 14	(社)	12. 14	原案可決
議案第 93 号 ※	国土強靭化対策の推進を求める意見書	12. 14	(誠・お)	12. 14	原案可決
議案第 94 号 ※	核兵器禁止条約への参加・署名・批准を求める意見書	12. 14	(共)	12. 14	否決
議案第 1 号	岡谷市等公平委員会委員の選任について	2. 16		2. 16	同意
議案第 2 号	岡谷市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	2. 16	社会	2. 16	原案可決
議案第 3 号	岡谷市新型コロナウイルス緊急対策資金等利子補給基金条例	2. 16	産業建設	2. 16	原案可決
議案第 4 号	岡谷市まち・ひと・しごと創生基金条例	2. 16	産業建設	2. 16	原案可決
議案第 5 号	岡谷市森林環境譲与税基金条例	2. 16	産業建設	2. 16	原案可決
議案第 6 号	令和 2 年度岡谷市一般会計補正予算（第 21 号）	2. 16	3 常任	2. 16	原案可決
議案第 7 号	令和 2 年度岡谷市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 2 号）	2. 16	社会	2. 16	原案可決
議案第 8 号	令和 2 年度岡谷市病院事業会計補正予算（第 6 号）	2. 16	社会	2. 16	原案可決

議案第 9 号	岡谷市手数料条例の一部を改正する条例	2. 16	産業建設	3. 16	原案可決
議案第 10 号	岡谷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	2. 16	社会	3. 16	原案可決
議案第 11 号	テクノプラザおかや条例の一部を改正する条例	2. 16	産業建設	3. 16	原案可決
議案第 12 号	岡谷市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	2. 16	産業建設	3. 16	原案可決
議案第 13 号	令和 3 年度岡谷市一般会計予算	2. 16	3 常任	3. 16	原案可決
議案第 14 号	令和 3 年度岡谷市国民健康保険事業特別会計予算	2. 16	社会	3. 16	原案可決
議案第 15 号	令和 3 年度岡谷市地域開発事業特別会計予算	2. 16	産業建設	3. 16	原案可決
議案第 16 号	令和 3 年度岡谷市分収造林事業特別会計予算	2. 16	産業建設	3. 16	原案可決
議案第 17 号	令和 3 年度岡谷市靈園事業特別会計予算	2. 16	社会	3. 16	原案可決
議案第 18 号	令和 3 年度岡谷市温泉事業特別会計予算	2. 16	産業建設	3. 16	原案可決
議案第 19 号	令和 3 年度岡谷市後期高齢者医療事業特別会計予算	2. 16	社会	3. 16	原案可決
議案第 20 号	令和 3 年度岡谷市湊財産区一般会計予算	2. 16	総務	3. 16	原案可決
議案第 21 号	令和 3 年度岡谷市水道事業会計予算	2. 16	産業建設	3. 16	原案可決
議案第 22 号	令和 3 年度岡谷市下水道事業会計予算	2. 16	産業建設	3. 16	原案可決
議案第 23 号	令和 3 年度岡谷市病院事業会計予算	2. 16	社会	3. 16	原案可決
議案第 24 号	岡谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例	3. 16	社会	3. 16	原案可決
議案第 25 号	令和 2 年度岡谷市一般会計補正予算(第 22 号)	3. 16	総務 産業建設	3. 16	原案可決
議案第 26 号	令和 2 年度岡谷市下水道事業会計補正予算(第 2 号)	3. 16	産業建設	3. 16	原案可決
議案第 27 号	令和 2 年度岡谷市病院事業会計補正予算(第 7 号)	3. 16	社会	3. 16	原案可決
議案第 28 号	令和 3 年度岡谷市一般会計補正予算(第 1 号)	3. 16	3 常任	3. 16	原案可決
議案第 29 号	令和 3 年度岡谷市下水道事業会計補正予算(第 1 号)	3. 16	産業建設	3. 16	原案可決
議案第 30 号 ※	岡谷市議会会議規則の一部を改正する規則	3. 16	(議)	3. 16	原案可決
議案第 31 号 ※	新型コロナウイルス感染症に伴う地域経済対策に関する意見書	3. 16	(超)	3. 16	原案可決
議案第 32 号 ※	新型コロナウイルスワクチン接種に関する意見書	3. 16	(超)	3. 16	原案可決

注　・議案番号欄の※印は議員提出議案を示す。

　・付託委員会欄の()書は議案提出者の所属委員会等を示す。

2 報 告

報告番号	件 名	提出月日	付託委員会	議決月日	審議結果
報告第 4 号	専決処分の承認を求めることについて(岡谷市市税条例等の一部を改正する条例)	6. 10		6. 10	承認
報告第 5 号	専決処分の承認を求めることについて(岡谷市都市計画税条例の一部を改正する条例)	6. 10		6. 10	承認
報告第 6 号	専決処分の承認を求めることについて(岡谷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	6. 10		6. 10	承認
報告第 7 号	専決処分の承認を求めることについて(令和元年度岡谷市一般会計補正予算(第12号))	6. 10		6. 10	承認
報告第 8 号	専決処分の承認を求めることについて(岡谷市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例)	6. 10		6. 10	承認
報告第 9 号	専決処分の承認を求めることについて(岡谷市市税条例の一部を改正する条例)	6. 10		6. 10	承認
報告第 10 号	専決処分の承認を求めることについて(岡谷市都市計画税条例の一部を改正する条例)	6. 10		6. 10	承認
報告第 11 号	専決処分の承認を求めることについて(岡谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例)	6. 10		6. 10	承認
報告第 12 号	専決処分の承認を求めることについて(岡谷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	6. 10		6. 10	承認
報告第 13 号	専決処分の承認を求めることについて(令和2年度岡谷市一般会計補正予算(第1号))	6. 10		6. 10	承認
報告第 14 号	専決処分の承認を求めることについて(令和2年度岡谷市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号))	6. 10		6. 10	承認
報告第 15 号	専決処分の承認を求めることについて(令和2年度岡谷市一般会計補正予算(第2号))	6. 10		6. 10	承認
報告第 16 号	令和元年度岡谷市一般会計繰越明許費繰越計算書について	6. 10		6. 10	報告
報告第 17 号	令和元年度岡谷市水道事業会計予算繰越計算書について	6. 10		6. 10	報告
報告第 18 号	令和元年度岡谷市下水道事業会計予算繰越計算書について	6. 10		6. 10	報告
報告第 19 号	令和元年度岡谷市病院事業会計予算繰越計算書について	6. 10		6. 10	報告
報告第 20 号	専決処分の承認を求めることについて(令和2年度岡谷市一般会計補正予算(第6号))	9. 3		9. 3	承認

報告第 21 号	専決処分の承認を求めることについて（令和 2 年度岡谷市一般会計補正予算（第 7 号））	9. 3		9. 3	承認
報告第 22 号	専決処分の承認を求めることについて（令和 2 年度岡谷市病院事業会計補正予算（第 2 号））	9. 3		9. 3	承認
報告第 23 号	専決処分の承認を求めることについて（令和 2 年度岡谷市一般会計補正予算（第 10 号））	11. 30		11. 30	承認
報告第 24 号	専決処分の承認を求めることについて（令和 2 年度岡谷市病院事業会計補正予算（第 4 号））	11. 30		11. 30	承認
報告第 25 号	専決処分の報告について（和解及び損害賠償の額の決定について）	11. 30		11. 30	報告
報告第 26 号	専決処分の報告について（令和 2 年度岡谷市一般会計補正予算（第 11 号））	11. 30		11. 30	報告
報告第 27 号	専決処分の報告について（和解及び損害賠償の額の決定について）	11. 30		11. 30	報告
報告第 28 号	専決処分の報告について（令和 2 年度岡谷市一般会計補正予算（第 12 号））	11. 30		11. 30	報告
報告第 29 号	専決処分の報告について（和解及び損害賠償の額の決定について）	11. 30		11. 30	報告
報告第 30 号	専決処分の報告について（令和 2 年度岡谷市一般会計補正予算（第 13 号））	11. 30		11. 30	報告
報告第 31 号	専決処分の報告について（和解及び損害賠償の額の決定について）	11. 30		11. 30	報告
報告第 32 号	専決処分の報告について（令和 2 年度岡谷市一般会計補正予算（第 14 号））	11. 30		11. 30	報告
報告第 1 号	専決処分の報告について（和解及び損害賠償の額の決定について）	R3 2. 16		R3 2. 16	報告
報告第 2 号	専決処分の報告について（令和 2 年度岡谷市一般会計補正予算（第 19 号））	2. 16		2. 16	報告
報告第 3 号	専決処分の承認を求めるについて（令和 2 年度岡谷市一般会計補正予算（第 20 号））	2. 16		2. 16	承認

3 本会議の状況

(単位：件)

会 期	会 期 日 数	開 議 日 数	提出議案等								議決結果								意 見 書・ 決 議		
			市長提出				議員提出		選 舉・ 選 任	請願 (内 継続分)	原 案 可 決	否	同	認	報	承	決	選 舉・ 選 任	不 採 択	趣 旨 採 択	
			条 例	予 算 ・ 決 算	そ の 他	報 告 (内 専 決)	条 例	そ の 他													
R2 第2回定例会 6.10～6.24	日 15	日 4	4	4	6	16 (12)		3			33	14		3		4	12				3
第3回定例会 9.3～10.5	33	6	1	14	3	3 (3)		2			23	7		2	11		3				2
第4回定例会 11.30～12.14	15	5	7	8	10	10 (10)	1	3			39	28	1			8	2				3
R3 第1回定例会 2.16～3.16	29	7	9	19	1	3 (3)		3			35	31		1		2	1				2
定 例 (4)	92	22	21	45	20	32 (28)	1	11			130	80	1	6	11	14	18				10
臨 時 (0)																					
計 (4)	92	22	21	45	20	32 (28)	1	11			130	80	1	6	11	14	18				10

4 委員会・全員協議会等開催状況（各委員会とも行政視察を除く。）

委員会名					回数									
総務					委員会			13		14				
					委員協議会			1						
社会					委員会			11		14				
					委員協議会			3						
産業建設					委員会			11		12				
					委員協議会			1						
決算特別委員会					一般・特別			3						
					企業			3						
議会運営委員会					19									
全員協議会					13									
議会改革検討委員会					5									
議会広報広聴委員会					18									
政策討論会議					2									

5 行政視察先

例年 3 常任委員会で行っている行政視察については、全国的に新型コロナウイルス感染症が感染拡大している状況を踏まえ、令和 2 年度は中止とした。

6 行政視察受入

団体名	人員	期日	視察内容	担当課
長野県須坂市議会	10	10.28	子育て支援館 こどものくにについて	子ども課
合計	10人	1日		

市 長 部 局

企 画 政 策 部

企 画 課

第1 概説

企画課では、「第5次岡谷市総合計画前期基本計画」に基づく各種施策の総合調整のほか、まちづくりにおける重要課題の検討のための府内調整を行った。このほか、市民総参加のまちづくり、国際交流、広域行政、男女共同参画などの推進に向けて各種事務事業を執行した。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
企画調整事務	<p>1 府内調整</p> <ul style="list-style-type: none">・行政管理委員会 市長の意思決定を補完する内部機関として府内の意思決定を行うため、24回開催した。・府内会議 各種施策の推進に向けて府内調整を行うため、24回開催した。 <p>2 実施計画の策定</p> <p>「第5次岡谷市総合計画」を推進するための実行計画として、令和3年度から令和5年度までの3年間に実施を予定している重点施策等について、事業内容と財源を明らかにした。</p> <p>また、国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を計画的かつ効果的に活用し、感染防止対策、市民生活の維持、事業継続支援などを講じるための実施計画を策定した。</p> <p>3 主要施策の進行管理</p> <p>令和2年度に予算化された事業のうち、特に重要な17事業を指定事務事業として選定し、行政管理委員会へ定期的に執行状況を報告した。</p> <p>4 陳情・請願の処理</p> <ul style="list-style-type: none">・受陳情：29件（企画政策部7件、総務部1件、市民環境部1件、健康福祉部3件、産業振興部9件、建設水道部7件、教育部1件）・発陳情：1件（建設水道部1件） <p>5 総合教育会議の運営</p> <p>市長と教育委員会により構成する岡谷市総合教育会議を開催し、教育行政に関する重要な事項などについて協議を行った。</p> <ul style="list-style-type: none">・構成員：市長、教育長、教育長職務代理者、教育委員4名（計7名）・会議：1回開催 <p>6 その他</p> <p>官民連携によるまちづくりを推進するため、日本郵便株式会社と、包括連携に関する協定書を締結した。</p> <p>令和3年3月23日（火）締結 (1,696,136円)</p>
岡谷駅前公共用地権利取得事業	ララオカヤの市以外の権利者に対して、不動産鑑定等の調査結果に基づく具体的な条件を提示するとともに権利取得交渉を進め、了解が得られた権利者から順次契約を行った。

	<ul style="list-style-type: none"> ・契約済み 15名（権利者 10名、テナント・借家人 5名） (繰越額 182,918,000円) (77,984,190円)
土地取引規制対策事務	<p>「国土利用計画法」に基づき、都市計画区域における 5,000 m²以上の土地売買等について、届出書の提出に関する相談対応を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・届出：0件
市民総参加のまちづくり推進事業	<p>「市民総参加のまちづくり基本条例」の推進に向けた取組を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 高校生まちづくり会議 市内3高等学校の有志による高校生まちづくり会議を開催し、高校生発案によるまちづくりに取り組んだ。<ul style="list-style-type: none"> ・実施回数：9回 ・実施内容：SNSによる情報発信、テイクアウト事業所誘致、公園づくり ・延べ参加者数：64人 2 岡谷市民憲章推進協議会 岡谷市民憲章の普及を目的として、各種啓発活動を実施した。あわせて、令和3年7月に市民憲章制定50周年を迎えることから、記念事業の実施に向けて準備を進めた。<ul style="list-style-type: none"> ・花の球根、花鉢を配布…市内小学校の1年生 ・クリアファイルを配布…市内中学校の1年生 ・市花ツツジを記念植樹…諏訪広域消防本部 ・市民憲章しおりを配布…転入者等 ・市民憲章推進協議会補助金：60,000円 3 その他 <ul style="list-style-type: none"> ・岡谷市連合壮年会補助金：45,000円 ・岡谷市連合婦人会補助金：95,000円 <p style="text-align: right;">(200,000円)</p>
旧岡谷塩嶺病院施設管理事業	<p>旧岡谷塩嶺病院施設について、残存施設や敷地の適正な管理を行った。</p> <p>また、岡谷市病院事業と連携し、年次計画に基づき、旧岡谷塩嶺病院看護師宿舎他の解体を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・警備保障委託料：215,316円 <p style="text-align: right;">(219,851円)</p>
ふるさと寄附促進事業	<p>返礼品の充実を通じて、本市の特色あるまちづくりを全国に向けて発信するとともに、ブランド力の向上と市内事業所の活性化を図るため、ふるさと納税ポータルサイトや市ホームページを活用し、PRを積極的に行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税 寄附件数：1,876件 寄附金額：98,885,000円 <p style="text-align: right;">(39,783,533円)</p>
総合計画推進事業	<p>令和元年度を初年度とする「第5次岡谷市総合計画」の着実な推進を図るため、岡谷市基本構想審議会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回岡谷市基本構想審議会（書面開催） 開催日：令和2年5月 内 容：第5次岡谷市総合計画、令和2年度取組内容 ・第2回岡谷市基本構想審議会 開催日：令和2年8月18日（火） 内 容：令和元年度進捗状況、地方創生推進交付金充当事業の執行状況、岡谷市の人口

	<p>・第3回岡谷市基本構想審議会 開催日：令和2年8月31日（月） 内 容：委嘱書交付、第5次岡谷市総合計画、令和2年度の主な取組、岡谷市の人口 (128,825円)</p>
広域行政推進事業	<p>1 諏訪広域連合 広域連合規約で定められた事業及び広域連合で決定された事業を実施した。 ・諏訪広域連合負担金：26,561,105円</p> <p>2 諏訪広域公立大学事務組合 諏訪広域公立大学事務組合等の各種会議に出席し、公立諏訪東京理科大学の運営等について協議を行った。 ・諏訪広域公立大学事務組合負担金：665,959円 (27,227,064円)</p>
近隣市町村連携事業	<p>1 「地域発 元気づくり支援金」（長野県事業） 交付申請に向けた相談対応及び取りまとめを行った。 ・岡谷市事業：2件 ・市内の公共的団体による事業：5件</p> <p>2 市町村担当者会議 長野県と市町村及び広域連合が連携し、諏訪湖創生ビジョンの推進に係る会議等に出席した。</p>
国際交流事業	<p>国際理解や多文化共生等の各種事業を推進するため、国際交流センターへ業務委託を行った。 ・公益財団法人おかや文化振興事業団（国際交流センター） 業務委託料：14,904,000円</p> <p>1 国際交流員の設置 国際交流事業の企画・立案・実施、市民等への国際理解に向けた支援などを行うため、国際交流員1名を配置した。 国際交流員：キャロライン・スペス（アメリカ）</p> <p>2 マウント・プレザント市との交流 新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、マウント・プレザント市からの高校生受入事業については延期とした。</p>
男女共同参画推進事業	<p>1 「男女共同参画おかやプランVI」の推進 「男女共同参画おかやプランVI（令和2年度～令和6年度）」に基づき、庁内の進捗管理を行った。 ・審議会等における女性委員の登用率 令和2年4月1日現在 32.4%（目標値40.0%） ・男女共同参画審議会（委員14名）2回開催 ・男女共同参画推進協議会幹事会及び専門部会 1回書面開催</p> <p>2 「男女共同参画おかや市民のつどい」 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。</p> <p>3 男女共同参画出張フォーラム 2団体から申込があったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で未実施となった。</p> <p>4 「男女共同参画社会づくり」ポスターコンクール 小中学生に男女共同参画社会への理解と関心を深めてもらうため、「男女共同参画社会づくり」をテーマとするポスターコンクールと応募作品の展示を行った。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・応募数：117点（小学生93点、中学生24点） ・展示期間：11月17日（火）～30日（月） ・展示場所：生涯学習活動センターロビー <p>5 マンガ冊子「わたしらしく あなたらしく」の配布 男女共同参画についてマンガでわかりやすく説明した冊子を小学5年生に配布した。</p> <p>6 「子ども向け男女共同参画かるた」の活用 小学1年生にかるたを印刷したクリアファイルを配布した。</p> <p>7 各種研修会等への参加 <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画社会づくりに向けての全国会議（内閣府） ・日本女性会議2020 あいち刈谷・その他研修会等（オンライン開催含む） </p> <p>8 「男女共同参画推進市民の会」の運営支援 市民団体との協働により、男女共同参画事業を推進した。 <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画週間パネル展、啓発ポケットティッシュ配布 実施日：6月22日（月）～6月29日（月） 実施場所：イルフプラザ1階中央通路 ・男女共同参画意識啓発事業 意識啓発番組を4つのテーマに絞って制作し、行政チャンネル（シルキーチャンネル）にて放送した。 </p> <p>9 女性団体連絡協議会 女性問題に关心のある市内団体の連携を深めるため、理事会・情報交換会等を実施した。 例年実施している学習会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。 加盟団体：9団体</p>	(251, 606円)
女性相談事業	<p>女性が抱えている様々な悩みに対応するため、女性相談員による女性のための相談窓口を開設した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開設日数：12日 ・利用者：延べ20名 	(169, 315円)
ホストタウン推進事業	<p>カナダを相手国とするホストタウンとして、大会に向けた機運の醸成を図るとともに、スポーツを通じた地域の活性化、教育文化の向上を図った。 なお、大会の延期及び新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、当初予定していた事業の多くを中止とした。</p> <p>1 教育文化の向上を図る取組 <ul style="list-style-type: none"> ・「ホストタウン写真リレー」（企画課） 期間：10月1日～1月27日 会場：カルチャーセンターロビー ・「小中学校におけるカナダ給食の提供」（教育総務課） 1月～2月 各小中学校にて1回実施 </p> <p>2 中止とした事業 <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育多文化共生事業（在日カナダ人との交流） ・アスリートフェスティバル（日本人才オリンピアンとの交流） ・共生社会推進事業（日本人パラリンピアンとの交流） ・オリパラ観戦機会創出事業 ・パラリンピック聖火ビジット ・ホストタウンPR事業 </p>	(371, 645円)

まち・ひと・しごと創生推進室

第1 概説

岡谷市組織規則第13条に基づいて平成27年度に設置したまち・ひと・しごと創生推進室では、岡谷市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン及び第2次岡谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進に向けた庁内調整を行ったほか、国の地方創生交付金を活用した事業の実施に向けた庁内調整を行った。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
まち・ひと・しごと創生推進事業	<p>1 インスタグラムフォトコンテスト事業 岡谷市のシティプロモーションと知名度の向上を図るため、SNSのうち若年層の利用が多いインスタグラムを活用したフォトコンテストを開催した。</p> <ul style="list-style-type: none">・応募期間 10月1日～12月31日・応募総数 写真部門：913点 動画部門：38点・審査結果 最優秀賞：2点（写真部門、動画部門） 優秀賞：2点（写真部門、動画部門） 岡谷市長賞：1点（写真部門） 岡谷市観光協会会长賞：1点（写真部門） 岡谷駅長賞：1点（写真部門） 入賞：13点 (写真部門5点、動画部門8点) <p>2 おかやスポーツツーリズム事業 岡谷市の観光資源、人的資源を活用したスポーツツーリズムによる魅力体験ツアーを開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から体験ツアーを中止し、代替としてPR動画を制作し情報発信に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none">・岡谷サイクルツーリズム 諏訪湖編・岡谷サイクルツーリズム 山麓編 <p>3 就業・創業移住支援事業 東京圏（埼玉県、千葉県、東京都及び神奈川県）、愛知県、大阪府から岡谷市へ転入し、長野県の求人情報サイト掲載企業に就職した場合に移住支援金を支給する「就業・創業移住支援事業補助金」について、転入者へチラシを配布するなど、制度の周知を図った。</p> <p>4 おかやの魅力体験事業 移住のための生活体験、市内での住居探し、仕事探しに要する経費を助成することで、地域や地域住民と多様なつながりをもつ関係人口の増に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none">・交通費補助 件数：5件、補助額：44,001円・宿泊費補助 件数：4件、補助額：27,810円・移住体験住宅家賃補助 件数：1件、補助額：80,000円 <p>5 若者おかや暮らし応援事業 学生等に対して民間賃貸住宅の賃料を助成することで、若者の市内への移住定住の促進に努めた。</p> <p>件数：5件、補助額：481,000円</p>

	<p>6 大学等進学資金利子補給金 地方創生の推進に向けた諒訪信用金庫との連携協定に基づき、市民が大学等へ進学する際の初年度納付金の借入に対する利子について一部補給を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度申請分 件数： 7件、補給額：34,442円 ・平成29年度申請分 件数：11件、補給額：34,173円 ・平成30年度申請分 件数： 6件、補給額：26,776円 ・令和元年度申請分 件数： 9件、補給額：54,136円 ・令和2年度申請分 件数： 7件、補給額：25,975円 <p>(1,767,286円)</p>
地方創生全般	<p>1 第2次岡谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進 総合戦略の計画的かつ円滑な推進に向けて府内調整を行ったほか、室員による地方創生に向けた課題の共有及び事業の企画立案会議を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まち・ひと・しごと創生推進室会議 開催回数：4回 <p>2 岡谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗管理 戦略目標や重要業績評価指標に基づき、施策や事業の効果検証を行ったほか、検証内容の妥当性や客観性を担保するため、岡谷市基本構想審議会において意見聴取を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡谷市基本構想審議会 開催回数：2回 <p>3 地方創生推進交付金の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・モノづくり集積地SUWAのヒトづくりプロジェクト 交付確定額 5,057,000円 </p> <p>4 地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）に係る寄附の受付 <ul style="list-style-type: none"> ・地域再生計画：岡谷市 人が集い、にぎわいと活力あふれるまち推進計画分 件数：2件、金額：1,100,000円 ・地域再生計画：人結び 夢と希望を紡ぐ たくましいまち岡谷推進計画分 件数：1件、金額：10,000,000円 </p>

特別定額給付金対策室

第1 概説

岡谷市組織規則第13条に基づいて設置した特別定額給付金対策室では、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策（令和2年4月20日閣議決定）の趣旨を踏まえ、感染拡大防止に留意しつつ、簡素な仕組みで迅速かつ的確に家計への支援を行うため、特別定額給付金の給付事務を行った。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
特別定額給付金 給付事業	<p>令和2年4月27日において、住民基本台帳に記録されている者を対象として、1人につき100,000円の特別定額給付金を給付した。</p> <p>1 対象人数：49,163人 2 対象世帯：21,160世帯 3 申請方法 ①オンライン申請及び市ホームページからダウンロードした申請書による先行申請 5月11日（月）開始 ②申請書の発送・郵送による申請 5月22日（金）開始 4 申請期限 8月24日（月） 5 申請状況 オンライン申請 409件 郵送申請 19,041件 窓口申請 1,709件 申請取り消し 51件 総受理件数 21,108件（49,111人） (うち辞退件数 11件（18人）) 6 振込件数 21,097件（対象世帯の99.7%） 7 給付総額 4,909,300千円（給付率 99.9%） （4,939,028,213円）</p>

秘書広報課

第1 概説

秘書広報課では、儀式、表彰、涉外活動、姉妹都市交流等のほか、広報おかや、シリキーチャンネル、ホームページ等各種メディアを通じてわかりやすい行政情報の発信に努め、情報化の推進、広聴の充実、地域コミュニティ、統計調査等の業務を執行した。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
儀式・表彰事務	<p>1 市制施行84周年記念式典並びに市政功労者等表彰式 日 時 4月1日（水）午前10時00分から 場 所 市役所9階大会議室 功労表彰受賞者 8名 有功表彰受賞者 35名 褒賞受賞者 28名・21団体 国家表彰受章者 4名 記念講演は中止</p> <p>2 年度始めの式 日 時 4月1日（水）午後1時30分から 場 所 市役所9階大会議室 職員功労表彰受賞者 4名 職員有功表彰受賞者 20名</p> <p>3 仕事納めの式 日 時 12月28日（月）午後5時30分から 場 所 市役所9階大会議室</p> <p>4 仕事始めの式 日 時 1月4日（月）午前8時30分から 場 所 市役所9階大会議室</p> <p>5 新年祝賀式（新年祝賀式実行委員会） 日 時 1月4日（月）午前11時00分から 場 所 カノラホール 申込者 974名 参加者 315名 祝宴は中止</p> <p style="text-align: right;">(1,572,331円)</p>
秘書事務	<p>1 市長交際費の公開 市長交際費の毎月の執行状況を、市のホームページ等へ公開した。</p> <p>2 市長資産公開 「政治倫理の確立のための岡谷市長の資産等の公開に関する条例」に基づき、資産等報告書等を公開した。</p> <p>3 理事者等公務日程の調整 市長・副市長の職務が円滑に執行できるよう日程調整を行うとともに、秘書業務の充実に努めた。</p> <p style="text-align: right;">(2,908,177円)</p>

(市長会関係)	<p>1 長野県市長会</p> <p>4月16日 総会（長野市） 6月 2日 定例会（Web会議） 7月 3日 副市長・総務担当部長会議（佐久市） （書面審議） 8月20日 総会（岡谷市） 会議のみ開催 10月22日 社会環境部会（長野市） 11月20日 定例会（長野市） 1月22日 副市長・総務担当部長会議（Web会議） 2月 4日 定例会（長野市）</p> <p>2 北信越市長会</p> <p>5月14日～15日 第176回総会（石川県金沢市） （書面開催） 10月15日～16日 第177回総会（福井県坂井市） （書面開催）</p> <p>3 全国市長会</p> <p>6月 2日～ 3日 全国市長会分科会、第90回総会 及び理事・評議員合同会議（Web会議）</p>
姉妹都市交流事業	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定していた姉妹都市交流事業が中止又は延期になった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡谷市 岡谷太鼓まつり 8月13日～14日 中止 ・東伊豆町 熱川温泉花火大会 7月22日～23日 中止 ・玉野市 市制施行80周年記念式典及び姉妹都市締結40周年調印式 8月1日～2日 次年度へ延期 ・富岡市 富岡どんど祭り 10月17日～18日 中止 <p>（78,033円）</p>
コミュニティ事業	<p>1 区長会</p> <p>行政事務の円滑な推進や市民との協働によるまちづくりを推進するため、新たに区役員に就任した方を行政事務嘱託員として委嘱した。</p> <p>区長会（7回開催）へ参加し、市と区長会の連絡調整や各課からの各種依頼、情報提供等を通じて地域コミュニティとの連携を図った。</p> <p>2 行政事務交付金</p> <p>地域コミュニティ活動、市政遂行のため必要な連絡調整、行政機関が発行する文書の配布等に必要な活動に対する支援として、市内21区及び樋沢地区に対し行政事務交付金を交付した。</p> <p>3 コミュニティ助成事業助成金</p> <p>区のコミュニティ活動を推進し、施設整備や付帯設備等の充実を図るため、長野県市町村振興協会が実施する助成金制度の採択を受けた4区に対し、地域活動助成事業助成金を交付した。</p> <p>4 新型コロナウイルス感染症対策行政事務交付金事業</p> <p>各区の事務運営や行事等における感染防止対策を支援するために行政事務交付金を追加交付した。</p> <p>（新型コロナウイルス感染症追加交付分 21件 2,100,000円） （48,641,119円）</p>

広報広聴事業	<p>1 「広報おかや」の発行 (株) 中央企画への作成委託を継続して行った。毎月編集会議を開催し、記事の管理やわかりやすい紙面作りに努めた。 発行：月1回（前月25日発行）計12回 配布：市内各戸、市内官公署、事業所及び各自治体等 配置：市内金融機関、コンビニエンスストアの店内 • 市ホームページに毎号全ページを掲載 • 広報誌アプリ「マチイロ」に「広報おかや」を毎号掲載 • 事業等の周知広報 市の予算・決算及び財政状況、環境、健康、イベント講座情報、事業案内など • 特集記事 新年度事業と予算、新型コロナウイルス感染症対策、シルクのまち、インスタグラム、岡谷で働く、幻の島を探る、イルフ西堀保育園、岡谷市消防団、シルクスイートなど</p> <p>2 市勢現況記録写真等の撮影及び保存 市勢現況を保存するため、イベント等記録写真の撮影・収集管理を行った。</p> <p>3 定例記者会見 市長による会見を毎月実施し、報道機関を通じて市民への情報提供に努めた。</p> <p>4 報道機関を活用した行政情報の発信 L C V - F M や地元メディアを活用して市のイベント情報などを発信した。</p> <p>5 F a c e b o o k の運用 情報発信のツールとして岡谷市の魅力を発信した。</p> <p>6 市政懇談会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市役所、3公民館、カルチャーセンターでの開催を中止し、シルキーチャンネルを使い新年度の重点施策等を周知した。 • 放送期間：2月16日～3月15日 • 特別番組：新年度の重点施策他</p> <p>7 市民意見収集事業 • 市民提案ボックス（市長への手紙）：25件 • ホームページからの意見、要望、質問：414件 内訳：市長Eメール 29件 各課宛 385件 • 市民アンケート 対象者 無作為抽出による18歳以上の市民 1,000人 調査期間 6月12日～30日 回収件数 463件</p>
--------	--

(12,109,353円)

シルキーチャンネル事業	<p>担当課職員によるイベント情報など市民の方に行政を身近に感じていただけるような番組制作を行った。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため手洗いなどの感染予防番組や、自宅でできる簡単運動、教育委員会及び各小学校と連携して新入生や児童に向けた番組などを制作して放送した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な自主制作番組 発見！おかやびと、わが家のアイドル、岡谷のものづくりゲンバ、音楽と運動による健康サポート事業、岡谷で叶えるわたしのお店、イルフ西堀保育園、岡谷市いじめ根絶子ども会議、イベント情報など ・新型コロナウイルス感染症関連番組 市長メッセージ、手洗いや咳エチケット、自宅でできる簡単運動や介護予防運動、各学校から児童に向けた番組、給食レシピ、カルチャーセンター講座番組など ・特別番組 すわびとオペラ旅、岡谷市まちづくり講座、動画 de 講座、岡谷市防災ガイド、プラスチックごみ問題、生涯学習大学、芸能祭チャンネル、岡谷市民病院市民公開講座、岡谷市健康づくり講演会、令和3年度岡谷市の重点施策など <p>放送番組総数 150本 制作番組総数 117本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議会放送 市民の市議会への興味、理解啓発のため、岡谷市議会の一般質問の様子を生放送及び録画放送にて放送した。 ・災害関連情報等の発信 岡谷市災害対策本部からの情報を発信した。 <p>(11,468,636円)</p>
広域情報化推進事業	<ol style="list-style-type: none"> 1 国と地方自治体を結ぶ総合行政ネットワーク（L G W A N）に支障がないよう機器の保守点検業務などを実施した。 2 諏訪地域の行政情報について、システム共同化などの検討を行った。 3 長野県電子申請届出システム負担金 長野県市町村自治振興組合が運営し、県及び市町村参加による長野県電子申請届出システムのサービス利用に係る経費を負担した。 <ul style="list-style-type: none"> ・公開状況：51項目（前年度51項目） ・利用件数：386件（前年度401件） <p>また、13項目については、マイナンバーカードの利活用推進を図るため、マイナポータルと連携し、ワンストップで手続きが行える運用を行った。</p> 4 長野県高速情報ネットワーク負担金 県と市町村を光ファイバーで接続する「長野県高速情報通信ネットワーク（情報ブロードウェイながの）」の諏訪広域6市町村代表接続利用に伴う経費を負担した。 なお、他の5市町村負担分は歳入に計上した。 5 電子自治体推進事業負担金 長野県市町村自治振興組合が運営する「電子自治体推進事業」に係る経費を負担した。 <p>(3,560,943円)</p>

地域情報化推進事業	<p>1 インターネットを活用した官庁速報（i J A M P）の利用等により、国及び地方自治体の各種施策や行財政情報を迅速に収集し、地域情報化の推進に努めた。</p> <p>2 公共データの活用促進を図るため、「岡谷市オープンデータサイト」及び、「岡谷市G I S版オープンデータサイト」を一般公開し、データ提供を行った。</p> <p>3 地域情報化支援業務負担金 地域情報化の推進を図るとともに、専門化・高度化する情報通信技術分野に対応するため、（株）諏訪広域総合情報センタより情報技術員の派遣を受けた。</p> <p style="text-align: right;">(5, 545, 940円)</p>
情報システム管理事業	<p>1 住民行政、財務会計、コミュニケーション系、ホームページなど各種情報システムの安定稼動を確保するための運用管理を行い、効率的な行政事務の執行やセキュリティ強化に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民記録や税務等の住民情報に関する業務を行うための基幹システムである住民行政システムの更改を諏訪6市町村共同で実施した。 ・内部事務の基幹的なシステムであるコミュニケーション系システムの更改を実施した。 ・岡谷市の魅力を感じることができるとともに、I C T環境の変化や利用者ニーズに対応したホームページを目指し、C M S（ホームページ作成システム）の更改を行った。 ・公共施設予約システムの更改について、諏訪市及び茅野市との共同調達により実施するため検討及び調整を行った。 ・e ラーニングセキュリティ研修等、情報セキュリティ保護のための職員研修、内部点検等を実施した。 <p>2 公衆無線L A N環境整備事業 公共施設における利用者へのサービス向上等を目的とし、カルチャーセンター及びこどものくにへ公衆無線L A Nの環境整備を行った。</p> <p>3 番号制度中間サーバー負担金 社会保障・税番号制度の情報連携を行うための、地方公共団体情報システム機構が運営している自治体中間サーバーに係る経費を負担した。</p> <p>4 自治体情報セキュリティクラウド負担金 セキュリティ強化のため、県内自治体のインターネット接続口を県で一本化する自治体情報セキュリティクラウドに係る経費を負担した。</p> <p>5 会議録等作成支援システム導入事業 行政管理課との連携により、会議録等作成における音声反訳について、A Iによる支援システムを導入し、業務の効率化を図った。</p> <p>6 W e b会議環境整備事業（新型コロナウイルス感染症対応事業） 新型コロナウイルス感染症対策として、W e b会議の利用拡大と柔軟な運用に対応するための環境整備を行った。</p> <p style="text-align: right;">(172, 693, 391円)</p>

統合型G I S整備事業	<p>1 庁内利用 G I S専門員を中心に、共有データの整備、紙媒体の電子化などを実施し、庁内利用の促進を図るため職員研修を実施した。また、現地調査などでタブレット端末を活用し、業務の効率化を図った。</p> <p>2 一般公開 市ホームページで一般公開している「くらしマップおかや」(岡谷市地理情報システム)にて29種類の地図情報を公開し利便性の向上を図った。</p> <p style="text-align: right;">(5,658,321円)</p>
統計調査事務	<p>1 統計調査関係者の各種表彰推薦事務を実施した。</p> <p>2 統計調査結果の報告書を作成し公表した。</p> <p>(1) 冊子として発刊 ・「諏訪地方統計要覧」(令和元年度版)</p> <p>(2) ホームページへの掲載 ・「岡谷市の学校現況」(令和2年度学校基本調査結果) ・「岡谷市の人口」(令和2年毎月人口異動調査結果) ※平成27年国勢調査結果概要を含む ・「岡谷の工業」(2019年工業統計調査結果)</p> <p>3 行事等の中止 第51回岡谷市統計グラフコンクールは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、統計グラフ全国コンクール及び長野県統計グラフコンクールが中止されたことに伴い中止した。</p> <p style="text-align: right;">(380,480円)</p>
基幹統計事業	<p>1 統計調査の実施 5年に一度実施の国勢調査をはじめ、国、県による基幹統計等の統計調査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校基本調査(5月1日) ・工業統計調査(6月1日) ・経済センサス—基礎調査(6月～3月) ※乙調査のみ ・国勢調査(10月1日) ・毎月人口異動調査 <p>2 新型コロナウイルス感染症への対応 国勢調査の実施に係る調査員説明会について、説明会の開催回数を増やすことにより、1回あたりの参加者数を減らし、感染予防に努めた。その他の統計調査説明会についても、新型コロナウイルス感染予防対策を実施し開催した。</p> <p style="text-align: right;">(20,472,147円)</p>

第3 主要な統計、行政資料等

1 人口報告

世帯数と人口

(令和3年3月1日現在)

区分	世帯数	人 口			年間動態 (増減)		前年度比	
		総数	男	女	世帯数	人口	世帯数	人口
総 数	世帯 19,362	人 47,499	人 23,121	人 24,378	世帯 △6	人 △606	% 99.97	% 98.74

2 学校基本調査結果

(令和2年5月1日現在)

学校種別	学校数				教員数 本務者	職員数	児童生徒		学級数 ()は特 支学級*	児童生徒	
	総 数	県 立	市 立	私 立			総数	うち男		1学級 当たり	教員1人 当たり
幼稚園	4	-	-	4	14	8	144	75	10	14.4	10.3
幼保連携型 認定こども園	1	-	-	1	21	4	156	78	7	22.3	7.4
小学校	7	-	7	-	156	13	2,278	1,151	82 (21)	22.1	14.6
中学校	4	-	4	-	107	6	1,278	671	41 (14)	23.2	11.9
専修学校	3	-	1	2	14	3	60	15	-	-	-
各種学校	2	-	-	2	5	1	119	48	-	-	-

*特支学級:特別支援学級。学校教育法第81条第2項各号に該当する児童・生徒で構成。

3 製造業に関する報告

産業中分類	事業所数	従業者数	製造品出荷額等	平成30年工業統計調査との比		
				事業所数	従業者数	製造品出荷額等
	事業所	人	万円	%	%	%
総数	251	8,037	19,120,606	97.7	101.1	103.5
0 9 食料	11	96	134,808	100.0	97.0	102.0
1 0 飲料	2	26	X	100.0	100.0	X
1 1 繊維	6	85	103,127	100.0	100.0	100.4
1 2 木材	-	-	-	-	-	-
1 3 家具	2	20	X	100.0	105.3	X
1 4 紙・パルプ	2	27	X	100.0	117.4	X
1 5 印刷	5	103	181,670	83.3	94.5	101.1
1 6 化学	2	22	X	200.0	146.7	X
1 8 プラスチック	4	69	116,739	133.3	156.8	118.9
1 9 ゴム	1	39	X	100.0	95.1	X
2 1 烟業	2	35	X	100.0	140.0	X
2 2 鉄鋼	3	56	123,293	100.0	81.2	82.2
2 3 非鉄	8	332	1,308,869	80.0	94.1	94.3
2 4 金属	50	1,604	2,648,493	96.2	100.0	107.5
2 5 はん用機械	22	1,531	3,688,719	110.0	107.5	106.2
2 6 生産用機械	53	1,147	1,796,590	93.0	101.3	102.4
2 7 業務用機械	20	640	1,366,886	90.9	95.5	104.7
2 8 電子	13	1,042	5,221,766	108.3	104.0	110.9
2 9 電気	13	570	1,095,034	81.3	89.6	84.3
3 0 情報	10	118	132,041	125.0	114.6	105.4
3 1 輸送	18	424	824,750	112.5	101.0	113.0
3 2 その他	4	51	93,941	100.0	108.5	147.7

- ・ 2019年工業統計調査結果による。
- ・ X は数値が推測されるため秘匿している。
- ・ 売上高（製造品出荷額等）等の経理事項は平成30年1年間、経理事項以外の項目は令和元年6月1日現在の数値。

行 政 管 理 課

第1 概説

行政管理課では、「行財政改革プログラム」の推進、行政評価システムによる施策及び事務事業の評価、第7次定員適正化計画の推進を図ったほか、「公共施設等総合管理計画」の進行管理と、具体的な計画となる公共施設個別施設計画を策定した。

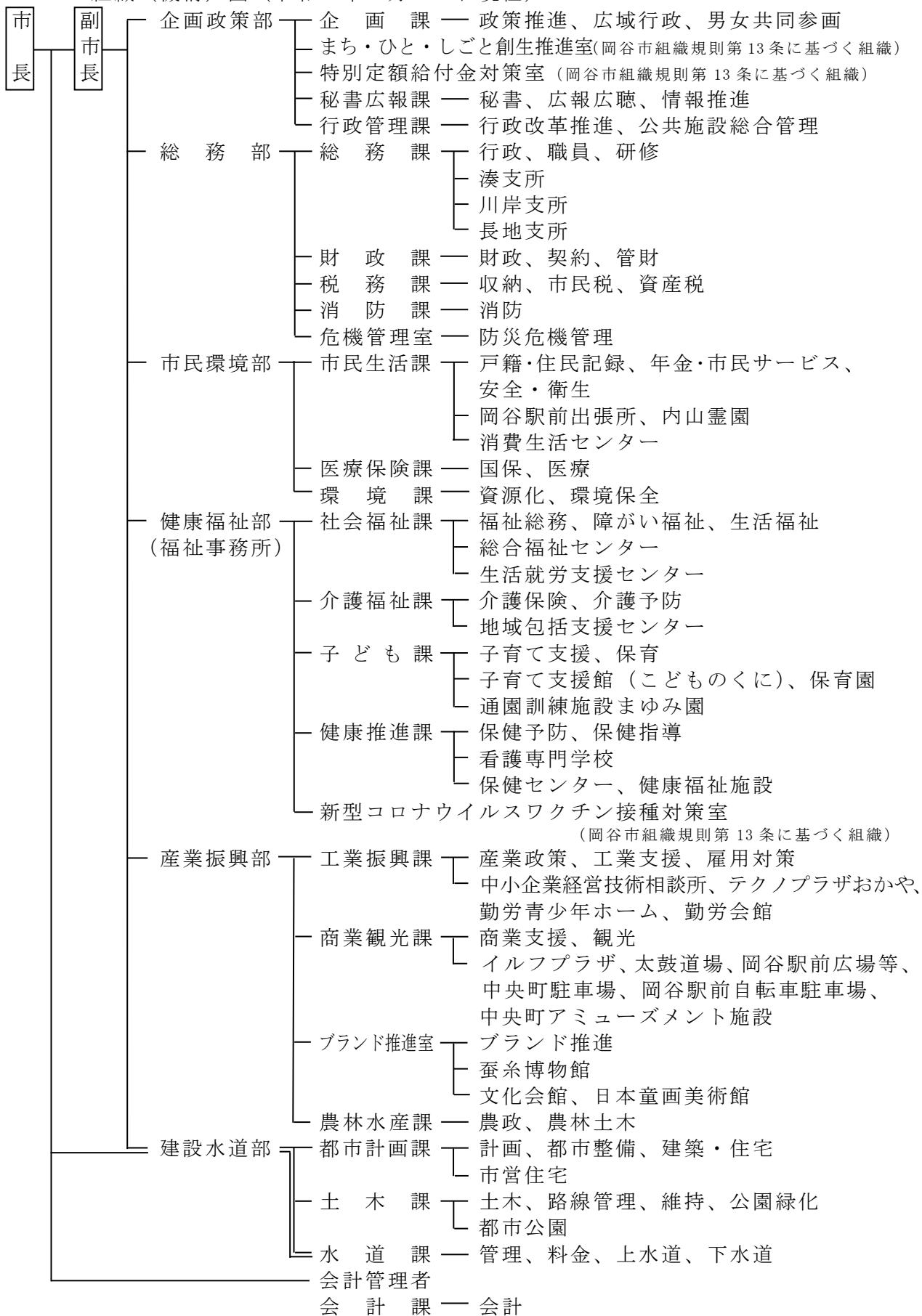
第2 実績総括

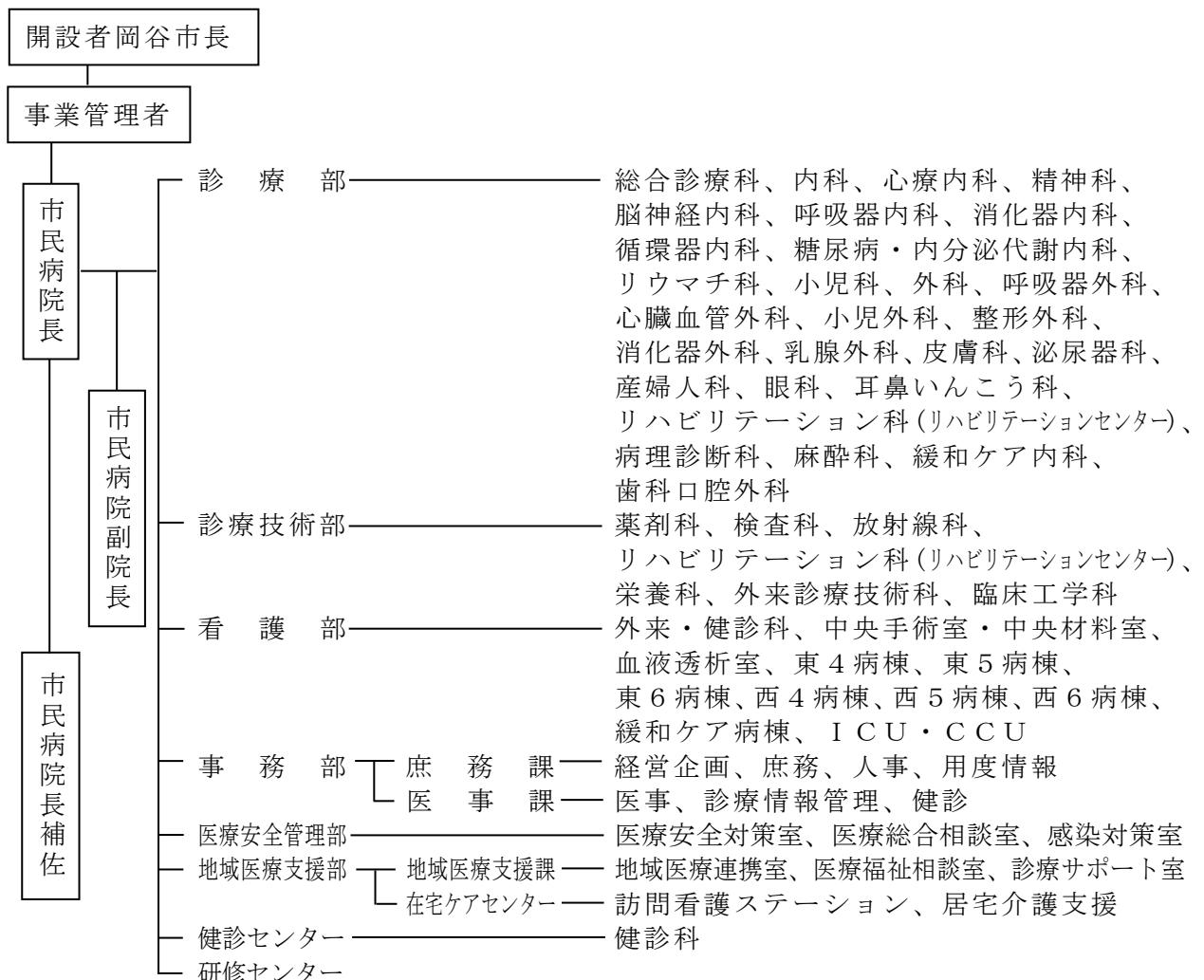
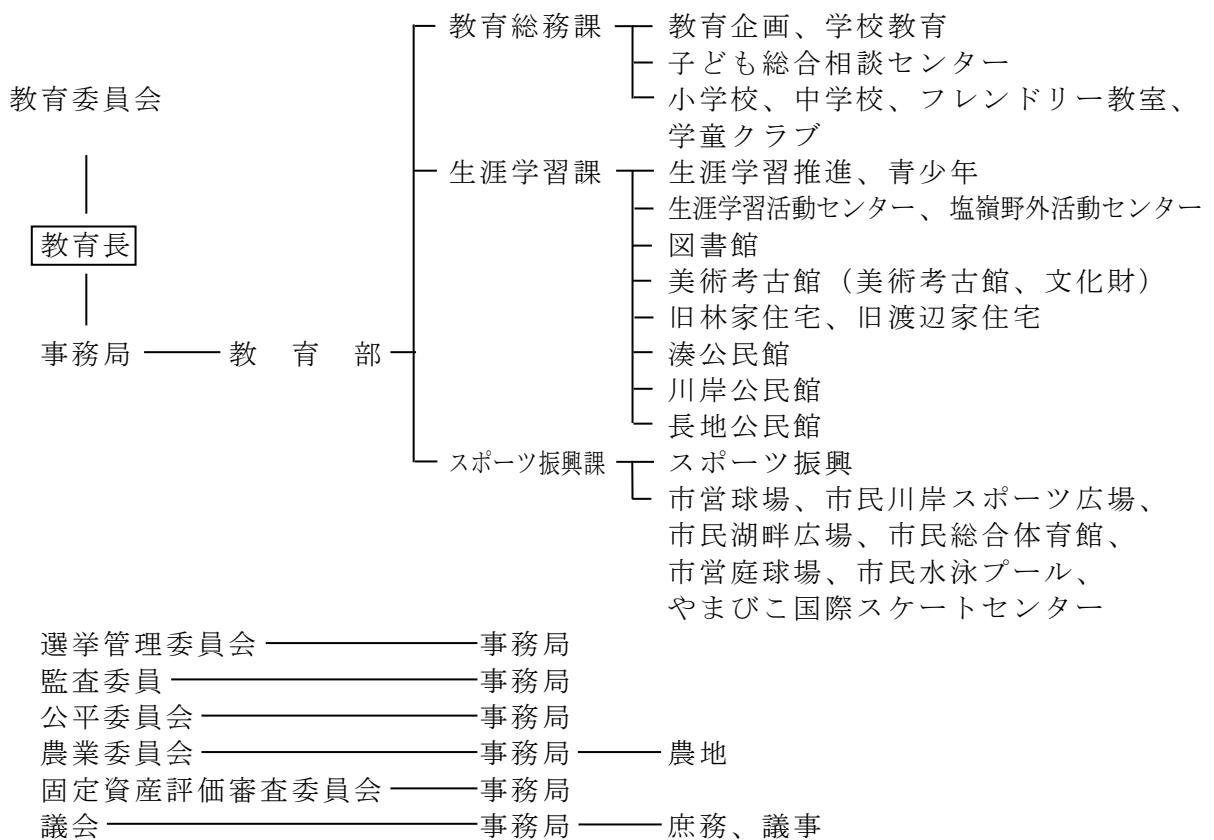
主要な事務事業	内 容
行政改革推進事務	<p>1 行財政改革プログラムの進行管理</p> <p>(1) 行財政改革プログラム実施計画(令和元年度～令和5年度)を推進し、令和元年度の取組状況の総括・公表及び令和2年度の各課の行動計画の取りまとめなど進行管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none">・令和元年度の達成率：65.9% <p>(2) 行政改革審議会(委員14名、2回開催)</p> <ul style="list-style-type: none">・行財政改革プログラム実施計画の取組状況や行動計画のほか、次年度予算の重点施策などを報告した。 <p>2 行政評価の実施</p> <p>(1) 事務事業評価</p> <p>職員の意識改革、事務事業執行の改革・改善を目的に実施し公表した。</p> <ul style="list-style-type: none">・評価件数：296件(令和元年度の事務事業) <p>(2) 施策評価</p> <p>事務事業の優先順位付けを目的として実施し公表した。</p> <ul style="list-style-type: none">・評価件数：31件(令和元年度の施策) <p>(3) 外部評価</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況を鑑み、実施を見送った。</p> <p>3 指定管理者制度</p> <p>公の施設指定管理者選定等審議会(委員5名、4回開催)</p> <ul style="list-style-type: none">・令和3年3月末で指定期間が満了する9施設について、再選定をするため審議会に対して諮問を行い、審議を経て指定管理者の候補者を選定し、答申を受けた。・審議会からの答申を参考に、市としての候補者を選定し、議会の議決を経て、令和3年4月からの指定管理者を決定した。・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として閉鎖した施設に対し、一定の基準により精算対応を行った。 <p>4 組織定員管理</p> <p>(1) 組織管理</p> <p>① 令和2年4月組織改正</p> <p>現行の組織を基本としながら、行政課題への対応と重点事業の進捗状況に応じた組織の構築を図った。</p> <p>市民環境課を分割し、市民生活課及び環境課を設置した。</p>

	<p>② その他の組織改正</p> <p>新型コロナウイルス感染症の関連事務に対応するため、岡谷市組織規則第13条に基づく特別の組織を構築した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別定額給付金対策室 令和2年4月24日設置、令和3年3月31日廃止 ・新型コロナウイルスワクチン接種対策室 令和3年2月10日設置 <p>③ 令和3年度の組織改正に向けた取組</p> <p>第5次岡谷市総合計画前期基本計画や行政課題への対応と重点事業の進捗を踏まえ、簡素で効率的な行政運営の推進を図るため、全ての課等に対し調査票による調査及びヒアリングを実施し、課題の把握とその解決策の検討を行った。</p> <p>(2) 定員管理（一般会計・特別会計等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度予算定数 定員適正化計画の推進を図り、令和2年度予算定数は前年度と同数の412名とした。 ・令和3年度の定員適正化に向けた取組 全ての課等に対して組織改正の検討と併せ、同様の調査などを実施し、課題の把握とその解決策の検討を行った。 	(257, 516円)
行政報告書作成事務	令和元年度行政報告書を作成し、市立図書館、県立図書館、国立国会図書館、市情報公開コーナーに閲覧用冊子を設置した。	(278, 850円)
公共施設総合管理推進事務	<p>1 公共施設等総合管理計画</p> <p>公共施設等総合管理計画の進行管理を行った。</p> <p>また、計画に示した今後の公共施設マネジメントの方向性を踏まえ、公共施設の適正管理を具体的に進めるための基本方針となる、公共施設個別施設計画を策定した。</p> <p>2 公共施設白書</p> <p>各施設の老朽化の状況や運営・利用の状況を客観的な指標により評価を行った公共施設白書（令和元年度版）を発行した。</p> <p>3 庁内検討</p> <p>各公共施設の方向性を定めるため、庁内検討等を隨時行った。</p> <p>4 市民周知</p> <p>公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進に関して、公共施設等総合管理計画などへ理解を深めるため、広報おかやに記事を掲載した。</p> <p>また、行政改革審議会において、公共施設個別施設計画について説明を行うとともに、ホームページ等で公表した。</p> <p>5 パブリックコメントの実施</p> <p>公共施設個別施設計画策定時には、市民意見を反映させるため、パブリックコメントを実施した。</p>	(100, 162円)

第3 主要な統計、行政資料等

1 組織（機構）図（令和3年3月31日現在）





總務部

總務課

第1 概説

総務課では、市議会議案関係、庁中の維持管理、例規の審査、文書の管理、職員の任免、配置、給与、勤務条件、研修、福利厚生等の業務を執行した。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
市役所庁舎管理事業	<p>1 主な改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 庁舎1階空調設備設置工事 (1,628,000円) ・ 庁舎2階東側男子小便器水漏れ修繕工事 (496,760円) ・ 庁舎からくり時計修繕工事 (495,000円) ・ 庁舎男子休養室空調設備修繕工事 (495,000円) ・ 庁舎冷温水発生機修繕工事 (381,150円) ・ 庁舎駐車場区画線等補修工事 (236,500円) ・ 庁舎車庫棟電気設備修繕工事 (220,000円) ・ 庁舎構内道路ガス管緊急修繕工事 (176,770円) ・ 庁舎冷温水発生機修繕工事（その2） (153,307円) ・ 庁舎消防設備修繕工事 (128,450円) <p>2 市役所庁舎新型コロナウイルス感染症対策事業 (新型コロナウイルス感染症対応事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 庁舎トイレ洗面所自動水栓化工事 (1,100,000円) ・ 庁舎トイレ洗面所自動水栓化工事（その2） (499,950円) ・ 庁舎トイレ自動照明化工事（その2） (418,000円) ・ 庁舎トイレ自動照明化工事 (231,000円) ・ 庁舎トイレ前室自動照明化工事 (198,000円) <p>3 岡谷市役所環境保全の率先実行計画</p> <p>平成28年度から令和2年度までを計画期間とする「岡谷市役所環境保全の率先実行計画V」に基づき、本市の事務事業から排出される温室効果ガスの排出抑制など環境への負荷の低減を図るとともに、リデュース、リユース、リサイクルの一層の推進に努めた。また、「岡谷市役所環境保全の率先実行計画VI」を策定した。</p>
文書管理事務	<p>1 文書管理</p> <p>文書の收受、集配業務を実施したほか、全庁における文書管理の適正化及び情報公開等への対応を図るため、文書の保管及び廃棄など各課のファイリングシステムの維持管理指導を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ファイリングシステム保守管理 委託先：インダストリーネットワーク（株） ・ ファイリング実地指導：11月11日～13日（3日間） 全組織対象（保育園を除く。） ・ 機密文書処理（単価契約 8円/kg）：6,633kg 委託先：（有）成山商店 <p>2 情報公開等</p> <p>市が保有する情報（個人情報を含む。）の適正管理及び保護並びに公開請求に対する支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報公開請求 11件（うち個人情報の開示請求 2件） (内訳) 全部開示 1件 部分開示 9件 文書不存在による不開示 2件 (全部開示1件と不開示1件は同一の請求) ・ 個人情報の目的外利用及び外部提供 7件

法律関係相談事務	<p>市の事業の適法かつ適正な実施を確保するため、例規整備及び法令等の適切な解釈の支援並びに法律相談等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 条例、規則及び要綱等の制定並びに改廃の支援 条例改正等の件数 「第3 主要な統計、行政資料等」に記載 例規審査委員会 会議 4回 委員 16名 幹事 16名 審査件数 19件 																																																																
総務管理事務	<p>1 議会関係事務 • 議会招集回数 定例会 4回 • 提出議案件数 報告：32件 議案：98件</p> <p>2 岡谷市固定資産評価審査委員会事務 岡谷市固定資産評価審査委員会に、固定資産課税台帳縦覧の結果や固定資産税の課税状況のほか、令和3年度の固定資産評価替えについて報告した。 • 会議：2回 委員：3名</p>																																																																
特別職の就任	<table> <tbody> <tr><td>2. 4. 1</td><td>副市長</td><td>小口</td><td>道生</td></tr> <tr><td>2. 4. 1</td><td>公平委員</td><td>宮坂</td><td>大吾</td></tr> <tr><td>2. 6. 20</td><td>固定資産評価審査委員</td><td>濱</td><td>幹雄</td></tr> <tr><td>2. 7. 1</td><td>〃</td><td>河西</td><td>信子</td></tr> <tr><td>2. 7. 1</td><td>人権擁護委員</td><td>林</td><td>幸夫</td></tr> <tr><td>2. 7. 30</td><td>農業委員</td><td>今井</td><td>久夫</td></tr> <tr><td>2. 7. 30</td><td>〃</td><td>清水</td><td>江身子</td></tr> <tr><td>2. 7. 30</td><td>〃</td><td>花岡</td><td>比佐志</td></tr> <tr><td>2. 7. 30</td><td>〃</td><td>山岡</td><td>啓助</td></tr> <tr><td>2. 7. 30</td><td>〃</td><td>宮澤</td><td>淑</td></tr> <tr><td>2. 7. 30</td><td>〃</td><td>高林</td><td>敬子</td></tr> <tr><td>2. 7. 30</td><td>〃</td><td>井上</td><td>昌輝</td></tr> <tr><td>2. 7. 30</td><td>〃</td><td>渡邊</td><td>兼男</td></tr> <tr><td>2. 10. 1</td><td>教育委員</td><td>藤森</td><td>一俊</td></tr> <tr><td>3. 1. 1</td><td>人権擁護委員</td><td>山田</td><td>光輝</td></tr> <tr><td>3. 1. 1</td><td>〃</td><td>小野</td><td>圭子</td></tr> </tbody> </table>	2. 4. 1	副市長	小口	道生	2. 4. 1	公平委員	宮坂	大吾	2. 6. 20	固定資産評価審査委員	濱	幹雄	2. 7. 1	〃	河西	信子	2. 7. 1	人権擁護委員	林	幸夫	2. 7. 30	農業委員	今井	久夫	2. 7. 30	〃	清水	江身子	2. 7. 30	〃	花岡	比佐志	2. 7. 30	〃	山岡	啓助	2. 7. 30	〃	宮澤	淑	2. 7. 30	〃	高林	敬子	2. 7. 30	〃	井上	昌輝	2. 7. 30	〃	渡邊	兼男	2. 10. 1	教育委員	藤森	一俊	3. 1. 1	人権擁護委員	山田	光輝	3. 1. 1	〃	小野	圭子
2. 4. 1	副市長	小口	道生																																																														
2. 4. 1	公平委員	宮坂	大吾																																																														
2. 6. 20	固定資産評価審査委員	濱	幹雄																																																														
2. 7. 1	〃	河西	信子																																																														
2. 7. 1	人権擁護委員	林	幸夫																																																														
2. 7. 30	農業委員	今井	久夫																																																														
2. 7. 30	〃	清水	江身子																																																														
2. 7. 30	〃	花岡	比佐志																																																														
2. 7. 30	〃	山岡	啓助																																																														
2. 7. 30	〃	宮澤	淑																																																														
2. 7. 30	〃	高林	敬子																																																														
2. 7. 30	〃	井上	昌輝																																																														
2. 7. 30	〃	渡邊	兼男																																																														
2. 10. 1	教育委員	藤森	一俊																																																														
3. 1. 1	人権擁護委員	山田	光輝																																																														
3. 1. 1	〃	小野	圭子																																																														
特別職の退任	<table> <tbody> <tr><td>2. 6. 19</td><td>固定資産評価審査委員</td><td>濱</td><td>幹雄</td></tr> <tr><td>2. 6. 30</td><td>〃</td><td>河西</td><td>信子</td></tr> <tr><td>2. 6. 30</td><td>人権擁護委員</td><td>林</td><td>幸夫</td></tr> <tr><td>2. 7. 29</td><td>農業委員</td><td>今井</td><td>久夫</td></tr> <tr><td>2. 7. 29</td><td>〃</td><td>清水</td><td>江身子</td></tr> <tr><td>2. 7. 29</td><td>〃</td><td>花岡</td><td>比佐志</td></tr> <tr><td>2. 7. 29</td><td>〃</td><td>小口</td><td>高弘</td></tr> <tr><td>2. 7. 29</td><td>〃</td><td>宮澤</td><td>淑</td></tr> <tr><td>2. 7. 29</td><td>〃</td><td>高林</td><td>敬子</td></tr> <tr><td>2. 7. 29</td><td>〃</td><td>山田</td><td>芳文</td></tr> <tr><td>2. 7. 29</td><td>〃</td><td>渡邊</td><td>兼男</td></tr> <tr><td>2. 9. 30</td><td>教育委員</td><td>藤森</td><td>一俊</td></tr> <tr><td>2. 12. 31</td><td>人権擁護委員</td><td>山田</td><td>光輝</td></tr> <tr><td>2. 12. 31</td><td>〃</td><td>水野</td><td>里美</td></tr> <tr><td>3. 3. 31</td><td>公平委員</td><td>林</td><td>和子</td></tr> </tbody> </table>	2. 6. 19	固定資産評価審査委員	濱	幹雄	2. 6. 30	〃	河西	信子	2. 6. 30	人権擁護委員	林	幸夫	2. 7. 29	農業委員	今井	久夫	2. 7. 29	〃	清水	江身子	2. 7. 29	〃	花岡	比佐志	2. 7. 29	〃	小口	高弘	2. 7. 29	〃	宮澤	淑	2. 7. 29	〃	高林	敬子	2. 7. 29	〃	山田	芳文	2. 7. 29	〃	渡邊	兼男	2. 9. 30	教育委員	藤森	一俊	2. 12. 31	人権擁護委員	山田	光輝	2. 12. 31	〃	水野	里美	3. 3. 31	公平委員	林	和子				
2. 6. 19	固定資産評価審査委員	濱	幹雄																																																														
2. 6. 30	〃	河西	信子																																																														
2. 6. 30	人権擁護委員	林	幸夫																																																														
2. 7. 29	農業委員	今井	久夫																																																														
2. 7. 29	〃	清水	江身子																																																														
2. 7. 29	〃	花岡	比佐志																																																														
2. 7. 29	〃	小口	高弘																																																														
2. 7. 29	〃	宮澤	淑																																																														
2. 7. 29	〃	高林	敬子																																																														
2. 7. 29	〃	山田	芳文																																																														
2. 7. 29	〃	渡邊	兼男																																																														
2. 9. 30	教育委員	藤森	一俊																																																														
2. 12. 31	人権擁護委員	山田	光輝																																																														
2. 12. 31	〃	水野	里美																																																														
3. 3. 31	公平委員	林	和子																																																														
人事管理事務	<table> <tbody> <tr><td>2. 4. 1</td><td>新規採用職員の配置 14人 (一般職関係 11人) (保育園関係 3人)</td></tr> <tr><td>2. 4. 1</td><td>再任用職員の配置 11人 (一般職関係 11人)</td></tr> </tbody> </table>	2. 4. 1	新規採用職員の配置 14人 (一般職関係 11人) (保育園関係 3人)	2. 4. 1	再任用職員の配置 11人 (一般職関係 11人)																																																												
2. 4. 1	新規採用職員の配置 14人 (一般職関係 11人) (保育園関係 3人)																																																																
2. 4. 1	再任用職員の配置 11人 (一般職関係 11人)																																																																

	<p>2. 4. 1 職員の一部配置替 109人 　　(一般職関係 92人) 　　(保育園・学校関係 17人)</p> <p>2. 4. 1 職員の昇任・昇格 47人</p> <p>2. 8. 1 新規採用職員の配置 1人 　　(一般職関係 1人)</p> <p>2. 10. 1 新規採用職員の配置 2人 　　(一般職関係 2人)</p> <p>2. 10. 1 職員の一部配置替 4人 　　(一般職関係 4人)</p> <p>2. 10. 1 職員の昇任・昇格 3人</p> <p>2. 11. 1 職員の一部配置替 1人 　　(保育園・学校関係 1人)</p>
給与管理事務	<p>1 市長等の給料の減額 　　市の厳しい財政状況を勘案し、引き続き市長等の給料月額を減額することとした。 　　・市長 100 分の 10、副市長 100 分の 7、教育長 100 分の 3 　　・期間 令和元年 9 月 29 日から令和 5 年 9 月 28 日まで</p> <p>2 給与改定</p> <p>【特別職】 　　特別職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律(令和 2 年法律第 66 号)が公布施行されたことを受け、岡谷市特別職の給与についても条例を改正し、令和 2 年 12 月 1 日から適用した。 　　・期末手当 　　0.05 月分引下げ(支給月数 3.40 月 → 3.35 月) 　　令和 3 年度以降の支給割合の平準化 　　(令和 2 年度 6 月: 1.70 月、12 月: 1.65 月 　　→ 令和 3 年度 6 月・12 月: 各 1.675 月)</p> <p>【一般職】 　　一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律(令和 2 年法律第 65 号)が公布施行されたことに伴い、岡谷市一般職の職員の給与についても、これに準じて条例を改正し、令和 2 年 12 月 1 日から適用した。 　　・期末手当 　　0.05 月分引下げ 　　(期末・勤勉手当年間支給月数 4.50 月 → 4.45 月) 　　令和 3 年度以降の支給割合の平準化 　　(令和 2 年度 6 月: 2.25 月、12 月: 2.20 月 　　→ 令和 3 年度 6 月・12 月: 各 2.225 月)</p>
人材育成推進事務	<p>岡谷市職員人材育成基本方針に基づき、人材育成を推進した。</p> <p>1 職員研修事務 　　令和 2 年度職員研修計画に基づき、計画的に各種研修を実施し、職員の資質向上と意識改革等を図った。 　　新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、研修の開催にあたっては、オンライン形式での研修を取り入れるとともに、日程の延期や実施方法を変更するなど可能な範囲で研修を開催し、職員の少数精銳化のなか、各階層に必要な能力を早期に身につけさせ、組織力の向上に努めた。 　　(1) 自主研修 　　・自主研修グループ研修 1 グループ 4 人 　　・公募実務研修(財務会計事務) 18 人 1 日間</p>

(2)	職場研修				
	・OJT実践研修	各職場	通年		
	・職場ニーズに応じた研修		36回		
	・新規採用職員等研修	各職場	通年		
(3)	職場外研修				
①	階層別研修				
	・新規採用職員研修（岡谷市の歴史）	11人	1日間		
	・接遇研修（新規採用職員）	7人	3日間		
	・土のう作成研修（新規採用職員）	8人	1日間		
	・新規採用職員研修	12人	2日間		
	・インフォメーション準備研修（新規採用職員）				
		7人	1日間		
	・インフォメーション研修（新規採用職員）				
		7人	1年間		
	・メンタルヘルス研修（新規採用職員）	11人	1日間		
	・旧庁舎清掃研修（新規採用職員）	11人	1日間		
	・防災研修（新規採用職員）	15人	1日間		
	・初任者研修	20人	2日間		
	・初任者研修の効果測定	20人	1日間		
	・新規採用職員後期研修	県 15人	1日間		
	・プレゼンテーション研修（新規採用職員）				
		12人	1日間		
	・新規採用職員事前研修（リモート）	24人	1日間		
	・一般行政職員研修（主事、主任）	県 6人	1日間		
	・主査OJT研修				
		8人	1日間		
	・新任主幹研修				
		10人	1日間		
	・主幹OJT実践研修				
		5人	1日間		
	・新任課長研修				
		5人	1日間		
	・管理監督者研修（主幹、統括主幹、課長、部長）				
		100人	1日間		
	・会計年度任用職員研修				
		25人	1日間		
②	専門研修				
	・選挙管理事務等	3研修	3人	1~12日間	
	・諏訪広域連合研修	1研修	1人	1日間	
	・県市町村職員研修センター専門研修				
		18研修	34人	1~2日間	
③	派遣研修				
	・職員派遣研修				
	長野県庁 派遣 主査	1人	2年間	（1年目）	
	長野県庁 派遣 主事	1人	1年間		
	経済産業省 派遣 主査	1人	2年3月間		
	中小企業庁 派遣 主任	1人	2年間	（1年目）	
	・職員交流研修（下諏訪町）				
	派遣 主任	1人	2年間	（2年目）	
		主査（保育士）	1人	1年間	
	受入 主任	1人	2年間	（2年目）	
		主事（保育士）	1人	1年間	
④	一般知識研修（特別研修）				
	・シートベルト着用点検指導	指導者 10人	3日間		
	・接遇研修（窓口接客とクレーム対応）	25人	1日間		
	・eラーニングによる情報セキュリティ研修				
		517人	2月間		

	<ul style="list-style-type: none"> ・ e ラーニングによる情報連携に向けた研修
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 接遇研修（さわやかあいさつ指導） 11人 3月間 ・ 職員交通安全研修 210人 1日間 ・ ゲートキーパー養成講座 230人 1日間 ・ メンタルヘルス研修（衛生委員、職場指導員ほか） 25人 1日間
	<p>2 人事評価</p> <p>職員自らが能力を向上させながら意欲を持って業務に取り組むため、人事評価制度を活用した意識改革や人材育成を図った。</p>
	<p>3 職員提案事務</p> <p>全職員を対象に自由な発想に基づく職員提案を募集した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員提案件数 55件
職員安全衛生管理事務	<p>1 職員福利厚生事務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、職員互助会事業である研修旅行等を中止し、代替事業を行い職員の福利厚生に努めた。 ・ 人間ドック受診給付等の福利厚生事務を行った。 <p>2 職員安全衛生管理事務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の健康管理と疾病の早期発見のため、健康診断を実施した。 ・ 産業医による健康相談や専門のアドバイザーによるメンタルヘルス相談事業を実施した。 ・ 庁内広報等により、労働安全衛生推進の啓発を行い、健康管理や明るい職場づくりなどに努めた。 ・ 労働安全衛生法に基づき、全職員にストレスチェックを実施した。
庁内広報発行事務	<p>職員の接遇や服務等に関する意識啓発、福利厚生等に係る情報を掲載した庁内広報等を発行した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 庁内広報 19回発行 ・ スキルアップ情報 5回発行 ・ 健康ニュース 12回発行

第3 主要な統計、行政資料等

1 条例及び規則

区分	新 設	改 正	廃 止
条 例	5 件	24 件	0 件
規 則	3 件	24 件	0 件

（1）条例

公布番号	公布年月日	条 例 名
11	R2. 4. 27	岡谷市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例
12	R2. 4. 30	岡谷市市税条例の一部を改正する条例
13	R2. 4. 30	岡谷市都市計画税条例の一部を改正する条例
14	R2. 5. 1	岡谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例

15	R2. 5. 1	岡谷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
16	R2. 6. 25	選挙公報の発行に関する条例の一部を改正する条例
17	R2. 6. 25	岡谷市手数料条例の一部を改正する条例
18	R2. 6. 25	岡谷市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び岡谷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
19	R2. 6. 25	岡谷市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例
20	R2. 10. 6	岡谷市子ども発達支援センター条例
21	R2. 12. 1	岡谷市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
22	R2. 12. 1	岡谷市職員の給与に関する条例及び岡谷市会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例
23	R2. 12. 1	岡谷市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
24	R2. 12. 15	日本童画美術館条例の一部を改正する条例
25	R2. 12. 15	岡谷市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税免除に関する条例
26	R2. 12. 15	岡谷市後期高齢者医療に関する条例等の一部を改正する条例
27	R2. 12. 15	岡谷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
28	R2. 12. 15	岡谷市都市公園条例の一部を改正する条例
1	R3. 2. 17	岡谷市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例
2	R3. 2. 17	岡谷市新型コロナウイルス緊急対策資金等利子補給基金条例
3	R3. 2. 17	岡谷市まち・ひと・しごと創生基金条例
4	R3. 2. 17	岡谷市森林環境譲与税基金条例
5	R3. 3. 17	岡谷市手数料条例の一部を改正する条例
6	R3. 3. 17	岡谷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
7	R3. 3. 17	テクノプラザおかや条例の一部を改正する条例
8	R3. 3. 17	岡谷市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例
9	R3. 3. 17	岡谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例
10	R3. 3. 31	岡谷市市税条例等の一部を改正する条例
11	R3. 3. 31	岡谷市都市計画税条例の一部を改正する条例

(2) 規則

公布番号	公布年月日	規則名
19	R2. 4. 1	岡谷市災害弔慰金の支給等に関する条例施行規則の一部を改正する規則

20	R2. 5. 1	岡谷市国民健康保険の保険給付等に関する規則の一部を改正する規則
21	R2. 6. 1	女性の職業生活における活躍の推進に関する法律の特定事業主等を定める規則の一部を改正する規則
22	R2. 7. 13	岡谷市職員の時間外勤務に関する規則の一部を改正する規則
23	R2. 8. 21	岡谷市会計年度任用職員及び臨時の任用職員の任用等に関する規則の一部を改正する規則
24	R2. 8. 25	岡谷市商工業振興条例施行規則の一部を改正する規則
25	R2. 9. 1	岡谷市国民健康保険の保険給付等に関する規則の一部を改正する規則
26	R2. 9. 3	岡谷市自動車の臨時運行の許可に関する規則の一部を改正する規則
27	R2. 10. 1	岡谷市印鑑の登録及び証明に関する条例施行規則の一部を改正する規則
28	R2. 10. 23	岡谷市財務規則の一部を改正する規則
29	R2. 11. 30	岡谷市保育所条例附則第3項の規則で定める日を定める規則
30	R2. 11. 30	岡谷市後期高齢者医療に関する規則の一部を改正する規則
31	R2. 12. 1	岡谷市市税に関する規則の一部を改正する規則
32	R2. 12. 1	岡谷市国民健康保険の保険給付等に関する規則の一部を改正する規則
33	R2. 12. 21	岡谷市市税に関する規則の一部を改正する規則
34	R2. 12. 21	岡谷市国民健康保険税に関する規則の一部を改正する規則
35	R2. 12. 25	岡谷市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税免除に関する条例施行規則
1	R3. 2. 15	岡谷市子ども発達支援センター条例施行規則
2	R3. 3. 17	岡谷市組織規則の一部を改正する規則
3	R3. 3. 17	岡谷市国民健康保険の保険給付等に関する規則の一部を改正する規則
4	R3. 3. 26	岡谷市財務規則の一部を改正する規則
5	R3. 3. 26	岡谷市福祉医療費資金貸付規則の一部を改正する規則
6	R3. 3. 26	岡谷市後期高齢者医療に関する規則の一部を改正する規則
7	R3. 3. 26	岡谷市靈園条例施行規則の一部を改正する規則
8	R3. 3. 26	岡谷市商工業振興条例施行規則の一部を改正する規則
9	R3. 3. 26	岡谷市消防団員等公務災害補償条例第9条の2第1項の規則で定める金額を定める規則の一部を改正する規則
10	R3. 3. 31	岡谷市市税に関する規則の一部を改正する規則

2 公示文書及び令達文書

公示文書		令達文書	
告 示	公 告	訓 令	指 令
110 件	88 件	8 件	896 件

3 一般職職員数

(令和3年3月31日現在)

部局等区分	行政職	企業職	病院企業職				計
			(1)	(2)	(3)	(4)	
市長	人 349	人 —	人 —	人 —	人 —	人 —	人 349
議会	5	—	—	—	—	—	5
教育委員会	43	—	—	—	—	—	43
選挙管理委員会	3	—	—	—	—	—	3
監査委員	2	—	—	—	—	—	2
農業委員会	2	—	—	—	—	—	2
上水道事業	—	14	—	—	—	—	14
下水道事業	—	9	—	—	—	—	9
病院事業	—	—	41	115	247	41	444
計	404	23	41	115	247	41	871

(注) 3月31日付退職者を含む。

支 所

第1 概説

市の出先機関として、地域住民に直結した業務（戸籍、住民登録、印鑑登録、諸証明等の受付、交付、現金の出納事務など）及び湊財産区管理業務を執行した。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容														
湊財産区管理運営事業（湊支所）	1 沢入団地 森林経営委託（0 予算） <ul style="list-style-type: none"> ・契約対象森林面積 164.47 ha 契約期間：2018年4月23日から2023年4月22日まで 受託者：株式会社 飯森林業 <table border="1"> <tr> <td>間 伐</td> <td>9. 62 ha</td> <td>57 林班</td> </tr> <tr> <td>主 伐</td> <td>1. 65 ha</td> <td>58 林班</td> </tr> <tr> <td>植 林</td> <td>2. 16 ha</td> <td>58 林班</td> </tr> <tr> <td>路 綱 開 設</td> <td>663 m</td> <td>57 林班</td> </tr> </table> 2 森林の里親事業（0 予算） <ul style="list-style-type: none"> ・京セラの森林活動 植林、除伐、枝打ち等 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 3 湊財産区管理委員会 管理委員会：12回開催、管理委員作業：8回			間 伐	9. 62 ha	57 林班	主 伐	1. 65 ha	58 林班	植 林	2. 16 ha	58 林班	路 綱 開 設	663 m	57 林班
間 伐	9. 62 ha	57 林班													
主 伐	1. 65 ha	58 林班													
植 林	2. 16 ha	58 林班													
路 綱 開 設	663 m	57 林班													

第3 主要な統計、行政資料等

1 支所別出納金の取扱い状況

（収 入）

（単位：円）

区分	湊支所	川岸支所	長地支所	計
一般会計	4,610,621	24,490,854	35,035,784	64,137,259
特別会計等	国民健康保険	1,199,879	4,440,675	8,539,386
	分収造林事業	0	0	0
	靈園事業	6,300	571,550	750,900
	温泉事業	13,800	37,000	78,500
	訪問看護事業	0	0	0
	後期高齢者医療	97,900	1,616,900	1,660,100
	湊財産区	129,800	0	0
	水道事業	262,016	2,155,702	4,937,418
	下水道事業	13,480	99,180	21,890
	地域開発事業	0	0	26,400
	病院事業	0	0	0
	育英基金返済	130,000	497,000	271,700
	介護保険事業	147,120	543,630	1,381,490
	湖北（火葬場）	10,000	30,000	10,000
	県民交通災害共済	4,400	42,800	87,600
合 計		6,625,316	34,525,291	52,801,168
				93,951,775

2 支所別閲覧証明件数

(単位:件)

区分	湊支所	川岸支所	長地支所	計
税務関係閲覧証明	189	242	919	1,350

3 支所別戸籍・住民基本台帳及び印鑑登録事務取扱い状況

(市民環境部市民生活課記載のとおり)

財政課

第1 概説

財政課では、予算の編成、市債、地方交付税、財政統計、契約事務、市有財産管理及び車両の集中管理等に関する業務を執行した。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容																																			
財政事務	<p>1 予算管理</p> <ul style="list-style-type: none">一般会計の補正予算は23回行い、最終予算額は、287億7,461万1千円となり、前年度比77億837万8千円、36.59%の増となった。特別会計及び湊財産区一般会計の補正予算回数と最終予算の状況は、次のとおりである。																																			
	<table border="1"><thead><tr><th>会 計 名</th><th>補 正 回 数</th><th>最 終 予 算 額 (千円)</th><th>会 計 名</th><th>補 正 回 数</th><th>最 終 予 算 額 (千円)</th></tr></thead><tbody><tr><td>國 民 健 康 保 險 事 業</td><td>2回</td><td>4,553,485</td><td>溫 泉 事 業</td><td>—</td><td>22,000</td></tr><tr><td>地 域 開 発 事 業</td><td>—</td><td>313,200</td><td>後 期 高 齡 者 医 療 事 業</td><td>1回</td><td>866,829</td></tr><tr><td>分 収 造 林 事 業</td><td>—</td><td>22,300</td><td>湊 財 产 区</td><td>—</td><td>1,600</td></tr><tr><td>靈 園 事 業</td><td>—</td><td>19,500</td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>						会 計 名	補 正 回 数	最 終 予 算 額 (千円)	会 計 名	補 正 回 数	最 終 予 算 額 (千円)	國 民 健 康 保 險 事 業	2回	4,553,485	溫 泉 事 業	—	22,000	地 域 開 発 事 業	—	313,200	後 期 高 齡 者 医 療 事 業	1回	866,829	分 収 造 林 事 業	—	22,300	湊 財 产 区	—	1,600	靈 園 事 業	—	19,500			
会 計 名	補 正 回 数	最 終 予 算 額 (千円)	会 計 名	補 正 回 数	最 終 予 算 額 (千円)																															
國 民 健 康 保 險 事 業	2回	4,553,485	溫 泉 事 業	—	22,000																															
地 域 開 発 事 業	—	313,200	後 期 高 齡 者 医 療 事 業	1回	866,829																															
分 収 造 林 事 業	—	22,300	湊 財 产 区	—	1,600																															
靈 園 事 業	—	19,500																																		
	<p>2 市債</p> <p>令和2年度一般会計の市債の借り入れは、19事業で19億7,072万2千円となった。</p>																																			
	<p>3 地方交付税</p> <p>地方交付税の総額は41億8,873万8千円で、前年度比4,274万6千円の減となった。</p>																																			
	<p>4 財政指標等</p> <p>財政力指数（過去3年間の平均値）は、0.65で、単年度指標は0.65である。</p>																																			
	<p>5 財務諸表の作成</p> <p>財務諸表については、平成27年1月に総務省より示された「統一的な基準による地方公会計マニュアル」に基づき、令和元年度決算における財務諸表を作成し公表した。</p>																																			
	<p>6 財政状況の公表及び情報提供</p> <p>「わかりやすい予算説明書」及び財務諸表の作成と公表、財政事情の公表などにより、予算と主要事業の内容や決算の状況等について、市民に対して広く情報の提供を行った。</p>																																			

契約事務	<p>1 法令等に基づき公平・公正な入札を実施し、予定価格が1,000万円以上の建設工事については、原則として制限付一般競争入札方式とし、38件を実施した。</p> <p>また、一般競争入札のうち総合評価落札方式を6件実施した。</p> <p>2 令和3年度の建設工事等入札参加資格申請の中間受付及び審査を行い、資格者名簿に登載した。</p> <p>3 令和3年度の物品・役務入札参加資格申請の中間受付及び審査を行い、資格者名簿を作成した。</p> <p>4 公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律に基づき、建設工事の発注見通し、入札・契約に係わる情報等の公表を行った。</p> <p>5 令和3年3月に公共工事設計労務単価が引き上げられたことに伴い、賃金等の急激な変動に対処するため、工事請負契約書第26条第6項（インフレスライド条項）の運用を行った。</p>
公用車両管理事務	<p>公用車両については、車両管理費の節減に取り組むとともに、各種法定点検はもちろん職員による日常点検を行うなど、適正な車両管理の実施や、用途に応じた効率的な配車に努めた。</p> <p>（管理車両台数47台）</p> <p>また、環境保全及び自然災害等有事への対応の観点から、電気自動車1台を導入した。</p> <p>公用車両の運転に際しては、運転者認定試験により職員の適性を判断し、同時に安全運転の啓発を行い、交通事故の防止に努めた。</p>
市有財産管理事務	<p>市有財産の取得、処分、管理に係る不動産登記申請、保険事務等を行い、適正な財産管理を行った。</p> <p>併せて、固定資産台帳システムの適正な管理運用を行った。</p> <p>令和2年度登記処理件数 368件</p>
普通財産管理事務	<p>土地については、主なものとして防災倉庫敷地など1,570.21m²を取得し、廃道水路敷地を中心に442.69m²を処分した。</p> <p>建物については、西堀保育園・子ども発達支援センターなど1,853.55m²を取得し、市営住宅、旧健康保険岡谷塩嶺病院など2,543.86m²を解体、処分した。</p> <p>その他、売却等処分が困難な普通財産については、可能な限り貸付等を行うとともに、定期的に除草等を行い、適正な財産管理を行った。</p>

第3 主要な統計、行政資料等

1 令和2年度一般会計歳入歳出補正予算状況

(単位:千円)

区分	当初予算	補 正 予 算						
		1号	2号	3号	4号	5号	6号	7号
議決等年月日	R2.3.16	R2.5.1	R2.5.15	R2.6.10	R2.6.24	R2.6.24	R2.7.1	R2.7.15
歳入	1 市 税	6,835,000						
	2 地 方 講 与 税	145,000						
	3 利 子 割 交 付 金	6,000						
	4 配 当 割 交 付 金	20,000						
	5 株式等譲渡所得割交付金	16,000						
	6 法 人 事 業 税 交 付 金	60,000						
	7 地 方 消 費 税 交 付 金	1,171,000						
	8 ゴルフ場利用税交付金	7,000						
	9 環 境 性 能 割 交 付 金	12,000						
	10 地 方 特 例 交 付 金	40,000						
	11 地 方 交 付 税	4,082,000						
	12 交通安全対策特別交付金	10,000						
	13 分 担 金 及 び 負 担 金	164,837		500				
	14 使用 料 及 び 手 数 料	554,311						
	15 国 庫 支 出 金	2,162,612	5,056,670	2,265	152,900		130,875	165,000
	16 県 支 出 金	1,025,871				1,856		110,300
	17 財 産 収 入	69,201						
	18 寄 附 金	10				11,490		
	19 繰 入 金	284,972			50,000	150,000		
	20 繰 越 金	300,000	84,048	38,680	△ 103,437	107,734		60,283
	21 諸 収 入	1,518,786	80,000		148,000	11,543		
	22 市 債	1,745,400						
	歳 入 合 計	20,230,000	5,220,718	40,945	247,963	282,623	130,875	335,583
								110,102
歳出	1 議 会 費	193,218						
	2 総 務 費	1,759,472	4,967,800		1,000	259,490		40,783
	3 民 生 費	7,407,393	85,618	3,020	1,710	4,000	9,245	45,600
	4 衛 生 費	1,667,980			9,100		1,500	
	5 労 働 費	111,225			30,720			
	6 農 林 水 産 業 費	336,902						1,500
	7 商 工 費	2,025,436	156,200	34,625	203,233	16,500		249,200
	8 土 木 費	2,170,842						
	9 消 防 費	743,999				43		
	10 教 育 費	1,588,903	11,100	3,300	2,200	2,590	120,130	
	11 公 債 費	2,174,630						66,502
	12 予 備 費	50,000						
	歳 出 合 計	20,230,000	5,220,718	40,945	247,963	282,623	130,875	335,583
								110,102

区分		補正予算						
		8号	9号	10号	11号	12号	13号	14号
議決等年月日		R2.9.4	R2.10.5	R2.10.13	R2.10.27	R2.11.12	R2.11.12	R2.11.30
歳入	1 市 税							
	2 地 方 講 与 税							
	3 利 子 割 交 付 金							
	4 配 当 割 交 付 金							
	5 株式等譲渡所得割交付金							
	6 法 人 事 業 税 交 付 金							
	7 地 方 消 費 税 交 付 金							
	8 ゴルフ場利用税交付金							
	9 環 境 性 能 割 交 付 金							
	10 地 方 特 例 交 付 金							
	11 地 方 交 付 税							
	12 交通安全対策特別交付金							
	13 分 担 金 及 び 負 担 金							
	14 使 用 料 及 び 手 数 料							
	15 国 庫 支 出 金	143,900		9,000				
歳出	16 県 支 出 金							
	17 財 产 収 入							
	18 寄 附 金		14,440					
	19 繰 入 金	50,000						
	20 繰 越 金	△ 13,730	220	2,200		939	776	531
	21 諸 収 入	116,000			149			
	22 市 債							
	歳 入 合 計	296,170	14,660	11,200	149	939	776	531
	△ 74,863							
	1 議 会 費							△ 71
	2 総 務 費	1,718	14,660					△ 7,356
	3 民 生 費	35,000						△ 40,367
歳出	4 衛 生 費	25,000		11,200				△ 5,733
	5 労 働 費	11,020						△ 1,077
	6 農 林 水 産 業 費							2,197
	7 商 工 費	176,200						786
	8 土 木 費				149	939	776	531
	9 消 防 費							
	10 教 育 費	47,232						2,143
	11 公 債 費							
	12 予 備 費							
	歳 出 合 計	296,170	14,660	11,200	149	939	776	531
	△ 74,863							

(単位：千円)

補 正 予 算								予備費 充当額	最終予算額
16号	17号	18号	19号	20号	21号	22号	23号		
R2.11.30	R2.12.14	R2.12.14	R3.1.5	R3.2.1	R3.2.16	R3.3.16	R3.3.31		
						△ 34,000			6,801,000
									145,000
									6,000
									20,000
									16,000
									60,000
						△ 42,000			1,129,000
						△ 2,000			5,000
									12,000
									40,000
									4,082,000
									10,000
									172,857
									554,311
									8,515,556
									1,160,658
									69,201
		162,445				76,112		11,440	275,937
						13,274			548,246
	△ 455	△ 94	5,300			153,769	△ 86,508		494,439
				28					1,874,506
						748,800	288,700		2,782,900
△ 455	174,145	55,200	28	3,782	1,237,100	445,000	11,440		28,774,611
△ 455									192,692
	162,445		28		305,277		11,440	3,914	7,521,871
	3,180	27,200			22,900				7,612,499
				3,782	107,148			2,101	1,834,578
					7,200				159,088
					4,919				345,518
		25,000			6,100			2,941	2,916,621
	7,520	3,000			30,593	433,000		530	2,622,495
	1,000								745,042
					752,963	12,000		6,039	2,615,102
									2,174,630
								△ 15,525	34,475
△ 455	174,145	55,200	28	3,782	1,237,100	445,000	11,440	0	28,774,611

2 一般会計予備費充当、予算流用調

(単位：千円)

款 項 目	節	予備費充当額	予算流用額	流 用 科 目
2款 総務費		3,914		
1項 総務管理費		3,914		
1目 一般管理費	2 給料		△ 987	6目 企画費へ
			△ 1,697	14目 会計管理費へ
	3 職員手当等		△ 71	6目 企画費へ
			△ 61	13目 消費者行政費へ
	4 共済費		△ 92	14目 会計管理費へ
			△ 191	6目 企画費へ
			△ 284	14目 会計管理費へ
2目 庁舎管理費	12 委託料	1,329		
	17 備品購入費	627		
3目 文書費	7 報償費	330		
6目 企画費	1 報酬		987	1目 一般管理費より
	3 職員手当等		71	1目 一般管理費より
	4 共済費		191	1目 一般管理費より
13目 消費者行政費	1 報酬		61	1目 一般管理費より
14目 会計管理費	1 報酬		1,697	1目 一般管理費より
	3 職員手当等		92	1目 一般管理費より
	4 共済費		284	1目 一般管理費より
16目 災害対策費	10 需用費	1,628		
3款 民生費				
1項 社会福祉費				
1目 社会福祉総務費	2 給料		△ 863	2目 障がい者福祉費へ
	3 職員手当等		△ 115	2目 障がい者福祉費へ
	4 共済費		△ 60	2目 障がい者福祉費へ
2目 障がい者福祉費	1 報酬		863	1目 社会福祉総務費より
	3 職員手当等		115	1目 社会福祉総務費より
	4 共済費		60	1目 社会福祉総務費より
4款 衛生費		2,101		
1項 保健衛生費		2,101		
1目 保健衛生総務費	2 給料		△ 2,955	4目 健康管理費へ
			△ 308	7目 看護専門学校費へ
	3 職員手当等		△ 137	4目 健康管理費へ
	4 共済費		△ 365	4目 健康管理費へ
	12 委託料		944	2目 予防費より
	17 備品購入費	500		
	20 貸付金	300		
2目 予防費	10 需用費		△ 944	1目 保健衛生総務費へ
	12 委託料	1,103		
4目 健康管理費	1 報酬		2,955	1目 保健衛生総務費より
	3 職員手当等		137	1目 保健衛生総務費より
	4 共済費		365	1目 保健衛生総務費より
7目 看護専門学校費	7 報償費		308	1目 保健衛生総務費より
	10 需用費	198		
5款 労働費				
1項 労働諸費				
1目 労政費	20 貸付金		△ 610	3目 勤労会館費へ
3目 勤労会館費	14 工事請負費		610	1目 労政費より

(単位：千円)

款項目	節	予備費充当額	予算流用額	流用科目
7款 商工費		2,941		
1項 商工費		2,941		
1目 商工総務費	3 職員手当等		△ 50	7目 観光費へ
2目 商工業振興費	12 委託料		△ 5,029	3目 テクノプラザおかげ費へ
	13 使用料及び賃借料		△ 2,101	3目 テクノプラザおかげ費へ
	18 負担金補助及び交付金		1,727	8目 商業観光施設費より
3目 テクノプラザおかげ費	12 委託料		500	1目 商工総務費より
	14 工事請負費		729	1目 商工総務費より
			5,901	2目 商工業振興費より
7目 観光費	1 報酬		50	1目 商工総務費より
8目 商業観光施設費	14 工事請負費	1,650		
	18 負担金補助及び交付金		△ 1,727	2目 商工業振興費へ
9目 ブランド推進費	10 需用費	236		
10目 文化会館費	14 工事請負費	1,055		
8款 土木費		530		
2項 道路橋梁費				
2目 道路維持費	14 工事請負費		△ 28,850	4目 橋梁維持費へ
4目 橋梁維持費	12 委託料		500	2目 道路維持費より
	14 工事請負費		26,500	2目 道路維持費より
	21 債償補填及び賠償金		1,850	2目 道路維持費より
4項 都市計画費		530		
4目 公園費	14 工事請負費	530		
9款 消防費				
1項 消防費				
2目 非常備消防費	10 需用費		460	3目 消防施設費より
3目 消防施設費	17 備品購入費		△ 460	2目 非常備消防費へ
10款 教育費		6,039		
2項 小学校費		3,278		
1目 学校管理費	14 工事請負費	3,278		
4項 社会教育費		661		
1目 社会教育総務費	11 役務費		115	5目 生涯学習活動センター費より
	12 委託料		2	5目 生涯学習活動センター費より
5目 生涯学習活動センター費	18 負担金補助及び交付金		△ 117	1目 社会教育総務費へ
6目 図書館費	10 需用費	481		
	17 備品購入費	180		
5項 保健体育費		2,100		
2目 体育施設費	14 工事請負費	2,100		
11款 公債費				
1項 公債費				
1目 元金	22 償還金利子及び割引料		2,288	2目 利子より
2目 利子	22 償還金利子及び割引料		△ 2,288	1目 元金へ
予備費充当額計	(17 件)	15,525		

(注) 予備費充当額計欄の()書数値は、予備費充当件数である。

3 市債

(1) 一般会計市債現在高

ア 借入先別

(単位：円)

区分	令和元年度末 現在高 (A)	令和2年度		令和2年度末 現在高 (A)+(B)-(C)
		借入額 (B)	償還額 (C)	
財務省	8,884,934,353	747,863,000	883,510,390	8,749,286,963
日本郵政	307,927,984	0	63,403,872	244,524,112
日本政策金融公庫	148,881,224	0	4,250,287	144,630,937
全国市有物件災害共済会	97,422,000	8,600,000	19,430,000	86,592,000
八十二銀行	8,378,506,000	679,359,000	501,420,000	8,556,445,000
諒訪信用金庫	2,272,035,000	268,000,000	199,144,000	2,340,891,000
長野県信用組合	1,211,231,000	0	156,403,000	1,054,828,000
長野県労働金庫	54,405,000	0	21,485,000	32,920,000
長野銀行	31,680,000	0	21,714,000	9,966,000
信州諒訪農業協同組合	62,201,000	164,100,000	647,000	225,654,000
地方公共団体金融機構	515,426,764	0	76,725,118	438,701,646
長野県市町村振興協会	632,376,000	102,800,000	59,000,000	676,176,000
合 計	22,597,026,325	1,970,722,000	2,007,132,667	22,560,615,658

イ 目的別

(単位：円)

区分	令和元年度末 現在高 (A)	令和2年度		令和2年度末 現在高 (A)+(B)-(C)
		借入額 (B)	償還額 (C)	
総務	2,103,925,224	0	176,734,787	1,927,190,437
民生	798,006,032	347,600,000	71,530,918	1,074,075,114
衛生	972,550,095	0	82,209,335	890,340,760
土木	3,861,336,286	600,200,000	448,560,934	4,012,975,352
消防	861,142,427	43,100,000	45,832,427	858,410,000
教育	2,610,091,814	161,000,000	207,392,032	2,563,699,782
公営住宅	134,103,535	0	22,666,499	111,437,036
防災	11,418,000	53,800,000	4,366,000	60,852,000
商工	630,566,225	40,800,000	84,625,743	586,740,482
農林	28,024,826	20,900,000	6,150,220	42,774,606
労働	1,084,000	0	1,084,000	0
災害復旧債	82,936,101	0	12,317,651	70,618,450
住民税等減税補てん債	184,957,988	0	48,766,492	136,191,496
臨時財政対策債	10,096,188,772	630,565,000	758,366,629	9,968,387,143
減収補てん債	19,295,000	72,757,000	19,295,000	72,757,000
公共施設等除却債	201,400,000	0	17,234,000	184,166,000
合 計	22,597,026,325	1,970,722,000	2,007,132,667	22,560,615,658

(2) 一般会計市債借入額等の推移

(単位：千円)

年 度	借 入 額 ()内は借換債	元金償還額	うち繰上償還額	年度末現在高 (A)	市民1人当たり現在高	
					人口(人) (B)	現在高 (A)/(B)
平成28年度	2,550,800 (201,900)	2,679,849	0	25,091,668	50,614	496
平成29年度	1,385,200 (0)	2,426,861	0	24,050,007	50,039	481
平成30年度	1,233,900 (0)	2,380,471	0	22,903,436	49,670	461
令和元年度	1,879,100 (0)	2,185,510	0	22,597,026	49,163	460
令和2年度	1,970,722 (0)	2,007,132	0	22,560,616	48,572	464

(注) ※人口は、各年度末現在の住民基本台帳人口である。

4 令和2年度 地方交付税

(1) 普通交付税

(単位：千円)

区 分	令和2年度 (A)	令和元年度 (B)	増 減 額 (A) - (B)
基準財政需要額	(ア)	9,709,263	9,405,914
基準財政収入額	(イ)	6,347,704	6,055,644
交付基準額 (ア) - (イ)	(ウ)	3,361,559	3,350,270
調整額	(エ)	4,960	8,284
交付額 (ウ) - (エ)	(オ)	3,356,599	3,341,986
財政力指数(過去3年間平均値)		0.65	0.65
			0.00

(2) 特別交付税

(単位：千円)

区 分	令和2年度 (A)	令和元年度 (B)	増 減 額 (A) - (B)
特別交付税	832,139	889,498	△ 57,359

(3) 地方交付税合計

(単位：千円)

区 分	令和2年度 (A)	令和元年度 (B)	増 減 額 (A) - (B)
普通交付税	3,356,599	3,341,986	14,613
特別交付税	832,139	889,498	△ 57,359
合 計	4,188,738	4,231,484	△ 42,746

5 地方消費税交付金（社会保障財源化分）

地方消費税交付金（社会保障財源化分）の充当状況は、次のとおりである。

【歳 入】 引上げ分の地方消費税交付金 604,938 千円
(社会保障財源化分)

【歳 出】 (単位：千円)

区分	事業費	財源内訳			
		特定財源	一般財源		
			地方消費税交付金 (社会保障財源化分)	その他	
社会福祉	社会福祉事業	147,583	27,808	119,775	15,525 104,250
	障がい者福祉事業	986,228	677,061	309,167	40,073 269,094
	高齢者福祉事業	114,218	24,911	89,307	11,576 77,731
	福祉医療事業	343,656	101,768	241,888	31,353 210,535
	児童福祉事業	2,350,884	1,476,794	874,090	177,984 696,106
	生活保護事業	334,971	266,365	68,606	8,892 59,714
	小計	4,277,540	2,574,707	1,702,833	285,403 1,417,430
社会保険	介護保険事業	682,285	509	681,776	88,369 593,407
	国民健康保険事業	297,012	143,662	153,350	19,877 133,473
	後期高齢者医療保険事業	800,638	99,738	700,900	90,848 610,052
	小計	1,779,935	243,909	1,536,026	199,094 1,336,932
保健衛生	保健衛生事業	41,368	300	41,068	5,323 35,745
	予防事業	130,682	8,993	121,689	15,773 105,916
	母子保健事業	51,635	8,970	42,665	5,530 37,135
	健康管理事業	55,523	11,733	43,790	5,676 38,114
	病院事業	680,000	0	680,000	88,139 591,861
	小計	959,208	29,996	929,212	120,441 808,771
合計		7,016,683	2,848,612	4,168,071	604,938 3,563,133

6 一般会計一時借入金借入状況

(単位：円)

借入先	借入期間	利率	件数	支払利子
借入なし	—	年 % —	—	—
合 計			0	0

7 一般会計一時繰入金繰入状況（基金）

(単位：円)

繰入先	繰入期間	利率	件数	支払利子
岡谷市財政調整基金	R2. 4. 1～R3. 3. 31	0.100	15	983, 233
岡谷市社会教育施設整備基金	R2. 4. 1～R3. 3. 31	0.100	4	1, 966
岡谷市社会福祉施設整備基金	R2. 4. 1～R3. 3. 31	0.100	5	48, 731
岡谷市消防施設整備基金	R2. 4. 1～R3. 3. 31	0.100	5	245
岡谷市営住宅整備基金	R2. 4. 1～R3. 3. 31	0.100	4	244, 685
岡谷市公園施設等整備基金	R2. 4. 1～R3. 3. 31	0.100	4	3, 412
岡谷市工業技術振興基金	R2. 4. 1～R3. 3. 31	0.100	6	16, 966
岡谷市ふるさとまちづくり基金	R2. 4. 1～R3. 3. 31	0.100	12	452, 356
岡谷市減債基金	R2. 4. 1～R3. 3. 31	0.100	4	131, 632
岡谷市文化会館事業基金	R2. 4. 1～R3. 3. 31	0.100	3	76, 123
岡谷市地域福祉基金	R2. 4. 1～R3. 3. 31	0.100	2	761
岡谷市みどりを愛する基金	R2. 4. 1～R3. 3. 31	0.100	3	15, 349
岡谷市教員住宅整備基金	R2. 4. 1～R3. 3. 31	0.100	3	3, 148
岡谷市病院施設整備基金	R2. 4. 1～R3. 3. 31	0.100	6	18, 389
岡谷市リサイクル基金	R2. 4. 1～R3. 3. 31	0.100	6	1, 379
合 計			82	1, 998, 375

8 契約

(1) 契約状況

区分	件数	金額
建設工事	197 件	4,030,830,750 円
建設コンサルタント業務	21 件	114,801,500 円
物品購入	38 件	268,884,041 円
物品購入に係る単価契約	15 件	— 円
役務提供	204 件	1,996,914,590 円
役務提供に係る単価契約	95 件	— 円
合計	570 件	6,411,430,881 円

(2) 入札参加資格者登録数

区分	登録者数
建設工事	市内 65 件
	県内 273 件
	県外 164 件
	小計 502 件
建設コンサルタント	市内 8 件
	県内 179 件
	県外 92 件
	小計 279 件
業務委託等	市内 53 件
	県内 239 件
	県外 159 件
	小計 451 件
物品購入等	市内 50 件
	県内 179 件
	県外 101 件
	小計 330 件
合計	1,562 件

9 主な不動産の取得及び処分

(1) 土地の取得

区分	内 容	取得方法	面積 (m ²)
行政財産	山下町二丁目貯水槽敷地	有償所管替	15.66
	防災倉庫敷地	購入	1,116.46
	出早公園敷地 (駐車場部分)	有償所管替	325.09
普通財産	小 計		1,457.21
	ララオカヤ敷地	購入	113.00
合 計			113.00
合 計			1,570.21

(2) 土地の処分

区分	内 容	処分方法	面積 (m ²)
普通財産	廃道水路敷地	売却・交換	442.69
合 計			442.69

(3) 建物の取得

区分	内 容	取得方法	面積 (m ²)
行政財産	西堀保育園・子ども発達支援センター	新設	1,548.80
	小 計		1,548.80
普通財産	ララオカヤ	購入	304.75
	小 計		304.75
合 計			1,853.55

(4) 建物の処分

区分	内 容	面積 (m ²)
行政財産	橋詰市営住宅	解体
	川岸高尾市営住宅	解体
	長地小萩市営住宅	解体
普通財産	小 計	647.41
	旧健康保険岡谷塩嶺病院	解体
普通財産	小 計	1,896.45
	合 計	1,896.45
合 計		2,543.86

10 登記処理件数

令和2年度 (A)	令和元年度 (B)	増 減 (A) - (B)
368件	600件	△ 232件

11 車両管理台数

区分	管 理 台 数			備 考
	令和2年度 (A)	令和元年度 (B)	増 減 (A) - (B)	
普通自動車	13 台	15 台	△ 2 台	プリウス2台廃車
小型ダンプ等	2	2	0	
軽自動車	21	20	1	N037 新規リース
EV車	2	1	1	リーフ 新規リース
その他	2	2	0	
バイク	7	7	0	
計	47	47	0	

1.2 基金残高・取崩額の推移状況

(単位：円)

基金名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
財政調整基金	1,009,376,643	1,010,645,047	1,111,636,760	1,212,079,282	1,472,700,814	1,473,741,479
社会教育施設整備基金	年　度　末　残　高 取　崩　額	6,019,235	6,176,300	6,203,527	7,222,170	7,240,751
社会福祉施設整備基金	年　度　末　残　高 取　崩　額	98,394,529	98,841,369	129,110,164	179,357,040	179,618,067
消防施設整備基金	年　度　末　残　高 取　崩　額	528,627	560,764	561,209	561,497	611,777
市営住宅整備基金	年　度　末　残　高 取　崩　額	483,986,771	503,563,548	512,884,147	518,022,985	450,940,482
公園施設等整備基金	年　度　末　残　高 取　崩　額	12,519,993	12,546,430	12,556,427	12,572,918	12,579,134
工業技術振興基金	年　度　末　残　高 取　崩　額	32,487,430	35,029,776	61,300,233	61,368,670	61,449,022
ふるさとまちづくり基金	年　度　末　残　高 取　崩　額	536,469,635	635,337,534	880,150,606	988,261,004	1,090,443,535
減債基金	年　度　末　残　高 取　崩　額	9,666,927	9,688,077	109,723,191	179,769,794	229,834,083
文化会館事業基金	年　度　末　残　高 取　崩　額	143,131,269	125,454,604	125,558,790	125,666,830	125,720,530
地域福祉基金	年　度　末　残　高 取　崩　額	2,469,509	2,631,009	2,711,009	2,711,009	2,811,009
教員住宅整備基金	年　度　末　残　高 取　崩　額	11,564,901	11,590,204	11,599,437	11,605,430	11,611,167
病院施設整備基金	年　度　末　残　高 取　崩　額	2,427,874	8,902,273	13,780,393	14,352,538	15,709,963
育英基金	年　度　末　残　高 償還免除額	146,000,000	379,522,555	390,675,567	402,651,196	436,967,974
リサイクル基金	年　度　末　残　高 取　崩　額	5,784,500	3,086,730	1,524,000	9,072,500	4,471,875
新型コロナウイルス緊急対策資金等利子補給基金	年　度　末　残　高 取　崩　額	3,782,917	2,857,129	5,674,444	3,950,970	5,390,735
まち・ひと・しごと創生基金	年　度　末　残　高 取　崩　額	6,039,962	3,782,917	2,857,129	5,674,444	3,950,970
森林環境譲与税基金	年　度　末　残　高 取　崩　額	2,792,807,500	2,910,861,651	3,442,629,211	3,811,036,999	4,169,237,706
合　計	年　度　末　残　高 取　崩　額	157,824,462	169,369,647	4,381,129	14,746,944	135,722,845

稅務課

第1 概説

税務課では、効率的・効果的な行政経営と健全財政の保持に向けた財源確保のため、市税について課税客体の正確な把握に努めながら、課税及び収納事務を行った。また、納税相談や滞納処分などを実施し、収納率の向上と公平性の確保に努めた。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容																								
税務総務事務	<p>1 決算状況</p> <p>(1) 市税</p> <table> <tr><td>調定額</td><td>6,918,019,319円</td><td>(前年度比</td><td>97.6%)</td></tr> <tr><td>収入済額</td><td>6,789,934,902円</td><td>(前年度比</td><td>97.4%)</td></tr> <tr><td>収納率(現年度)</td><td>99.0%</td><td>(前年度</td><td>99.2%)</td></tr> </table> <p>(2) 国民健康保険税</p> <table> <tr><td>調定額</td><td>1,015,305,057円</td><td>(前年度比</td><td>98.5%)</td></tr> <tr><td>収入済額</td><td>899,118,621円</td><td>(前年度比</td><td>99.3%)</td></tr> <tr><td>収納率(現年度)</td><td>95.5%</td><td>(前年度</td><td>95.4%)</td></tr> </table> <p>2 税関係の諸証明発行</p> <ul style="list-style-type: none"> 手数料収入額(窓口来庁分) 7,734件 2,515,100円 コンビニ発行分 86件 25,800円 <p>3 条例改正業務</p> <ul style="list-style-type: none"> 地方税法等の改正に伴う、岡谷市市税条例等を一部改正 <p>4 税務広報事務</p> <ul style="list-style-type: none"> 「市税概要」の作成、公表 広報おかや、ホームページ、新聞等による広報・広告掲載 	調定額	6,918,019,319円	(前年度比	97.6%)	収入済額	6,789,934,902円	(前年度比	97.4%)	収納率(現年度)	99.0%	(前年度	99.2%)	調定額	1,015,305,057円	(前年度比	98.5%)	収入済額	899,118,621円	(前年度比	99.3%)	収納率(現年度)	95.5%	(前年度	95.4%)
調定額	6,918,019,319円	(前年度比	97.6%)																						
収入済額	6,789,934,902円	(前年度比	97.4%)																						
収納率(現年度)	99.0%	(前年度	99.2%)																						
調定額	1,015,305,057円	(前年度比	98.5%)																						
収入済額	899,118,621円	(前年度比	99.3%)																						
収納率(現年度)	95.5%	(前年度	95.4%)																						
課税事務	<p>1 市民税の賦課</p> <ul style="list-style-type: none"> 申告相談の実施 (2月12日～3月15日[うち2月12、15日 住民税申告]) 市役所、21日間、2,293人 新型コロナウイルス感染防止対策のため、市役所のみで開催 課税資料の整備 申告書、給与及び公的年金支払報告書等の確認、調査 <p>2 固定資産税・都市計画税の賦課</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度評価替えに向けた、課税台帳、評価基準等の整備 土地現況調査の実施 新增築家屋の評価、減失家屋の確認調査 不動産鑑定(標準宅地55地点)による土地評価額の修正 償却資産申告書の確認及び実地調査(簡易・訪問調査等)の実施 <p>3 軽自動車税、市たばこ税、入湯税の賦課</p>																								
収納事務	<p>1 市税及び国民健康保険税の収納</p> <p>2 納税相談室の開設(平成18年度から) 相談者数 年間延べ 726人</p> <p>3 自主納税の推進と収納率向上対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 元国税局職員による指導、研修 滞納者に対する督促・催告、生活状況等の調査、納税誓約 滞納処分の実施 コンビニ収納、スマートフォンアプリによる収納の実施 長野県地方税滞納整理機構の活用 移管件数 10件 個人の県民税に係る徴収及び滞納処分の特例 引継件数 2件 																								

第3 主要な統計、行政資料等
1 市税収の実績

(単位:円)

項目	別	予算額	前年度以前滞納額		調定額	収入済額	不納欠損額	(滞納額)	予算に対する		収入比(%)	令和2年度 収入額	2/元年度 収入額 対 (%)
			繰越額	増減					対予算	対調定			
市民税	個人	現 2,688,300,000	-	-	2,726,451,867	2,699,772,873	0	26,678,994	11,472,873	100.4	99.0	2,709,288,819	99.6
	潜	24,700,000	52,639,211	△806,329	51,832,882	22,957,104	520,734	28,355,044	△ 1,742,896	92.9	44.3	25,250,672	90.9
	計	2,713,000,000	52,639,211	△806,329	2,778,284,749	2,722,729,977	520,734	55,034,038	9,729,977	100.4	98.0	2,734,539,491	99.6
	法人	現 433,000,000	-	-	367,971,700	362,665,000	0	5,306,700	△ 70,335,000	83.8	98.6	525,300,923	69.0
	潜	900,000	4,218,820	△ 50,000	4,168,820	1,068,443	310,000	2,790,377	168,443	118.7	25.6	792,000	134.9
	計	433,900,000	4,218,820	△ 50,000	372,140,520	363,733,443	310,000	8,097,077	△ 70,166,557	83.8	97.7	526,092,923	69.1
固定資産税	現 3,146,900,000	56,858,031	△ 856,329	3,150,425,269	3,086,463,420	830,734	63,131,115	△ 60,436,580	98.1	98.0	3,260,632,414	94.7	
	潜	16,800,000	45,198,180	△ 4,800	45,193,380	23,391,757	1,896,621	19,905,002	6,591,757	139.2	51.8	20,851,236	112.1
	計	2,817,800,000	45,198,180	△ 4,800	2,897,394,480	2,845,203,905	1,896,621	50,293,954	27,403,905	101.0	98.2	2,841,907,383	100.1
	交付金	現 16,800,000	-	-	16,813,600	16,813,600	0	0	13,600	100.1	100.0	16,983,400	99.0
	計	2,834,600,000	45,198,180	△ 4,800	2,914,208,080	2,862,017,505	1,896,621	50,293,954	27,417,505	101.0	98.2	2,858,890,783	100.1
	種別割	現 159,200,000	-	-	161,901,900	160,239,500	0	1,662,400	1,039,500	100.7	99.0	154,329,537	103.8
軽自動車税	潜	1,900,000	5,732,247	△ 97,500	5,634,747	1,945,662	179,100	3,509,985	45,662	102.4	34.5	1,435,124	135.6
	計	161,100,000	5,732,247	△ 97,500	167,536,647	162,185,162	179,100	5,172,385	1,085,162	100.7	96.8	155,764,661	104.1
	環境性能割	現 6,200,000	-	-	6,844,400	6,844,400	0	0	644,400	110.4	100.0	1,561,000	438.5
	小	計 167,300,000	5,732,247	△ 97,500	174,381,047	169,029,562	179,100	5,172,385	1,729,562	101.0	96.9	157,325,661	107.4
	市たばこ税	現 292,700,000	-	-	312,840,732	312,840,732	0	0	2,014,732	106.9	100.0	338,539,583	92.4
	入湯税	現 356,000,000	-	-	359,181,000	355,353,955	0	3,827,045	△ 646,045	99.8	98.9	352,596,453	100.8
都市計画税	都市計画税	潜 2,000,000	5,708,141	△ 500	5,707,641	2,954,178	239,527	2,513,936	954,178	147.7	51.8	2,668,169	110.7
	計	358,000,000	5,708,141	△ 500	364,888,641	358,308,133	239,527	6,340,981	308,133	100.1	98.2	355,264,622	100.9
	現	6,754,700,000	-	-	6,805,481,849	6,737,617,758	0	67,864,091	△ 17,082,242	99.7	99.0	6,921,387,012	97.3
	潜	46,300,000	113,496,599	△ 959,129	112,537,470	52,317,144	3,145,982	57,074,344	6,017,144	113.0	46.5	51,007,201	102.6
	計	6,801,000,000	113,496,599	△ 959,129	6,918,019,319	6,789,934,902	3,145,982	124,938,435	△ 11,065,098	99.8	98.1	6,972,394,213	97.4
	計	6,801,000,000	113,496,599	△ 959,129	6,918,019,319	6,789,934,902	3,145,982	124,938,435	△ 11,065,098	99.8	98.1	6,972,394,213	97.4

(注) 都市計画税358,308,133円は、土木費の一般財源として充当

2 市税負担の状況（現年度）

区分	調定額(円)	市税負担額(円)	
		1人当たり	1世帯当たり
市民税	3,094,423,567	65,401	159,918
固定資産税	2,869,014,700	60,637	148,269
軽自動車税	168,746,300	3,566	8,720
市たばこ税	312,840,732	6,612	16,167
入湯税	1,275,550	26	65
都市計画税	359,181,000	7,591	18,562
合 計	6,805,481,849	143,836	351,704

(注) 令和3年4月1日現在 人口47,314人、世帯数19,350世帯

3 滞納処分の状況（国保税を含む）

区分 物件	令和元年度末 の状況		令和2年度中の処分状況 (交付要求・参加差押を含む)				令和2年度末 の状況	
			差押等		解除			
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
不動産	66	17,988,030	14	4,597,789	15	6,756,558	65	15,829,261
債 権	58	29,517,791	113	34,209,742	123	40,094,116	48	23,633,417
動 産	1	167,300	1	200,645	2	367,945	0	0
計	125	47,673,121	128	39,008,176	140	47,218,619	113	39,462,678

4 市税不納欠損処分の状況

(1) 年度別・税目別不納欠損処分額

税目	個人市民税		法人市民税		固定資産税		都市計画税		軽自動車税	
年度	税額(円)	件	税額(円)	件	税額(円)	件	税額(円)	件	税額(円)	件
H20					13,005	1	1,643	—		
H21	22,787	5			193,378	4	24,422	—		
H22					198,616	4	25,084	—		
H23	4,570	4			193,467	4	24,433	—	11,000	3
H24	63,491	4			195,243	8	24,657	—	7,000	2
H25	181,935	7			197,640	10	24,960	—	7,000	2
H26	39,982	1			198,261	10	25,039	—	3,600	2
H27	148,927	20	310,000	3	514,254	34	64,946	—	91,800	18
H28	59,042	8			192,757	16	24,343	—	58,700	7
計	520,734	49	310,000	3	1,896,621	91	239,527	—	179,100	34

(2) 不納欠損内容

内 容	金 額(円)	件数(件)
消滅時効が完成したもの（地方税法第18条）	0	0
滞納処分の執行停止中、消滅時効が完成したもの（地方税法第18条）	716,863	73
滞納処分の執行停止が3年間継続したもの（地方税法第15条の7第4項）	2,429,119	104
滞納処分の執行停止後、直ちに消滅するもの（地方税法第15条の7第5項）	0	0
合 計	3,145,982	177

5 口座振替等の状況

区分	口座振替		コンビニエンスストア		スマートフォンアプリ	
税目	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
市民税 (特徴除く)	9,718	208,486,214	5,327	79,653,839	317	8,004,600
固定資産税 都市計画税	62,521	1,969,047,500	10,260	171,920,900	358	8,045,400
軽自動車税	5,102	37,376,100	9,108	71,957,400	543	4,319,500
市税計	77,341	2,214,909,814	24,695	323,532,139	1,218	20,369,500
国民健康保 険税	33,458	498,594,700	7,925	106,542,000	216	2,880,600
合計	110,799	2,713,504,514	32,620	430,074,139	1,434	23,250,100

6 市税等の状況

(1) 市民税調定額(現年度)

ア 個人分

() 内は納税義務者数

課 税 額	均 等 割(円)	所 得 割(円)	計(円)	①
	91,448,000 (26,070人)	2,633,202,167 (23,927人)	2,724,650,167 (26,163人)	

調 定 額	①のうち翌年度の 収入となるべき額 (円)	①のうち当年度の 収入となるべき額 (円)	前年度課税額の うち当年度収入分 (円)	計(円)
	②	③	②+③	
	346,499,900	2,378,150,267	348,301,600	2,726,451,867

イ 法人分

() 内は法人数

調 定 額		
均等割(円)	法人税割(円)	計(円)
164,329,600 (1,708人)	203,642,100 (699人)	367,971,700 (1,708人)

(2) 市民税(個人)賦課人員

(特別徴収義務者数 3,304 事業所)

区分	普通徴収分(人)	特別徴収分(人)
均等割のみ	775	1,461
所得割のみ	0	93
均等割と所得割	5,651	18,183
合 計	6,426	19,737

(3) 固定資産税・都市計画税調定額(現年度)

区分	課税標準額(千円)	税額(円)	納税義務者数(人)
固定資産税	206,442,312	2,852,201,100	21,692
国有資産等所在市町村交付金	1,200,997	16,813,600	8
合 計	207,643,309	2,869,014,700	21,700
都市計画税	180,241,092	359,181,000	21,241

(4) 固定資産税概要

ア 土地の評価額

() 内は免税点未満を内書

区分	地 積(m ²)	決定評価額(千円)	筆数(筆)	m ² 当たり価格(円)	
				平均価格	最高価格
田	(112,442) 1,048,060	(11,110) 116,501	(344) 2,855	111	167
介在田	(36) 5,773	(407) 66,117	(2) 25	11,453	23,006
畠	(409,728) 2,453,390	(18,664) 117,853	(1,414) 7,784	48	96
介在畠	(105) 18,757	(384) 200,184	(3) 68	10,672	25,540
宅地	(110,067) 7,407,636	(1,171,570) 144,131,735	(2,129) 58,148	19,457	43,740
池沼	(52) 8,670	(2) 40,309	(1) 25	4,649	10,980
山林	(1,582,125) 14,432,035	(53,584) 467,355	(2,377) 11,484	32	46
牧場	(0) 3,850	(0) 140	(0) 4	36	36
原野	(60,469) 3,102,289	(1,826) 47,074	(210) 944	15	124
雑種地	(44,043) 2,205,433	(33,882) 14,643,402	(517) 6,372	6,640	42,428
合 計	(2,319,067) 30,685,893	(1,291,429) 159,830,670	(6,997) 87,709	5,209	

イ 家屋の評価額

()内は免税点未満を内書

区分	床面積(m ²)	決定評価額(千円)	棟数(棟)	m ² 当たり平均価格(円)
木造	(57,098) 2,253,510	(74,065) 40,338,696	(1,074) 20,369	17,900
非木造	(1,586) 1,677,295	(7,575) 56,457,635	(70) 6,716	33,660
合計	(58,684) 3,930,805	(81,640) 96,796,331	(1,144) 27,085	24,625

ウ 償却資産の評価額

区分	決定評価額(千円)	備考
市長が価格等を決定したもの	33,972,801	
総務大臣・県知事が価格等を決定し配分したもの	11,964,975	中部電力㈱、東日本旅客鉄道㈱、東日本電信電話㈱、国際石油開発帝石㈱等
合計	45,937,776	

(5) 軽自動車税概要

ア 種別割

区分	課税台数(台)	調定額(円)
原付自転車	1,649	3,447,600
軽自動車	18,502	152,906,300
小型特殊自動車	285	1,216,000
二輪の小型自動車	722	4,332,000
合計	21,158	161,901,900

イ 環境性能割

調定額(円)
6,844,400

7 e L T A X (地方税共同電子申告システム) の状況

(1) e L T A X の利用

区分	法人市民税申告書	給与支払報告書	償却資産申告書
電子申告件数(件)	1,878	3,197	927
利用率(%)	91.0	62.7	44.0

(2) 公的年金に関する件数

区分	件数(件)	課税件数(件)	特別徴収件数(件)	特徴比率(%)
65歳以上	22,456	7,054	5,110	72.4
65歳未満	2,014	956	—	—
合計	24,470	8,010	—	—

8 国民健康保険税収の実績

(単位:円)

項目	別	予算額	前年度以前滞納繰越額		調定期額	収入額	不納欠損額	収入未済額 (滞納繰越額)	予算に対する 収入額の増減		取入比(%)	令和元年度 収入額 対2/元年度 収入額 対 (%)		
			繰越額						予算に対する 収入額の増減					
			現	568,000,000	-	604,685,744	579,232,888	0	25,452,856	11,232,888	102.0	95.8		
一般	医療給付費分	現	25,630,000	82,646,021	△ 1,221,606	81,424,415	30,421,208	2,158,204	48,845,003	4,791,208	118.7	37.4	28,336,286	
	計	593,630,000	82,646,021	△ 1,221,606	686,110,159	609,654,096	2,158,204	74,297,859	16,024,096	102.7	88.9	639,090,032	96.9	
	現	205,450,000	-	-	216,843,142	207,598,624	0	9,244,518	2,148,624	101.0	95.7	199,597,824	104.0	
	滞	8,070,000	25,115,811	△ 418,656	24,697,155	9,418,288	607,229	14,671,638	1,348,288	116.7	38.1	8,397,423	112.2	
	計	213,520,000	25,115,811	△ 418,656	241,540,297	217,016,912	607,229	23,916,156	3,496,912	101.6	89.8	207,995,247	104.3	
	現	69,757,000	-	-	71,786,598	66,501,878	0	5,284,720	△ 3,255,122	95.3	92.6	61,991,762	107.3	
	介護納付金分	滞	4,240,000	14,627,316	△ 123,338	14,503,978	5,214,000	368,923	8,921,055	974,000	123.0	35.9	4,383,163	119.0
	計	73,997,000	14,627,316	△ 123,338	86,290,576	71,715,878	368,923	14,205,775	△ 2,281,122	96.9	83.1	66,374,925	108.0	
	小計	現	843,207,000	-	-	893,315,484	853,333,390	0	39,982,094	10,126,390	101.2	95.5	802,343,332	99.0
	民	計	37,940,000	122,389,148	△ 1,763,600	120,625,548	45,653,496	3,134,356	72,437,696	7,113,496	118.7	37.3	41,116,872	109.6
退職者	医療給付費分	現	881,147,000	122,389,148	△ 1,763,600	1,013,941,032	898,386,886	3,134,356	112,419,790	17,239,886	102.0	88.6	903,460,204	99.4
	健	滞	70,000	816,908	-	816,908	415,122	119,543	282,243	345,122	593.0	50.8	466,933	88.9
	計	88,000	816,908	-	862,355	460,569	119,543	282,243	372,569	523.4	53.4	1,349,717	34.1	
	現	5,000	-	-	15,201	0	0	0	10,201	304.0	100.0	290,710	5.2	
	滞	50,000	234,589	-	234,589	116,933	34,454	83,502	66,933	233.9	49.8	132,341	88.4	
	計	55,000	234,589	-	250,090	132,134	34,454	83,502	77,134	240.2	52.8	423,051	31.2	
	現	5,000	-	-	12,168	12,168	0	0	7,168	243.4	100.0	241,486	5.0	
	介護納付金分	現	50,000	239,412	-	239,412	126,864	31,503	81,045	76,864	253.7	53.0	146,925	86.3
	計	55,000	239,412	-	251,580	139,032	31,503	81,045	84,032	252.8	55.3	388,411	35.8	
	現	28,000	-	-	72,816	72,816	0	0	44,816	260.1	100.0	1,414,980	5.1	
保険	小計	滞	170,000	1,291,209	-	1,291,209	658,919	185,500	446,790	488,919	387.6	51.0	746,199	88.3
	計	198,000	1,291,209	-	1,364,025	731,735	185,500	446,790	533,735	369.6	53.6	2,161,179	33.9	
	現	568,018,000	-	-	604,731,191	579,278,335	0	25,452,856	11,260,335	102.0	95.8	601,636,530	96.3	
	介護納付費分	滞	25,700,000	83,462,329	△ 1,221,606	82,241,323	30,836,330	2,277,747	49,127,246	5,136,330	120.0	37.5	28,803,219	107.1
	計	593,718,000	83,462,329	△ 1,221,606	686,972,514	610,114,665	2,277,747	74,580,102	16,396,665	102.8	88.8	630,439,749	96.8	
	後期高齢者支援金分	現	205,455,000	-	-	216,858,343	207,613,825	0	9,244,518	2,158,825	101.1	95.7	199,888,534	103.9
	計	8,120,000	25,350,700	△ 418,656	24,932,044	9,535,221	641,683	14,755,140	1,415,221	117.4	38.2	8,529,764	111.8	
	計	213,575,000	25,350,700	△ 418,656	241,790,387	217,149,046	641,683	23,999,658	3,574,046	101.7	89.8	208,418,298	104.2	
	介護納付金分	現	69,762,000	-	-	71,798,766	66,514,046	0	5,284,720	△ 3,247,954	95.3	92.6	62,233,248	106.9
	計	74,052,000	14,866,728	△ 123,338	14,743,390	5,340,864	400,426	9,002,100	1,050,864	124.5	36.2	4,530,088	117.9	
	現	843,235,000	-	-	893,388,300	853,406,206	0	39,982,094	△ 2,197,090	97.0	83.0	66,763,336	107.6	
	計	38,110,000	123,680,357	△ 1,763,600	121,916,757	45,712,415	3,319,856	72,884,486	7,602,415	119.9	37.5	41,863,071	109.2	
	計	881,345,000	123,680,357	△ 1,763,600	1,015,305,057	899,118,621	3,319,856	112,866,580	17,773,621	102.0	88.6	905,621,383	99.3	

9 国民健康保険税不納欠損処分の状況

(1) 年度別不納欠損額 構成

年度	税額(円)	件数(件)
H23	5,679	1
H24	74,377	21
H25	1,047,800	56
H26	867,400	65
H27	1,069,500	131
H28	255,100	38
合計	3,319,856	312

(2) 不納欠損内容

内 容	金額(円)	件数(件)
消滅時効が完成したもの（地方税法第18条）	0	0
滞納処分の執行停止中、消滅時効が完成したもの（地方税法第18条）	1,609,800	114
滞納処分の執行停止が3年間継続したもの（地方税法第15条の7第4項）	1,710,056	198
滞納処分の執行停止後、直ちに消滅するもの（地方税法第15条の7第5項）	0	0
合 計	3,319,856	312

10 主な税制改正

○令和2年度税制改正

(1) 個人市民税の未婚のひとり親に対する税制上の措置及び寡婦（寡夫）控除の見直しに伴う所要の改正

(2) 固定資産税の現に所有している者の申告及び使用者を所有者とみなす制度の創設

(3) 固定資産税及び都市計画税に係る地域決定型地方税制特例措置（わがまち特例）の拡充、廃止及び期限を2年間延長する改正

(4) たばこ税の軽量な葉巻たばこに係る課税方式の見直しについて、所要の改正

○新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方税法における対応

(1) 個人市民税 新型コロナウイルス感染症等に係る住宅ローン控除の適用要件の特例及び寄附金控除の適用の特例を追加する規定の整備

- (2) 「生産性向上特別措置法」による償却資産の固定資産税に係る地域決定型地方税制特例措置（わがまち特例）の拡充
- (3) 軽自動車税環境性能割の臨時的軽減の適用期限の延長に関する改正
- (4) 新型コロナウイルス感染症に係る徴収猶予の特例の創設に伴う改正

1 1 条例の制定

岡谷市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税免除に関する条例

消 防 課

第1 概説

消防課では、火災等各種災害から市民の生命、財産等を守ることを目的として、火災予防の推進をはじめ、消防団の充実及び防火・防災協力団体の育成、さらに消防水利、消防施設の整備に努めた。

特に、東日本大震災の教訓を踏まえ、地域防災力の中核である消防団装備の充実強化を図ることにより大規模震災等への対応力を高めるため、救助資機材、小型動力ポンプ及び高輝度照明装置を搭載した災害対応型多機能消防車を第11分団に配備し、最新鋭の消防ポンプ車を第4分団にそれぞれ配備した。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容																									
消防団活動事業	<p>消防団は、地域社会における消防防災活動の中核組織として、火災等の災害出動や災害発生に備えての訓練、また地域ぐるみの防災体制の確立等、地域防災のリーダーとして活躍した。</p> <p>火災での被害を最小限にとどめる消火活動を行うとともに、市民に対して火災予防広報を行い、注意喚起を促した。特にお彼岸の時季には各所墓地の火災が頻発することから、市内全域での広報活動及び墓地にて火災警戒活動を行った。</p> <p>また、消防団に配備している消防ポンプ車の計画的な更新にあたり、第11分団に災害対応型多機能消防車、第4分団に消防ポンプ車を更新配備し、消防力の充実強化を図った。</p> <p>昼間の出動団員の確保には、「機能別団員制度」を活用し、「消防団協力事業所表示制度」により、消防団員の活動しやすい環境作りにも継続的な取り組みを行った。</p> <p>あわせて、消防団員の士気高揚と恒常的な確保対策を目的に、「消防団員サポートショップ事業」や市内の入浴施設の無料利用券の配布事業を実施した。</p> <p>なお、新型コロナウイルスから団員や家族、職場を守るため、消防操法大会、消防出初式、その他団員が多く集まる行事については中止とした。</p> <p>1 消防団員報酬等</p> <table><tbody><tr><td>年報酬</td><td>546人分</td><td>(17,589,037円)</td></tr><tr><td>出動手当</td><td>6,009人分</td><td>(6,009,000円)</td></tr></tbody></table> <p>2 災害補償費</p> <table><tbody><tr><td>消防団員遺族補償年金</td><td>2件</td><td>(6,119,899円)</td></tr></tbody></table> <p>3 報償費</p> <table><tbody><tr><td>消防団員退職報償金</td><td>20人分</td><td>(4,342,000円)</td></tr></tbody></table> <p>4 負担金、交付金</p> <table><tbody><tr><td>・団員等公務災害補償基金掛金</td><td></td><td>(1,218,548円)</td></tr><tr><td>・団員退職報償金基金掛金</td><td></td><td>(10,540,800円)</td></tr><tr><td>・消防団員福祉共済掛金</td><td></td><td>(1,647,000円)</td></tr><tr><td>・分団運営交付金</td><td></td><td>(7,411,300円)</td></tr></tbody></table>	年報酬	546人分	(17,589,037円)	出動手当	6,009人分	(6,009,000円)	消防団員遺族補償年金	2件	(6,119,899円)	消防団員退職報償金	20人分	(4,342,000円)	・団員等公務災害補償基金掛金		(1,218,548円)	・団員退職報償金基金掛金		(10,540,800円)	・消防団員福祉共済掛金		(1,647,000円)	・分団運営交付金		(7,411,300円)	
年報酬	546人分	(17,589,037円)																								
出動手当	6,009人分	(6,009,000円)																								
消防団員遺族補償年金	2件	(6,119,899円)																								
消防団員退職報償金	20人分	(4,342,000円)																								
・団員等公務災害補償基金掛金		(1,218,548円)																								
・団員退職報償金基金掛金		(10,540,800円)																								
・消防団員福祉共済掛金		(1,647,000円)																								
・分団運営交付金		(7,411,300円)																								

	<p>5 消防団活動感染防止資機材整備事業(新型コロナウイルス感染症対応事業) 消防団活動に際して、マスク等を配布し消防団員の新型コロナウイルス感染防止に努めた。 (649,000円)</p>
自主防災組織等育成事業	<p>(岡谷市防火協会) 事業所の防火管理並びに危険物施設の維持管理に万全を期し、火災による被害を未然に防止することを目的として、協会加入事業所の従業員に対する保安教育を徹底した。 市内児童を対象に「第42回標語入り防火ポスターコンクール」を開催し、優秀作品を用いて令和3年版の標語入り防火カレンダーを作成し幼少年に対する火災予防の普及を行った。</p>
消防水利整備・管理事業	<ul style="list-style-type: none"> ・消火栓撤去工事 1基 ・消火栓修繕工事 3箇所 ・防火水槽蓋修繕工事 1箇所 ・消防水利標識修繕 11箇所 <p>(1,158,960円)</p>
水防資機材整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・水防用資機材整備及び土のう備蓄 <p>(39,680円)</p>

第3 主要な統計、行政資料等

1 消防団組織 (単位：人)

区分		消 防 団						
階級	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
定数	1	1	12	13	13	84	425	549
実員	1	1	12	13	13	83	422	545

(令和3年3月現在)

2 消防団車両等 (単位：台)

区 分		消防団	自主防災	合 計
団本部車		1	0	1
消防ポンプ自動車		10	0	10
災害対応型多機能消防車		1	0	1
小型動力ポンプ付積載車		1	0	1
資機材搬送車		11	0	11
小型動力ポンプ		28	4	32
軽可搬ポンプ		0	8	8

3 消防水利施設 (単位：基)

区 分	公設防火水槽	公設消火栓	合 計
消防水利施設数	302	862	1,164

4 水防倉庫 消防署、下浜、上小井川、湊、横川、川岸

5 消防団の出動状況

(単位：件／人)

区分	火災	救急	救助	風水害等	演習訓練	広報指導
出動件数	6	0	0	4	27	15
出動人員	457	0	0	122	638	893

区分	警防調査	火災調査	特別警戒	捜索	その他	合計
出動件数	132	0	17	2	52	255
出動人員	2,110	0	793	364	632	6,009

危 機 管 理 室

第1 概説

危機管理室では、岡谷市地域防災計画に基づき、新型コロナウイルス感染症に対応した避難所開設訓練を取り入れ、地震を想定した防災訓練など、防災体制の充実強化及び防災関係機関相互の連携強化を図った。

平成18年7月豪雨災害の経験から得た教訓と知識を後世に継承するとともに、市民の防災・減災意識のさらなる高揚を図るため、7月19日の「岡谷市防災の日」に関連した災害パネル展を実施したほか、令和2年2月に改訂した「岡谷市防災ガイド」の説明会を行った。

新型コロナウイルス感染症の感染防止予防対策として、避難所などで使用する感染症対策資機材を配備した。

災害対応として、局地的な集中豪雨や台風に伴う風水害の対応を行う中で、関係機関との連携を図り情報収集に努め体制を整えた。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
防災ガイド作成事業	令和2年2月に改訂し全戸配布を行った「岡谷市防災ガイド」について、各区説明会を行うとともに、シルキーチャンネルなどを活用し周知啓発を実施した。
国土強靭化地域計画策定事業	大規模自然災害等に備えるため、必要な「事前防災・減災」と「迅速な復旧・復興」等に係る施策を、まちづくり政策、産業政策や教育政策も含めた総合的な取り組みとして計画的に実施し、強靭な地域づくりを推進する他の計画等の指針となる計画の策定に取り組んだ。
防災倉庫整備事業	防災機能を有するイルフプラザ平面駐車場の隣接地に建設する防災倉庫の実施設計及び工事契約を行うとともに、公有財産の一部取得を行った。 (53,800,000円)
防災・災害対策事業	1 地域連絡員の選任 市と区のパイプ役を担う地域連絡員を各区2名選任し、地域との連絡体制の強化を図った。 2 災害危険箇所の視察 4月27日に予定していた現地視察は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、縮小して行った。 ・市情報連絡会職員 6月3日 8行程17箇所 ・岡谷警察署員と市職員 7月1日 18行程32箇所 3 防災会議 6月12日に予定していた防災会議は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、書面表決により令和元年度防災・減災対策及び災害対策対応、令和2年度防災・減災対策事業計画について審議を行った。

4 市民とあゆむまちづくり講座

「我が家の防災対策」や「災害クロスロード」など、小学校や地域の団体等受講者の要望に応じた出前講座を実施した。
(8回 250名)

幼少期から危険を予測または回避する能力を身につけるため、保育園児及び幼稚園児を対象とした「こども防災教室」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止とした。

5 「岡谷市防災の日」関連事業

7月19日の「岡谷市防災の日」を中心に、市民の防災・減災意識のさらなる高揚を図るための事業を実施した。

(1) 防災・減災関連図書コーナーの設置

・6月27日～7月30日 岡谷市立図書館

(2) 平成18年7月豪雨災害パネル展の開催

・7月15日～21日 レイクウォーク岡谷

(3) 「非常食を食べる日」周知啓発

非常食の試食会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止とした。

(4) 危険渓流市民見学会

7月18日に予定したが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止とした。

(5) 市民へのメッセージ

・市長による防災行政無線 7月19日

・シルキー・チャンネルDVD放映 7月15日～22日

6 防災啓発共同事業

諏訪広域連合と諏訪6市町村共同で防災講演会を予定したが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止とした。

期日 1月30日 会場 茅野市民館マルチホール

演題 「荒ぶる自然災害に向かい合い、個人、地域、行政がなすべきことを考える」

講師 片田 敏孝 先生（東京大学大学院情報学環 特任教授
日本災害情報学会 会長）

7 防災とボランティア週間の関連事業(1月14日～21日)

防災とボランティア週間に合わせ、諏訪湖ハイツにて災害パネル展示を開催し、市民の防災・減災意識の高揚を図った。例年開催している防災カルタや非常食の試食、住宅耐震相談、トン汁の炊き出し、防災関連グッズの展示販売、救命救急体験及び防災研修会等の「防災とボランティアパーク」は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止とした。

8 災害時応援協定の締結

名称 災害時等における電気自動車を活用した電力供給に関する協定

締結先 日産自動車株式会社

期日 11月27日

名称 大規模災害時における避難所としての施設利用に関する協定

締結先 岡谷旅館組合

期日 12月23日

9 G I S の防災活用

新たな施設整備や土砂災害特別警戒区域の変更など状況の変化に合わせて、岡谷市防災ガイドを加筆修正し、岡谷市ホームページに掲載した。

(1,415,509円)

国民保護対策事業	武力攻撃等が発生した場合において、Jアラートを用いた情報伝達訓練などを実施し、体制の整備に努めた。 (12,716円)
自主防災組織育成事業	1 地域防災力の強化を図るため、防災訓練の実施を支援した。 2 自主防災組織の防災資機材購入等に対する補助を行った。 (1) 防災資機材購入事業 13件 (2) 防災啓発事業 2件 3 各区等へ配備しているデジタル簡易無線を有効活用できるようにするため、月に一度、市と各区、三支所及び勤労会館との間で通信試験を実施した。 (1,421,919円)
防災資機材整備事業	1 3カ年計画で進めてきた公共施設（48施設）への自動対外式除細動器（AED）の配備が完了したことから、一元管理が可能となり、安定した管理体制と緊急事態に対応ができるようになった。 2 災害時に備えて、岡谷市民病院及び諏訪湖畔病院に備蓄している災害用備蓄医薬品の更新を行った。 (3,599,616円) 3 新型コロナウイルス感染症対応事業 避難所開設における感染症対策セット（避難所用テント、組立式簡易トイレなど）を指定避難所である21区公会所へ配備し、感染予防対策を図った。 また、サーモグラフィカメラなど導入し、避難所での使用のみならず、イベントや大会、会議等で使用することにより、感染予防対策を図った。 (7,688,120円)
防災訓練事業	1 土のう作成研修 6月16日、職員の水防研修を兼ね諏訪広域消防本部職員の指導のもと、出水期の備えとして、土のうづくりを実施し、約1,300袋を作成し備蓄した。（参加者61名） また、使用した土のうを補充するため、7月29日から31日に市職員による土のうづくりを実施し、合計約3,100袋を作成し備蓄した。（参加者102名） 2 水防訓練 5月17日に予定したが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止とした。なお、基本的な水防工法（土のうづくり、土のう積み、ロープワーク）の習得に関する資料を関係機関に送付し、実働訓練に変えて共有を図った。 3 土砂災害に対する全国統一防災訓練 6月7日に三沢区をモデル地区として、梅雨前線による集中豪雨に伴う、土石流災害の発生を想定した訓練を予定したが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止とした。 4 長野県合同災害支援チーム（チームながの）対応訓練 県及び市町村により構成する長野県合同災害支援チーム（チームながの）における支援体制の充実を図るために合同対応訓練は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止とした。

5 防災訓練

8月30日に小井川区をモデル地区として、新型コロナウイルス感染症に対応した避難所開設訓練を取り入れ、糸魚川－静岡構造線断層帯地震を想定した防災訓練を実施した。感染拡大防止のため、規模を縮小して区民及び防災関係者19名が参加した。

市内各区においても8月30日を中心に訓練を実施し、全体で11,001名が訓練に参加した。

6 緊急地震速報対応訓練

9月1日、3月11日の2回にわたり、緊急地震速報端末が設置されている市内52箇所の公共施設や私立幼稚園等において、対応訓練を実施した。

7 諏訪地域南海トラフ地震等災害対策推進協議会合同防災訓練

諏訪地域南海トラフ地震等災害対策推進協議会の構成団体による、糸魚川－静岡構造線断層帯地震を想定した合同訓練は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止とした。

8 安否情報システム全国一斉訓練

7月6日～8月7日、2月8日～2月26日に安否情報システムへの情報入力訓練を実施し、システムに対する理解の促進や操作の習熟を図った。

(232,920円)

防災無線管理事業	<p>1 防災行政無線</p> <p>防災行政無線は、年1回の保守点検業務を行い、非常時の緊急放送に備えるとともに、定時放送（正午のチャイム・愛の鐘）の実施、防災情報等の放送を行った。</p> <p>2 防災ラジオ</p> <p>災害時における防災情報を迅速かつ的確に伝達するとともに、防災行政無線の難聴解消を目的として、防災ラジオを市民に販売した。（令和2年度販売数 179台）</p> <p>3 防災メール</p> <p>防災・減災の関連情報が、住民に確実に伝達できるよう、多くの人が所持し、また常に身につけている携帯電話やスマートフォンを活用した防災メール「岡谷市緊急メールサービス メール配信@おかや」の周知及び登録拡大への取り組みに努めた。（令和2年度末登録件数 9,121件）</p> <p>4 雨量監視体制の確保</p> <p>市内11箇所に設置している雨量計と、2箇所に設置している河川監視カメラにより雨量監視等を行い、災害時の初期初動の迅速化、減災に役立てた。</p> <p>5 雨量情報の提供</p> <p>市内11箇所の雨量計による雨量情報について、住民の防災・減災意識の向上と情報提供の拡充を図るとともに、住民の自主的な水害防止活動や避難行動に活用してもらうため、ホームページによる一般公開を実施している。</p> <p>6 J-ALE RT（全国瞬時警報システム）</p> <p>緊急地震速報や国民保護（ミサイル発射や大規模テロなど）情報などの緊急情報を、住民に伝えるため、国と連携し試験放送を実施するとともに、保守点検等の適切な管理に努めた。</p>
----------	---

	<p>(実施日：5月20日、6月17日、10月7日、11月5日、2月17日)</p> <p>(3,268,432円)</p>
災害発生及び事件事故対応	<p>1 風水害</p> <p>6月から10月までの期間、梅雨や台風等の影響により市内で局地的な大雨が降る場面もあった。年間、大雨警報が7回、洪水警報が4回発表され、関係機関との連携を図り情報収集に努めた。</p> <p>○主な被害状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月6日～9日 大雨洪水警報 市内に各所において、溢水13件、土手崩落1件の被害が発生し、情報連絡会・活動体制検討会を開催するなど対応に努めた。 ・7月27日 大雨警報 湊一丁目付近において法面が崩壊、成田町二丁目付近において、陥没による湧水が発生した。 ・8月5日 雨量計警報 雨量計10分間雨量13.5mmを観測するなど局地的な大雨が発生し、鮎沢区諏訪社 御神木倒木が発生した。 <p>2 地震災害</p> <p>岡谷市では震度2を2回、震度1を5回観測する地震が発生したが、被害はなかった。</p> <p>3 高温注意情報、熱中症アラート</p> <p>6月から9月までの間、高温注意情報が1日、熱中症アラートが5日発表された。それに伴う熱中症（疑い含む）疾病者の救急搬送件数が12件あった。</p>
災害支援等	<p>1 東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）への災害支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難者支援 1世帯3名の避難者の受入れ。 <p>2 令和元年東日本台風（台風第19号）の災害復旧に係る長野市への職員派遣に事務職1名を1年間派遣した。 (総務省及び長野県を通じた長野市からの要請) (災害支援事業費 1,278,864円)</p>
新型コロナウィルス感染症対策	国・県の方針内容を踏まえ、府内の体制を確認し、連携した対応を行うため、対策本部(法定、任意設置を含む)を設置し、合計38回の対策本部会議を開催した。市主催の行事等の対応、公共施設における対策、市教育委員会の対応等について協議を行い、感染予防に努めた。

市 民 環 境 部

市 民 生 活 課

第1 概説

市民生活課では、戸籍・住民記録担当、年金・市民サービス担当、安全・衛生担当の3担当により業務を執行した。

業務内容として、市民の身分及び居住関係の登録・公証、マイナンバー付番・カード交付、コンビニ交付業務、国民年金業務や、生活衛生の向上と市民生活の安全確保のための事業を推進するため適正な処理を行った。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容		
戸籍住民基本台帳事務	1 戸籍関係事務 戸籍は、人の身分関係を登録し、公証するものであることから、民法及び戸籍法等に基づき、各種届出を受領、審査、受理、記載し、並行して人口動態調査票を作成するとともに、諏訪圏域6市町村による戸籍システム共同サーバによりデータを管理し、謄抄本等の交付並びに犯罪人名簿、成年被後見人名簿に関する業務を行った。 (1) 処理件数		
	項目	届出件数(件)	証明発行数(件) ※無料交付(公用申請・身上照会等)含む
	本 庁	2,220	13,258
	湊 支 所	1	169
	川 岸 支 所	4	362
	長 地 支 所	1	698
	駅前 出張所	22	1,174
	コンビニ交付		260
	合 計	2,248	15,921
	(2) 人口動態調査(受理(本市受付)件数+在外公館受理件数) ・出生、死亡、婚姻、離婚届に基づく調査 1,151件 ・死産届に基づく調査 6件		
	2 住民基本台帳関係事務 住民基本台帳法に基づき、中長期在留者を含めた住民の居住関係の公証、選挙人名簿の登録その他の住民に関する事務の処理の基礎とする住民基本台帳について、住民の住所等に関する届出を受理し、あわせて住民に関する記録の適正な管理を図り、住民に関する記録を正確かつ統一的に行った。		

(1) 処理件数

項目	届出件数 (件)	証明発行数(件) ※無料交付(公用申請・身上照会等)含む	手数料収入額(円)
本 庁	6,308	15,883	3,719,700
湊 支 所	15	318	95,400
川 岸 支 所	38	665	199,500
長 地 支 所	119	1,961	588,300
駅前出張所		2,702	810,300
コンビニ交付		888	266,400
合 計	6,480	22,417	5,679,600

(2) 住民基本台帳の閲覧 7件

3 印鑑登録関係事務

住民基本台帳に記録されている15歳以上の者(成年被後見人を除く。)を対象とし、申請に基づいて印鑑登録を行い、登録された印鑑の印影が本人のものであることを適正に公証する業務を行った。また、マイナンバーカードの券面活用として、本人申請に限り印鑑登録証に代えて証明書を交付した。

(1) 処理件数

項目	印鑑証明		印鑑登録	
	発行件数 (件) ※公用申請 含む	手数料(円)	登録件数 (件)	手数料(円)
本 庁	7,678	2,295,000	1,019	363,300
湊 支 所	355	106,500	5	2,100
川 岸 支 所	739	221,700	38	15,400
長 地 支 所	2,069	620,700	78	29,400
駅前出張所	2,386	715,800	202	72,400
コンビニ交付	626	187,800		
合 計	13,853	4,147,500	1,342	482,600

(2) マイナンバーカードの券面活用による発行数(※再掲)

項目	件数(件)	枚数(枚)	手数料(円)
本 庁	89	121	36,300
湊 支 所	3	3	900
川 岸 支 所	6	6	1,800
長 地 支 所	26	33	9,900
駅前出張所	16	24	7,200
合 計	140	187	56,100

4 その他の行政証明事務

身分証明や不在籍、不在住証明などの行政証明事務を行った。

・処理件数

項目	身分証明書		その他の証明	
	発行件数(件) ※公用申請 含む	手数料(円)	発行件数(件)	手数料(円)
本 庁	344	103,200	118	13,800
湊 支 所	9	2,700	0	0

川岸支所	10	3,000	0	0
長地支所	39	11,700	1	300
駅前出張所	32	9,600	7	2,100
合計	434	130,200	126	16,200

5 中長期在留者（外国人住民）関連事務

出入国管理及び難民認定法及び日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法の一部を改正する等の法律に基づき、法務省からの受託事務として執行した。対象者は、短期滞在等を除く、適法に3ヶ月を超えて在留する外国人であって、住所を有する者。在留カードの住所変更記載、特別永住者証明書交付関連事務等を行った。また、外国人における身分の公証は住民基本台帳法に基づき、基本4情報に加え、申請により外国人特有の事項である「国籍」「在留資格」「在留期間」「在留カード等の番号」「在留期間満了日」を記載した住民票の写しの交付を行った。

(1) 住民基本台帳登録外国人数 824人（前年度比△40人）

(2) 上位5カ国人口数 (単位：人)

国籍	令和2年度			令和元年度		
	男	女	計	男	女	計
フィリピン	36	136	172	37	138	175
中國	45	121	166	50	144	194
ベトナム	80	50	130	71	45	116
ブラジル	53	46	99	53	45	98
インドネシア	51	30	81	55	35	90
その他	93	83	176	108	83	191
計	358	466	824	374	490	864

6 長野県戸籍住民基本台帳事務協議会及び諏訪地方戸籍住民基本台帳事務協議会

戸籍、住民基本台帳及び特別永住事務並びにこれらに関連する事務に関係ある法令を研究し、その事務の改善統一並びに会員相互の連絡協調を図ることを目的とした、長野県下77市町村及び法務局諏訪支局管内の6市町村からなる協議会

(1) 長野県戸籍住民基本台帳事務協議会負担金 8,200円

(2) 諏訪地方戸籍住民基本台帳事務協議会負担金 23,300円

7 自動車臨時運行許可

未登録自動車の新規検査・登録や車検切れ自動車の継続検査を受けるために運行する場合等に特例的に許可し、臨時運行許可番号標（仮ナンバー）を貸し出した。

・許可件数 243件（手数料182,250円）

8 埋火葬許可等事務

死亡届・死産届等に伴う埋火葬許可、遺骨を別の墳墓に移すための改葬許可を行った。

(1) 埋火葬許可 614件

(2) 改葬許可 36件

9 国民健康保険証交付業務

転入者、転居者のうち、国保加入者へ保険証を交付した。

10 住居番号設定

住居表示に関する法律に基づく、住居番号設定事務を行った。

(1) 設定 121件

(2) 証明発行件数 (単位：件)

本 庁	湊 支 所	川 岸 支 所	長 地 支 所	駅 前 出 張 所	合 計
94	0	0	16	17	127

11 自衛官募集事務

国の機関委任事務として自衛官の募集協力事務を行った。

- ・懸垂幕の掲示、求人チラシ等の設置

- ・自衛官募集啓発活動 58,300円

※募集チラシ等の設置、掲示用パネルの購入

12 駅前出張所業務

岡谷駅前にある「ララオカヤ」ビル内に開設している「岡谷駅前出張所」の業務を行った。また、観光案内所としての業務を並行して行った。

(1) 開設時間 平日 午前10時～午後7時

土日祝日 午前10時～午後5時

(2) 定休日 火曜日及び年末年始

(3) 戸籍、住民基本台帳等以外の主な取扱業務

項 目	件 数	金 額 (円)
税証明	所得等証明	654 196,200
	納税証明	111 33,300
	軽自動車税納税証明	137
	計	902 229,500
収入金等	市民税	368 11,838,800
	固定資産税	474 12,699,400
	軽自動車税	200 2,056,300
	国民健康保険税	372 8,138,200
	住宅（駐車場）使用料	211 2,791,400
	土地建物賃貸料等	781 2,914,842
	上下水道料	554 5,878,464
	保育料	35 267,610
	介護保険料	123 974,740
	福祉タクシー券	296 1,323,000
	県民交通災害共済	60 108,400
	その他	281 2,637,206
	計	3,755 51,628,362
観光案内等		184

新型コロナウィルス感染症拡大防止対策として、5月2日～5月6日を臨時休業とした。

(20,411,493円)

住民基本台帳ネットワークシステム事業	地方公共団体と行政機関で個々の住民を特定する情報を共有・利用することを目的とし、住民票コードを用い、住民基本台帳をネットワーク化したシステムに係る機器の保守及びリース等の管理を行った。また、他都道府県市区町村の住民から申請のあった住民票の交付を行った。 ・住民票コード付番数 304件（新規番号発行件数） ・広域住民票証明発行数 14件（手数料収入4,200円） (2,264,240円)
--------------------	---

社会保障・税番号制度付番交付事業	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づき、個人番号の付番、通知カードの発行通知及び個人番号カードの申請、交付等事務を行った。 1 住民票コードに基づくマイナンバーの付番・通知カードの送付 (1) マイナンバー付番数 304件（新規個人番号発行件数） (2) 通知カード再交付数 15件 (内：有料件数10件 手数料5,000円)
------------------	---

2 マイナンバーカードの申請・交付

オンライン等における本人確認手段としてのマイナンバーカードの申請相談・申請手続き・交付を行うとともに、職員が企業へ出向き申請及び交付を行う「企業一括申請方式」を取り入れるなど普及啓発に努めるとともに、夜間・休日による交付も行った。

(1) 企業一括申請方式 1社申請者数 9名 (内:市民 2名)

(2) 夜間・休日に交付した件数 合計 632件

平日夜間 232件 休日 400件

(3) マイナンバーカード再交付手数料 58件 手数料 46, 400円

(4) 電子証明書発行徴収金 58件 雑入 11, 600円

(5) マイナンバーカード申請交付状況 (令和3年3月31日現在)

住基人口 (A) R2.1.1	申請数 (B)	カード交付 通知書発送数 (C)	交付数 (D)	申請率 (B/A)	交付率 (D/A)
49,413人	16,334件	12,236件	12,072件	33.1%	24.4%

3 通知カード・個人番号関連事務の委任に係る地方公共団体情報システム機構 (J-LIS)への交付金 21, 255, 000円
(50,427,845円)

国民年金事務

国民年金の加入手続き、裁定請求及び保険料の免除申請の受理などの法定受託事務を行った。また、制度の周知を図るとともに、年金事務所との連携、協力に努めた。

(839,344円)

交通安全対策
推進事業

1 広報及びパトロール活動
市民の安全を守るため市内全域にわたり隨時実施した。

2 安全運動の推進

(1) 春、秋の全国交通安全運動をはじめ、時期に適した重点目標に沿い、関係機関、団体が一丸となり、交通事故防止運動を効果的に推進した。

(2) 無事故無違反デー
毎月1回市内全域において朝夕の街頭指導を実施。また、交通の要所に交通指導所を設け、シートベルト着用、安全運転を呼びかけ交通事故防止を図った。

3 交通安全教育

(1) 通園通学路等で、朝の街頭指導や隨時パトロールによる指導を行った。また、保育園、幼稚園、小学校での交通安全教室など、年代に応じた安全教育を実施し、安全意識、安全思想の普及、高揚に努めた。

- ・交通指導 602件
- ・交通安全教室 (職員派遣)
保育園・幼稚園 28回 園児 461人 保護者 213人
小学校 7回 児童 1, 360人

高齢者教室及び親子教室は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

(2) 幼児、子どもの交通事故防止を徹底させるため、交通安全親の会の交通安全活動を支援した。

4 放置自転車撤去、保管、指導

自転車等の放置防止に関する条例に基づき、放置禁止区域内のパトロール及び撤去作業を(公社)岡谷下諏訪広域シルバー人材センターへ委託し、実施した。

- (1) パトロール回数 52回
- (2) 撤去回数 0回
- (3) 撤去台数 0台 ※返還 1台 (前年度分)

(4,515,466円)

交通災害共済事業	<p>長野県民交通災害共済の会員募集及び見舞金請求事務を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加入状況 <table> <tr> <td>一般会員</td> <td>19, 327人</td> </tr> <tr> <td>中学生以下</td> <td>5, 451人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>24, 778人 (加入率 51.4%)</td> </tr> </table> ・加入負担金 228, 200円 ・見舞金支給状況 63件 3, 565, 000円 (1, 276, 641円) 	一般会員	19, 327人	中学生以下	5, 451人	計	24, 778人 (加入率 51.4%)		
一般会員	19, 327人								
中学生以下	5, 451人								
計	24, 778人 (加入率 51.4%)								
安全会議事業	<p>1 安全会議</p> <p>安全意識の高揚を図るため、交通安全、産業安全、消防、防犯、環境保健、学校安全の部会ごと活動するとともに、関係機関や団体が連携し、安全に対する啓発事業等を実施した。理事会及び総会は新型コロナウィルス感染症拡大防止のため書面にて実施した。</p> <p>2 安全市民大会</p> <p>7月28日に予定していたカノラホールでの開催は中止とし、安全功労者の表彰を7月30日に市役所で開催した。 (396, 014円)</p>								
防犯団体支援事業	<p>1 地域安全活動</p> <p>犯罪の未然防止と青少年の非行防止を図るため、関係機関、団体と協力し、防犯運動及び広報活動、パトロール等を行い地域安全活動の推進に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暴力追放県民センター賛助会費 50, 000円 <p>2 防犯灯</p> <p>LED防犯灯の新設やLED化を伴う灯具の改修等に対する助成を行った。また、防犯灯電気料の全額負担を行うとともに、適切な維持管理を指導し、夜間の犯罪、事故防止を図った。</p> <p>(1) 防犯灯設置補助事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 新設 11灯 (LED灯具) 灯具交換 69灯 (LED灯具) 自動点滅器交換 14個 防犯灯設置補助金 759, 200円 <p>(2) 防犯灯電気料負担金 11, 002, 695円</p> <p>(3) 防犯灯設置状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和元年度末</th> <th>新設</th> <th>廃止</th> <th>令和2年度末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4, 710灯</td> <td>11灯</td> <td>1灯</td> <td>4, 720灯</td> </tr> </tbody> </table> <p>(12, 851, 895円)</p>	令和元年度末	新設	廃止	令和2年度末	4, 710灯	11灯	1灯	4, 720灯
令和元年度末	新設	廃止	令和2年度末						
4, 710灯	11灯	1灯	4, 720灯						
消費者行政事業	<p>1 消費生活相談の実施や、情報提供・啓発活動として、広報おかげ・ホームページへの掲載、チラシの回覧等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費生活相談 279件 <p>2 消費者教育の一環として、消費者の会と連携し、食用廃油の回収と石けんづくりを行った。</p> <p>3 消費者問題に取り組む団体への支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者の会補助金 350, 000円 <p>4 家庭用品品質表示法等に係る市内店舗への立入検査を行った。</p> <p>5 「特殊詐欺対策機器設置補助金」を設置し、特殊詐欺や悪質な電話勧誘販売からの被害防止を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助件数 10件 補助金 59, 600円 <p>(3, 027, 638円)</p>								
環境衛生推進事業	<p>1 犬の登録、狂犬病予防注射</p> <p>(1) 新規登録数 125頭</p> <p>(2) 予防注射実施頭数 1, 530頭</p>								

	<p>(3) 集合注射巡回実施 延べ30会場</p> <p>2 犬、猫等の正しい飼い方の普及のため、広報おかや等により周知・啓発を図った。また、犬猫等動物の死体の収容を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・犬猫等動物の死体の収容 161件 <p>3 丸戸共同墓地の維持管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草刈り等清掃委託 77, 310円 <p>4 専用水道、浄化槽に関する届出等の事務処理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専用水道立入検査 諏訪湖畔病院 	(2,483,129円)
公衆便所管理事業	<p>公衆衛生の向上を図るため、市内公衆便所2箇所（川岸駅前、岡谷駅らち外）の維持管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清掃委託 479, 697円 	(1,094,492円)
火葬場事業	<p>下諏訪町とともに、湖北火葬場の管理運営を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・湖北火葬場事務負担金 76, 176, 978円 	(76,176,978円)
し尿管理事業	<p>し尿処理の適正化を図るため補助事業等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・湖北衛生センター負担金 29, 407, 058円 ・し尿汲取り業務維持助成事業補助金 540, 000円 	(29,947,058円)
内山靈園管理事業	<p>1 内山靈園の維持管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 内山靈園管理業務委託 4, 804, 927円 (2) 植栽整備委託 697, 180円 (3) 内山靈園使用区画 2, 637区画 (4) 内山靈園の新規使用 17区画 <p>2 合葬式墓地「嶺風苑」の新規使用者の募集を行い、使用を開始した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・許可数 個別埋蔵場所 7体 共同埋蔵場所 44体 	(17,450,362円)

第3 主要な統計、行政資料等

1 戸籍事件数

(単位：件)

事件の種類	届出（本市受理分）			他市町村 からの送付	総数	前年度比
	本籍人届出	非本籍人届出	計			
出生	175	107	282	134	416	△55
死亡	524	87	611	130	741	△58
婚姻	139	31	170	343	513	△52
離婚	67	12	79	59	138	△6
その他	235	17	252	188	440	△78
計	1,140	254	1,394	854	2,248	△249

※その他＝転籍届、入籍届、養子縁組届など

2 戸籍、住民基本台帳、印鑑登録数

(令和3年3月31日現在)

項目			登録数		
			令和2年度 (A)	令和元年度 (B)	増減 (A)-(B)
戸籍	本籍数（戸籍）		23,823	23,958	△135
	本籍人口（人）		57,157	57,761	△604
住民基本台帳	世帯数 (戸)	合計		21,063	21,090
		日本人のみ世帯		20,409	20,410
		外国人のみ世帯		457	479
		混合世帯		197	201
	人口 (人)	合計	48,572	49,163	△591
			男	23,952	△296
			女	25,211	△295
		日本人	47,748	48,299	△551
			男	23,578	△280
			女	24,721	△271
	外国人	計	824	864	△40
			男	374	△16
			女	490	△24
印鑑登録者（有効数）（件）			33,672	33,834	△162

3 住民基本台帳の人口及び世帯の年間異動状況

(単位:人、世帯)

項目			日本人	外国人	合計
増 口	転 入	計	1,115	109	1,224
		男	593	53	646
		女	522	56	578
	出 生	計	281	2	283
		男	140	1	141
		女	141	1	142
	その他	計	25	0	25
		男	14	0	14
		女	11	0	11
	計	計	1,421	111	1,532
		男	747	54	801
		女	674	57	731
世帯数			761	84	845

外国人欄の世帯数（増）は外国人のみの世帯で、混合世帯の世帯数増（11件）は日本人世帯に計上

項目			日本人	外国人	合計
減 口	転 出	計	1,353	141	1,494
		男	717	66	783
		女	636	75	711
	死 亡	計	601	3	604
		男	300	0	300
		女	301	3	304
	その他	計	18	7	25
		男	10	4	14
		女	8	3	11
	計	計	1,972	151	2,123
		男	1,027	70	1,097
		女	945	81	1,026
世帯数			766	106	872

外国人欄の世帯数（減）は外国人のみの世帯で、混合世帯の世帯数減（15件）は日本人世帯に計上

医 療 保 険 課

第1 概説

医療保険課では、国保及び医療の2担当により「福祉医療費給付事業」、「国民健康保険事業」及び「後期高齢者医療事業」を実施した。

1 福祉医療費給付事業

乳幼児等、障がい者、母子家庭等に対して、福祉医療費給付金を支給した。

中学3年生までについては、県内の医療機関等の窓口での支払いが受給者負担金（500円）のみとなる現物給付方式により、子育て世帯への更なる経済的負担の軽減を図った。

障害者手帳等での資格所持者が、等級変更等による資格喪失後に受給者証を持つことがないよう、手帳等の有効期限までの受給者証を交付し、資格管理の徹底を図った。

2 国民健康保険事業

国民健康保険制度に基づく保険給付、被保険者の資格管理、特定健康診査等の保健事業を行った。また、長野県が示した標準保険税率に準じた改定後の税率で国民健康保険税の賦課を行い、事業費納付金を納めた。

国民健康保険税では、長野県が示した仮係数による国保事業費納付金及び標準保険税率に準じて、令和3年度に適用する税率等のほか、税制改正に伴う国民健康保険税条例の一部改正を行った。

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う傷病手当金支給制度及び国民健康保険税の減免に関する事務を行った。

3 後期高齢者医療事業

制度の運営全般を分担する長野県後期高齢者医療広域連合と協力し業務を行った。

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う傷病手当金及び後期高齢者医療保険料減免申請の受付業務を行った。

「医療保険制度の適正かつ効率的な運営を図るための健康保険法等の一部を改正する法律」が令和2年4月から施行されたことにより、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について関係部署と検討を行い、令和3年度から事業を開始することとなった。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
福祉医療費給付事業	<p>1 支給対象者</p> <p>(1) 乳幼児等 ・0歳から中学校3年生まで</p> <p>(2) 障がい者 ・特別児童扶養手当の支給対象の障がい児 ・身体障害者手帳所持者 （3級以上及び4級以下で常時介護を要する者） ・療育手帳所持者（B1以上） ・精神障害者保健福祉手帳所持者（2級以上） ・国民年金法施行令別表該当者（一定の障がいのある者）</p> <p>(3) 母子家庭等 ・母子家庭の母子 ・父子家庭の父子 ・父母のいない児童</p> <p>2 医療費資金貸付 医療費の支払いが困難な受給者に対して、医療費の支払いに充てる資金の貸付けを行った。</p>
国民健康保険事業	<p>1 保健事業</p> <p>(1) 特定健康診査・特定保健指導 特定健康診査を実施し、その結果に基づき「積極的支援」、「動機づけ支援」に階層化し、それぞれに応じた特定保健指導を行った。 受診率向上を図るため、引き続き特定健診みなしだータ取得事業を行ったほか、健康ポイント事業として、特定健診及び人間ドックの受診者等にオカヤペイのポイント引換券を交付し、健康の保持増進に関する意識の高揚に努めた。 ・受診者（人間ドックを除く）2,183人（29.1%） ・積極的支援 28人（6.2%） ・動機づけ支援 116人（64.1%） ・日曜日健診の実施 11月 ・個人負担金なし ・健康ポイント(200pt)引換券発行枚数 2,519枚、 引換数 634枚（25.2%）</p> <p>(2) その他保健事業 人間ドックに対する助成、生活習慣病フォローアップ事業として「お家でできる運動療法を習得するための短期講座」の開催、医療費通知及び後発医薬品（ジェネリック医薬品）利用差額通知の発送等を行った。また、レセプトや健診データの分析に基づく、国保保健指導事業を行った。</p> <p>2 国民健康保険税</p> <p>(1) 税率等の改定（令和2年度分から新税率等を適用） ・基礎（医療給付費）分 所得割率 7.36%を7.05%に改定 資産割率 18.95%を17.92%に改定 均等割額 18,200円で据置 平等割額 16,800円で据置</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・後期高齢者支援金等分 <ul style="list-style-type: none"> 所得割率 2.33%を2.43%に改定 資産割率 4.51%で据置 均等割額 7,400円を8,100円に改定 平等割額 6,000円を6,400円に改定 ・介護納付金分 <ul style="list-style-type: none"> 所得割率 1.99%を2.20%に改定 資産割率 3.95%で据置 均等割額 7,200円を8,300円に改定 平等割額 5,400円を6,200円に改定 <p>(2) 税制改正等に伴う国民健康保険税条例の改正の内容</p> <p>(ア) 課税限度額の見直し</p> <p>基礎課税分の限度額の引き上げ</p> <p>(イ) 減額の対象となる所得基準の見直し</p> <p>5割及び2割軽減の所得基準の見直し</p> <p>3 新型コロナウイルス感染症対応</p> <p>(1) 傷病手当金の支給</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者：被用者で、新型コロナウイルス感染症に感染または発熱等の症状があり感染が疑われる場合で、療養のために労務に服することができない者 ・支給額：1日当たりの支給額＝（直近の継続した3か月間の給与収入の合計額÷就労日数）×2／3×支給対象となる日数 ・申請件数 0件 <p>(2) 国民健康保険税の減免</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象世帯：新型コロナウイルス感染症の影響により、主たる生計維持者（世帯主）の事業収入等が前年と比べ一定以上減少する見込みの世帯 ・申請件数 39件 ・決定件数 33件 ・減免の対象となる保険税 令和元年度（11・12期）及び令和2年度の保険税 ・減免額 令和元年度分 835,000円 令和2年度分 5,620,300円 <p>(3) 事業の一部縮小や休止等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査・特定保健指導の日曜日健診 集団健診となるため、6・9・10月は中止とした。 ・国保運動療法教室（生活習慣病フォローアップ事業） 入門編（1日体験教室）、基礎編（短期コース）、実践編（長期コース）については、集団で実施するため、すべて中止とした。 11月からは、当初の計画を変更し、施設での個別指導により、自宅でできる運動療法を習得するための短期講座を実施した。 <p>4 その他</p> <p>広報、啓発パンフレット等により、国保事業に対する理解と協力を求め、事業の啓発と医療費の適正化に努めた。</p>
--	---

後期高齢者医療事業

- 1 市が行った業務
各種申請や届出の受付、被保険者証等の引渡し、保険料の収納、広報、被保険者からの相談業務に関する事務など
- 2 長野県後期高齢者医療広域連合が行った業務
被保険者の資格管理、医療給付、保険料賦課、保健事業など

3 新型コロナウイルス感染症対応

(1) 傷病手当金の支給申請

- 対象者：被用者で、新型コロナウイルス感染症に感染または発熱等の症状があり感染が疑われる場合で、療養のために労務に服することができない者
- 支給額：1日当たりの支給額＝(直近の継続した3か月間の給与収入の合計額÷就労日数)×2／3×支給対象となる日数
- 申請件数 0件

(2) 後期高齢者医療保険料の減免申請

- 対象者：新型コロナウイルス感染症の影響により、主たる生計維持者（世帯主）の事業収入等が前年と比べ一定以上減少する見込みの人
- 申請件数 8件
- 決定件数 8件
- 減免の対象となる保険料
令和元年度（11・12期）及び令和2年度の保険料
- 減免額 令和元年度分 120,000円
令和2年度分 587,000円

第3 主要な統計、行政資料等

1 福祉医療費給付状況

(令和3年3月31日現在)

区分	対象者数	件数	給付額
乳幼児等	人 5,296	件 42,685	円 109,076,334
障がい者	1,748	34,192	192,427,147
母子家庭等	1,247	10,028	27,095,672
合計	8,291	86,905	328,599,153

2 国民健康保険

(1) 国保加入状況

(令和3年3月31日現在)

区分	全市	国保加入						国保加入割合	
		一般		退職者		計			
		加入数	割合	加入数	割合	加入数	割合		
世帯数	世帯 19,350	世帯 6,007	% 100	世帯 0	% 0	世帯 6,007	% 100	% 31.0	
人口	人 47,314	人 9,062	% 100	人 0	% 0	人 9,062	% 100	% 19.2	
一世帯平均	人 2.4	人 1.5	% —	人 0	% —	人 1.5	% —	% —	

(2) 被保険者の異動状況

区分		令和2年度(A)	令和元年度(B)	増減(A)-(B)
世帯数	一般	世帯 6,007	世帯 6,085	世帯 △78
	退職者	0	2	△2
	計	6,007	6,087	△80
被保険者数	一般	人 9,062	人 9,250	人 △188
	退職者	0	4	△4
	計	9,062	9,254	△192

(3) 国民健康保険税の調定額等状況

ア 基礎（医療給付費）課税額分（現年度）

() 内は、退職者分を内書

年平均世帯数		6,065 世帯	課税対象額	所得額	5,472,930,029 円
年平均被保険者数		9,199 人		固定資産税額	224,911,300 円
税率	所得割	7.05%	賦課割合	所得割	55.3%
	資産割	17.92%		資産割	5.8%
	被保険者均等割	18,200 円		被保険者均等割	24.2%
	世帯別平等割	16,800 円		世帯別平等割	14.7%
7割軽減	世帯数	1,543 世帯	5割軽減	世帯数	1,099 世帯
	軽減額	42,926,940 円		軽減額	24,560,900 円
2割軽減	世帯数	755 世帯			
	軽減額	6,916,000 円			
限度超過世帯数		56 世帯	限度超過額		16,268,618 円
調定額		604,731,191 円 (45,447 円)	課税限度額		630,000 円
1世帯当たり調定額		99,708 円	1人当たり調定額		65,739 円

イ 後期高齢者支援金等課税額分（現年度）

（）内は、退職者分を内書

年平均世帯数		6,065 世帯	課税対象額	所得額		5,472,930,029 円
年平均被保険者数		9,199 人		固定資産税額		224,911,300 円
税率	所得割	2.43%	賦課割合	所得割	51.7%	
	資産割	4.51%		資産割	3.9%	
	被保険者均等割	8,100 円		被保険者均等割	29.2%	
	世帯別平等割	6,400 円		世帯別平等割	15.2%	
7割軽減	世帯数	1,543 世帯	5割軽減	世帯数	1,099 世帯	
	軽減額	17,972,570 円		軽減額	10,398,950 円	
2割軽減	世帯数	755 世帯				
	軽減額	2,931,000 円				
限度超過世帯数		81 世帯	限度超過額		7,651,486 円	
調定額		216,858,343 円 (15,201 円)	課税限度額		190,000 円	
1世帯当たり調定額		35,756 円	1人当たり調定額		23,574 円	

ウ 介護納付金課税額分（現年度）

（）内は、退職者分を内書

年平均世帯数		2,387 世帯	課税対象額	所得額		2,024,899,623 円
年平均被保険者数		2,731 人		固定資産税額		62,484,700 円
税率	所得割	2.20%	賦課割合	所得割	52.6%	
	資産割	3.95%		資産割	2.9%	
	被保険者均等割	8,300 円		被保険者均等割	26.9%	
	世帯別平等割	6,200 円		世帯別平等割	17.6%	
7割軽減	世帯数	654 世帯	5割軽減	世帯数	337 世帯	
	軽減額	6,870,500 円		軽減額	2,679,800 円	
2割軽減	世帯数	266 世帯				
	軽減額	851,080 円				
限度超過世帯数		34 世帯	限度超過額		2,676,234 円	
調定額		71,798,766 円 (12,168 円)	課税限度額		170,000 円	
1世帯当たり調定額		30,079 円	1人当たり調定額		26,290 円	

3 後期高齢者医療事業

(1) 被保険者加入状況

(令和3年3月31日現在)

人口	自己負担割合	75歳以上	障害認定 (65~75歳未満)	合計	人口に占める割合
人 47,314	1割	人 8,770	人 146	人 8,916	% 18.84
	3割	636	1	637	1.35
	合計	9,406	147	9,553	20.19

(2) 後期高齢者医療保険料の状況

(令和3年5月31日現在)

区分	調定額	収入済額	収納率	不納欠損額	収入未済額
現年度	円 676,203,900	円 674,028,000	% 99.68	円 0	円 2,175,900
特別徴収	433,915,900	433,915,900	100.00	0	0
普通徴収	242,288,000	240,112,100	99.10	0	2,175,900
滞納繰越分	5,025,700	968,200	19.26	277,000	3,780,500
合計	681,229,600	674,996,200	99.08	277,000	5,956,400

環 境 課

第1 概説

令和2年度の組織改正により環境課が設置され、資源化、環境保全の2担当で業務を遂行した。令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部の事業を中止等としたが、感染防止対策を講じて代替事業を実施するなど、各事業の推進に努めた。

平成22年度に開始した家庭ごみ有料化から10年が経過し、その効果等について検証を行った。また、湖周地区（2市1町）共同によるごみ処理を将来にわたり安定的に継続するため、排出量の予測を見直すなど、ごみ処理基本計画を修正した。

引き続き地区衛生自治会など関係機関と協働し、一般廃棄物の適正処理及びごみの減量化と資源化の推進に努めたほか、一斉清掃の実施など環境美化活動による地域の生活環境向上を図った。

岡谷市の環境基本理念に基づき、地球温暖化問題への対策、自然環境の保全や環境教育、騒音・大気汚染調査等の生活環境対策の実施に努めた。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容												
ごみ減量啓発指導事業	<p>ごみの減量化と資源化を推進するため、各種の広報啓発に努めるとともに、美しい環境を守り、住みよいまちづくりを推進するため、環境美化活動の実施に努めた。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部の事業を中止したが、感染防止対策を講じて実施に努めた。</p> <p>1 ごみの減量化・資源化の推進</p> <p>(1) 家庭ごみ有料化の検証</p> <p>平成22年度に開始した家庭ごみの有料化や資源物分別収集による、ごみの減量化・資源化の効果等を検証し、市民や関係団体に向けた検証結果の公表や結果に対する意見聴取等を行った。</p> <p>検証の実施</p> <ul style="list-style-type: none">・ごみ・資源物量の推移や排出状況についての分析等実施・意見聴取の実施 <p>意見聴取会 環境審議会ほか2団体 計4回開催</p> <p>市民への意見募集 ホームページ等での募集 令和2年9月</p> <p>有料化の効果（有料化実施前と直近の比較など抜粋）</p> <ul style="list-style-type: none">・ごみ排出量の変化（平成21年度と令和元年度の比較） <table border="1"><thead><tr><th>種別</th><th>平成21年度</th><th>令和元年度</th><th>減少率</th></tr></thead><tbody><tr><td>燃やすごみ</td><td>11,207トン</td><td>7,296トン</td><td>35%</td></tr><tr><td>埋立ごみ</td><td>252トン</td><td>128トン</td><td>49%</td></tr></tbody></table> <p>・検証結果の公表</p> <p>大きな減量効果のほかに、ごみを減量しようという意識の変化や市民による適正処理が促進されていることなどが確認された。</p> <p>また、検証結果を広報おかげや、ホームページ等で情報発信し、市民へ向け、ごみの減量化や資源化を推進している取り組みへの感謝、さらなる協力について呼びかけを行った。</p> <p>(2) 諏訪湖周クリーンセンター等施設見学</p> <p>市内小学校の4年生を対象に、諏訪湖周クリーンセンターと樋沢</p>	種別	平成21年度	令和元年度	減少率	燃やすごみ	11,207トン	7,296トン	35%	埋立ごみ	252トン	128トン	49%
種別	平成21年度	令和元年度	減少率										
燃やすごみ	11,207トン	7,296トン	35%										
埋立ごみ	252トン	128トン	49%										

一般廃棄物最終処分場の見学を実施し、3R（リデュース・リユース・リサイクル）推進に関する説明などを行った。

- ・参加校：4校
- ・参加者：249人

(3) 「ごみと資源物」探検隊ツアー

ごみ減量や3R推進への意識を高めるため、「ごみと資源物」を処理する現場の見学ツアーを計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としたため、代替事業として「おかや環境パネル展」において、分別やリサイクルに関する現物やパネル等で探検隊ツアーを体感できる展示を行った。

- ・期間：10月9日（金）～18日（日）
- ・会場：レイクウォーク岡谷

(4) ごみ・資源物分別強化月間（10月1日～31日）

「紙類・プラスチック類の分別」を重点項目とし衛生自治会と協働して収集場所で立会いを実施し、分別方法の周知啓発に努めた。

(5) 転入者用ごみ袋セットの配布

市外から転入した世帯へ向け、ごみの減量化や分別への協力をお願いするため、家庭ごみ収集カレンダーと分別ガイド、指定ごみ袋（4種類各1枚）を配布し、ごみ出しルールなどの説明に努めた。

- ・配布数：380世帯分

(6) 「ごみの出し方」等チラシ回覧

基本的なルール等を掲載したチラシを作成し地区回覧するなど、年間を通じて、ごみの減量化と資源化の推進、ごみ出しマナー等の周知啓発に努めた。

2 環境美化活動

(1) 岡谷市を美しくする月間（6月1日～30日）

6月を「岡谷市を美しくする月間」と定め衛生自治会をはじめ各種団体の協力を得て環境美化等を図る各種の事業を実施した。
主な実施事業

- ①広報おかやへの記事掲載等により、趣旨の周知徹底を図った。
- ②「諏訪湖及び河川一斎清掃」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とし、環境課職員により、諏訪湖畔の清掃活動を行った。

- ・日時：5月24日（日）午前7時～9時
- ・回収量：ごみ等45kg
：空缶等90個

- ③市内一斎清掃の日 6月14日（日）

- ④地域の河川・道路などの清掃

- ⑤ごみ・資源物の収集場所（定位置）パトロール

- ⑥ごみ減量・環境美化に関する啓発チラシ等の地区回覧

(2) 諏訪湖周クリーンセンター周辺道路清掃

- ・日時：7月30日（木）午後1時30分～2時30分
- ・参加者：18人
- ・回収量：ごみ等13kg
：空缶等33個

(3) 盆明け諏訪湖清掃

- ・日時：8月17日（月）午前6時～7時
- ・参加者：56人
- ・回収量：ごみ等21kg
：空缶等73個

(4) 環境衛生週間（9月24日～10月1日）

- ①地域の河川・道路・公園・遊園地等の清掃
・参加者：1,273人

	<ul style="list-style-type: none"> ・回収量：ごみ等 855 kg ：空缶等 312 個 <p>②「諏訪湖周一斎清掃」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開会式を実施せず、実施時間を長めに設け、参加者を分散するなどの対策を講じて実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日 時：10月18日（日）午前6時30分～8時30分 ・参加者：700人 ・回収量：ごみ等 260 kg ：空缶等 410 個 <p>（5）市内全世帯対象粗大ごみ有料回収 衛生自治会連合会とともに、全市民を対象とした家具や家電製品などの粗大ごみを有料で回収するイベントを開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日 時：3月20日（土）午前9時～正午 ・件 数：230 件 ・回収量：9,670 kg 	(16,070,205円)
湖周地区ごみ処理施設整備事業	<p>1 湖周行政事務組合負担金 207,904,266円</p> <p>2 関係市町及び湖周行政事務組合との調整等</p> <p>（1）湖周3市町副市町長会議（8回）</p> <p>（2）湖周連絡調整会議（7回）</p> <p>（3）湖周ワーキング部会（7回）他</p>	(207,904,266円)
埋立施設管理事業	<p>1 横沢一般廃棄物最終処分場管理業務 業務概要</p> <p>（1）技術管理者の配置</p> <p>（2）廃棄物の受入・埋立処分等</p> <p>（3）最終処分場施設維持管理等</p> <p>（4）浸出水処理施設運転管理等</p> <p>（5）水質検査・ガス測定等</p> <p>・委託先：（株）タクマテクノス 16,082,000円</p> <p>2 埋立処分地設備機器等修繕業務</p> <p>放流ポンプ取替工事、放流水流量計取替工事、プロアポンプ制御改造業務、プロアポンプ修繕業務等</p> <p>・委託先：中信アスナ（株）他 1,758,900円</p> <p>3 最終処分場排水処理施設汚泥処分業務</p> <p>水槽内の汚泥処分</p> <p>・委託先：（有）田切クリーンセンター 231,000円</p> <p>4 最終処分場及び周辺道路の支障木剪定作業等</p>	(24,741,685円)
塵芥収集事業	<p>1 埋立ごみ収集運搬委託業務（1コース）</p> <p>・委託先：（株）アイ・コーポレーション 6,336,000円</p> <p>2 燃やごみ収集運搬委託業務（5コース）</p> <p>・委託先①（有）成山商店 5,940,000円</p> <p>・委託先②（株）アイ・コーポレーション 6,820,000円</p> <p>・委託先③（有）丸安今井商店 5,133,260円</p> <p>・委託先④（株）アイ・コーポレーション 6,948,260円</p> <p>・委託先⑤ 共田組 6,966,740円</p>	(42,310,537円)
塵芥収集指導啓発事業	正しいごみの出し方等を周知するため、家庭ごみ収集カレンダーを全世帯へ配布するとともに、ルール違反ごみの回収や処理、排出者への指導などを実施した。家庭や収集運搬事業者向けに新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を周知啓発するため、チラシを作成し地区回覧等を行った。	

	<p>1 岡谷市家庭ごみ収集カレンダー 市民一人ひとりがごみの減量、資源化に取り組めるよう、「見やすい・わかりやすい・使いやすいカレンダー」をコンセプトにリニューアルした。また、引き続きごみ処理の専門事業者を紹介する広告を6社分掲載した。 ・カレンダー印刷製本 528,000円</p> <p>2 新型コロナウイルス感染症対策 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市民向けにごみの出し方等の注意事項を啓発するチラシを作成し、地区回覧するなど広報啓発に努めたほか、広報おかや・市ホームページへの掲載、シリキーチャンネルで動画放送を行った。 廃棄物収集運搬事業者向けに、適正処理や感染防止の方法などを情報発信するなど、安定的なごみ処理体制の維持・確保を図った。</p> <p>3 違反ごみ対策 収集場所を巡回しルール違反ごみを回収・処理するとともに、排出者への指導を実施し、出し方や分別方法の周知啓発を図った。 (1,063,937円)</p>
資源物回収事業	<p>1 資源物再資源化等委託業務 (1) 草・剪定枝等資源化 ・委託先：(株)アイ・コーポレーション 4,914,206円 (2) ガラスびん再資源化 ・委託先：(有)成山商店 9,020,000円 (3) ペットボトル再資源化 ・委託先：(株)クリーンウェイスト 7,840,800円 (4) 使用済乾電池再資源化 ・委託先：JFE条鋼(株)鹿島製造所 1,016,081円 (5) 廃蛍光管・電球収集運搬 ・委託先：(有)成山商店 3,355,000円 (6) 廃蛍光管・電球再資源化 ・委託先：林金属工業(株) 1,314,760円 (7) 生ごみ収集・資源化 ・委託先：(株)光商会 10,670,000円 (8) その他プラスチック再資源化 ・委託先：(有)成山商店 19,167,500円 (9) プラスチック製容器包装再商品化 (ペットボトル・その他プラスチック) ・委託先：公益財団法人日本容器包装リサイクル協会 その他プラスチック分 193,445円</p> <p>2 岡谷市資源物分別回収促進事業補助金 資源物の分別回収を促進するため、資源物回収事業者に対し回収量に応じた補助金(4.4円/kg)を交付した。 ・回収量(2事業者合計) 773,490kg ・交付先：(有)成山商店 2,049,564円 (有)五十川昇一商店 1,353,792円</p> <p>3 資源物サンデーリサイクルデー 市民の利便性向上と資源物リサイクルの推進を図るため、関係団体の協力を得て、月1回最終日曜日(12月は第3日曜日)に市内スーパー駐車場で資源物の回収を実施した。硬質プラスチックの試験回収を年4回実施した。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月及び5月、令和3年1月は中止したが、その他の月は感染防止対策を講じて開催に努めた。</p>

	(1) 資源物回収量 (2) 硬質プラスチック回収量	14, 510 kg 7, 840 kg (61,314,226円)
環境保全推進事業	<p>1 第4次岡谷市環境基本計画の啓発等 令和2年度が初年度となる「第4次岡谷市環境基本計画」の推進、また「岡谷市地球温暖化対策実行計画」の推進を図るために、家庭、事業所における具体的な取り組みなどを、広報おかやへの掲載、シルキーチャンネルの番組作成などを通じて啓発を図った。</p> <p>2 環境セミナー 例年、地球温暖化問題や外来種問題など、様々な問題を認識していただき、自己の取り組みにつなげていただくために、環境に関する様々なテーマで講演を行ってきたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を見合せた。</p> <p>3 地球温暖化防止啓発事業 第4次岡谷市環境基本計画の地球温暖化防止施策として、二酸化炭素排出量の削減、再生可能エネルギーの利用促進を図るため、令和2年度より下記3事業にて啓発を実施した。</p> <p>(1) 地球温暖化防止川柳の募集 日々の暮らしの中で感じる身近なことを通じて、地球温暖化防止への思いを高めていただくため、地球温暖化防止を題材とした川柳を募集した。 地球温暖化川柳ならびに緑のカーテンコンテストの表彰式については、地球温暖化防止セミナーと併せて実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。 優秀作品は、令和3年1月に岡谷市役所市民ロビーで展示したほか、今後も公共施設などで随時展示を行っていくこととした。 令和2年度 応募作品数 大人の部 79点 子どもの部 23点</p> <p>(2) 緑のカーテンコンテスト 楽しみながらできる地球温暖化対策として、以前より緑のカーテンの普及を図ってきたが、新たにコンテストを実施し、素晴らしい緑のカーテンを紹介する機会の創出と意識の高揚を図った。 令和2年度 応募作品数 一般の部 9点 企業・団体の部 6点 ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う小中学校の休校、また長梅雨や猛暑の影響による緑のカーテンの育成不良などのためか、応募数が少なかった。</p> <p>(3) 地球温暖化防止セミナー 地球温暖化問題に対する市民の意識を高めるため、下記内容でセミナーを実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年度に延期した。 「一般住宅への再生可能エネルギー「地中熱」の利用」 ・講 師：(株)ダイワテック 代表取締役 和田 保守氏 ・日 時：1月23日(土)午前10時～12時 ・場 所：カノラホール 小ホール</p> <p>4 その他の啓発活動等</p> <p>(1) 環境省で提唱する「CO₂削減／ライトダウンキャンペーン」に参加し、ライトダウンデー、ノー残業デーの実施及び徹底による消灯を呼びかけた。ライトアップ施設や家庭の電気等を消すよう呼びかけ、市の一部の施設についてもライトダウンを実施した。</p> <p>(2) 野焼きなどの身近な環境問題や地球温暖化対策などについて、パネル展示や広報おかや等に掲載したほか、レジ袋有料化に関する番組等をシルキーチャンネルで放送し、市民に情報発信した。</p>	

	<p>(3) 「環境市民会議おかや」と連携し、生活の中で気軽に楽しみながら実施できる住民参加型の環境保全事業として、緑のカーテンを推進したほか、市民や学校、公共施設に花の種を配布し緑化を促進した。また、市内一斉気温測定の実施、我が家環境家計簿の普及を図った。</p> <p>(4) ステイホーム中などに楽しみながら環境が学べる「環境ぬりえ」を作成し、配布した（学童クラブ、図書館など）。</p> <p>5 再生可能エネルギー利用の円滑な促進</p> <p>平成28年4月1日から「岡谷市再生可能エネルギー設備の設置等に関するガイドライン」の適用を開始し、自然環境、防災及び景観、その他住民の生活環境等に配慮しながら、再生可能エネルギー利用の円滑な促進を図っている。令和2年度は6件の届出があった（累計47件）。</p> <p>6 3R推進活動事業</p> <p>市民、事業者、行政が相互に連携を図り、ごみの減量、資源化を進めるとともに、環境問題全般へと活動を広げることを目的とする、環境市民会議おかや（エコライフ岡谷）の活動支援として補助金を交付した。</p> <p>110,000円</p> <p>7 おかや環境パネル展の開催</p> <p>例年、岡谷エコフェスティバルを開催し、環境保全、自然エネルギー、省エネルギー、ごみ減量、リサイクルに対する市民意識の啓発に努めてきており、令和2年度も11月15日に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。</p> <p>このため、可能な限り接触を避ける形での啓発事業を検討し、パネル展示を中心とした「おかや環境パネル展」をレイクウォーク岡谷で開催した。</p> <p>令和2年7月にプラスチック製レジ袋が有料化され、海洋ごみや、エコバックの利用などに対する関心が高まっていることから、「プラスチック廃棄物問題」をメインテーマとして展示を行ったほか、地球温暖化をテーマとしたアニメの上映、ごみ削減などに関連した展示等を行った。</p> <p>多くの方に足を運んでいただき、これらの問題に対する意識を高めることができた。</p> <p>・日 時 10月12日（月）～10月18日（日）</p> <p>・場 所 レイクウォーク岡谷 1～3階</p> <p>(2,381,482円)</p>
--	--

自然環境保全事業	<p>1 岡谷こどもエコクラブ</p> <p>小学生が環境問題に関心をもつことを目的に、4・5・6年生を主な対象として、環境保全、自然観察等に関する体験学習会を企画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くの企画が中止となった。中止にした企画については、資料や映像を作成し、会員に配布した。</p> <p>○開催回数 4回、参加人数 延べ130人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開講式・森を学ぼう 5月16日（土） 中止 ・下水道処理施設を見に行こう 6月20日（土） 中止 ・諏訪湖の環境を学ぼう 7月18日（日） 45人 ・市内一斉気温測定 7月26日（日） 9人 ・水生生物観察会 8月 1日（土） 中止 ・環境にやさしいクッキング 9月 6日（日） 中止 ・大型店舗の裏側を見に行こう 10月11日（日） 42人 ・秋に観る鳥達の様子・閉講式 11月28日（土） 34人 <p>2 諏訪湖ヒシ除去体験事業</p> <p>環境市民会議おかや、諏訪湖漁業協同組合、岡谷市の協働で、諏</p>
----------	---

	<p>諏訪湖のヒシ除去を実施してきたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。</p> <p>岡谷こどもエコクラブのヒシ除去体験も、会員による除去は中止とし、職員が除去する様子を見学した。</p> <p>3 アレチウリ駆除事業</p> <p>生態系を破壊するアレチウリを駆除するために、各区・ボランティア団体の協力を得て、諏訪湖畔・河川敷等で駆除作業を行った。団体等に対して、手袋など、作業に伴う消耗品等を支給した。</p> <p>(227, 624円)</p>
生活環境対策事業	<p>1 自動車騒音常時監視事業</p> <p>国土交通省の道路交通センサスに従い、6路線11センサスを5年間のローテーションで実施した。平成27年度に公表された道路交通センサスに基づき、平成29年度より5年間のローテーションで実施し、今年度は、2路線2センサス、延長4.2kmと過年度の評価対象路線4路線9センサス、延長30.3kmの自動車騒音常時監視事業を実施した。</p> <p>過年度分については変動がなく、今年度分は、岡谷下諏訪線が昼夜間とも環境基準値以下が100%、檜川岡谷線は昼夜間とも環境基準値以下が97.8%、昼間のみ基準値以下は1.5%、夜間のみ基準値以下は0%、昼夜間とも基準値を超過は0.7%であった。</p> <p>2 土壤・地下水汚染対策</p> <p>土壤・地下水汚染等について、事業所による調査に対する助言・指導を関係機関と連携し行った。</p> <p>3 地下水調査関係</p> <p>平成9～13年度までに実施した地下水調査で、環境基準を超過した井戸8件については、7件が県の調査対象となったため、岡谷市では1件の調査を行った。また、地下水の汚染状況の変化を把握するとともに、環境基準達成箇所についても過去の調査以降の変化を把握するため、20件を選定し、追跡調査を実施した。測定箇所により若干の増減があり、基準値を下回った箇所が再度基準超過する場合もあるが、総体的に見て大きな変動は見られない。</p> <p>4 河川水質関係</p> <p>横河川、塚間川等市内主要4河川で、生活環境の保全に関する項目と人の健康に関する項目について、水質検査を実施した。全河川において環境基準を超過することはなく、数値に大きな変動がないことを確認した。</p> <p>5 生活環境の苦情処理</p> <p>産業活動や日常生活から発生する騒音・水質汚濁・大気汚染等生活環境の相談受付と適切な処理を行った。新規受付件数は55件で、前年度より9件の減となった。受け付けた苦情については、関係課、関係機関と密接な連携のもとに、当事者相互の理解と協力を得て、適切な指導、早期解決に努めた。大気汚染は、野焼きによるもの、また水質汚濁は、油の流出等によるものが大半を占めた。</p> <p>6 不法投棄の調査、回収、処理</p> <p>不法投棄防止パトロールや啓発を行うとともに、市有地等に不法投棄されたものについて、関係課、警察等と連携して投棄者を調査するとともに、回収を行った。(不法投棄件数 11件)</p> <p>7 公害関連法令届出受理</p> <p>騒音規制法、振動規制法、特定工場における公害防止組織の整備に関する法律、岡谷市公害防止条例にかかる届出を受理し、事業所からの公害防止対策整備に努めた。</p> <p>・届出件数 12件</p>

	8 環境ボニター活動状況 市民公募の環境ボニター(ボランティア+モニターの造語)より、環境保全に関する地域の情報の収集及び意見をいただき、環境保全に努めた。
	9 空間放射線量測定(岡谷市のホームページで公表。) 長野県が測定を実施し、「事故前と同じ水準」としている空間放射線量の確認のため、岡谷市においても、市役所及び市内小学校で月1回、3支所及び樋沢一般廃棄物最終処分場で4ヶ月に1回、保育園等で定期的に簡易測定を実施した。

(2,256,354円)

第3 主要な統計、行政資料等

1 廃棄物処理手数料の状況

(単位:円)

区分	令和2年度			令和元年度	増減
	調定額(A)	未収入額	収入済額	調定額(B)	(A)-(B)
普通手数料	53,328,000	0	53,328,000	58,622,000	△5,294,000
特別手数料	10,727,710	0	10,727,710	11,090,760	△363,050
滞納繰越分	8,770	8,770	0	8,770	0
計	64,064,480	8,770	64,055,710	69,721,530	△5,657,050

2 ごみ委託収集の状況

(単位:kg)

区分 項目	埋立ごみ 1コース	燃やすごみ 5コース	計
運搬回数(回)	129	3,688	3,817
運搬量(kg)	123,320	6,971,010	7,094,330

3 資源物回収の状況

(単位:kg)

	品目	回収量	品目	回収量	計
資源物 促進 分別 事業 回収	新聞紙	253,400	古布	9,030	773,490
	雑誌	237,220	アルミ缶	17,900	
	段ボール	78,340	スチール缶	66,670	
	厚紙	8,970	金属類	82,240	
	牛乳パック	2,330	生きびん	17,390	
資源物 委託 収集	透明びん	150,470	乾電池	13,010	934,613
	茶色びん	80,740	生ごみ	132,140	
	その他の色びん	63,790	蛍光管・電球	8,243	
	ペットボトル	125,030	その他 プラスチック	361,190	

直接持込	せん定枝	110,302	硬質 プラスチック	7,840	226,414
	草・落ち葉等	108,272	—	—	
総回収量					1,934,517

4 ごみの状況

項目 年度	(kg)	(kg)	(kg)	(kg)	(人)	(日)	(g)
	燃やすごみ	埋立ごみ	資源物	合計	人口	年間 日数	市民1人 1日当たり のごみ量
28	10,688,000	112,115	2,404,490	13,204,605	50,952	365	710.0
29	10,626,780	122,685	2,289,677	13,039,142	50,469	365	707.8
30	10,657,650	125,375	2,050,487	12,833,512	49,954	365	703.9
元	10,831,240	128,475	1,995,123	12,954,838	49,491	366	715.2
2	10,692,300	159,065	1,934,517	12,785,882	48,959	365	715.5

市民1人1日当たりのごみ量は、(「合計」×「1,000」) g / (「人口」×「年間日数」) で算出。

人口は、10月1日現在 住民基本台帳人口。

《燃やすごみの内訳》

(単位: kg)

年度	家庭系	前年度比	事業系	前年度比	計	前年度比
28	7,287,050	96.68%	3,400,950	105.84%	10,688,000	99.42%
29	7,237,420	99.32%	3,389,360	99.66%	10,626,780	99.43%
30	7,193,650	99.40%	3,464,000	102.20%	10,657,650	100.29%
元	7,296,150	101.42%	3,535,090	102.05%	10,831,240	101.63%
2	7,424,570	101.76%	3,267,730	92.44%	10,692,300	98.72%

5 横沢一般廃棄物最終処分場埋立実績

(単位: kg)

項目 年度	市搬入分		直接持込分	下諏訪町分	合計
	埋立ごみ(A)	焼却灰(B)	埋立ごみ(C)	埋立ごみ等(D)	(A)+(B)+(C)+(D)
28	112,115	393,490	0	189,490	695,095
29	122,685	0	0	0	122,685
30	125,375	0	0	0	125,375
元	128,475	0	0	0	128,475
2	159,065	0	0	0	159,065

6 生活苦情通報数

区分	令和2年度			令和元年度 受付件数(件)	前年度比
	受付件数(件)	構成比(%)	解決件数(件)		
大気汚染	31	47.0	31	34	△3
水質汚濁	5	7.6	5	10	△5
土壤汚染	5	7.6	5	8	△3
騒音	8	12.1	8	6	2
振動	0	0.0	0	1	△1
悪臭	4	6.0	4	3	1
不法投棄	11	16.7	11	16	△5
その他	2	3.0	2	2	0
計	66	100.0	66	80	△14

健 康 福 祉 部

(福 祉 事 務 所)

社 会 福 祉 課

第1 概説

社会福祉課では、岡谷市社会福祉協議会等の各種福祉団体と連携し地域福祉の向上に努め、障がい福祉、生活困窮者等への支援、人権擁護、ひとり親家庭福祉等の業務を執行した。

1 地域福祉

令和3年度からスタートする「第4次岡谷市地域福祉計画」をはじめとする福祉関係5計画について、地域福祉支援会議及び各計画部会を開催したほか、関係団体、関係機関、事業所等から意見聴取を行い、計画を策定した。

結婚に対する支援として、経済的理由により結婚に不安を抱える若者を支援するため、結婚新生活時の住居費や引越費用等を対象に補助金を交付した。

民生児童委員活動では、コロナ禍の活動を支援するため地方創生臨時交付金を活用し、訪問活動の代替措置として電話料の負担分を活動費に上乗せし、支給した。

2 障がい福祉

障害者総合支援法等に基づき、給付をはじめとする障がい福祉施策を推進した。

障害者優先調達では、物品の購入や役務の提供について府内での調達を推進した。

岡谷市成年後見支援センター開所から2年目を迎え、判断能力が十分でない障がい者等に対し権利擁護に関する専門的な支援を行った。

3 生活福祉

福祉総合相談では、複雑化・多様化する市民の生活相談に対して課題を整理し、専門相談機関等と連携を図りながら、市民の生活課題の解決に努めた。

ひとり親家庭福祉では、ひとり親家庭相談を通じて児童扶養手当や、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、ひとり親家庭等生活支援給付金（市独自）、ひとり親世帯臨時特別給付金（国制度）の支給を行ったほか、世帯の自立につながるよう各種施策を実施した。

生活困窮者自立支援事業では、生活保護に至る前の自立支援となるよう、就労・家計改善等の専門支援員を配置し、相談者の状況に応じた支援を行ったほか、新型コロナウイルス感染症の影響による生活困窮相談の増加に対応すべく、休日の電話相談専用ダイヤルを開設し、相談体制の強化を図った。

生活保護では、他法他施策の有効活用を図るとともに、稼働能力のある者については、就労支援員を交えた就労支援を行い、適正な保護の実施に努めた。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
地域福祉推進事業	<p>1 地域サポートセンター事業 地域で抱える様々な課題の解決に向け、介護福祉課、岡谷市社会福祉協議会と連携して、地域サポートセンターの体制整備・機能強化を図った。 コロナ禍における区の状況や地域課題・取組・要望等について9/23～11/27の間に全区を訪問し、状況把握や情報提供を行った。</p> <p>2 恋つむぐ岡谷 出会いの場創出事業 (1) 婚活イベント 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 (2) 婚活バスツアーニューコロナウイルス感染症拡大防止のため中止 (3) メールマガジン配信 結婚支援に関して登録希望者を募り、情報の提供を行った。 登録者数 男性 11名 女性 8名 メールマガジン配信回数 2回</p> <p>3 「おかげでスタート！」結婚新生活支援事業 結婚に伴う経済的不安を解消することを目的として、住居費及び引越費用の一部補助を行った。また市単独分として国基準より年齢及び所得要件を緩和し、事業の拡充を図った。</p> <p>対象世帯 (1) 国基準 令和2年1月1日から令和3年2月28日までに、婚姻届を提出し受理された夫婦で、婚姻日における年齢が共に34歳以下かつ世帯所得が340万円未満の世帯（補助額 1世帯30万円） (2) 市単独分 令和2年4月1日から令和3年2月28日までに、婚姻届を提出し受理された夫婦で、婚姻日における年齢が共に39歳以下かつ世帯所得が420万円未満の世帯（補助額 1世帯15万円）</p> <p>支給実績 (1) 国基準 8世帯 合計 2,124,000円 (2) 市単独分 2世帯 合計 213,000円</p>
避難行動要支援者避難支援事業	<p>避難行動要支援者避難支援体制の整備を行った。また改訂した岡谷市防災ガイド説明会に同席し、市内各区に事業の周知を図った。</p> <p>1 避難行動要支援者名簿の作成 ・対象範囲 要介護認定3～5、身体障害者手帳第1種1・2級（心臓、じん臓機能障害のみを除く）、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1・2級（単身世帯のみ）、市の生活支援を受けている難病患者 ・対象者数 1,392人（施設入所者等を除く）</p> <p>2 避難行動要支援者登録制度登録者の情報共有 ・名簿及び町内マップを各区に提供し情報の共有を図った。 ・3月末登録者数（申請者数） 871人 ・3月末申請率 62.6% (871人/1,392人)</p> <p>3 個別計画の策定 ・各区において登録者の個別計画の策定に取り組んだ。 ・3月末策定率 56.0% (488人/871人)</p>

福祉関係 5 計画 策定事業	<p>“みんなが結びつき 支えあいが重なる 共生のまちをめざして”を基本理念とし、地域福祉計画（成年後見制度利用促進基本計画、再犯防止推進計画含む）、高齢者福祉計画、障がい者福祉計画、障がい福祉計画、障がい児福祉計画の 5 計画を地域福祉支援会議及び各計画部会等で審議し、パブリックコメント等において意見聴取を行い、策定した。</p> <p>1 会議等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉支援会議（7/13、1/18） ・地域福祉計画部会（9/2、10/19、11/24、12/16） ・高齢者福祉計画部会（7/13、10/29、12/4） ・障がい者福祉計画部会（7/13、10/22、12/2） ・パブリックコメント（12/21～1/8） ・岡谷市地域福祉計画等策定委員会（1/14） ・岡谷市行政管理委員会（2/1） <p>2 業務委託料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5 計画策定業務委託料 3,894,000 円 ・5 計画印刷業務委託料（優先調達） 1,824,416 円
福祉タクシー運行事業	<p>1 交通弱者のための交通手段として通年運行を行った。コロナ禍の中、乗務員のマスク着用や車内消毒を徹底しながら感染防止対策に努め、運行した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行回数 年間 16, 515 回 1 日平均 45. 2 回 <p>2 業務委託料</p> <p>アルピコタクシー（株）、諏訪交通（株）の 2 社に委託し、安定的な業務の遂行に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行事業業務委託料 33,346,121 円 ・配車管理業務委託料 5,123,140 円 <p style="text-align: right;">(38,469,261 円)</p>
生活困窮者自立支援事業	<p>生活保護に至る前の段階にある生活困窮者を対象に、生活就労支援センター（愛称：まいさぽ岡谷市）を窓口として相談を受けた。また、相談を受ける中、相談者が抱える多様な生活課題に対して各種事業を活用し支援を行ったほか、他法他施策活用の検討を行い、相談者の自立支援に努めた。</p> <p>1 自立相談支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活困窮相談件数 302 件（対前年度比 +201 件） ・自立支援相談件数 227 件（対前年度比 +154 件） ・支援計画作成件数 23 件（対前年度比 △7 件） ・一般就労者数 5 人（対前年度比 △5 人） <p>2 住居確保給付金事業（新型コロナウイルス感染症対応事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用件数 23 件（対前年度比 +22 件） ・給付額 2,318,400 円 <p>3 就労準備支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用件数 3 件（対前年度比同数） <p>4 家計改善支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用件数 9 件（対前年度比 △3 件）
生活福祉相談事業	<p>福祉総合相談として、生活相談（心配ごと相談）・法律相談・行政相談・消費生活相談（所管：市民生活課）を実施し、課題の早期解決、被害防止や不安の解消に努めた。</p> <p>1 生活相談（心配ごと相談）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間相談件数 68 件（対前年度比 △22 件） <p>2 法律相談、行政相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法律相談 年間 12 回（毎月）実施 ・行政相談 年間 10 回（4 月・8 月を除く）実施

中国残留邦人等生活支援事業	<p>中国残留邦人等本人及び配偶者の生活の安定を目的として、生活保護に準じた生活費等基準により支援給付を行うとともに、生活に必要な支援通訳の派遣を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象世帯数（人数） 1世帯（1人） ・支援給付（生活・住宅・医療・介護） 1,074,515円 ・配偶者支援金 520,857円 ・自立支援通訳派遣 13回
障がい者等福祉事業	<p>身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者の手帳申請及び関連する事務等を行った。</p> <p>1 障がい者手当等給付事業</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 在宅の重度心身障がい児・者に特別障害者手当（35人394月分）、障害児福祉手当（16人171月分）を支給した。 13,307,780円 (2) 重度若しくは重度に準じる障がいのある児童の保護者に重度心身障害児童福祉年金を支給するとともに、特別児童扶養手当の進達事務を行った。 (年金206人、手当168人) 2,957,500円 <p>2 障がい者等福祉事業</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 障がい児・者の一時的介護のためタイムケア事業として、登録事業者に介護委託の給付を行った。 個人：利用者 4人、延利用時間 923時間 590,720円 (2) 障害者長野県民交通災害共済会費負担事業を行った。 身体574人、知的186人、精神289人、児童41人 計1,090人 423,700円 (3) 障がい者等へ福祉電話料の助成を行った。 (1人) 21,955円 (4) 障がい福祉サービス事業所に、「おかやバリアフリーガイドマップ」の掲載内容の情報更新作業を委託し、ホームページ上のデータ更新を行った。 120,000円 (5) 最重度の障がいのある方を1年間のうち半年以上在宅介護した介護者に、家庭介護者慰労金を贈った。 (37人) 1,530,000円 (6) 障がい者団体等の余暇活動については、新型コロナウィルス感染症拡大のため事業中止。 (7) 知的障がい者等が通所通園するため交通費補助を行った。 (11人) 174,293円 (8) 寝たきり等で福祉タクシー等を利用できない非課税世帯の障がい者・高齢者等を対象に寝台車の利用料の補助を行った。 (10件) 80,000円 (9) 障がい者虐待防止センターとして、相談等の対応に努めた。 (10) 障がい者事業所による園児用マスク製作・配布事業 新型コロナウィルス感染症拡大に伴う就労継続支援事業所受注減少に対する支援と、感染防止のため、園児用マスク製作を依頼した。 (4事業所) 1,000,000円 (24,164,748円)

障がい者自立支援給付事業	<p>障害者総合支援法の給付等に関する事業を行った。</p> <p>1 障がい福祉サービス利用希望者の認定調査を行い、医師意見書等を添付し、諏訪広域連合障害支援区分審査会に審査を依頼した。 広域割 岡谷市負担分 343, 049円</p> <p>2 障害者自立支援給付</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 介護給付 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr><td>・居宅介護</td><td>71人</td><td>8, 411. 5時間</td></tr> <tr><td>・重度訪問介護</td><td>1人</td><td>240. 0時間</td></tr> <tr><td>・同行援護</td><td>13人</td><td>960. 0時間</td></tr> <tr><td>・行動援護</td><td>4人</td><td>342. 0時間</td></tr> <tr><td>・短期入所</td><td>19人</td><td>527日</td></tr> <tr><td>・施設入所支援</td><td>58人</td><td></td></tr> <tr><td>・生活介護</td><td>98人</td><td></td></tr> <tr><td>・療養介護</td><td>8人</td><td></td></tr> </table> (2) 訓練等給付 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr><td>・自立訓練 (機能訓練)</td><td>1人</td></tr> <tr><td>・自立訓練 (生活訓練)</td><td>5人</td></tr> <tr><td>・就労移行支援</td><td>21人</td></tr> <tr><td>・就労定着支援</td><td>5人</td></tr> <tr><td>・就労継続支援 (A型)</td><td>45人</td></tr> <tr><td>・就労継続支援 (B型)</td><td>135人</td></tr> <tr><td>・共同生活援助</td><td>67人</td></tr> </table> (3) 特定障害者特別給付費 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr><td>(施設系)</td><td>52人</td></tr> <tr><td>(共同生活援助)</td><td>65人</td></tr> </table> (4) 相談支援給付 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr><td>・計画相談支援</td><td>355人</td></tr> <tr><td>・地域移行支援</td><td>3人</td></tr> <tr><td>・地域定着支援</td><td>1人</td></tr> </table> (5) 補装具費 障がい児・者に補装具費の支給を行った。(83件) (6) 高額障害福祉サービス等給付費 13人 (7) 自立支援医療 更生医療・育成医療の給付等事務及び精神通院医療の申請受付事務等を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・更生医療 申請 3件 (新型コロナウイルス感染症に伴う自動更新 7件) ・育成医療 申請 2件 ・精神通院医療 申請 447件 (新型コロナウイルス感染症に伴う自動更新 490件) (905, 721, 873円) 	・居宅介護	71人	8, 411. 5時間	・重度訪問介護	1人	240. 0時間	・同行援護	13人	960. 0時間	・行動援護	4人	342. 0時間	・短期入所	19人	527日	・施設入所支援	58人		・生活介護	98人		・療養介護	8人		・自立訓練 (機能訓練)	1人	・自立訓練 (生活訓練)	5人	・就労移行支援	21人	・就労定着支援	5人	・就労継続支援 (A型)	45人	・就労継続支援 (B型)	135人	・共同生活援助	67人	(施設系)	52人	(共同生活援助)	65人	・計画相談支援	355人	・地域移行支援	3人	・地域定着支援	1人
・居宅介護	71人	8, 411. 5時間																																															
・重度訪問介護	1人	240. 0時間																																															
・同行援護	13人	960. 0時間																																															
・行動援護	4人	342. 0時間																																															
・短期入所	19人	527日																																															
・施設入所支援	58人																																																
・生活介護	98人																																																
・療養介護	8人																																																
・自立訓練 (機能訓練)	1人																																																
・自立訓練 (生活訓練)	5人																																																
・就労移行支援	21人																																																
・就労定着支援	5人																																																
・就労継続支援 (A型)	45人																																																
・就労継続支援 (B型)	135人																																																
・共同生活援助	67人																																																
(施設系)	52人																																																
(共同生活援助)	65人																																																
・計画相談支援	355人																																																
・地域移行支援	3人																																																
・地域定着支援	1人																																																
障がい者地域生活等支援事業	<p>障害者総合支援法の地域生活支援事業による給付等に関する事業を行った。</p> <p>(1) 障害者優先調達推進法に基づき、「岡谷市障がい者就労施設等からの物品等の調達方針」を策定し、府内各課等での積極的な調達を推進した。</p> <p>目標額 1, 500, 000円 実績額 4, 380, 307円</p> <p>(2) 岡谷市社会福祉協議会に委託し、岡谷市成年後見支援センターの運営を行った。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr><td>相談者数</td><td>137人 (実人数)</td></tr> <tr><td>相談件数</td><td>419件 (延べ件数)</td></tr> </table>	相談者数	137人 (実人数)	相談件数	419件 (延べ件数)																																												
相談者数	137人 (実人数)																																																
相談件数	419件 (延べ件数)																																																

	<p>申立て支援 23件（延べ件数） 法人後見人等受任 2人（累積数） 7, 456, 450円</p> <p>(3) 聴覚障がい者のコミュニケーション支援事業として、手話通訳者設置、手話通訳者・要約筆記者派遣事業、社会参加等の促進や生活支援の事業として、作業訓練や生活体験等を地域生活支援事業委託事業として行った。 委託先：岡谷市社会福祉協議会 10, 235, 824円</p> <p>(4) 基本相談支援業務等及び地域生活支援拠点事業について、諏訪圏域障がい者総合支援センター オアシスに委託し、6市町村共同で事業を行った。 9, 241, 331円</p> <p>(5) 重度障がい児・者の日常生活の便宜を図るため、日常生活用具等の給付を行った。（支給件数 1, 109件） 10, 877, 163円</p> <p>(6) 社会参加等の外出時の介助支援のため、移動支援事業を実施した。 ・個別支援（利用者 40人 1499.5時間） ・グループ支援（利用者 8人 218.5時間） 4, 207, 268円</p> <p>(7) 居宅での訪問入浴サービス事業の給付を行った。 (利用者 5人 350回) 4, 202, 576円</p> <p>(8) 障がい者等の日中における活動の場を確保する日中一時支援事業者に介護委託の給付を行った。 (利用者 108人、延利用時間 5, 433.5時間) 4, 354, 800円</p> <p>(9) 身体障がい者の自動車運転免許取得及び自動車改造に係る費用の助成を行った。 (利用者 1人) 100, 000円</p> <p>(10) 障がい者支援施設等への通所に要する交通費の助成を行った。 (対象者 2人) 7, 455円</p> <p>(11) 地域活動支援センター 身体障害者デイサービス事業和楽（利用者 9人） 5, 363, 236円 ひだまりの家（利用者 15人） 3, 450, 065円 ひまわりの里（茅野市）（利用者 1人） 271, 119円 (56, 341, 363円)</p>
障がい児通所給付等事業	<p>障がい児の通所サービス等にかかる給付を行った。</p> <p>1 障がい児通所給付 ・児童発達支援 利用者 18人 2, 094日 ・放課後等デイサービス 利用者 84人 7, 998日 ・保育所等訪問支援 利用者 38人 187日</p> <p>2 高額障害児通所給付 利用者 4人</p> <p>3 障害児相談支援給付 ・障害児計画相談 利用者 117人 (112, 589, 130円)</p>
おかや総合福祉センター管理事業 (諏訪湖ハイツ)	<p>1 指定管理者に岡谷市社会福祉協議会を指定し、市民の健康福祉の増進と生涯学習活動を促進した。また指定期間の満了に伴い、令和3年度からの5年間について、指定管理者の選定業務を行った。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> 温泉施設（開館日数 307 日、1日平均利用者 292 人） <ul style="list-style-type: none"> 利用者数 89, 717 人 無料利用者 14, 277 人 有料利用者 75, 440 人 生涯学習施設（開館日数 286 日 1 日平均利用者 152 人） <ul style="list-style-type: none"> 利用者数 43, 588 人 <p>2 新型コロナウイルス感染症に関する対応として、4月6日から6月7日の間において、大浴場、福祉風呂を除き、生涯学習施設等を閉鎖した。また、この期間のうち4月29日から5月10日の間は、大浴場についても休業し、さらに5月11日から5月31日の間は、土日に限り大浴場を休業とした。</p> <p>6月1日から大浴場、福祉風呂を通常営業とし、6月8日からは、休憩室など一部施設を除き、生涯学習施設等について利用人数を制限して再開した。</p> <p>10月1日からは、閉鎖していた休憩室など一部施設も感染防止対策を施し、利用を再開、施設を完全開放した。</p> <p>館内における新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、指定管理者と連携を図りながら、注意喚起用の案内表示や職員による声掛け、館内消毒を徹底とともに、トイレの自動水栓化をはじめ、館出入口への顔認証熱センサー（手指消毒付き）や空間除菌装置の設置、プレイルームの絨毯をフローリングに交換するなどの対策を施した。</p>
児童扶養手当支給事業	<p>ひとり親家庭等の生活安定及び自立促進、児童の健全育成を図るため、以下により対象世帯に児童扶養手当を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 支給額 <ul style="list-style-type: none"> (全部支給) 月額 42, 910 円 (一部支給) 月額 43, 150 円～10, 180 円 第2子加算額 <ul style="list-style-type: none"> (全部支給) 月額 10, 190 円 (一部支給) 月額 10, 180 円～5, 100 円 第3子以降加算額（一人につき） <ul style="list-style-type: none"> (全部支給) 月額 6, 110 円 (一部支給) 月額 6, 100 円～3, 060 円 支給延べ世帯数 4, 122 人 <ul style="list-style-type: none"> うち全部支給者 1, 773 人 一部支給者 2, 349 人 第2子加算世帯数 1, 715 人 第3子以降加算世帯数 476 人 支給合計額： 163, 690, 530 円
ひとり親家庭自立支援給付等事業	<p>1 ひとり親家庭等相談事業</p> <p>ひとり親家庭が抱える多様な課題に対し、母子・父子自立支援員を中心として相談に応じた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 母子・父子家庭数 577 世帯 相談件数 805 件 <p>2 ひとり親家庭の親の自立支援給付事業</p> <p>ひとり親家庭の経済的自立に効果的な資格取得を支援するため、教育訓練講座の受講支援や、養成機関に1年以上就学する場合の生活費を支援する給付金を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 高等職業訓練促進給付金 1 人（支給額： 846, 000 円）

	<p>3 ひとり親家庭等生活支援給付金支給事業(市単独事業) (新型コロナウイルス感染症対応事業)</p> <p>新型コロナウイルス感染症により就業や家計に影響を受ける中で、子育てをしているひとり親家庭等の生活支援を目的として、緊急的に一時給付金を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支給対象 児童扶養手当受給者及び、減収により、収入額が児童扶養手当受給対象相当となった者 ・対象者数 393世帯 (603人分) ・支給額 18,090,000円 <p>4 ひとり親世帯臨時特別給付金支給事業(国事業) (新型コロナウイルス感染症対応事業)</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、子育てと仕事を一人で担う低所得のひとり親世帯を支援することを目的として、臨時特別給付金を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支給対象 児童扶養手当受給者及び、減収により収入が児童扶養手当受給対象相当となった者 ・対象者数 基本給付、追加給付、再支給 計 延べ1,108世帯 ・支給額 69,320,000円
生活保護事業	<p>1 被保護者に対して必要な保護を実施した。(R3.3月末時点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被保護世帯数 197世帯 ・被保護者数 234人 ・保護率 5.0% (1,000分比) ・生活保護扶助費 318,106,312円 <p>2 生活保護面接相談</p> <p>要保護者に対し、生活相談を受ける中で申請に基づき保護を開始した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接相談件数 100件 (対前年度比 +12件) ・保護申請件数 38件 ・保護開始世帯 33世帯 38人 <p>3 就労支援による自立助長等</p> <p>被保護者への保護を実施する中、稼働能力の活用、他法他施策を促す等の助言指導を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稼働能力のある被保護者への就労支援 10人 <p>4 施設への入所</p> <p>単身世帯のうち、障害等により生活が困難な被保護者に対して施設入所により保護を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救護施設 八ヶ岳寮ほか5施設 30人 ・障害者支援施設及び介護施設等 16人 <p>5 保護廃止世帯 19世帯 29人</p>
災害被災者支援事業	<p>1 市内で発生した災害等の被災者に対して災害見舞金を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害見舞金 150,000円 5件 ・内訳 火災による見舞金 死亡 (火災に伴う死亡) 30,000円× 1件 全壊 (焼失) 30,000円× 4件 (150,000円)

第3 主要な統計、行政資料等

1 民生児童委員（主任児童委員含む）の活動状況

内容別相談・支援件数	在宅福祉	210 件
	介護保険	76 件
	健康・保健医療	165 件
	子育て・母子保健	379 件
	子どもの地域生活	444 件
	学校生活・子どもの教育	196 件
	生活費	64 件
	年金・保険	13 件
	仕事	18 件
	家族関係	74 件
	住居	55 件
	生活環境	91 件
	日常的な支援	437 件
	その他	1,107 件
	計	3,329 件
分野別相談・支援件数	高齢者に関すること	1,835 件
	障がい者に関すること	70 件
	子どもに関すること	1,089 件
	その他	335 件
	計	3,329 件
その他の活動件数	調査・実態把握	13,342 件
	行事・事業・会議への参加協力	1,591 件
	地域福祉活動・自主活動	5,216 件
	民児協運営・研修	4,446 件
	証明事務	66 件
	要保護児童の発見の通告・仲介	3 件
訪問回数	訪問・連絡活動	15,841 回
	その他	15,048 回
連絡調整回数	委員相互	7,572 回
	その他の関係機関	3,864 回
活動日数		延 17,858 日

2 福祉タクシー運行事業

年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
運行回数	21,484回	20,791回	20,424回	19,771回	16,515回
乗車人員	24,546人	23,573人	23,155人	22,232人	18,254人
販売枚数	2,393枚	2,245枚	2,165枚	2,315枚	1,835枚

3 中国残留邦人等生活支援事業

支援給付金支出状況

区分	世帯数(延べ)	人数(延べ)	支給額
生活支援給付	世帯 12	人 12	円 804,965
配偶者支援金	12	12	520,857
住宅支援給付	12	12	138,000
医療支援給付	8	8	131,550
介護支援給付	0	0	0
合計	44	44	1,595,372

4 障がい福祉

(1) 障害者手帳所持状況

ア 身体障害者手帳

(令和3年3月31日現在)

区分	視覚 障がい	聴覚平衡 機能障がい	音声言語 機能障がい	肢 体 不自由	内 部 障がい	計
18歳以上	人 128	人 110	人 12	人 906	人 721	人 1,877
男	58	47	11	385	429	930
女	70	63	1	521	292	947
18歳未満	1	2	1	11	5	20
男	1	1	0	4	2	8
女	0	1	1	7	3	12
計	129	112	13	917	726	1,897
男	59	48	11	389	431	938
女	70	64	2	528	295	959

イ 療育手帳

区分	重度	中度	軽度	計
18歳以上	人 107	人 109	人 134	人 350
男	57	68	72	197
女	50	41	62	153
18歳未満	21	14	42	77
男	13	7	29	49
女	8	7	13	28
計	128	123	176	427
男	70	75	101	246
女	58	48	75	181

ウ 精神障害者保健福祉手帳

区分	1級	2級	3級	計
計	人 297	人 208	人 43	人 548
男	152	115	23	290
女	145	93	20	258

(2) 障害者総合支援法の自立支援給付等の状況

事業種別		対象	支出額(円)
障害福祉サービス費等	居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護	延 1,006人	44,071,616
	上記以外の介護給付費等	延 4,622人	772,533,160
	特定障害者特別給付費	施設入所系 グループホーム系 延 1,440人	7,106,957 6,661,212
相談支援給付費	地域相談支援給付費	延 18件	273,482
	計画相談支援給付費	延 1,203件	17,836,000
補装具費		延 83件	8,330,809
高額障害福祉サービス等給付費		延 110人	703,570
自立支援医療費	育成医療	延 10件	161,717
	更生医療	延 155件	26,284,871
	療養介護医療	延 114件	7,538,913

(3) 障がい福祉サービス事業における施設・事業所の利用状況

ア 障がい者支援施設

(単位:人)

施設の種類	R元年度末	R2年度中の増減		R2年度末
		増加数	減少数	
生活介護(施設入所支援)	55	3	2	56
療養介護施設	8	0	0	8
支援施設合計	63	3	2	64

イ 障がい福祉サービス事業所

(単位:人)

施設の種類	R元年度末	R2年度中の増減		R2年度末
		増加数	減少数	
就労移行支援	8	13	11	10
就労定着支援	3	2	1	4
就労継続支援A型	41	4	3	42
就労継続支援B型	114	21	6	129
生活介護 (通所事業所、基準該当含む)	40	3	0	43
自立訓練	4	2	1	5
通所サービス合計	210	45	22	233
共同生活援助(グループホーム)	56	4	2	58

(4) 障害者手当等支給状況

区分	支給対象者数	支給総額
特別障害者手当	人 35	円 10,766,000
障害児福祉手当	16	2,541,780
重度心身障害児童福祉年金	206	2,957,500

(5) 特別児童扶養手当進達事務状況

区分	新規申請数	その他申請数 (更新手続き等)	R3.3月の 受給者数	備考
特別児童扶養手当	人 29	人 58	人 168	国3/4 県1/4負担

5 障がい児福祉

(1) 障がい児通所給付の状況

事業種別	対象	支出額(円)
児童発達支援給付費	延 145人	29,025,560
放課後等デイサービス給付費	延 1,180人	75,213,127
保育所等訪問支援給付費	延 181人	3,060,391
障害児相談支援給付費	延 299件	4,771,718

(2) 障がい児通所施設の利用者状況

(単位:人)

施設の種類	R元年度末	R2年度中の増減		R2年度末
		増加数	減少数	
福祉型児童発達支援	13	5	4	14
放課後等デイサービス	105	17	16	106
事業所合計	118	22	20	120

※福祉型児童発達支援・放課後等デイサービスは利用者が複数の事業所を利用しているため、全ての利用事業所に人数を計上した。

6 ひとり親家庭福祉

(1) 児童扶養手当支給状況

年 度	人	支給世帯数(延べ)		支給額 円
		全部支給	一部支給	
令和2年度	4,122	1,773	2,349	163,690,530
令和元年度	5,151	2,332	2,819	206,166,210
平成30年度	4,370	1,802	2,568	169,253,800
平成29年度	4,600	1,772	2,828	177,844,630
平成28年度	4,815	1,904	2,911	182,418,260

(2) ひとり親家庭の相談状況

種 別	相談件数	種 別	相談件数
母子父子寡婦福祉資金貸付	52 (35)	件 公的年金	10 (5)
児童扶養手当	280 (268)	就職	76 (69)
住宅	9 (9)	医療	110 (80)
生活援護・税	136 (12)	離婚	30 (42)
養育費	16 (3)	家庭紛争	3 (10)
子の養育・悩み	3 (30)	教育	10 (32)
生活不安等	40 (5)	その他	30 (50)
相談件数合計			805 (650)

() は前年度の状況

7 生活保護

(1) 生活保護費支出状況

区 分	世帯数 (延べ)	人 数 (延べ)	支 給 額
生活扶助	世帯 1,736	人 2,116	円 89,427,523
住宅扶助	1,519	1,882	37,516,066
教育扶助	64	100	726,280
介護扶助	260	266	4,844,008
医療扶助	2,019	2,246	131,081,483
生業扶助	42	44	285,330
葬祭扶助	2	2	245,596
就労自立給付金	2	2	66,331
施設事務費	372	372	53,913,695
合 計	6,016	7,030	318,106,312

(2) 被保護世帯数、被保護者数、保護率、相談件数 (年度末)

年 度	世帯数	人 数	保 譲 率	相 談 件 数
令和 2 年度	世帯 197	人 234	% 5.0	件 100
令和元年度	183	225	4.7	88
平成 30 年度	185	230	4.7	87
平成 29 年度	188	236	4.8	104
平成 28 年度	185	229	4.6	96

介 護 福 祉 課

第1 概説

介護福祉課では、第8次岡谷市高齢者福祉計画及び諏訪広域連合第7期介護保険事業計画に基づき、各種事業を実施した。

また、諏訪広域連合第8期介護保険事業計画との整合性を図りながら、計画期間を令和3年度から令和5年度とする第9次岡谷市高齢者福祉計画を策定した。

1 高齢者福祉事業

ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増加していることから、援護が必要な高齢者の実態把握を行い、在宅での生活を支援するための各種事業を実施した。

2 介護保険事業

保険者である諏訪広域連合と連携し、介護保険の各種申請受付、要介護認定調査、介護保険料の収納等の事務を行った。

3 地域支援事業

介護保険の被保険者が要介護状態等になることを予防し、社会に参加しつつ、地域において自立した日常生活を営むことができるよう、岡谷市地域包括支援センターが中心となり、諏訪広域連合から受託した介護予防事業・包括的支援事業・任意事業を実施した。

介護予防事業として実施する通所型介護予防事業や、生きがいデイサービス事業等集団形式で実施する事業においては、新型コロナウィルス感染症の発生動向に応じて、事業の中止や、会場内の消毒と換気の徹底及び参加者の体調の確認等、新型コロナウィルス感染症拡大防止策を講じたうえで実施した。

また、包括的支援事業として実施する包括的・継続的ケアマネジメント事業や、在宅医療・介護連携推進事業等においては、会議の構成員が地域の医療・介護関係者であることから、会議予定を変更し、通信等の手段により情報共有を図り、連携に努めた。

地域全体で高齢者等の見守り体制の強化を図る「あったか見守りネットワーク事業」では、新たに4業種8事業者との見守り協定を締結した。

任意事業では、家庭介護者慰労金の支給、介護者のリフレッシュを図る介護者教室の開催、在宅要介護高齢者紙おむつ等購入費の支給、配食サービスなどを行い、家庭介護者の負担軽減を図った。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
高齢者生活支援事業	<p>1 敬老祝賀事業</p> <p>(1) 88歳、99歳及び105歳の高齢者に対して敬意を表し敬老祝金を贈呈した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・88歳 (3,000円) 373人 ・99歳 (10,000円) 34人 ・105歳 (20,000円) 2人 <p>(2) 男女の最高齢者に祝品(カタログギフト)を贈呈した。</p> <p>(3) 100歳高齢者の代表1名(男性)を市長が慶賀訪問した。</p>
高齢者クラブ活動補助金	<p>1 高齢者クラブ連合会補助金</p> <p>高齢者クラブ連合会の事業活動に対して助成を行った。</p> <p>2 地区高齢者クラブ補助金</p> <p>地区単位で行われている高齢者クラブの活動に対して助成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位クラブ数: 17クラブ ・会員数: 1,030人(令和3年3月31日現在) <p>(862,000円)</p>
シルバー人材センター補助金	<p>高齢者に就業の機会を提供する等、生きがいの創出と社会参加の機会拡大を図るため、岡谷下諏訪広域シルバー人材センターに対して助成を行った。</p> <p>(13,508,000円)</p>
要援護高齢者生活支援等事業	<p>1 いきいき生活支援サービス事業</p> <p>介護保険で自立(非該当)と認定された高齢者や、利用限度額では必要なサービスが不足する要介護認定者に対して、生活支援サービスを提供する事業だが、当該年度利用実績はなかった。</p> <p>2 訪問理美容サービス事業</p> <p>外出困難な高齢者等が、在宅で理美容サービスを受けるための出張経費の助成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請者数: 3人 利用者数: 3人 利用回数: 7回 <p>3 住宅改修アドバイザー事業</p> <p>高齢者等が居住している住宅を改修するに当たり、申請に基づき適切な住宅改修を行うための指導助言を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録アドバイザー(建築関係者) 11人 ・委嘱アドバイザー(保健・医療・福祉関係者) 7人 <p>4 福祉電話の貸与</p> <p>ひとり暮らしの高齢者等が、家庭内で急病等緊急事態が発生した時、安否の確認等に対応するため福祉電話を貸与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉電話: 2台 <p>5 日常生活用具給付事業</p> <p>ひとり暮らし高齢者等の安全な暮らしを守る一助にする事業で、電磁調理器等の日常生活用具の給付を行う事業だが、当該年度の利用実績はなかった。</p> <p>6 見守り安心ネットワークの組織</p> <p>民生児童委員を中心に、協力員による見守り安心ネットワークを組織し、ひとり暮らし高齢者等の安否確認を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見守り安心ネットワーク登録者数 2,221人 <p>(令和3年3月31日現在)</p>

養護老人ホーム措置事務	経済的理由と環境的理由により地域生活が困難な高齢者を、養護老人ホームへ入所措置した。 ・入所者数：39人（令和3年3月31日現在） (95,515,605円)
介護保険事務	<p>1 要支援認定及び要介護認定に係る事務</p> <p>(1) 認定申請数： 2,374件 うち新規： 620件 更新： 1,480件 区分変更： 274件</p> <p>(2) 諏訪広域連合介護認定審査会（岡谷市分） ・開催回数： 219回 ・審査結果： 2,160件</p> <p>2 介護保険料収納事務</p> <p>介護保険料滞納者に対して電話や文書による督促や催促を行うことで、特に現年度分収納に力を入れ、介護保険料を収納した。</p> <p>(1) 介護保険料収納状況（令和3年5月31日現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> 現年 調定額 1,067,074,780円 収納済額 1,062,436,890円 収納率99.57% 滞納繰越分 調定額 12,577,970円 収納済額 3,119,550円 収納率24.80% 不納欠損額 3,911,010円 <p>3 低所得者に対する軽減制度の実施</p> <p>(1) 介護保険利用者負担額減免措置</p> <ul style="list-style-type: none"> 減免対象者： 15人 うち要保護者に準ずる者： 2人 生活保護受給者： 6人 市民税所得割非課税世帯で生計困難に準ずる者 7人 <p>(2) 介護保険施設等の食費・居住費に係る負担限度額認定</p> <ul style="list-style-type: none"> 申請者合計： 468人 うち第1段階： 11人 第2段階： 72人 第3段階： 375人 第4段階： 10人 <p>4 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）の入退所調整</p> <p>原則として要介護3以上の方のみが入所できる。ただし、要介護1、2の方でもやむを得ない事情（特例入所要件）があれば特例的に入所は可能</p> <ul style="list-style-type: none"> 入所希望者数： 156人（令和3年3月31日現在） 入所者数： 61人 退所者数： 59人 <p>5 各種証明書の発行</p> <ul style="list-style-type: none"> 税金の障害者控除に係る控除対象者認定書： 160件 税金の医療費控除に係るおむつ使用確認証： 10件 <p>6 介護保険広報啓発事業</p> <p>(1) 市報、ホームページ等による制度周知</p> <p>(2) 介護保険出前講座 ・介護予防 回数：4回 受講者数：51人</p>

	<p>(3) 被保険者証交付説明会（65歳到達者説明会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催数：9回（7月～3月） ・出席者数：208人（対象者418人） <p>4月、5月、6月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止し、資料送付とした。（134人）</p>
介護予防事業	<p>1 介護予防・生活支援サービス事業 介護予防ケアマネジメント事業 要支援者及び事業対象者に対して、課題分析、ケアプランの作成及び相談援助等を行うなど、必要なサービス利用に繋げ、重度化防止に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要支援1・2認定者数：695人 ・事業対象者数：49人 （令和3年3月31日現在） ・介護予防支援・介護予防ケアマネジメント 実施者数：491人 内、事業所委託数：177人 （令和3年3月31日現在） <p>2 一般介護予防事業</p> <p>(1) 介護予防把握事業 民生児童委員による要援護高齢者台帳整備や訪問活動、地域住民や介護支援専門員等からの情報提供を元に、支援を必要とする者を把握し、支援につなげた。</p> <p>(2) 介護予防普及啓発事業</p> <p>①教室案内・申込受付業務 事業対象者・要支援・要介護認定者、認定申請中者、広域外住所地特例者を除いた第1号被保険者の方（令和3年度予定者も含む）へ教室案内を送付し、介護予防普及啓発事業の対象者リストの作成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者：14,043人 ・希望者：599人 （令和3年3月31日現在） <p>②通所型介護予防事業（ねこまぬ先のびんびんキラリ☆教室） 一般介護予防事業対象者に対し、運動器の機能向上、栄養改善、口腔機能の向上、認知症予防のための教室を実施し、介護予防に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施教室数：18教室（12回コース） ・参加実人数：179人 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した教室数：14教室（12回コース） <p>③介護予防講演会 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>(3) 地域介護予防活動支援事業</p> <p>①生きがいデイサービス事業 介護予防の一環として地域の支え合いを基本に、地区の公会所等を利用して、家に閉じこもりがちな高齢者の生きがいづくりと心身のリフレッシュを図った。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の休止、時間短縮、昼食の禁止などを行った。</p> <p>（岡谷市社会福祉協議会に委託）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施箇所：24箇所（20地区） ・登録者数：580人 ・実施回数：715回 延べ参加者数：4,583人 ・健康ポイント引換券発行数：新規44枚、継続397枚 引換数：新規14枚、継続217枚

	<p>②ねこまぬ大使活動支援 ねこまぬ大使が介護予防リーダーとして活躍できるよう支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なつめの会の運営（ねこまぬ大使が立ち上げた自主グループ） 参加者：4名 <p>(4) 地域リハビリテーション活動支援事業</p> <p>①新規グループ活動支援事業 地域における介護予防の取り組みを強化するために、住民運営の通いの場にリハビリテーション専門職等の派遣や相談など継続支援を実施した。 <支援グループ> ・参加グループ数：6グループ 登録人数：51人 (65,470,055円)</p>
包括的支援事業	<p>1 包括的・継続的ケアマネジメント事業</p> <p>(1) ケアマネジメント研究部会 市内を営業拠点とする事業所の介護支援専門員を対象に、ケアマネジメントの質の向上のための研究・学習を行うケアマネジメント研究部会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、代表者会のみ実施した。 ・代表者会：2回 参加者数：10人</p> <p>(2) 主任ケアマネジャーの会 岡谷市内の主任ケアマネジャーを対象として、ケアマネジメントの課題に向き合い、ケアマネジャーの質の向上に努めた。 ・開催数：2回 参加者数：18人</p> <p>(3) サービス事業者等連絡会 介護サービス提供事業者等を対象に、制度等に関する情報提供、事業者間の情報交換を目的とした連絡会を、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために書面会議として実施した。 ・開催数：10回</p> <p>2 権利擁護事業</p> <p>(1) 高齢者のための司法書士による無料法律相談日 ・毎月1回（第3水曜日） 相談者 延べ22人</p> <p>(2) 高齢者虐待に関する対応 ・相談件数 延べ152件（実件数26件） (このうち、虐待を確認した実件数12件)</p> <p>3 総合相談事業 介護等について広く市民の相談に応じ、適切な支援へつなぐとともに、継続的な見守り等を行うため、戸別訪問等により高齢者や家族の状況等の実態把握に努めた。 ・相談件数： 4,065件</p> <p>4 生活支援・介護予防の体制整備事業 新型コロナウイルス感染症の影響を受け積極的な会議等ができなかったが生活支援コーディネーターが中心となり、地域課題と生活支援ニーズの把握、地域における生活支援の取り組みを支援した。（岡谷市社会福祉協議会に委託）</p> <p>○地域に出向いての活動 ・地区社会福祉協議会への情報提供、出前講座、意見交換等 5回 ・地域の資源や取り組みの情報収集 11回</p> <p>○研修会等への参加 1回</p> <p>○関係機関との会議 8回</p> <p>○地域福祉ネットワーク会議は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。</p>

○小井川区等の移動支援の取り組みについて、学習会を開催し、課題解決に向けて協議した。

○生活支援に関するサービスを提供する事業所・団体をまとめた情報ガイド「岡谷市暮らしのサービス紹介（岡谷市社会福祉協議会発行）」の編集に協力した。

5 認知症施策推進事業

(1) 認知症初期集中支援チーム（平成28年8月30日設立）

複数の専門職により認知症が疑われる人、認知症の方とその家族を訪問し、アセスメントや家族支援などの初期の支援を包括的・集中的に行い、自立支援のサポートを行った。

・相談件数：12件

(2) 認知症地域支援・ケア向上事業

地域の実情に応じて医療機関、介護サービス事業所や地域の支援機関をつなぐ連携支援や認知症の方やその家族を支援する業務等を行った。

○認知症地域支援推進員の配置5人（市職員4人、岡谷市社会福祉協議会職員1人）

○認知症サポーター養成講座 開催数 17回
参加者数 344人

○認知症カフェ支援

・本人ミーティング岡谷

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

・オレンジカフェ小井川 開催数 8回
参加者数 111人

○もの忘れ・健康相談会

人の多く集まる場所へ出向き、認知症や介護に関する情報提供、相談を実施した。

・諏訪湖ハイツ 参加者数 20人

6 地域ケア会議推進事業

○地域ケア個別会議（I）

地域包括支援センターに寄せられる個別支援・総合相談や、支援困難事例について、解決に向けて隨時開催した。また、介護支援専門員による自立支援に資するケアマネジメントの支援を行った。

開催回数：6回 延べ検討事例数：6件（実件数5件）

○地域ケア個別会議等から把握された地域課題について検討を行う地域ケア会議（II）及び、高齢者支援に関わる多職種・多団体が協議し、地域のネットワークの構築を図るための地域ケア推進会議（III）は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

7 在宅医療・介護連携推進事業

地域の医療・介護の関係機関が連携し、包括的かつ継続的な在宅医療・介護の一体的な提供のための協議を行う在宅医療・介護連携推進事業では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、通信等の手段を中心に、関係者の情報共有に努めた。

○活動方針等決定のための正副会長会の開催 2回

○岡谷市在宅医療介護ガイドマップを市民への全戸配布及び関係機関への配布をし、周知を図った。

8 あつたか見守りネットワーク事業

認知症等高齢者の行方不明時に備え、高齢者の写真や特徴等の情報を登録し、警察と情報共有することで、早期発見・早期保護を図った。地域を巡回する機会が多い民間事業所と連携し、高齢者を見守る体制を強化した。

	<ul style="list-style-type: none"> ・新規協力事業者(水道、電気、ガス等事業者及び保険会社) 8事業者と協定締結(令和2年10月27日) ・見守り協定締結事業者 19社 ・事前登録者数 29人 ・安否確認等の対応 4件 <p>(100,881,887円)</p>
任意事業	<p>1 要介護者介護用品購入費支給事業 要介護3以上の要介護者を在宅で介護する家族の支援として、介護用品(紙おむつ・尿取りパット)の購入に係る費用の一部を助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要介護3以上で市民税非課税の方の在宅介護者 51人(月額3,000円を限度に助成) ・市民税非課税世帯で要介護4・5の方の在宅介護者 29人(月額6,000円を限度に助成) <p>2 家庭介護者慰労金 要介護3以上の要介護者を1年間のうち半年以上在宅介護した介護者に慰労金を贈呈した。</p> <p>対象者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険サービス利用者: 180人(年額3万円) ・介護保険サービス未利用者: 3人(年額10万円) <p>3 介護相談員派遣事業 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、介護保険施設等への介護相談員の訪問は実施せず、介護相談員連絡会議のみ実施した。また、訪問対象施設へ介護相談員メッセージビデオを配付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護相談員: 18人 ・訪問対象施設: 20施設 ・施設訪問回数: 0回 <p>4 24時間緊急時駆けつけ安心サービス事業 ひとり暮らし高齢者等の緊急事態等における通報手段を確保するため、緊急通報端末を貸与し緊急事態等への対応を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数: 107人 <p>5 配食サービス事業 食の自立支援事業として、虚弱でひとり暮らしの高齢者等で安否確認が必要な者に対し、配食サービスを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1日1食、週5回まで1食200円を上限に助成 ・利用者: 89人 ・配食数: 10,455食 <p>6 家庭介護者支援事業 介護者等に対し、介護知識の普及啓発、介護者相互の交流、介護に関する悩み等の相談に応じることにより、介護者の支援と福祉の増進を図った。新型コロナウイルス感染症の影響により、1事業所において実施できなかった。</p> <p>(介護者教室) • 実施事業所: 3事業所 • 実施回数: 9回 • 参加者数: 64人</p> <p>(介護者交流会) • 実施回数: 3回 • 参加者数: 23人</p> <p>(14,422,172円)</p>

第3 主要な統計、行政資料等

1 高齢者福祉の状況

養護老人ホーム措置状況（令和3年3月31日現在）

単位：(人)

区分	元年度末 入所人員	2年度中の増減		2年度末 入所人員
		入所	退所	
岡谷和楽荘	30	3	4	29
聖母寮	5	0	0	5
寿和寮	4	0	2	2
光の園	2	0	0	2
松風園	1	0	0	1
合計	42	3	6	39

2 介護保険の状況

(1) 被保険者数等の状況（令和3年3月31日現在）

単位：(人)

区分	諏訪広域連合		岡谷市		備考
	計画数	実績数	計画数	実績数	
第1号被保険者数	63,228	63,149	16,504	16,507	
要介護・要支援者数	11,662	11,242 (188)	3,123	2,871 (52)	()内の数値は、 第2号被保険者数

(2) 要支援・要介護認定の状況（令和3年3月31日現在）

要介護度	諏訪広域連合		岡谷市	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
要支援1	1,390	12.36	343	11.95
要支援2	1,455	12.94	352	12.26
要介護1	2,879	25.61	753	26.23
要介護2	1,711	15.22	412	14.35
要介護3	1,544	13.74	389	13.55
要介護4	1,253	11.15	350	12.19
要介護5	1,010	8.98	272	9.47
合計	11,242	100.00	2,871	100.00

(3) 介護保険料の状況

ア 所得段階別第1号被保険者数（令和3年3月31日現在）

所得段階	諏訪広域連合		岡谷市	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
第1段階	5,774	9.10	1,472	8.92
第2段階	5,478	8.64	1,442	8.73
第3段階	5,506	8.68	1,483	8.98
第4段階	5,285	8.33	1,317	7.98
第5段階	12,407	19.56	3,440	20.84
第6段階	6,494	10.24	1,491	9.03
第7段階	6,270	9.89	1,656	10.03
第8段階	7,628	12.03	2,015	12.21
第9段階	4,469	7.05	1,126	6.82
第10段階	1,651	2.60	416	2.52
第11段階	1,195	1.88	338	2.05
第12段階	682	1.08	158	0.96
第13段階	251	0.40	67	0.41
第14段階	329	0.52	86	0.52
合 計	63,419	100.00	16,507	100.00

イ 介護保険料の収納状況（諏訪広域連合分）（令和3年5月31日現在）

区分	調定額 (円)	収納済額 (円)	収納率 (%)	収入未済額	
				滞 納 額 (円)	不 納 欠 損 額 (円)
現年度分	4,093,362,410	4,073,896,520	99.52	19,465,890	0
特別徴収	3,823,644,090	3,823,644,090	100.00	0	0
普通徴収	269,718,320	250,252,430	92.78	19,465,890	0
滞納繰越分	51,015,200	13,578,900	26.62	37,436,300	15,024,260
合 計	4,144,377,610	4,087,475,420	98.63	56,902,190	15,024,260

(4) 諏訪広域圏内介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）待機者の状況

ア 介護度別の状況（令和3年3月31日現在）

単位：(人)

区分	岡谷市	諏訪市	茅野市	下諏訪町	富士見町	原村	合 計
要介護1	4	2	1	6	1	1	15
要介護2	9	5	3	8	3	0	28
要介護3	48	43	50	23	11	10	185
要介護4	49	37	41	19	13	11	170
要介護5	46	44	35	17	5	6	153
合 計	156	131	130	73	33	28	551

イ 過去 5 年の推移 (各年度末)

単位：(人)

年度	岡谷市	諏訪市	茅野市	下諏訪町	富士見町	原村	合 計
H 28	103	106	131	64	43	15	462
H 29	127	96	152	59	39	20	493
H 30	185	138	198	83	34	23	661
R 元	177	130	154	94	35	19	609
R 2	156	131	130	73	33	28	551

3 地域包括支援センターの状況

(1) 介護予防ケアマネジメント状況 (令和 3 年 3 月 31 日現在) 単位：(人)

事業対象者	認 定 者		介護予防ケアマネジメント	
	要支援 1	要支援 2	直営	委託
49	343	352	314	177
合 計 695		合 計 491		

(2) 総合相談の状況 (令和 3 年 3 月 31 日現在) 単位：(件)

訪 問	電 話	窓口等	その他	合 計
601	2, 507	605	352	4, 065

4 任意事業

2 4 時間緊急時駆けつけ安心サービス利用状況

利用者数 単位：(人)

年度	利用者数
H 28	120
H 29	125
H 30	122
R 元	107
R 2	107

子 ど も 課

第1 概説

子ども課では、令和2年度からスタートした岡谷市子ども・若者育成支援計画及び第2期岡谷市子ども・子育て支援事業計画に基づき、輝く子どもの育成をめざした事業を新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をしながら実施し、計画の推進を図った。

1 児童福祉、子育て支援

子育て支援では、家庭児童相談員を一人増員し相談業務の体制強化やことばの教室等を実施したほか、岡谷市要保護児童対策地域協議会を開催し、関係機関と連携しながら、児童虐待の防止、早期発見等に努めた。

新規事業として、子育て家庭への経済的支援と出生祝いとしてオカヤペイのポイントをプレゼントする“未来のげんきっず”応援事業を実施した。

発達に支援の必要な子どもやその保護者が、成長過程の中で継続的な支援が受けられるよう、幼児を対象にフォローアップ教室（のびのび教室、あそびの教室）を実施したほか、育成支援コーディネーターを配置し、庁内関係部署や関係機関との連携を図りながら、幼児期の子どもの就学に向けた支援を行った。

通園訓練施設まゆみ園では、未就園児に対する療育訓練のほか、在園児を対象に「ほっぷ・すてっぷ・じゅんぶクラス」を行うなど、継続的な療育支援を実施した。

子育て支援館「こどものくに」では、複数の遊具を更新し、魅力向上を図ったほか、保育園併設の子育て支援センター（あやめ、みなと、川岸、ひまわり保育園）では、親子で遊ぶ場を提供した。また、子育て世代に対する相談、指導など、総合的な子育て支援を推進し、さらに、子育て支援館と子育て支援センターの交流を図ることで、一層の支援の充実を図った。

その他、新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえ、子育て世帯に対して国庫補助による臨時特別給付金を支給した。

2 保育所

子ども・子育て支援新制度のもと、各保育園において通常保育・長時間保育等を実施し、病児・病後児保育など、ニーズに合わせた保育を提供した。

保育園整備事業では、児童発達支援施設を併設する新西堀保育園の整備に向け、建物本体の建設工事等を行い、愛称を「イルフ西堀保育園」とし、11月30日に建物が竣工、12月21日に西堀保育園が開所したほか、将来を見据えた公立保育園の計画的な施設整備及び適正配置を図るため、岡谷市保育園整備計画【中期計画】

の策定に取り組んだ。

3 幼稚園

幼稚園教育の充実、振興を図るため、新制度による運営に移行した市内 2 私立幼稚園に対し、施設型給付費の支出及び運営費等の補助を行った。また、未移行の市内 1 私立幼稚園に対し、運営費等の補助を行うとともに、子育てにかかる保護者の負担を軽減するため、就園児童の保護者に対して、補助金を交付した。

このほか、児童の健康を守るための対策として市内 1 私立幼稚園に対し、教室、遊戯室へのエアコン整備に係る補助を行った。

第 2 実績総括

主要な事務事業	内 容
家庭児童相談事業	<ul style="list-style-type: none">家庭児童相談は、家庭児童相談員により家庭、保育園等における児童に係わる相談、指導を行った。 相談件数 延べ 3,033 件未就学児のことばの訓練教室『ことばの教室』を実施した。 開催日数 88 日 延べ利用者 381 人要保護児童対策地域協議会を開催し、関係機関の連携を図った。 代表者会議 0 回、実務者会議 4 回、研修会 0 回、 ケース検討会 67 回 (代表者会議及び研修会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)
子どもが集まる多機能広場「おかやコドモテラス」設置促進モデル事業	<ul style="list-style-type: none">身近な地域で子どもを支えることのできる新たな居場所づくりのきっかけをつくる官民協働のモデル事業「おかやコドモテラス」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。こども食堂等実施団体の現状や課題等、情報を交換しながら連携強化を図った。
通園訓練施設まゆみ園管理事業	<ul style="list-style-type: none">心身の発達に支援を必要とする未就園の児童に対し、機能訓練及び日常生活のための訓練、保護者への家庭における訓練方法の指導、療育に関し相談支援を行った。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4/6から5/17まで休園し、再開後は人数制限をしながら実施した。 利用人数 延べ 952 人保育園等へ通園中の児童に対して、小集団で遊びながら力を伸ばすための療育支援を実施した。 ほっぷ・すてっぷ・じゅんぶクラス 年少クラス 延べ 79 人、年中クラス 延べ 58 人 年長クラス 延べ 65 人 (7,881,761 円)
発達支援事業	<p>発達障がいや発達特性のある子どもとその保護者に対し、早期段階から支援を行うため、フォローアップ教室を開催した。</p> <p>発達支援の充実を図るため、発達支援施設の整備に向けた府内検討を進めた。</p> <ul style="list-style-type: none">フォローアップ教室 参加児童数 25 人新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、4月・5月の「のびのび教室」は中止、「あそびの教室」は個別対応で実施した。

子育て支援アプリ “げんきっずおかや” 事業	子育て世代が最も利用しているスマートフォンの特性を活かして、妊娠、出産、子育てに必要な情報を入手し、パーソナルデータの記録・管理ができる総合的な子育て支援アプリを通じて、情報の提供を行った。 ・新規登録件数 203件 (総件数 733件)
子育てパパ・ママリフレッシュ事業	乳児を養育している保護者の心身のリフレッシュ、育児負担の軽減を図るため、満1歳以上2歳未満の保護者へ利用券を配布し、保育所での休日保育、一時保育サービスの提供を行った。 ・利用券配布者数 292人 ・保育サービス利用者数 29人 (うち休日利用4人)
育児ファミリー・サポート・センター事業	児童の預かりに係る相互援助活動の事業を岡谷市社会福祉協議会に委託し、実施した。 依頼会員33人、提供会員18人、依頼・提供会員0人 利用延べ回数77回 (1,000,000円)
ショートステイ事業	1 委託事業 家庭での養育が一時的にできなくなった子どもの宿泊預かり事業を児童養護施設つづじヶ丘学園に委託して実施した。 ・利用者延べ28人 (130,625円) 2 新型コロナウイルス感染症対応事業 保育業務を継続的に実施するため、感染防止対策に係る体制を強化するなどの事業を実施した。岡谷市新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業補助金 (500,000円)
子育て応援協賛店パスポート事業	長野県将来世代応援県民会議事務局と連携・協働し、県内外の協賛店舗での買い物時に各種子育て支援サービスが受けられるパスポートを県外からの転入世帯等に随時配布する事業を実施した。 (有効期限R6年3月31日)
“未来のげんきっず” 応援事業	子育て家庭への支援として、出産時や子どものくに入館時にオカヤペイのポイントをプレゼントし、経済的な支援を行った。 ・出産時 (5,000ポイント) : 279名 ・子どものくに入館時 (5ポイント) : 561件
児童遊園整備補助事業	各地区管理の児童遊園について、整備にかかる補助金を交付し、児童の健全育成と安全確保に努めた。 ・改修9ヶ所 今井区 岡谷工業高校北側公園樹木伐採 三沢区 わんぱく広場劣化した危険な遊具の撤去 東堀区 古屋敷団地公園・御所公園・23町内公園・柴宮館・権現コミュニティ会館プラシコ下部の地面改質・土入れ 横川区 出早遊園地・小萩団地遊園地ベンチ設置 (139,697円)
児童手当支給事務	児童手当 (令和2年2月～令和3年1月分 2、3月随時) ・支給月額 3歳未満 一律 月 15,000円 3歳以上小学校修了前 第1・2子は月 10,000円、 第3子以降は月 15,000円 中学生 一律 月 10,000円 特例給付 一律 月 5,000円 (所得制限限度額以上) ・支給状況 3歳未満 延べ児童数 9,573人 143,595,000円 3歳以上 小学校修了前〃 36,510人 390,650,000円 中学生〃 13,897人 138,970,000円 特例給付〃 3,925人 19,625,000円 合計〃 63,905人 692,840,000円

子育て世帯への臨時特別給付金支給事業	<p>新型コロナウイルス感染症対応による子育て世帯への臨時特別給付金支給事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 一般支給対象者 3,135 人 対象児童 5,258 人 　　公務員支給対象者 257 人 対象児童 452 人 ・支給額 一人一律 10,000 円 合計 57,100,000 円
子育て支援館「こどものくに」運営事業	<p>1 運営事業</p> <p>子育て支援館「こどものくに」において、新型コロナウイルス感染拡大防止のため4/5から5/31まで休館し、再開後は子育て支援に向けた各種事業を、人数制限をしながら実施又は中止した。</p> <p>延べ来館者数 22,557人</p> <p>(1) 学び、支えあい事業（身近なテーマを取り上げた講座）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て講座（おやつ・食事、乳児、親子で運動・ヨガ、リトミック、みんなで食べよう！にこにこ家族） 　　新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ・N P プログラム 　　新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ・おしゃべりサロン 　　新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 <p>(2) 相談事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育児相談（看護師、保育士による常時の育児相談） ・子育て相談（臨床心理士による隔月の子育て相談） <p>年間相談総数 計 2,212 件</p> <p>(3) 情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ、メルマガ・掲示板による情報発信 ・お便り、「こどものくに新聞」、「こころ・からだ」の発行 <p>(4) ひろば事業</p> <p>親子の触れ合いや交流の場を提供し、育児支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わくわくタイム 毎日 11 時・15 時 2 回開催 ・つくっちゃんおう 第 2 木曜日 延べ参加者 49 組 ・七夕、クリスマス等の季節行事 　　新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ・ベビーマッサージ 第 3 木曜日 延べ参加者 30 組 ・リズム運動遊び 第 1 金曜日 　　新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ・おおきなおはなしたまご 第 3 金曜日 　　新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 <p>2 遊具更新事業</p> <p>複数の遊具を更新し、魅力向上と安全・安心の遊び場の整備を図った。</p> <p>(999,460 円)</p> <p>3 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策事業</p> <p>施設における感染症対策の徹底を図るため、消毒液などの物品や、感染防止用の備品などを全額国庫補助で購入し、感染防止対策の体制強化を図った。</p> <p>(456,214 円)</p>
地域子育て支援拠点事業	<p>子育て支援センターや地域と連携し、子育て支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サークルの育成 　　育児談話室による活動の場の提供と支援、施設管理を行った。 ・子育て相談 　　保育士・看護師による訪問相談を行った。 ・地域におけるサークルと指導者の育成 　　訪問講習や見学会、研修会の実施 随時 ・子育てに関する情報収集と提供を行った。

子育て支援センター事業（にこにこ子育て支援事業）	親子の交流、相談、情報交換の場として、保育園併設の子育て支援センターに相談員を配置し育児支援を行い、公立3センターにおいては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4/6から5/31まで休館し、再開後は人数制限をしながら実施した。 ・あやめ、みなと、川岸保育園 延べ利用者数 3,883人 ・ひまわり保育園 延べ利用者数 222人
子ども・子育て支援審議会	子ども・子育て支援法に基づく審議会として、子育て支援施策に関する審議を行うために会議を開催した。 ・第3次児童育成計画及び子ども・子育て支援事業計画に関する取り組み状況の報告 ・岡谷市保育園整備計画中期計画の策定に関する協議 審議会 3回開催 (154,000円)
私立保育園運営費等補助事業	1 運営費等補助事業 ・聖ヨゼフ保育園岡谷、ひまわり保育園、地域型保育事業（きらり岡谷市民病院園）の運営に対する補助を行い、児童の処遇向上と保育内容の充実を図った。 2 新型コロナウイルス感染症対応事業 ・感染拡大防止のため、対策用備品等を整備し、保育環境の向上を図った。岡谷市民間保育施設保育環境改善等事業補助金 (998,000円) ・保育業務を継続的に実施するため、感染防止対策に係る体制を強化するなどの事業を実施した。岡谷市新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業補助金 (1,500,000円) (31,163,278円)
多子世帯副食費支援事業	幼児教育・保育の無償化により施設が保護者から実費徴収する副食費について、多子を養育する世帯に対する減免（第2子50%、第3子以降100%）を実施した。これに伴い、市内私立施設（保育園・認定こども園・幼稚園）及び市外施設に通園する対象世帯に対し、減免相当額の補助を行った。 (4,863,858円)
公立保育所移管整備費補助金	岡谷市保育園整備計画に基づく保育所整備事業により、市が開設した保育所の移管運営法人（学校法人信学会）に対し、信学会東堀保育園整備事業にかかる補助を行った。 (11,950,785円)
私立認定こども園運営費等補助事業	1 運営費等補助事業 ・信学会東堀保育園の運営に対する補助を行い、児童の処遇向上と保育内容の充実を図った。 2 新型コロナウイルス感染症対応事業 ・感染拡大防止のため、対策用備品等を整備し、保育環境の向上を図った。岡谷市民間保育施設保育環境改善等事業補助金 (356,000円) ・保育業務を継続的に実施するため、感染防止対策に係る体制を強化するなどの事業を実施した。岡谷市新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業補助金 (500,000円) (11,796,025円)
病児・病後児保育事業	1 委託事業 病気や病気回復期にあり、家庭や保育園での保育が困難な児童を受け入れるため、民間医療機関に委託し、実施した。 ・利用日数144日 延べ利用者数231人 (8,989,000円) 2 新型コロナウイルス感染症対応事業 保育業務を継続的に実施するため、感染防止対策に係る体制を強化するなどの事業を実施した。岡谷市新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業補助金 (500,000円)

保育園健康管理事業	園児の健康管理のため、各種健康診断、検査等を実施したほか、食育推進についての調査、研究や保護者対象の講座、実習などを実施し、園児の健康増進に努めた。
保育職員研修事業	多様化する保育ニーズに応えるため、各種職員研修を実施し、保育園職員の資質の向上に努めるとともに、園長会、主査会、栄養士会等を定期的に実施して保育内容の充実を図った。
保育園舎運営事業	<p>1 運営管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一時休園中の若草保育園に関し、引き続き一時休園の継続を決定した。 ・公立保育園において、新型コロナウイルス感染拡大防止のため4/14から5/30まで家庭における保育の協力依頼を行い、登園日数に応じて保育料等の日割り計算を実施した。 <p>2 ぼくもわたしも おかやっ子事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡谷の歴史・文化・地域資源に触れ合う機会として体験型事業を実施した。 もろこし収穫体験（7園）、わかさぎ体験（試食のみ）、みそ作り体験は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 <p>3 飛び出せ元気な おかやっ子事業（スケート体験）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年長クラスを対象に伝統スポーツであるスケートに親しむ事業を実施した。 <p>4 世界にタッチ “英語に触れよう” 事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際交流員により、英語や外国文化に触れる事業を実施した。 <p>5 やってみようキッズエプロン隊事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節や旬の食材を活用し、児童が実際に見て、触れて、食べる一連の体験を実施した。（共通食材 薙、寒天） <p>6 新型コロナウイルス感染症対応事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染拡大防止のため、対策用備品等を整備し、保育環境の向上を図った。保育対策総合支援事業費国庫補助金 （5,744,753円） ・保育業務を継続的に実施するため、感染防止対策に係る体制を強化するなどの事業を実施した。新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金 （6,000,000円）
保育園整備計画の推進	<p>1 新西堀保育園・発達支援施設整備事業</p> <p>前年度に続き、建物本体の建設工事等を行い、11月30日に建物が竣工した。（12月21日保育園開所）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新西堀保育園・発達支援施設建築工事 （241,460,000円） ・新西堀保育園・発達支援施設電気設備工事 （67,900,000円） ・新西堀保育園・発達支援施設機械設備工事 （58,300,000円） <p>2 岡谷市保育園整備計画中期計画策定業務</p> <p>環境要因分析や保護者アンケート等の結果を踏まえて、行政区役員、保護者会役員と懇談したほか、子ども・子育て支援審議会において策定に向けた基礎資料の説明、課題の整理を行った。</p>
私立幼稚園運営費等補助事業	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育の推進、充実支援のため、市内3私立幼稚園に対して運営費等の補助を行った。 （3,768,000円） ・児童の安全管理のため、私立幼稚園が設置している警察直通緊急通報システムの運用、維持に対する補助を行った。 （27,500円）
私立幼稚園就園補助事業	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援のための就園補助事業として、同時に2人以上の児童が在園し、又は第3子以降の児童が在園する家庭に対し、保育料等の補助を行った。 （13,765円）

私立幼稚園エアコン設置補助事業	・私立幼稚園に通園する園児の熱中症を防ぎ、安全・快適な育成環境を確保するため、教室、遊戯室へのエアコン新設に対して補助を行った。 瑞穂幼稚園 教室2室及び遊戯室（設置台数3台） (829,000円)
-----------------	--

第3 主な統計、行政資料等

1 児童福祉

(1) 児童福祉施設入所状況

施設別	年度当初(2.4.1)	年度末(3.3.31)
保育所等	※きらり、信学会含 1,099	1,184
乳児院	0	0
養護	16	16
児童自立支援	0	0
情緒障がい児	1	0
里親	2	1
その他	1	1
計	1,119	1,202

(2) 家庭児童相談状況

種別	相談件数	種別	相談件数
養護相談	2,494	保健相談	4
障がい相談 (含ことば)	381	非行相談	4
育成相談	17	その他	133
計			3,033

2 子育て支援館「こどものくに」利用状況

年度	登録組数	利用延べ組数	利用者数
令和2年度(A)	組 1,085	組 9,459	人 22,557
平成31年度(B)	1,880	13,947	34,369
増減(A)-(B)	△795	△4,488	△11,812

3 保育所

(1) 保育所別児童入所状況

区分 保育所	児童数	うち広域入所 (受託)児童数 (延べ)		
		定員	延べ人員	月平均人員
		人	人	人
市 公 内 立 保 育 所 等	小口保育園	110	724	60
	今井保育園	90	507	42
	あやめ保育園	120	1,539	128
	川岸保育園	90	1,060	88
	夏明保育園	60	108	9
	成田保育園	90	641	53
	みなと保育園	90	739	62
	長地保育園	150	1,115	93
	若草保育園(休園)	90	0	0
	西堀保育園	120	1,013	84
	神明保育園	120	1,397	117
	横川保育園	90	736	62
	つるみね保育園	90	305	26
	計	1,310	9,884	824
私 立 保 育 所 等	信学会東堀保育園 (2、3号)	120	1,710	143
	聖ヨゼフ保育園岡谷	80	1,019	85
	ひまわり保育園	60	814	68
	きらり岡谷市民病院園	19	176	14
	計	279	3,719	310
合計		1,589	13,603	1,134
市外保育所等(委託)		—	173	14
総合計		—	13,776	1,148
				39

※合計欄の月平均人員は合計延べ人員を12ヶ月で除したものです。

(2) 保育料階層別児童状況

区分 階層＼保育料負担	年間延べ人数			
	全額	半額	6,000円減	無料及び無償化
人	人	人	人	人
第1階層	24			
第2-1階層	535			
第2-2階層	580			
第3-1階層	30			228
第3-2階層	106	100		512
第4階層	481	295	91	1,925
第5階層	540	325	132	3,118
第6階層	299	183	190	2,438
第7階層	33	38	12	552
第8階層	36	39	12	294
計	2,664	980	437	9,067
合計	13,148(広域入所及び公立交流保育児童を除く。)			

(3) 特別保育事業

区分	実施保育所	保育時間
長時間保育	小口、今井、あやめ、川岸、夏明、成田、みなと、長地、西堀、神明、横川、つるみね、信学会東堀、聖ヨゼフ岡谷	7:30~19:30
	ひまわり	7:00~19:30
	きらり岡谷市民病院園	7:30~20:00
	小口、今井、あやめ、川岸、夏明、成田、みなと、長地、西堀、神明、横川、つるみね	7:30~18:30
	聖ヨゼフ岡谷、信学会東堀	7:30~19:30
	ひまわり	7:00~18:30
	きらり岡谷市民病院園	7:30~20:00
	あやめ、つるみね、聖ヨゼフ岡谷	8:00~16:00
	ひまわり	7:00~18:30
一時保育	きらり岡谷市民病院園	8:00~17:00
休日保育	あやめ	8:00~19:00

4 幼稚園児数及び学級数

(令和2年5月1日現在)

	定員	学級数	在園児数	うち市内在住者
聖母幼稚園	90	3	75	61
ヤコブ幼稚園	60	3	53	43
瑞穂幼稚園	105	3	16	14
信学会東堀保育園 (1号)	30	- (保育認定と同室)	22	22
計	285	9	166	140

5 公共施設建設事業の概要

区分等	内 容																					
事業の名称	新西堀保育園・発達支援施設整備事業																					
事業の目的	岡谷市保育園整備計画（平成24年11月）による施設整備																					
事業の経過	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地測量業務（平成29年6月13日～10月26日） ・基本実施設計（平成30年9月21日～令和元年5月31日） ・工事監理業務（令和元年11月12日～令和2年11月30日） ・解体撤去・造成等工事 (平成31年4月16日～令和2年3月27日) ・建築工事（令和元年11月11日～令和2年11月30日） ・電気設備工事（令和元年11月11日～令和2年11月30日） ・機械設備工事（令和元年11月11日～令和2年11月30日） 																					
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄筋コンクリート造 地上2階建 延床面積991.35m² ・木造 平屋建 延床面積499.92m² 																					
事業費	<p><u>総事業費</u> 621,342,748円</p> <p>【事業費内訳】</p> <table> <tbody> <tr> <td>敷地測量業務</td> <td>1,684,800円</td> </tr> <tr> <td>基本実施設計</td> <td>40,500,000円</td> </tr> <tr> <td>工事監理業務</td> <td>11,660,000円</td> </tr> <tr> <td>既存建物解体撤去造成等工事</td> <td>39,160,000円</td> </tr> <tr> <td>建築工事</td> <td>370,260,000円</td> </tr> <tr> <td>電気設備工事</td> <td>73,700,000円</td> </tr> <tr> <td>機械設備工事</td> <td>71,500,000円</td> </tr> <tr> <td>施設備品</td> <td>12,877,948円</td> </tr> </tbody> </table> <p>【財源内訳】</p> <table> <tbody> <tr> <td>市債</td> <td>547,800,000円</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>73,542,748円</td> </tr> </tbody> </table>		敷地測量業務	1,684,800円	基本実施設計	40,500,000円	工事監理業務	11,660,000円	既存建物解体撤去造成等工事	39,160,000円	建築工事	370,260,000円	電気設備工事	73,700,000円	機械設備工事	71,500,000円	施設備品	12,877,948円	市債	547,800,000円	一般財源	73,542,748円
敷地測量業務	1,684,800円																					
基本実施設計	40,500,000円																					
工事監理業務	11,660,000円																					
既存建物解体撤去造成等工事	39,160,000円																					
建築工事	370,260,000円																					
電気設備工事	73,700,000円																					
機械設備工事	71,500,000円																					
施設備品	12,877,948円																					
市債	547,800,000円																					
一般財源	73,542,748円																					

健 康 推 進 課

第1 概説

健康推進課では、「第3次岡谷市健康増進計画」に基づき、福祉、医療との連携を図りながら、総合的な健康づくりを推進した。

岡谷健康福祉施設については、緊急事態宣言等に伴う休業や、感染拡大防止のための利用者数の制限等による利用料収入の減額分について、指定管理者に対し支援を行ったほか、設備機器(配管バルブ他)修繕工事(繰越事業)をはじめ、男女浴槽ろ過機ろ材交換、ポンプの更新等の設備機器修繕工事を実施した。

予防事業では、感染症の予防と蔓延防止を目的とした各種予防接種を実施したほか、コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行により、医療機関がひつ迫しないよう、子どものインフルエンザの予防接種について、費用の一部助成を行った。

母子保健事業では、母子保健法に基づく妊婦一般健康診査、産婦健康診査、乳幼児健康診査、産後ケア事業、母子訪問指導及び各種教室等を実施し、妊娠・出産・育児に関する知識の普及を図るとともに、安心して子育てのできる環境づくりに努めた。

健康管理事業では、「健康寿命延ばそおかや事業」、「おいしくたのしくおかや食育プラン推進事業」を展開し、生活習慣病予防対策の強化を図った。

また、市民の健康づくりや健康増進に対する意識の啓発を目的として実施している健康ポイント事業について、「おかぽんカード」のポイント付与の中止に伴い、岡谷商工会議所が新たに開始した「オカヤペイ」のポイントへ移行し、がん検診受診者にポイントを付与するなど事業の拡充を図った。

新たに「音楽と運動による健康サポート事業」として、多数の健康増進プログラムを有する機器を使用し、運動・口腔・認知機能の維持向上に役立つメニューを、シリキーチャンネルにて放映し、心身の健康づくりの推進に努めた。

岡谷市看護専門学校では、岡谷市病院事業をはじめとする実習受入れ機関の協力のもと、所定のカリキュラムに基づいた教育を行い、地域医療に貢献する看護師の養成に取り組んだ。2月に行われた看護師国家試験では、6回生全員が合格した。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
岡谷健康福祉施設管理事業 (ロマネット)	<p>指定管理者に株やまびこスケートの森を指定し、市民の健康福祉の増進に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者数 157, 092人 (開館日数 269日、1日平均 584人) <ul style="list-style-type: none"> 朝風呂 34, 442人 浴室利用 121, 943人 無料利用者 707人 利用料収入 58, 998, 026円 ロマネット設備機器修繕工事等 11, 715, 000円 <p>※設備機器(配管バルブ他)修繕工事は繰越事業 (繰越額 8, 965, 000円)</p> <p>また、緊急事態宣言による休館やコロナ禍による利用者減により運営が厳しい状況であるため、収益に対し、収支均衡とした支援を行った。</p> <p>35, 000, 000円</p>
地域医療体制推進事業	<p>1 休日在宅当番医制事業 住民の休日における初期救急医療の確保のため、休日在宅当番医制事業を岡谷市医師会へ委託し実施した。また、新型コロナウイルス感染症等への対応として、年末年始休日当番医発熱患者診療を岡谷市医師会に委託し実施した。</p> <p>2, 669, 226円</p> <p>2 病院群輪番制病院運営事業 住民の夜間、休日における入院治療を必要とする重症救急患者の医療確保のため、諏訪広域連合で諏訪地域の6病院を指定し、病院群輪番制病院運営事業を行った。 8, 243, 685円</p> <p>3 諏訪地区小児夜間急病センター運営事業 小児の初期救急医療を一ヶ所に集中することにより、二次医療機関との機能分担を図り、小児医療を広域からなくさないために、一次救急を担う「諏訪地区小児夜間急病センター」を諏訪広域連合で設置し、諏訪地区小児夜間急病センター運営事業を行った。 3, 962, 570円</p> <p>4 看護師修学支援貸付金 岡谷市看護専門学校の学生に対し、修学支援として貸付金の貸与を行った。 8件 2, 400, 000円</p> <p>5 献血事業 医療用血液確保のため、長野県赤十字血液センター(諏訪出張所)、諏訪保健福祉事務所とともに、市内事業所への献血協力依頼や街頭献血等を実施した。 年間献血者数 延べ928人</p>
保健センター管理事業	<p>各種健(検)診、各種予防接種、健康教室、栄養教室等を実施する保健センターの管理を行い、市民の健康増進に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 保健センター感染症対策(換気設備等)工事等 <p>12, 324, 400円</p> <p>※保健センター非常照明等改修工事は繰越事業 (繰越事業費 2, 057, 000円) (14, 746, 024円)</p>
保健委員会活動支援事業	<p>市民一人ひとりが健康への関心を高め、健康づくりを実践していくよう地域で活動する保健委員連合会に対し活動負担金の助成を行うとともに、その活動や会の運営に対して支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 保健委員連合会活動負担金 2, 052, 820円 保健委員連合会役員会 2回 9人

	<ul style="list-style-type: none"> ・保健委員連合会理事会 全体会 1 回 21 人 各地区訪問 43 回 44 人 ・地区保健委員会いきいき健康学習 160 回 2, 720 人 ・保健事務嘱託員研修 全体研修 1 回 42 人 各地区での研修 43 回 95 人
予防接種事業	<p>予防接種法及び感染症法による感染症の予防と蔓延防止を目的とした予防接種を実施した。</p> <p>【集団接種】 日本脳炎（第1期※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため5月から中止）</p> <p>【個別接種】 麻しん風しん混合（第1期・第2期）、日本脳炎（第1期※6月以降個別接種開始）、日本脳炎（第2期・特例）、水痘、子宮頸がん予防、Hib、小児用肺炎球菌、B型肝炎、四種混合（ジフテリア・百日せき・破傷風・不活化ポリオ）、二種混合（ジフテリア・破傷風）、BCG、ロタウイルス、高齢者インフルエンザ、高齢者用肺炎球菌</p> <p>・風しんの追加的対策 昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性を対象に、風しん抗体検査及び予防接種を行い、風しんのまん延防止と先天性風しん症候群の発症を予防した。 令和元年度から令和3年度までの3年間の時限措置。 令和2年度の対象者（昭和37年4月2日から昭和47年4月1日までの間に生まれた男性） 3, 400 人 抗体検査受診者 1, 122 人 抗体検査受診者のうち抗体価陰性の方 211 人 陰性の方のうち予防接種を受けた方 167 人 7, 568, 065 円</p> <p>・定期予防接種県外接種者給付金 給付実績 13 人（7ワクチン45回） 422, 568 円</p> <p>・子どものインフルエンザ予防接種事業 助成実績 1997 人 3455 回 3, 455, 000 円 (130, 682, 428 円)</p>
母子保健事業	<p>母性並びに乳幼児の健康の保持増進を図るため、妊娠婦、乳幼児及びその家族等に対して、各種教室や相談事業を実施し、妊娠・出産・育児に関する知識の普及を図るとともに、安心して子育てができる環境づくりに努めた。</p> <p>1 母子健康手帳の交付 妊娠届の受理を行い、母子健康手帳の交付を行った。また、交付の際、マタニティアンケートを実施し、妊娠婦の健康状態や生活の状況を把握し、必要な保健指導を行った。</p> <p>母子健康手帳発行数 290 件</p> <p>・妊娠さんのために衛生用品プレゼント事業（新型コロナウイルス感染症対応事業） コロナ禍において、妊娠の方々の不安軽減のために、アルコール洗浄タイプのハンドジェル等衛生用品を配布した。</p> <p>配布者数 421 人</p> <p>2 相談事業 (1) 保健センター育児相談 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月5月は中止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育児相談 每月2回 20回 314 人 ・栄養相談 每月2回 20回 145 人

・歯科相談	毎月 2 回	20 回	43 人
(2) 隨時相談			
・面接相談		71 件	
・電話相談		399 件	
3 教室関係			
・パパママ教室	13 回	199 人	
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月～6月は中止。7月から密を避けるために開催回数を増やし対応した。			
・離乳食教室	19 回	104 人	
・2歳児にこにこ教室	20 回	279 人	
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、5月は中止。6月から密を避けるため、時間を分けて案内し、時間短縮で実施した。			
・ほっこり子育て応援講座	7 回	12 人	
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、心理士による個別心理相談のみ実施した。			
・むし歯予防教室 (フッ素塗布)	30 回	280 人	
・思春期健康教育事業 市内 4 中学校 3 年生	5 回	386 人	
4 保育園、学校歯科指導			
・保育園・幼稚園	14 回	509 人	
・小・中学校	9 回	82 人	
5 不妊及び不育治療助成事業			
不妊治療等を行っている夫婦に医療費の一部を助成し、経済的負担の軽減を図った。			
令和3年1月から所得制限を撤廃し、助成回数の見直しを行った。			
助成件数	37 件	1, 564, 191 円	
『内訳』			
・一般不妊治療	9 件	268, 340 円	
・特定不妊治療及び不育治療	28 件	1, 295, 851 円	
6 未熟児養育医療給付事業			
養育のために入院が必要な未熟児に対して、その養育に必要な医療費を給付する事業だが、窓口負担の現物給付へ変更がされたため、給付実績はなかった。			
7 母乳相談等事業			
産後の母親を対象に助産師による「乳房マッサージ等乳房管理指導」、「沐浴・授乳育児指導等」を医療機関等に委託し実施した。			
482, 000 円			
・委託医療機関 延べ利用回数	232 回		
・その他医療機関 延べ利用回数	9 回		
8 産後ケア事業 (宿泊型・通所型)			
産後支援を必要とする母子に対して、医療機関等で宿泊等による心身のケアや育児サポート等を行った。			
・利用者数 7 人 (宿泊型)	・延べ利用日数	30 日	
・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策事業			
産後ケア事業実施施設にマスクやアルコール消毒液等衛生用品を配布した。			
9 女性のための健康相談			
妊娠や出産にかかる相談や思春期から更年期まで女性の健康に関する相談について、助産師が予約制の個別相談を実施した。			
	3 回	3 件	

母子健康診査事業	<p>妊婦及び乳幼児の健康の保持増進を図るため、疾病の早期発見のための健康診査を行うとともに、必要な保健指導を行った。</p> <p>1 妊婦一般健康診査 妊娠中の健康診査（基本健康診査（14回）・追加検査（5回）・超音波検査（4回）※（）内標準回数）を、長野県医師会及び長野県助産師会に委託し実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診券交付人数 290人 ・健診受診者実人数 451人 ・基本健診延べ受診回数 3,506回 ・追加検査延べ受診回数 1,414回 ・超音波検査延べ受診回数 1,117回 <p>2 妊婦一般健康診査県外受診補助金 母体及び胎児の継続的な健康管理を行うため、里帰り等により県外で妊婦健康診査を受診した経費について助成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成件数 20件 ・延べ受診回数 88回 ・補助金支給合計額 522,980円 <p>3 産婦健康診査 産後2週間・1か月の産婦に対する健康診査を長野県医師会及び長野県助産師会に委託し実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診券交付人数 290人 ・健診受診者実人数 290人 ・2週間健診延べ受診回数 223回 ・1か月健診延べ受診回数 268回 <p>4 産婦健康診査県外受診補助金 里帰り等により県外で産婦健康診査を受診した経費について助成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成券数 15件 ・延べ受診回数 23回 ・補助金支給合計額 111,500円 <p>5 乳幼児健康診査 岡谷市医師会及び岡谷下諏訪歯科医師会の協力のもと、乳児（3～4か月児、9～10か月児）、幼児（1歳6か月児、3歳児）を対象に、各健康診査につき毎月1回実施した。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、緊急事態宣言中の健診は延期。実施時は密を避けるため、時間を分けて案内し、時間短縮で実施した。</p> <p>6 個別指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母性相談（3～4か月児健康診査時実施） 242人 ・歯科指導（9～10か月児健康診査時実施） 232人 ・離乳食指導（9～10か月児健康診査時実施） 247人
乳幼児家庭訪問指導事業	<p>乳幼児のいる家庭に対して訪問を実施し、乳幼児健康診査や予防接種をはじめ育児に関する情報を提供するとともに、産婦及び乳幼児の健康管理を行った。また、必要者には継続的な支援や必要なサービスの提供を行った。</p> <p>1 訪問指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊産婦訪問 264人（延べ273人） ・乳幼児訪問 286人（延べ412人） <p>2 産後ママサポート事業 産後、産婦及び乳児の世話をする者がいない家庭に、育児・家事等の援助をするために、支援員を派遣した。 3件（延べ回数25回 延べ利用時間49時間）</p>

栄養改善事業	<p>市民が食に関する様々な経験を通じ、「食」に関する知識と「食」を選択する力を身につけ、生涯にわたり健康で心豊かな生活を送ることができるよう、おいしくたのしくおかや食育プラン推進事業として、食育情報の発信や栄養相談等、食育の推進に努めた。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 各種栄養講座、栄養相談 <ul style="list-style-type: none"> ・おいしく食べてヘルスアップ教室 調理を伴う教室で新型コロナウイルス感染症防止のため中止 ・食と健口のミニ講座（低栄養予防） 3回 延べ参加者 43人 ・介護保険証交付説明会栄養ミニ講座 9回 参加者 208人 ・イベント等を通じた栄養相談 2回 延べ参加者 19人 2 食育の周知啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを活用した食育情報の発信 毎月1回 ・もっと野菜を食べよう！運動の推進 野菜レシピの周知・配布（各支所、イベント等） 14箇所 ホームページを活用した野菜レシピの掲載等 3 食生活改善及び食育推進活動における地区組織の育成支援として、岡谷市食生活改善推進協議会の学習会等を実施した。 27回 延べ参加者 239人 (3,678,581円)
健康づくり推進事業	<p>生活習慣病予防をはじめ、健康の保持増進を図るための正しい知識や情報を提供するため、健康寿命延ばそおかや事業として健康づくり講演会や各種教室、健康相談等を実施し、市民の健康の保持増進のための啓発を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 健康づくり講演会 「正しく知ろう糖尿病」 ～毎日の生活から糖尿病を予防・改善して健康長寿～ 期日 令和2年12月12日（土） 参加者 約100人 場所 岡谷市カノラホール小ホール 講師 岡谷市民病院 糖尿病センター センター長 関戸 貴志氏 2 健康相談 健康、栄養、歯に関する相談を保健センターで実施。また、随時面接相談及びダイヤル健康相談等を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・一般健康相談 面接 12件 電話 114件 ・栄養相談 面接 23件 電話 88件 ・歯科相談 面接 1件 電話 3件 ・歯っぴー相談（こどものくに） 21回 延べ81人 3 訪問指導 ・特定健診後の訪問指導 延べ 2件 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、対面での指導を回避し、電話での指導とした。 4 音楽と運動による健康サポート事業 多数の健康増進プログラムを有するカラオケ機器を導入し、運動・口腔・認知機能の維持向上に役立つ多彩な映像や音声メニューを通して、心身の健康づくりを推進した。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地域での積極的な機器活用は控え、コロナ禍においても、自宅で運動等が継続できるよう、運動・口腔・認知機能の維持向上のためのコンテンツ動画を撮影し、シルキーチャンネルを通して放映した。

健康ポイント事業	<p>健診受診者や健康づくりに関する講演会の参加者に「オカヤペイカード」のポイント引換券を配布し、加盟店等でオカヤペイカードにポイントの付与を行うことで、市民の健康づくりや健康増進に対する意識の啓発を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後期高齢者健診（人間ドック・基本健診・生保健診含む）受診者引換券(200P)発行数 953枚 引換数 252枚(26.4%) ・がん検診等の受診者 引換券(100P)発行数 6,385枚 引換数 2,372枚(37.1%) ・講演会の参加者 引換券(50P)発行数 350枚 引換数 113枚(32.3%) (健康推進課のほか、医療保険課、介護福祉課で予算計上し実施) (366,565円)
“未来のげんきっす”応援事業	<p>子育て家庭への経済的負担を軽減するため、子育て関連支援講座の受講時にオカヤペイポイントを贈呈した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パパママ教室・離乳食教室受講者 引換券(250P)発行数 163枚 引換数 57枚(35.0%) (健康推進課のほか、子ども課で予算計上し実施) (17,816円)
健診推進事業	<p>基本健康診査、がん検診（胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、子宮頸がん）、結核健康診断、成人歯科健康診査、二十歳の歯科健診査、三十歳の歯科健康診査、妊婦歯科健康診査、緑内障検査、後期高齢者健康診査、A B C 検診、肝炎ウイルス検査の各種健診を実施するとともに、後期高齢者人間ドックの助成を行い、疾病の予防、早期発見、早期治療の促進に努めた。</p> <p>(50,405,182円)</p>
自殺対策推進事業	<p>岡谷市自殺対策計画に基づき、地域における自殺対策の強化を図った。</p> <p>(1) 「岡谷市保健事務嘱託員対象ゲートキーパー養成講座」 期日 令和2年12月8日(火) 参加者 42人 場所 岡谷市役所9階大会議室 講師 諏訪保健福祉事務所 健康づくり支援課 保健師 南 恵子氏</p> <p>(2) 「岡谷市職員対象ゲートキーパー養成講座」 期日 令和3年1月18日(月) 参加者 230人 場所 岡谷市役所9階大会議室 講師 株式会社コミュニケーションズ・アイ 伊藤 かおる氏</p> <p>(3) 周知・啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・啓発リーフレット配布 5,865枚 ・啓発ティッシュ配布 4,790個 ・こころの体温計（メンタルヘルスセルフチェックシステム） 市民がうつ病等のメンタル面の問題に対し、携帯電話やパソコンの端末を使って、気軽にチェックを行うことで、心の健康に目を向けるきっかけを作るとともに、相談できる窓口の周知を図った。 アクセス総数 13,611回 <p>(4) 岡谷市自殺対策推進本部会議 1回</p>

新型コロナウィルス感染症対策	国、県の方針に沿った本市における対応を協議、決定するため、対策本部（法定、任意設置を含む）を設置し、合計38回開催した。 本部会議では ・国、県の方針等に沿った本市における対応 ・市主催のイベント、行事等の対応 ・市教育委員会の対応 等を協議、決定した。
感染拡大予防対策事業	感染機会を軽減するため、消毒や検温の実施に必要な非接触型体温計等備品の購入及び手指消毒液等の備蓄品の補充をおこない、感染拡大の予防を図った。 (5,022,882円)
発熱外来設置事業	感染拡大を想定し、地域住民を守るため、より身近な場所での簡易診察や検体採取等を行うことができる発熱外来の設置ができるよう、準備を進めた。
看護専門学校運営事業	《主な学校行事等》 1 入学式 ・期日：令和2年4月7日（火） ・入学生：25名（7回生） 2 岡谷市看護専門学校祭「第7回もりのこだま祭」 ・新型コロナウィルス感染症により中止 3 入学試験 ・期日：令和3年1月7日（木）・8日（金） ・受験者数：24名 ・合格者数：23名 ・入学者数：23名（8回生） 4 看護師国家試験 ・期日：令和2年2月14日（日） 6回生32名が看護師国家試験を受験し、全員が合格した。 5 卒業式 ・期日：令和3年3月1日（月） ・卒業生数：32名（6回生） 6 授業料等免除 低所得者世帯の学生に対し、国の基準により減免を実施した。 ・対象者 1名 ・減免額 入学金 △ 70,000円 授業料 △ 168,800円（前後期合計） (19,099,331円)

第3 主要な統計、行政資料等

1 予防接種の内訳

(1) 小児 (A類疾病)

区分		対象者	実施者数	備考
四種混合 ジフテリア 百日せき 破傷風 不活化ポリオ	1期	初回3回	生後3か月～7歳半未満	人 延べ 969
		追加		304
二種混合 ジフテリア 破傷風	2期	11歳以上 13歳未満	409	通年 実施医療機関
麻しん風しん混合	1期	1歳～2歳未満	302	通年 実施医療機関
	2期	5歳以上 7歳未満で小学校入学前の1年間	309	
B C G		1歳未満	318	通年 実施医療機関
日本脳炎	1期	初回2回	生後6か月～7歳半未満	延べ 648
		追加		292
	2期	9歳以上 13歳未満	320	通年 実施医療機関
	特例措置	20歳未満	423	通年 実施医療機関
子宮頸がん予防 (3回)		小学6年生～高校1年生相当の女子	延べ 16	通年 実施医療機関
H i b (4回)		生後2か月～5歳未満	延べ 1,235	
小児用肺炎球菌 (4回)		生後2か月～5歳未満	延べ 1,160	
水痘 (2回)		1歳～3歳未満	延べ 602	
B型肝炎 (3回)		1歳未満	延べ 856	
ロタウイルス (3回)		生後6週～生後24週及び生後32週	延べ 284	

(2) 定期予防接種県外等接種者

区分	四種 混合	B C G	日本脳炎	H i b	小児用 肺炎球菌	B型 肝炎	ロタ ウイルス
給付者 数	人 3	人 2	人 3	人 8	人 8	人 8	人 4
接種 回数	回 4	回 2	回 4	回 10	回 10	回 10	回 5

(3) 高齢者 (B類疾病)

区分	対象者	対象者数	実施者数	備考
インフルエンザ	・65歳以上 ・60歳～65歳未満で 法に定める者	人 16,686	人 10,748	10月～12月 実施医療機関
高齢者用肺炎球菌	・年度年齢 65, 70, 75, 80, 85, 90, 95, 100歳以上 ・60歳～65歳未満で 法に定める者	2,175	634	通年 実施医療機関

2 母子保健指導事業

(1) 妊娠届出の状況

妊娠届出数			妊娠月数別届出状況					
届出 総数	初産婦	経産婦	11週以内	12～19週	20～27週	28週～ 分娩まで	分娩後	
人 290	人 130	人 160	人 277	人 10	人 3	人 0	人 0	

(2) 乳幼児健康診査

区分	該当 児数	受診 児数	受診 率	異常 なし	所見 あり	所見ありの区分			う 歯 率	1人当 りう歯 本数
						要観察	要精検・ 要治療	治療 継続		
3～4か月児	人 281	人 274	% 97.5	人 179	人 95	人 70	人 11	人 14	% —	本 —
9～10か月児	285	277	97.2	194	83	67	6	10	—	—
1歳6か月児	311	303	97.4	164	139	117	2	20	1.0	0.03
3歳児	325	318	97.8	185	133	76	30	27	6.6	0.19

3 健康診査

(1) がん検診等

項目	回数及び実施期間	受診者数	結果別人員				
			異常なし	要精検者		要精検者の主な内訳	
			がんであった者	未受診			
胃がん検診 (X線)	32回	人 698	人 483	人 215	% 30.8	人 1	人 22
A B C 検診		55	49	6	10.9	1	1
肝炎ウイルス検査		56	56	0	0.0	0	0
大腸がん検診		1,679	1,571	108	6.4	2	20
肺がん検診 (X線)		969	943	26	2.7	0	2
肺がん検診 (C T)		480	456	24	5.0	1	0
結核健診		127	125	2	1.6	0	0
乳がん検診 マンモ	25回 39回	681 694	662 638	19 56	2.8 8.1	0 0	1 2
子宮頸がん検診(頸部)	7月～3月	1,036	1,024	12	1.2	1	0
子宮頸がん検診(体部)		(再掲) 60	60	0	0.0	0	0

(2) 成人歯科健康診査

受診者数	実施期間	受診結果		
		異常なし	要指導	要精検
223人	8月～3月	39人	56人	128人

(3) 二十歳の歯科健康診査

受診者数	実施期間	受診結果		
		異常なし	要指導	要精検
52人	8月～3月	10人	19人	23人

(4) 三十歳の歯科健康診査

受診者数	実施期間	受診結果		
		異常なし	要指導	要精検
54人	8月～3月	13人	19人	22人

(5) 妊婦歯科健康診査

受診者数	実施期間	受診結果		
		異常なし	要指導	要精検
71人	通年	11人	29人	31人

(6) 緑内障検診

受診者数	実施期間	受診結果	
		異常なし	要精検・有所見
778人	7月～10月	604人	174人

(7) 後期高齢者健診

受診者数	実施期間	受診結果			
		異常なし	経過観察	要医療	治療継続
760人	6月～11月	6人	107人	367人	280人

(8) 後期高齢者人間ドック

受診者数	内訳			
	日帰り		1泊2日	
	125人		10人	

4 看護専門学校学生数

(令和2年5月1日現在)

区分	入学定員	総定員	1年生	2年生	合計
人数	30名	60名	25名	32名	57名

5 看護専門学校講師派遣協力機関及び実習受入れ機関の状況

講師派遣協力機関	飯田女子短期大学、上田女子短期大学、岡谷市、岡谷市医師会、岡谷市病院事業、岡谷市訪問看護ステーション、岡谷下諏訪歯科医師会、北アルプス医療センターあづみ病院、居宅介護支援事業所湯けむり、こころの医療センター駒ヶ根、信州大学、信州豊南短期大学、諏訪湖畔病院、諏訪市医師会、諏訪赤十字病院、諏訪東京理科大学、諏訪保健福祉事務所、長野県看護大学、松本歯科大学、松本大学（五十音順）
実習受入れ機関	エコファおかや、岡谷市病院事業、岡谷市訪問看護ステーション、希望の里つばさ、信濃医療福祉センター、市立保育園、諏訪湖畔病院、諏訪マタニティークリニック、ソレイユ、通所介護（デイサービス）さわらび、ひだまりの家、養護老人ホーム岡谷和楽荘（五十音順）

新型コロナウイルス
ワクチン接種対策室

第1 概説

岡谷市組織規則第13条に基づいて設置した新型コロナウイルスワクチン接種対策室では、国のスケジュールに基づき、新型コロナウイルスワクチン接種体制の構築に向け、岡谷市医師会や岡谷市民病院など関係機関と協議、調整を図りながら、ワクチンの接種方法の検討や会場の確保、市民への周知など接種に関する事務を行った。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
新型コロナウイルスワクチン接種事業	<p>新型コロナウイルスワクチン接種体制の構築に向け、ワクチンの接種方法の検討や会場確保のほか、接種事務を行うためのシステム改修や予約システムの導入、集団接種会場の整備などを行った。</p> <p>1 健康かるてシステム改修 新型コロナウイルスワクチン接種に必要となる接種券の出力 ・券番号の発番、送付管理のほか、接種記録管理機能等のシステム改修を行った。</p> <p>2 W E B 予約管理システム導入 新型コロナウイルスワクチン接種に係る会場および日時等の予約情報管理を一元化し、接種予約を円滑に行うため予約管理システムを導入した。</p> <p>3 集団接種会場用（岡谷市民病院）接種後観察待機所設置 岡谷市民病院で新型コロナウイルスワクチン集団接種を実施するにあたり、敷地内に接種後の経過観察のための待機所を設置した。</p> <p style="text-align: right;">(7,729,462 円)</p>

產業振興部

工業振興課

第1 概説

工業振興課では、「岡谷市工業活性化計画」に基づき、本市の基幹産業である製造業の振興と活性化を図るため、さまざまな施策を実施するとともに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により影響を受ける市内企業を支援した。

産業政策事業では、各種補助金の交付、先端設備等導入計画の認定事務、地域経済牽引事業に関する条例等を通じ、中小企業の設備投資の促進を図った。

また、地方創生推進交付金を活用し諏訪圏5市町村による「モノづくり集積地 SUWA のヒトづくりプロジェクト」を実施したほか、テクノプラザおかやの機能強化事業に着手した。

工業支援事業では、コロナ禍において首都圏、中京圏、関西圏への受注開拓支援事業を見合わせる中で、新たな研究開発等を促し、その先の販路開拓等を視野に感染症終息後の業績回復のきっかけを創出するため、生産性向上・新技術開発等チャレンジ企業奨励金を交付するとともに、長野県及び本市の制度資金（コロナ対策資金）により市内中小企業の支援を行った。また、中小企業経営技術相談所、ひと・しごと相談窓口を中心に経営・金融、受発注、加工技術、事業承継・移住などのきめ細やかな相談業務を実施した。

そのほか、「テクノプラザおかや ものづくりフェア アーカイブ展」を開催し、平成14年度から18年に渡り実施してきた歴史を振り返った。

雇用対策事業では、コロナ禍での従業員の雇用維持を図るため、雇用調整助成金への上乗せ補助や助成制度の申請相談窓口を開設するとともに、企業の人材確保を後押しするため、採用活動の非対面化への取組みに対する補助事業を実施した。また、新規学卒者をはじめとした求職者支援として、新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら就職説明会や企業見学、各種セミナー等を開催し、地元就職及びU I Jターンの促進を図った。更に、高校生及び中学生のキャリア教育支援として、地元企業担当者による講話により、働くことへの意識形成や将来の地元企業への就業促進を図った。

そのほか、勤労者福祉として勤労者福祉推進団体である（一財）諏訪湖勤労者福祉サービスセンターの育成・支援及び指定管理者による勤労者福祉施設の管理運営を行った。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
企業誘致推進事業	<p>1 市内企業の流出防止・企業誘致</p> <p>関係機関などと連携を強化するなかで、積極的な活動を展開し、企業誘致を行うとともに、市内企業の流出に歯止めをかけるため、市内金融機関等との情報交換や現地確認等を通じ、市内企業の動向、市内未利用地等の情報収集を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致件数 3社 <p>2 首都圏産業振興活動事業</p> <p>より一層の産業振興を推進するため、平成23年度から平成25年度までの3年間に亘る、首都圏産業振興活動拠点事業で蓄積した情報・人脈等を活かすとともに、中小企業庁に1名の職員を派遣した。</p> <p>3 先端設備導入計画の認定</p> <p>中小企業が設備投資を通じて、労働生産性の向上を図るために策定した先端設備等導入計画に対して、生産性向上特別措置法に基づき認定を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規認定企業数 19社 ・変更認定企業数 31社 <p>4 企業・関係機関への訪問、情報収集</p> <p>市内の企業に訪問し、情報収集と岡谷市のPRに努めた。</p> <p>5 商工業用地等取得推進事業</p> <p>岡谷宅地建物取引業協会との協定に基づき、市内における土地の有効活用を促進し、市内企業の市外への流出防止及び企業誘致を推進するため、商工業用地等の取得等を希望する企業に対し、積極的な情報提供を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取得等希望企業数 10社 <p>6 ICT関連企業誘致に向けたアンケート</p> <p>県外ICT関連企業約1,500社を対象にアンケート調査を実施した。(回答数は21社)</p> <p style="text-align: right;">(5,351,542円)</p>
産業活性化推進事業	<p>1 工業活性化会議の開催</p> <p>「岡谷市工業活性化計画」の進捗状況と達成度等の評価や検証を行うため、市内企業代表者等16名で組織する工業活性化会議を開催し、実施した事業等を報告するなかで、PDCAサイクルに基づく管理を行い、工業活性化を推進した。</p> <p>第1回工業活性化会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 7月7日(火) ・出席者 15名 <p>第2回工業活性化会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 11月27日(金) ・出席者 12名 <p>2 商工業振興条例に基づく助成事業</p> <p>市内企業の流出防止及び企業誘致の推進を図るため、工場等の新設増設を行う事業者に対して土地取得額の一部や工場等にかかる固定資産税相当額を助成し、市内での事業拡大や空き工場等の有効活用を促した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定地域への工場等新設・増設事業 14件 ・交付金額 75,060,000円

3 移住・交流産業振興事業

首都圏在住者等に対して、働く場所となる企業が多く立地していることや創業支援などの産業振興施策が充実していることを中心に、本市特有の魅力をPRした。

ふるさと回帰フェア2020（オンライン開催）

・開催日 10月10日（土）～11日（日）

・場所 テクノプラザおかや

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインによる開催

4 諏訪地域創業スクール

創業時に必要な手続きや事業計画の作り方だけでなく、マーケティングをはじめとする基礎知識を習得できるスクールを商工会議所と開催した。

・開催日 10月31日（土）～12月12日（土）
(全6回)

・修了者数 27名

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部オンラインによる開催

5 創業のまち岡谷実現事業

市内の独立創業を促進し、創業者の経営基盤の確立及び営業開拓を支援するため補助金を交付した。

・家賃支援事業 5件

・広告宣伝支援事業 4件

・備品等購入支援事業 1件

・交付金額 2,132,000円

6 地方創生推進交付金

諏訪圏5市町村によるモノづくり集積地 SUWA のヒトづくりプロジェクト

「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む経済好循環の確立を目指し、諏訪地域ものづくり産業のハイブランド化と、ブランドイメージを活かした“ものづくり人材”的UIJターン促進や若年層からのキャリア教育・人材育成等を通じた中長期的な人材確保策（SUWA独自のキャリア・サイクルモデル）を展開するため業務委託し「SUWAブランドの普及・高付加価値化事業」「関係人口の創出とものづくり人材の育成・確保事業」を遂行した。

(1) 関係人口の創出とものづくり人材の育成・確保業務

・委託先 国立大学法人信州大学

・履行期間 4月1日～3月31日

・金額 22,000,000円

(2) SUWAブランドの普及・高付加価値化業務

・委託先 NPO諏訪圏ものづくり推進機構

・履行期間 4月1日～3月31日

・金額 8,000,000円

(3) 広域的なものづくり学習機会の創出等業務

・委託先 公立大学法人 公立諏訪東京理科大学

・履行期間 8月3日～3月31日

・金額 2,000,000円

	<p>7 諏訪圏移住交流推進事業</p> <p>諏訪圏 6 市町村内への移住促進に向け、諏訪圏 6 市町村合同で、移住相談コーディネーターを設置した。また、移住交流にかかる出張相談等を圏内外で行い、魅力と活力ある地域づくりの推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置場所 諏訪市諏訪一丁目 6 番 1 号アーク諏訪 ・設置人数 1 名 ・相談実績 98 名 ・金額 1,212,080 円 <p>8 おかやスポーツツーリズム事業</p> <p>おかやスポーツツーリズム事業の一環であるゴルフラウンドツーリズムを実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。代替として、移住プロモーション動画と移住促進のパンフレットを作成した。</p> <p>9 新型コロナウイルス感染症に係る緊急アンケート</p> <p>市内製造業 522 社（個人事業主を含む。）を対象にアンケート調査を実施した。（回答数は 383 社）</p> <p>10 市内事業者（製造業）向け支援パンフレット作成事業</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を受ける市内事業者（製造業）が活用できる融資、補助金、税金等の支援策の制度概要をまとめたパンフレットを作成した。</p>
産業振興企画事業	<p>（111,681,239 円）</p> <p>1 岡谷市の産業振興を考える懇談会</p> <p>都市圏（関東・中京地区）で活躍している岡谷市出身者等の企業経営者・大学教授等に参加いただき、現在の状況や今後の動向について情報交換し、企業誘致や産業振興を図るための懇談会を名古屋、東京で開催を予定していたが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。</p> <p>（1）名古屋会場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 7 月 16 日（木） 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 <p>（2）東京会場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 11 月 6 日（金） 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 <p>2 中小企業都市連絡協議会</p> <p>中小企業が集積した全国 6 都市が交流し、中小企業の振興に関わる共通の課題等について協議するとともに、第 12 回中小企業都市サミット（岡谷市）開催を予定していたが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。</p> <p>（1）第 12 回中小企業都市サミット（岡谷サミット）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 5 月 21 日（木）～22 日（金） 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 <p>（2）総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 7 月 9 日（木） 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面による開催 <p>（3）第 1 回連絡会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 11 月 20 日（金） 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面による開催 <p>（2,091,185 円）</p>

ものづくり基盤
技術強化事業

- 1 生産技術基礎講座
「機械加工基礎知識セミナー」
 - ・期　　日 8月19日(水)、21日(金)、26日(水)
　　28日(金)　計4回
 - ・場　　所 テクノプラザおかや
 - ・講　　師 創造テクノ 代表 水谷 一夫 氏
　　新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- 2 生産管理総合講座
「品質管理基礎講座」
 - ・期　　日 7月14日(火)、21日(火)、28日(火)
　　計3回
 - ・場　　所 テクノプラザおかや
 - ・講　　師 クオリティ創研 代表 小嶋 清孝 氏
 - ・参加者数 のべ94名
「原価のしくみ講座」
 - ・期　　日 9月8日(火)、15日(火)　計2回
 - ・場　　所 テクノプラザおかや
 - ・講　　師 P&Sコンサルティング
　　代表 牛山 正二 氏
 - ・参加者数 のべ22名
- 3 クリーンエネルギー研究会
　　新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動休止
- 4 新技術・新製品等ものづくりチャレンジ企業応援事業
　　新技術、新製品等の開発に取り組む企業を支援するため、補助金を交付した。また、工業技術専門官とともに申請事業の現地調査及びアドバイス等を行った。
 - ・交付件数 一般枠 8件
　　開発試作枠 3件
 - ・交付金額 一般枠 10,976,000円
　　開発試作枠 693,000円
- 5 生産性向上・新技術開発等チャレンジ企業奨励金
　　(新型コロナウイルス感染症対策事業)
　　新型コロナウイルス感染症の影響を受け、売上が減少している市内製造業等に、生産性向上に寄与する環境整備又は新たな研究開発等を促し、もって販路開拓及び営業活動等を支援するため奨励金を交付した。
 - ・交付件数 97件
 - ・交付金額 73,000,000円
- 6 I o T導入支援事業
 - (1) I o T導入支援事業補助金
　　I o Tを導入し、生産性の向上や人材不足の解消等に取り組む企業を支援するため、補助金を交付した。
　　また、工業技術専門官とともに申請事業の現地調査及びアドバイス等を行った。
 - ・交付件数 1件
 - ・交付金額 500,000円
 - (2) 視察研修会
　　新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
　　※岡谷市金属工業連合会との共催事業

(85,449,871円)

新分野開拓推進事業	<p>1 展示会出展事業 市内中小企業との共同出展による新規受注開拓支援 (1) 諏訪圏工業メッセ2020 オンライン商談会 ・期　　日 11月16日(月)～1月21日(木) (2) 第24回いたばし産業見本市 Online —製造と加工技術展— 都市間交流を行っている板橋区が開催するオンライン展示会に出展し、市内企業の技術をPRした。 ・期　　日 11月12日(木)～12月18日(金) (3) 第5回名古屋機械要素技術展：愛知県 (4) 第23回関西機械要素技術展：大阪府 (5) 第11回微細加工 EXPO：東京都 上記(3)～(5)の展示会への出展は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>2 中京圏・首都圏企業訪問(受注開拓) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>3 新規受注開拓推進事業(展示会出展事業補助金) 新型コロナウイルス感染症の影響による、市内企業の展示会出展見合わせにより申請がなかった。</p> <p>4 市内製造業PR動画(新型コロナウイルス感染症対応事業) 展示会出展事業など都市圏等への受注開拓支援事業を中止する一方、コロナ禍における支援策として、市内製造業の「企業概要、製品、技術力等」を3分動画に収め、YouTube、HP、Facebookで公開し、受注開拓支援及び営業活動支援を推進した。 PR動画作成企業：15社</p>
中小企業経営技術相談事業	<p>1 中小企業経営技術相談・指導 工業技術専門官・経営技術アドバイザー・工業活性化アドバイザーにより受発注開拓、技術・経営等の相談を通じて市内企業の技術革新や製品開発、経営体質強化等を支援した。 ・経営相談件数 343件 ・技術相談件数(受発注含む) 1,066件 ・研究会・会議・その他 3,357件</p> <p>2 ひと・しごと相談窓口 「ひと・しごと相談窓口」について、企業が抱えている問題のほか、創業を希望する方、移住要望の方の相談に応えた。 ・経営・技術相談 112件 ・雇用・就職相談 108件 ・移住相談 9件 ・その他相談 15件</p>
中小企業経営強化支援事業	<p>1 景気動向調査 (1) 定例実施 ・実施時期 4月 ・対象企業 100社 (10月は、岡谷商工会議所が実施) (2) 隨時実施 ・実施時期 2月 ・対象企業 30社</p> <p>2 新規創業者トータルマネージメントサポート事業 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、諏訪圏工業メッセ2020がオンライン商談会となつたことから中止</p>

	<p>3 事業承継支援事業</p> <p>(1) 事業承継セミナー 「想いをつなぐ 事業承継」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 日 12月4日（金） ・参加者 39名（会場参加36名、Web参加3名） <p>(2) 企業訪問の実施</p> <p>事業承継に向けた早期着手の重要性を理解するとともに、円滑な事業承継に結び付けることを目的として、廃業を予定している企業や、後継者未定の企業、承継後間もない企業等に対し企業訪問を行い、抱えている課題等聞き取り調査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内企業 42社 <p style="text-align: right;">(1,280,560円)</p>
ものづくり人材育成支援事業	<p>1 21経営者研究会</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、先輩経営者による講演会及び工場見学は実施せず、情報交換会等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 日 7月31日（金）～12月18日（金） 全3回開催 ・参加者数 17社 17名 <p>2 ものづくり体験隊</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止ため中止</p> <p>3 信州大学修士・博士課程専門職大学院支援事業</p> <p>地域製造業の活性化と人材育成を目的として開設した修士・博士課程コース等の支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修 士 2名 ・博 士 4名 ・スキルアップコース 4名 <p style="text-align: right;">(476,370円)</p>
中小企業金融対策事業	<p>1 制度資金あっせん事業</p> <p>制度資金のあっせんにより、市内中小企業の円滑な事業資金調達を支援した。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受ける企業に対して、「新型コロナウイルス緊急対策資金」及び「新型コロナウイルス緊急対策借換資金」により、引き続き支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・融資件数 321件 ・融資金額 5,258,174千円 ・セーフティネット認定件数 917件 ・危機関連保証認定件数 342件 <p>2 岡谷市新型コロナウイルス緊急対策資金等利子補給基金条例の創設（新型コロナウイルス感染症対応事業）</p> <p>新型コロナウイルス緊急対策資金及び新型コロナウイルス緊急対策借換資金の利子補給金について、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を後年度の財源とするため、岡谷市新型コロナウイルス緊急対策資金等利子補給基金条例を制定し、基金へ積立を行った。</p> <p style="text-align: right;">(20,000,000円)</p> <p>3 金融情報交換会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 日 第1回 6月5日（金） 第2回 1月27日（水） ・場 所 第1回 テクノプラザおかや 第2回 ライフプラザマリオ

	<ul style="list-style-type: none"> ・参加機関 八十二銀行、諏訪信用金庫、長野銀行、長野県信用組合、岡谷商工会議所、長野県信用保証協会 <p style="text-align: right;">(1, 153, 243, 529円)</p>
産業連携・交流推進事業	<p>1 工業会育成事業</p> <p>(1) 岡谷市金属工業連合会会員企業数 84社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡谷市機械精密工業会 51社 ・岡谷市電気工業会 10社 ・岡谷市表面処理工業会 16社 ・岡谷市計量器工業会 7社 <p>(2) 評議員会及び総会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡谷市金属工業連合会評議員会 ・岡谷市機械精密工業会総会 ・岡谷市電気工業会総会 ・岡谷市表面処理工業会総会 ・岡谷市計量器工業会総会 <p>文書会議により、6月29日(月)～7月3日(金)</p> <p>(3) 岡谷市金属工業連合会等視察研修</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>2 産学官金連携推進事業</p> <p>(1) エンジニアのための教養講座 2020</p> <p>現在抱えている課題の解決や新たな事業展開の参考としていただくため、信州大学と連携し、地元企業や支援機関向けに教養講座を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期　　日 10月6日(火)～11月20日(金) 　　計7回 ・場　　所 テクノプラザおかや ・参加者数 のべ91名 <p>(2) 信州大学技術相談</p> <p>企業が課題としている技術開発について信州大学教授が対応する技術相談会を実施した。相談企業2社</p> <p style="text-align: right;">(3, 517, 175円)</p>
テクノプラザおかや管理事業	<p>産業の振興と地域経済の活性化を促進するための拠点施設であるテクノプラザおかやについて、市内外の中小企業が快適に利用できるよう適切な維持管理・運営を行った。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い4月5日(日)から5月31日(日)までの期間において施設の使用を中止した。</p> <p>(1) 施設利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用件数 741件 ・利用者数 7, 358名 <p>(2) 主な修繕等の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋上配管凍結防止ヒーター取替工事 2, 838, 000円 ・冷温水発生器ポンプ熱交換器取替工事 2, 053, 700円 ・エレベーター部品交換工事 682, 000円 <p>(3) テクノプラザおかや機能強化事業</p> <p>コワーキングスペースは市内外からより多くの利用者を呼び込むべく、基礎設計を民間設計業者に業務委託し、工事費等及び信州大学への負担金は全額翌年度へ繰越した。</p> <p style="text-align: right;">(28, 257, 930円)</p>

テクノプラザおかや自主事業	<p>1 テクノプラザおかや ものづくりフェア アーカイブ展 コロナ禍におけるテクノプラザおかや “ものづくりフェア 2021” の中止に伴い、平成14年度から開催してきた「ものづくりフェア」の貴重な歴史を、未来に伝達するべく、ものづくりフェアの過去の映像、写真、ポスターの展示、体験イベント製品の展示などを行った。 また、ものづくりの文化を広く発信していくため、蚕糸博物館の企画展「諏訪のものづくり」間で子ども達向けにスタンプラリーを実施した。 「テクノプラザおかや ものづくりフェア アーカイブ展」 ・期　　日 令和3年2月26日（金）～3月31日（水） ・会　　場 ララオカヤ1階特設会場 ・出展社数 83社・団体 ・スタンプラリー参加人数 95名</p> <p>2 LOVOTふれあい体験会 ものづくりフェア中止に伴い代替えの企画として、子どもたちに最先端の技術に触れてもらうため、市内保育園向けにLOVOT（ラボット）体験を実施した。 体験会：市内10保育園及びこどものくに (990, 947円)</p>
計量検査事業	<p>1 特定計量器定期検査 取引・証明に使用される特定計量器（質量計）の定期検査を行った。 ・検査戸数 43戸 ・検査個数 232個 ・不合格数 4個</p> <p>2 商品量目立入検査 スーパー・マーケット等において、自店舗で計量販売するパック商品の内容量が正確に計量されているか検査した。 ・検査事業所数 4事業所 ・検査個数 200個 ・不合格数 0個</p> <p>3 計量記念日 11月1日の計量記念日にあわせ、計量に関する知識普及・思想啓発に関する新聞広告を掲載した。 ・掲載紙 岡谷市民新聞 ・掲載日 11月1日（日） (126, 191円)</p>
労務管理事業	<p>1 巡回労働相談 南信労政事務所と連携し、雇用や労働条件及び人事・労務管理に関する出前相談会を実施 ・相談員 南信労政事務所 労働相談員 ・場所 勤労青少年ホーム</p> <p>2 経営相談 長野県よろず支援拠点と連携し、コロナ禍における様々な経営課題に対する相談窓口を設置 (新型コロナウイルス感染症対応事業) ・相談員 長野県よろず支援拠点 コーディネーター ・場所 テクノプラザおかや</p>

	<p>3 働き方改革相談会 長野働き方改革推進支援センターと連携し、働き方改革に取り組む中小企業、小規模事業主を対象にした個別相談会を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 相談員 社会保険労務士 場所 テクノプラザおかや <p>4 ビジネスコーナー設置 市立岡谷図書館及びおかや総合福祉センター（諏訪湖ハイツ）にビジネスコーナーを設置し、ビジネス関連の書籍や就職に関する各種事業等の情報提供を行った。</p> <p>5 P C R 検査による事業活動支援 (新型コロナウイルス感染症対応事業) 岡谷市民病院と連携し、海外渡航等に際して必要となるP C R 検査の受け入れ体制を整え、コロナ禍での事業活動を支援した。</p>	(7,190円)
勤労者福祉対策事業	<p>勤労者福祉等推進事業団体の育成・支援 一般財団法人 諏訪湖勤労者福祉サービスセンター補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> 交付金額 15,102,000円 	(15,111,700円)
労働金庫預託金	<p>1 労働金庫預託金 勤労者生活資金融資を行なうための貸付原資を労働金庫に預託した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 預託金額 30,000,000円 <p>2 勤労者生活資金融資</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度新規融資件数 1件 年度末融資残高 7,868,706円 	(30,000,000円)
若年人材確保事業	<p>1 学生就活応援事業 (新型コロナウイルス感染症対応事業) 市内出身学生に対し就職活動応援品（企業情報冊子およびクオカード）を送付し、コロナ禍での学生生活及びUターン就職を支援。</p> <ul style="list-style-type: none"> 期間 6月1日（月）～9月30日（水） 申込学生数 116名 冊子掲載社数 31社 <p>2 高校求人一覧表作成配布</p> <ul style="list-style-type: none"> 期間 7月2日（木）～16日（木） 配布先 17校（諏訪、塩尻、伊那、松本地域） <p>3 新卒者就職活動支援</p> <p>(1) おかや就活サークルその1 先輩社員との座談会 自分に合った仕事発見セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> 期日 12月28日（月） 場所 テクノプラザおかや 参加者数 19名 <p>(2) おかや就活サークルその2 企業見学ツアー コロナ禍での就活と自己PRポイントセミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> 期日 2月5日（金） 場所 テクノプラザおかやほか 参加者数 18名 	

- (3) おかや就活サークルその3
 第一印象の重要性と基本的なマナー習得セミナー
 模擬面接体験
 ・期　　日　3月4日（木）
 ・場　　所　テクノプラザおかや
 ・参加者数 24名
- 4 新規学卒者対象諏訪地域企業ガイダンス
 (1) 期　　日　4月11日（土）2021卒対象
 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。
 (2) 期　　日　6月12日（金）2021卒対象
 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。
 (3) 期　　日　8月21日（金）2021卒対象
 場　　所　茅野市民館（茅野市）
 参加学生 のべ106名
 参加企業 76社（うち市内企業14社）
 (4) 期　　日　2月6日（土）2022卒対象
 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。
 (5) 期　　日　3月5日（金）2022卒対象
 場　　所　茅野市民館（茅野市）
 参加学生 のべ146名
 参加企業 99社（うち市内企業28社）
- 5 学内企業説明会
 (1) 期　　日　1月27日（水）
 場　　所　山梨大学
 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。
 (2) 期　　日　2月17日（水）～25日（木）
 場　　所　日本工業大学
- 6 諏訪地域企業ガイド
 6市町村及び諏訪地域労務対策協議会との連携により、企業ガイドブックの作成・配布や就職支援サイト運営事業としてホームページを運営し、新規学卒者及び大学、短大等に対し企業のPRや各種イベントの情報発信を行い、市内企業への就職促進を図った。
- 7 オンラインを活用した採用力向上セミナー
 (新型コロナウイルス感染症対応事業)
 ・期　　日　10月7日（水）、14日（水）
 ・場　　所　テクノプラザおかや
 ・参加者数 のべ14社 14名 (212,850円)
- 8 イマドキの就活を知る保護者のためのセミナー
 ・期　　日　11月29日（日）
 ・場　　所　テクノプラザおかや
 ・講　　師　岡谷労務対策協議会 理事企業代表
 マルヤス機械㈱ 矢嶋宏二 氏
 CDA 小口喜照 氏
 松本大学 キャリアセンター 上條直哉 氏
 ・参加者数 14名
- 9 中学生キャリア教育支援事業
 市内中学生を対象に、市内企業担当者による講話をを行い、地元産業の活躍や魅力と職業観の育成や礼儀などを学習した。
 (1) 期　　日　9月17日（木）
 場　　所　岡谷南部中学校

	参加学生 2年生 86名 参加企業 2社 (2) 期日 10月2日(金) 場所 岡谷西部中学校 参加学生 2年生 76名 参加企業 2社 (3) 期日 11月27日(金) 場所 岡谷北部中学校 参加学生 2年生 130名 参加企業 2社 (4) 期日 1月18日(月) 場所 岡谷東部中学校 参加学生 3年生 144名 参加企業 2社
10	高校生キャリア教育支援事業 開催中止となった諒訪圏工業メッセ2020見学の代替として、将来の就職がイメージできるよう、幅広い業種の市内企業担当者より仕事内容や社会人としての心構えなどについて学習した。 (1) 期日 10月15日(木) 場所 岡谷南高等学校 参加学生 1年生 200名 参加企業 5社 (2) 期日 11月26日(木) 場所 岡谷工業高等学校 参加学生 2年生 194名 参加企業 10社
11	大学訪問事業 市内企業の若年人材確保及びU.I.Jターン就職を促進するための関東及び中京方面の大学訪問事業について、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。
12	学校教職員事業所視察会 市内及び近隣高等学校の教職員に、高校生の積極採用を考える市内企業を見学していただくことにより、企業の技術や職場環境等について理解を深め、就職希望生徒に対する有効な情報提供を実現し就職に繋げるため実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。
13	新入社員激励会 ・期日 4月3日(金) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。
14	新入社員・若手社員フォローアップ研修 ・期日 11月18日(水) ・場所 テクノプラザおかや ・参加者数 10社 23名
15	インターンシップ促進補助金 ・交付件数 7社 ・交付金額 60,000円
16	採用活動応援事業補助金 (新型コロナウイルス感染症対応事業) ・交付件数 15社 ・交付金額 3,593,000円 (うち新型コロナウイルス感染症対応分 3,293,000円)

	<p>17 採用活動強化支援補助金 (新型コロナウイルス感染症対応事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交付件数 6社 ・交付金額 1,652,000円 <p>(7,801,459円)</p>
求人・求職対策事業	<p>1 若年者就業支援</p> <p>(1) ミニジョブカフェ 県のジョブカフェ信州と連携した若者の就労に関する出前相談会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談員 ジョブカフェ信州就業支援アドバイザー ・場所 テクノプラザおかや <p>(2) 夜間休日相談 国の行なう若年者地域連携事業と連携した若者の就労に関する相談会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談員 若年者地域連携事業推進センター 相談員 ・場所 テクノプラザおかや <p>2 女性の就業支援</p> <p>(1) 女性の就業相談 県の女性の就業支援事業と連携した女性の就労に関する出前相談会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談員 女性就業支援員 ・場所 テクノプラザおかや ほか <p>(2) 女性の再就職応援セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期日 1月27日(水) ・場所 テクノプラザおかや ・講師 工科短期大学校 講師 堀内 真紀子 氏 キャリアコンサルタント 松本 理恵 氏 ・参加者数 11名 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため夏期の開催は中止した。 <p>(3) ミニ就職説明会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期日 1月28日(木) ・場所 テクノプラザおかや ・参加企業 8社 ・参加者数 10名 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため夏期の開催は中止した。 <p>3 定年準備セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期日 2月10日(水) ・場所 テクノプラザおかや ・講師 特定社会保険労務士 山本 剛 氏 ・参加者数 30名 <p>4 雇用調整助成金等に関する個別相談会 (新型コロナウイルス感染症対応事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談員 社会保険労務士 ・場所 テクノプラザおかや、岡谷商工会議所 <p>(185,841円)</p> <p>5 転職・移住者就職説明会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期日 10月28日(水) ・場所 ララオカヤ ・参加者数 170名 ・参加企業 74社(うち市内企業18社)

	<p>※諏訪 6 市町村、諏訪公共職業安定所、長野県諏訪地域振興局主催 諏訪地域労務対策協議会共催</p> <p>6 諏訪地域年末企業研究会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期　　日　12月28日（月） ・場　　所　ララオカヤ ・参加者数　157名 ・参加企業　78社（うち市内企業21社） <p>※岡谷市・下諏訪町就職面接会実行委員会主催 諏訪市・茅野市労務対策協議会共催</p> <p>7 障がい者就労体験補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交付件数　　1社 ・交付金額　60,000円 <p>8 女性雇用促進就業環境整備支援事業補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交付件数　　2社 ・交付金額　260,000円 <p>9 従業員の生活を守る雇用維持応援事業補助金 (新型コロナウイルス感染症対応事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交付件数　　9社 ・交付金額　1,606,703円 <p>10 求人・求職者情報の提供 求人・求職者情報を公共施設に設置、配布。</p> <p style="text-align: right;">(3,199,285円)</p>
勤労青少年ホーム・勤労会館事業	<p>勤労青少年ホーム及び勤労会館は、一般財団法人諏訪湖勤労者福祉サービスセンターが指定管理者として管理運営を行った。また、新型コロナウイルス感染症への対応として、4月5日から5月31日までの間施設使用を中止し、利用再開後においても感染防止対策を講じながら管理運営を行った。</p> <p>指定管理料　　勤労青少年ホーム　11,291,000円 　　　　　　　勤労会館　　1,741,000円</p> <p>1 講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勤労青少年ホーム　夏秋冬で25講座を開催。 ・開催回数　　のべ162回 ・参加者数　のべ1,784名 <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため春期講座の開催は中止した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勤労会館　2講座を開催。 ・開催回数　　のべ4回 ・参加人数　のべ43名 <p>2 サークル等の活動、育成・指導</p> <p>40サークルの活動（利用）があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用件数　のべ1,108件 ・利用者数　のべ8,999名 <p>3 その他利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用件数　のべ17件 ・利用者数　のべ256名 <p>4 広報活動</p> <p>ホーム・会館のPR用チラシにより、利用促進を図った。また、各種講座、サークルについて、案内チラシの作成など利用者増の取組を行った。</p> <p style="text-align: right;">(13,593,620円)</p>

第3 主要な統計、行政資料等

1 制度資金

(1) 市制度資金（あっせん資金）

資金名	件数	金額（千円）
振興資金（運転）	0	0
振興資金（設備）	0	0
小規模企業資金（運転）	6	23,700
小規模企業資金（設備）	7	27,710
工場用地取得資金	0	0
関連倒産防止資金（運転）	0	0
関連倒産防止資金（設備）	0	0
商店近代化資金	0	0
おかや地球にやさしい環境づくり資金（運転）	0	0
おかや地球にやさしい環境づくり資金（設備）	0	0
経営安定資金（運転）	0	0
経営安定資金（借換）	0	0
開業資金（運転）	6	18,720
開業資金（設備）	3	8,990
新分野開拓支援資金（運転）	0	0
新分野開拓支援資金（設備）	0	0
新型コロナウイルス緊急対策資金	205	2,493,600
新型コロナウイルス緊急対策借換資金	44	525,274
合計	271	3,097,994

(2) 県制度資金（あっせん資金）

資金名	件数	金額（千円）
小規模企業発展資金（運転）	0	0
小規模企業発展資金（設備）	0	0
経営健全化支援資金		
経営安定対策（運転）	0	0
経営安定対策（設備）	0	0
特別経営安定対策（運転）	4	193,000
特別経営安定対策（設備）	0	0
防災・安全対策向け（運転）	0	0
防災・安全対策向け（設備）	0	0
災害対策（運転）	0	0
災害対策（設備）		
新型コロナウイルス対策（運転）	32	1,730,000
新型コロナウイルス対策（設備）	5	126,260
信州創生推進資金		
創業支援向け（運転）	4	13,110
創業支援向け（設備）	4	27,810
事業承継向け（運転）	0	0
事業承継向け（設備）	0	0
事業展開向け（運転）	0	0

事業展開向け（設備）	0	0
地域活性化向け（運転）	0	0
地域活性化向け（設備）	0	0
企業立地向け（運転）	0	0
企業立地向け（設備）	0	0
次世代産業向け（運転）	0	0
次世代産業向け（設備）	0	0
海外展開向け（運転）	0	0
海外展開向け（設備）	0	0
経営改善サポート資金（運転）	1	70,000
経営改善サポート資金（設備）	0	0
合 計	50	2,160,180

2 勤労青少年ホーム及び勤労会館利用状況

施 設 名	利 用 人 数 (人)		
	令和2年度 (A)	令和元年度 (B)	増減 (A)-(B)
勤労青少年ホーム	11,039	18,390	△7,351
勤労会館	5,199	8,134	△2,935

3 テクノプラザおかや利用状況

部 屋 名	令和2年度 (C) (上段：件) (下段：人)	平成元年度 (D) (上段：件) (下段：人)	増減 (C)-(D) (上段：件) (下段：人)
大研修室兼展示場	91 2,302	151 13,844	△60 △11,542
I T 支 援 室	156 1,562	180 3,040	△24 △1,478
商 談 室	153 1,419	147 1,119	6 300
人材育成研修室（一括）	104 1,115	144 3,393	△40 △2,278
人材育成研修室（A）	41 237	119 981	△78 △744
人材育成研修室（B）	28 62	57 478	△29 △416
異業種交流スペース	76 559	158 1,580	△82 △1,021
実 習 室	92 102	103 388	△11 △286
合 計	741 7,358	1,059 24,823	△318 △17,465

商 業 觀 光 課

第1 概説

商業観光課では、市内中小小売業の振興と観光の振興に向け各種事業を展開した。

商業振興・支援事業では、小売店舗の整備改善支援、商店街街路灯電気料や商業会等で運営している駐車場の助成等各種補助事業を行った。また、新型コロナウイルス感染症の商業界への影響を最小限とするため、商店街街路灯の電気料臨時支援事業のほか、長野県と連携した県・市町村連携新型コロナウイルス拡大防止協力企業等特別支援事業、岡谷商工会議所と連携したテイクアウトでオカヤペイ500ポイントプレゼントキャンペーンや岡谷プレミアム商品券事業、岡谷TMOと連携した商業等事業継続緊急支援事業（家賃補助）など、各種経済対策や新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する啓発活動を実施した。特に、岡谷プレミアム商品券事業では、新型コロナウイルス感染症により落ち込んだ地域経済を活性化させるとともに、市内の消費を拡大させるため、過去最大規模で実施した。

中心市街地活性化事業では、岡谷TMOによる中心市街地活性化事業と各商業会等が実施する販売促進活動等に支援を行った。

また、商業将来像に掲げる岡谷市商業活性化計画に関して、施策の進捗状況やコロナ禍の現状を踏まえて、9の重点施策の重要度と優先度の見直しを実施した。

公共交通確保対策事業では、新型コロナウイルス感染症拡大防止措置を講じながらシルキーバス運行事業及び諏訪湖周スワンバス共同運行事業を実施した。

観光振興では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定していたイベントのほとんどが中止及び規模縮小となった。昭和45年に始まった岡谷太鼓まつりは、昨年節目となる50周年を迎える年と捉えていたが、開催は叶わなかったため、レイクウォーク岡谷にて岡谷太鼓まつりPR展を実施した。

その他横河川の桜や出早公園のもみじなど、個人が感染対策をしながら花を楽しむことができるイベントもあったが、鶴峯公園のつつじ祭りについては5月連休と重なったことから、感染拡大を防ぐため、公園を閉鎖するなどの対応を行った。

商業観光関係施設では、イルフプラザ商業活性化センター、ララオカヤ、駅前自転車駐車場、太鼓道場など7施設の管理運営を行った。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
商業振興事業	<ul style="list-style-type: none"> ・中小売等店舗活性化事業補助金 32件 9,136,000円 ・駐車場運営費補助金 2件 416,000円 ・商店街街路灯電気料等補助金 6件 1,434,000円 (うち新型コロナウイルス感染症対応 (商店街街路灯の電気料 臨時支援事業) 6件 959,000円) ・商店街照明施設 LED化促進事業補助金 2件 1,117,000円 ・岡谷商工会議所補助金 2件 36,520,000円 (うち新型コロナウイルス感染症対応 (新型コロナ感染症拡大 防止及び飲食宅配・テイクアウトサービス実施支援補助金) 1件 19,420,000円) ・商業連合会活動事業補助金 1件 1,330,000円 ・岡谷TMO商業活性化事業負担金 2件 7,364,000円 (うち新型コロナウイルス感染症対応 (商業等事業継続緊急支 援事業補助金) 1件 4,130,000円) ・オカヤペイポイント発行事業負担金 305件 19,066円 ・県・市町村連携新型コロナウイルス拡大防止協力金等負担金 (全 額新型コロナウイルス感染症対応) 1件 17,800,000円 (75,136,066円)
岡谷プレミアム 商品券事業	<ul style="list-style-type: none"> ・岡谷プレミアム商品券事業負担金 (全額新型コロナウイルス感 染症対応) 1件 187,338,000円 ・岡谷プレミアム商品券発行業務等委託料 (全額新型コロナウイ ルス感染症対応) 1件 27,663,328円 (215,001,328円)
中心市街地活性 化事業	岡谷TMO運営事業負担金 商業会を中心とした中小売店による魅力ある商業活動を支援 する岡谷TMOを運営するための負担金。 (4,399,177円)
シルキーバス運 行事業	公共施設の利用促進、中心市街地の活性化、公共交通空白地の 解消を目的として、今井・長地線、長地・今井線、市街地循環西 ルート線、やまびこ公園線、市街地循環東ルート線、川岸線、川 岸橋原線の7路線で運行した。 (64,448,707円)
諏訪湖周スワン バス共同運行事 業	岡谷市、諏訪市、下諏訪町の2市1町による共同運行事業を実 施した。 (13,472,327円)
観光宣伝事業	<p>新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため一部縮小</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横河川桜祭り 期 間 4月4日～12日 ・第15回出早公園かたくり祭り 期 間 4月13日～26日 <p>新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第67回信州岡谷塩嶺小鳥バス ・鶴峯公園つつじ祭り ・第22回塩嶺王城パークラインハーフマラソン大会 ・第14回由布姫あじさい祭り ・第51回市民祭岡谷太鼓まつり 太鼓まつりPR展 8月8日～8月16日 場 所 レイクウォーク岡谷 ・出早公園もみじ祭り ・第40回ふるさとまつり <p>(18,293,397円)</p>

太鼓道場管理事業	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4／5～7／5まで休館とした。 ・太鼓道場利用者数 2,602人 ・練習室利用時間 991時間 (3,710,934円)
イルフプラザ管理事業	イルフプラザを安全で快適に利用していただけけるよう、施設の管理、修繕及び施設内的一部 LED 化を行ったほか、円滑な組織運営を図るため、商業活性化センター、地権者店会、生涯学習活動センター等との調整を行った。 (137,456,704円)
岡谷駅前再開発ビル管理事業	岡谷駅前再開発ビルの施設管理を行った。岡谷市ララ・チャレンジ広場事業は本年度末で終了とした。 岡谷市ララ・チャレンジ広場 ・チャレンジショップ利用区画数 4区画 ・レンタルボックス利用棚数 123棚 ・1階イベント広場利用日数 延べ152日 ・2階イベント広場利用日数 延べ92日 (54,203,665円)
岡谷駅前広場管理事業	岡谷駅前広場等の運営管理を指定管理者シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社が行った。 (5,238,024円)
自転車駐車場管理事業	岡谷駅前自転車駐車場の運営管理を指定管理者シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社が行った。老朽化の進んでいた自転車駐車場監視カメラを更新した。 (13,644,504円)
アミューズメント施設事業	アミューズメント施設及び、岡谷市民ミーティングルームの維持管理を行った。 (10,865,977円)
中央町駐車場管理事業	中央町駐車場の維持管理を行った。 (24,474,646円)

第3 主要な統計、行政資料等

1 岡谷駅前自家用車整理場利用状況

区分	令和2年度(A)	令和元年度(B)	増減(A)-(B)
利用台数	72,610台	131,875台	△59,265台
1日平均利用台数	198.9台	360.3台	△161.4台

2 岡谷駅前自転車駐車場利用状況

区分	駐車可能台数	駐車実績			
		使用区分	※平均利用台数 台/月		
			令和2年度(A)	令和元年度(B)	増減(A)-(B)
自転車	定期使用 1,114	通学者	556.6	606.3	△49.7
		一般者	59.6	61.6	△2.0
		小計	616.2	667.9	△51.7
バイク	1日使用 86	1日使用	18.3	24.3	△6.0
	合計 1,200	合計	634.5	692.2	△57.7
バイク	定期使用 17	通学通勤	3.3	4.3	△1.0
		1日使用	0.1	0.3	△0.2
	合計 17	合計	3.4	4.6	△1.2

※駐車実績欄中、「定期使用」は毎月1日の利用台数の平均値、「1日使用」は、1日当たり平均利用台数を用いてある。

3 岡谷市民ミーティングルーム利用状況

区分	実績		
	令和2年度(A)	令和元年度(B)	増減(A)-(B)
利用回数	149回	381回	△232回
利用延人数	2,521人	5,989人	△3,468人

4 中央町駐車場利用状況

区分	実績		
	令和2年度(A)	令和元年度(B)	増減(A)-(B)
利用台数	155,604台	208,027台	△52,423台
1日平均利用台数	426台	568台	△142台

5 シルキーバスの利用状況

区分	令和2年度(A)		令和元年度(B)		増減(A)-(B)	
	乗車数	1便当たり平均乗車数	乗車数	1便当たり平均乗車数	乗車数	1便当たり平均乗車数
長地・今井線	人 20,975	人/便 7.6	人 28,761	人/便 10.4	人 △7,786	人/便 △2.8
今井・長地線	22,291	9.3	19,501	8.1	2,790	1.2
川岸線	38,930	8.2	46,181	9.8	△7,251	△1.6
川岸橋原線	1,928	2.7	2,613	3.6	△685	△0.9
やまびこ公園線	2,980	1.8	4,409	2.6	△1,429	△0.8
市街地循環西ルート線	5,075	3.8	7,653	5.8	△2,578	△2.0
市街地循環東ルート線	10,714	5.9	15,799	8.7	△5,085	△2.8
合計	102,893	6.6	124,917	8.1	△22,024	△1.5

6 諏訪湖周スワンバスの利用状況

区分	令和2年度(A)		令和元年度(B)		増減(A)-(B)	
	乗車数	1便当たり平均乗車数	乗車数	1便当たり平均乗車数	乗車数	1便当たり平均乗車数
内回り線	人 34,409	人/便 13.5	人 48,961	人/便 19.2	人 △14,552	人/便 △5.7
外回り線	24,237	9.5	36,221	14.2	△11,984	△4.7
合計	58,646	11.5	85,182	16.7	△26,536	△5.2

ブ ラ ン ド 推 進 室

第1 概説

ブランド推進室では、シルクを活かしたまちづくりを推進するため、地域おこし協力隊やシルク関連事業者とともに、養蚕振興、岡谷シルクのブランド化に取組んだほか、市職員向けに養蚕体験研修を実施し、養蚕の歴史や文化を学ぶとともに養蚕事業の復興に向けた理解促進と関心醸成に取組んだ。また、地域ブランドの確立に向けて、関東経済産業局「売れる地域ブランド育成・定着支援事業」により、市内のシルクやまちづくりに携わる関係者が連携して「岡谷シルク」のブランド化に向けた全体戦略や地域の課題について検討を深めた。さらに、2020年度から3年間を実施期間として、信金中央金庫が実施する「信金中央金庫創立70周年記念事業SCBふるさと応援団」事業に「岡谷シルク推進事業」が採択され事業推進に取組んだ。

新型コロナウイルス感染症による新たな試みとして、SNSの特性を活かした情報発信や岡谷蚕糸博物館ショップの出張販売などにより、岡谷ブランドの推進に努めた。

岡谷蚕糸博物館～シルクファクトおかや～では、新型コロナウイルス感染症の影響により約2ヶ月間の臨時休館としたほか、企画展の開催内容の見直し、館内案内や体験等の中止、密を回避するための入場制限、飛沫防止のクリアカーテンの設置など必要な感染予防対策を実施、適正な施設維持管理と効率的な博物館運営に努めた。また、コロナ禍において、県外からの団体客誘致が難しい中、市商業観光課、岡谷市観光協会と連携し、県内小中学校の修学旅行等の誘致に力を入れ多くの児童生徒に来館いただいた。このほか、学校の先生や子どもたちを対象に蚕学習の支援等を行った。加えて、今年度より農林水産課主催のオープンエアマーケット会場としてマルベリー広場を開放した。

岡谷市文化会館及び日本童画美術館については、指定管理者による適正な管理運営を行うとともに、施設に応じた新型コロナウイルス感染症の拡大防止策を講じ、企画内容を一部変更して対応するなか、岡谷市文化会館ではオーケストラ等の各種公演事業や育成事業のほか、カノラホールソサエティ創立30周年記念事業として「スギテツwith溝口肇～クラシックで遊ぼう～」などの開催により、市民に質の高い舞台芸術鑑賞の機会を提供了。

日本童画美術館では、企画展として「妖怪ハンター」等を代表作とし、日本中に多数の熱狂的なファンを持つ諸星大二郎展や「ぞうさん」「一ねんせいになったら」の作詞で有名な「まど・みちお」展等を通年で開催するとともに、様々な世代に参加いただけるよう工夫を凝らしたワークショップを開催した。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
蚕糸業対策事業	<p>1 行事等 2020 シルクフェア in おかや（シルクフェア実行委員会負担金） • 期 日 4月29日（水・祝） • 場 所 岡谷蚕糸博物館-シルクファクトおかや-ほか 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 日本絹文化フォーラム 2020（日本絹文化フォーラム負担金） • 期 日 11月14日（土） • 場 所 カノラホール小ホール 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>2 岡谷絹工房補助金 シルク岡谷の歴史と文化を継承し、絹を素材としたクラフト製品の開発研究や後継者の育成を図る岡谷絹工房後継者育成事業に支援した。</p> <p style="text-align: right;">(400,000 円)</p>
ブランド推進事業	<p>1 おかやブランドマネジメント事業（おかやブランドプロモーション協議会負担金） 岡谷ブランドの構築を図るため、岡谷ブランドブックに基づき官民協働でアクションプランを推進する「おかやブランドプロモーション協議会」に対して事業費の一部を負担した。 • おかやブランドプロモーション協議会開催 8/27 総会：前年度事業・決算報告、今年度事業計画・予算協議会の今後の進め方、今後の活動内容を検討 9/25 会議：コロナ禍の新たなブランド戦略として「移住定住」を促進していく方針を決定 11/30・3/18 定住者等ワークショップ：岡谷市へ移住定住された方の目線から岡谷市を分析していただき、意見提言をいただいた。 3/22 会議：定住者等ワークショップでの意見を会議で報告し、岡谷市の移住定住の魅力を検討した。 • 自転車遠乗りイベントをイルフ童画館と共同開催。 • 首都圏等への営業活動 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止及び自粛 • レンタサイクル事業 (岡谷蚕糸博物館 54回・駅前自転車駐車場 328回) • Facebook を活用した情報発信 • ブランドロゴ入りキーホルダー・精密ゴマ販売等</p> <p>2 岡谷ブランドの推進 • SNS魅力発信事業 新型コロナウイルス感染症の影響により蚕糸博物館が臨時休館となつたため、博物館のコンテンツを活用しSNSの各特性にあわせた情報発信を行い、コロナ禍でも親子が自宅で学べる機会を提供した。 • 関東経済産業局「売れる地域ブランド育成・定着支援事業」 11月から5回の会議を通じて、日本の近代化を支えてきた歴史を持ち岡谷市の地域ブランドの1つである「岡谷シルク」のブランド化の土台構築を図るとともに、地元のシルク関係者がブランド力の向上や地域におけるブランディング手法を協議し、ブランドコンセプトや戦略の策定に向けた機会とした。 11/6 第1回会議：「～を幸せにする岡谷シルクの検討」 グループディスカッション</p>

	<p>12/3 第2回会議：講義、ワークショップ「岡谷シルクのブランディングについて」</p> <p>1/25 第3回会議：講義、ワークショップ「タッチポイント」</p> <p>2/22 第4回会議：製品検討、事業者ヒアリング</p> <p>3/25 第5回会議：本事業の振り返り、成果発表</p> <p>・養蚕体験研修 養蚕の歴史や文化を学び、岡谷シルクの源でもある養蚕現場の体感により、養蚕事業への理解と次年度以降の事業に繋げるため、産業振興部職員を対象に養蚕体験研修を実施した。</p> <p>・信金中央金庫創立70周年記念事業「S C B ふるさと応援団」 2020年度から3年間を実施期間として、信金中金が企業版ふるさと納税等を活用し、地域の課題解決および持続可能な社会の実現に資する地域創生事業を応援する本事業に「岡谷シルク推進事業」が採択され事業の推進に繋げた。</p> <p>・首都圏及び中京圏などで開催の商談会及びイベント参加</p> <p>・信州シルクロード連携協議会とのタイアップ、PR活動など新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止及び自粛</p> <p>・日本童画美術館商標登録</p> <p>・市内の保育園児のイルフ童画館見学</p> <p>3 地域おこし協力隊ブランド推進事業 養蚕から製糸、製品化までを市内で完結できる岡谷市ならではの環境を活かした、「岡谷シルク」のブランド化によるまちづくりを推進するため、地域おこし協力隊と地域関係者が連携し取り組んだ。</p> <p>・地域おこし協力隊員 <養蚕振興> 三沢区民農園桑園整備及び養蚕 配蚕、摘桑、給桑、上蔟・營繭環境管理 春蚕・秋蚕の収繭・出荷（春：112kg・秋：125kg） <ブランド化> 岡谷シルクブランドコンセプト及びブランド化立案 地域企業と岡谷絹工房の連携による絹製品プロデュース 岡谷シルクブランドサイト開設及びSNSによる情報発信 慶應義塾大学にて岡谷市のシルクを活用したブランディング講義</p>
	(14,596,808円)

文化会館管理運営事業	<p>1 指定管理者（公財）おかや文化振興事業団による管理運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理料 151,125,000円 ・自主事業補助金 9,000,000円 <p>[主催公演事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古澤巖ヴァイオリンの昼と夜gala²、カノラ・ウイークエンドコンサート「OBSSESSION」「椿三重奏団」 <p>[育成事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめてのクラシックシリーズ Vol.7、カノラ少年少女合唱団 令和2年度定期演奏会、カノラータオーケストラ第19回定期演奏会ほか <p>[独自企画事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめてのクラシックシリーズ Vol.7「小学校アウトドア・コンサート」、カノラホール・ソサエティ創立30周年記念スギテツ with 溝口肇～クラシックで遊ぼう～やまびこ夜景コンサート～ミクシカル～、新日本フィルハーモニー交響楽団 なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止対応として施設の閉鎖などにより、指定管理委託料の精算を行った。
	(160,234,315円)

文化会館整備事業費	<p>1 文化会館整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡谷市文化会館非常放送設備改修工事 請負業者：平澤電気工事株式会社 契約金額：2,750,000円 ・岡谷市文化会館大ホール舞台機構設備改修工事 請負業者：三精テクノロジーズ株式会社東京支店 契約金額：30,800,000円 ・岡谷市文化会館大ホール舞台床改修工事 請負業者：株式会社岡谷組 契約金額：23,650,000円 <p style="text-align: right;">(57,200,000円)</p>
童画館管理運営事業	<p>1 指定管理者（公財）おかや文化振興事業団による管理運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理料 66,649,000円 <p>[企画展示]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武井武雄七つの顔展 ・詩と武井武雄展 ・まど・みちお展 ・刊本作品展 ・新コレクション展 ・武井武雄の漫画とペン画展 ・諸星大二郎展 ・大澤コレクション展 ・第10回日本童画大賞展 <p>[はらっぱ事業ワークショップ等]</p> <p>製本、版画、工作、手芸等芸術など幅広い内容で様々な世代が参加できるワークショップ、企画展ギャラリートーク、刊本作品読み語り等の開催。諸星大二郎展時は3館館長による講演会を行うなどエリア的な集客を図った。</p> <p>[広域的連携事業等]</p> <p>新エコバックの作成の他、武井武雄作品を用いた新商品の開発。令和元年に開催した第10回童画大賞絵本部門にて大賞となった「バジと赤いボール」をフレーベル館より出版した。</p> <p style="text-align: right;">(66,678,881円)</p>
童画館整備事業費	<p>1 童画館整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本童画美術館2階展示室除湿器更新工事 請負業者：有限会社 ミヤサカ管工 契約金額：594,000円 ・日本童画美術館3階収蔵庫エアコン更新工事 請負業者：杉村設備 株式会社 契約金額：5,940,000円 <p style="text-align: right;">(6,534,000円)</p>
博物館管理運営事業	<p>蚕糸博物館の維持管理に必要な光熱水費や動態展示業務を含む、各種委託料等を予算計上し、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら、適切な管理及び運営を行った。</p> <p>総入館者数 12,742人（1日平均49人）</p> <p>1 感染症拡大防止対策として中止とした業務等</p> <p>館内ガイドツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期日 土日祝日 午前10時30分、午後2時 ・場所 ミュージアムエリア及び動態展示エリア 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 <p>フランス式繰糸機復元機の実演</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期日 毎月第2土曜日 午前11時、午後2時30分 ・場所 ミュージアムエリア 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

カイコふれあいルームの利用

- ・期 日 通年
- ・場 所 カイコふれあいルーム
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため利用中止
- まゆちゃん工房での体験
- ・期 日 通年
- ・場 所 まゆちゃん工房
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため利用中止
- 関連イベントへの参画
- ・諏訪湖まちじゅう芸術祭、絹のみち広域スタンプラリー等
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

2 公共施設管理に関する感染防止対応

4月5日から5月31日まで臨時休館とした。その間、必要な感染防止対策を施し、6月1日からは来館者に対し、マスク着用の推奨、出入口での手指消毒・検温を実施し、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めた。

また、来館者の連絡先を把握するため、利用者カードの記入を来館者に促したほか、新型コロナウイルス感染症拡大防止を周知するため、出入口及び館内に貼紙を掲示した。

このほかにも、受付や工場の見学エリアに飛沫防止用の透明アクリル板等を設置したり、1日3回の定期的な館内消毒の実施、1グループ20名までを上限とした入場制限及び時間差による入場の実施など、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めた。

これらの感染症対策の整備にあたっては、その一部に文化庁の文化芸術振興費国庫補助金を充てた。

3 行事等の中止、延期 等

わくわくふれあいシルクサマーセミナー

- ・期 日 8月2日（日）
- ・場 所 ミュージアムエリア、きぬのひろば
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

4 新型コロナウイルス感染症対応による新規、拡充事業

岡谷蚕糸博物館ミュージアムショップ出張販売

（1）岡谷市役所地下売店

- ・日 時 4月20日（月）～22日（水）
- ・売 上 177,561円（シルク商品など）

（2）諏訪信用金庫

- ・日 時 6月8日（月）～9日（火）
- ・売 上 103,413円（シルク商品など）

新型コロナウイルス感染症の影響により約2か月間博物館が臨時休館し、ミュージアムショップ内の出品企業の売上が減少する中、博物館のPR及びブランド発信、企業の事業継続支援を目的に市職員と諏訪信用金庫職員を対象にミュージアムショップに出品している企業商品の出張販売を実施した。

岡谷蚕糸博物館ミュージアムショップカタログ販売

- ・期 間 4月20日（月）～5月29日（金）
- ・売 上 64,790円（シルク商品など）

新型コロナウイルス感染症の影響により約2か月間博物館が臨時休館し、出品企業の売上が減少する中、博物館のPR及びブランド発信、企業の事業継続支援を目的に市職員に対してカタログ販売を実施した。

臨時休館明けにおける開館セレモニー

- ・日 時 6月1日（月）
- ・来館者数 115名

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2か月間の臨時休館後の開館に合わせて、無料開放及び先着50名へ記念品（シルクのタッセルストラップなど）の贈呈を行った。

オープンエアマーケット（青空市場）

第1回

- ・日 時 9月19日（土）午前9時～11時
- ・場 所 マルベリー広場
- ・来場者 206名
- ・参 考 9/19博物館来館者数 93名

第2回

- ・日 時 10月4日（日）午前9時～11時
- ・場 所 マルベリー広場
- ・来場者 193名
- ・参 考 10/4博物館来館者数 152名

第3回

- ・日 時 10月24日（土）午前9時～11時
- ・場 所 マルベリー広場
- ・来場者 238名
- ・参 考 10/24博物館来館者数 101名

第4回

- ・日 時 11月14日（土）午前9時～11時
- ・場 所 マルベリー広場
- ・来場者 243名
- ・参 考 11/14博物館来館者数 154名

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、販売機会や販路が縮小している農業者を応援するため、農林水産課が主催し、ブランド推進室が協力して岡谷蚕糸博物館—シルクファクトおかやーの芝生広場（マルベリー広場と命名）を直売会場として開放し実施した。

- 5 市商業観光課、岡谷観光協会と連携し修学旅行等の誘致に努めた結果、8月から12月中旬にかけ小中学校の学習旅行を中心に多くの団体予約を得た。
- 6 ミュージアム・ショップにて、企画展関連商品、岡谷みやげ物、岡谷蚕糸博物館図録、紀要、まゆ人形キット等販売
- 7 小中学校との連携による学習支援・講演会等
 - ・市内小中学校を中心に蚕学習による学習支援活動等実施
実施回数 27件（うち、出前講座25回）
 - ・8月・9月に学校等へ蚕を配布した。（6, 245頭）
 - ・シルクおかや桑の木情報発信事業の実施
マップの公開 8件
- 8 法人向け社員研修等
 - ・5回
市内企業を中心に新人職員やベテラン職員などを対象に社内の人材育成を目的とした研修会やセミナー、講演会などを実施した。
- 9 資料収集・整理
 - ・蚕糸関連資料の収集及び収蔵資料の整理
- 10 岡谷蚕糸博物館リニューアルオープン6周年記念
 - ・日 時 8月1日（土）
 - ・来館者数 131名
開館記念日として無料開放及び先着20名へ記念品（まゆで作ったアマビエなど）の贈呈を行った。

（36,861,358円）

企画展等開催事業	<p>1 企画展の開催</p> <p>信州の作家展 Part 2 信州型染-中島久雄 小紋染めとともに-</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会期 10月29日（木）～1月17日（日） ・来館者 4, 105人 ・ギャラリートーク 講師 創作工房「久」中島久雄氏 開催日 11月7日（土）、22日（日）参加者 100人 ・諏訪のものづくり-蚕糸業から精密業へ- ・会期 1月21日（木）～4月18日（日） ・来館者 2, 306人（年度末時点） ・関連イベント 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 <p>2 収蔵品展の開催</p> <p>運ぶ。蚕糸業を支えたモノの流れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会期 1月23日（木）～10月25日（日） 企画展及び収蔵品展のスケジュールを見直し、令和元年度事業である当該収蔵品展を予定よりも延長して実施。 ・来館者 6, 164人（令和2年度期間中） ・関連イベント 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 <p style="text-align: right;">(1,435,309円)</p>
----------	---

第3 主要な統計、行政資料等

1 文化会館

(1) 施設別利用状況

区分	使用可能日数 (A)	使用日数 (B)	使用率 (B) / (A) %
大ホール	168	59	35.1
小ホール	226	62	27.4
リハーサル室	251	98	39.0
第1練習室	251	152	60.6
第2練習室	252	142	56.3
第1会議室	249	91	36.5
第2会議室	248	14	5.6
合計 (C)	1,645	618	37.6
令和元年度合計 (D)	2,069	1,153	55.7
合計比較 (C) - (D)	△424	△535	△18.1

(2) 使用料収入

区分	件数	使用料収入 (円)
大ホール	123	1,359,489
大ホール付属設備等	69	1,418,743
小ホール	119	538,210
小ホール付属設備等	56	691,480
リハーサル室	137	227,720
リハーサル室付属設備等	4	0
第1練習室	199	62,240
第2練習室	242	208,740
第2練習室付属設備等	15	4,400
第1会議室	159	112,000
第2会議室	27	27,200
合計 (A)	1,150	4,650,222
令和元年度合計 (B)	2,024	14,242,187
合計比較 (A) - (B)	△874	△9,591,965

(3) 利用件数過去5年の推移

年度	件数	使用料収入 (円)
平成28年度	1,843	15,308,227
平成29年度	1,860	19,041,220
平成30年度	1,936	15,142,447
令和元年度	2,024	14,242,187
令和2年度	1,150	4,650,222

2 童画館

(1) 入館者数

区分	個人	団体	割引	年間入館券	共通入館券	計
一般	人 3,420	人 20	人 382	人 43	人 45	人 3,910
中高校生	73	0	4	0	0	77
小学生	145	32	16	0	1	194
小計	3,638	52	402	43	46	4,181
1階はらっぱ等						9,436
招待等						1,802
合計 (A)						15,419
令和元年度合計 (B)						28,102
合計比較 (A) - (B)						△12,683

(2) 入館料

区分	個人	団体	割引	年間入館券	共通入館券	計
一般	円 1,744,200	円 8,200	円 156,620	円 65,790	円 33,240	円 2,008,050
中高校生	22,630	0	840	0	0	23,470
小学生	23,200	3,520	1,760	0	310	28,790
小計	1,790,030	11,720	159,220	65,790	33,550	2,060,310
合計 (A)						2,060,310
令和元年度合計 (B)						2,447,210
合計比較 (A) - (B)						△386,900

(3) 入館者数過去5年の推移

年度	有料入館者			小計	1階はらっぱ等	招待・減免等	合計
	一般	中高生	小学生				
平成28年度	10,119	205	668	10,992	20,216	5,305	36,513
平成29年度	4,863	66	202	5,131	21,902	3,950	30,983
平成30年度	6,148	143	300	6,591	22,776	3,914	33,281
令和元年度	4,746	71	250	5,067	19,299	3,736	28,102
令和2年度	3,910	77	194	4,181	9,436	1,802	15,419

(4) 入館料過去5年の推移

年度	入館料収入 (円)
平成28年度	5,185,950
平成29年度	2,474,250
平成30年度	3,130,000
令和元年度	2,447,210
令和2年度	2,060,310

3 蚕糸博物館

(1) 入館者数

区分	個人	団体	年間入館券	共通入館券	計
一般	人 2,258	人 1,313	人 23	人 95	人 3,689
中高校生	21	362	0	0	383
小学生	74	1,583	0	1	1,658
小計	2,353	3,258	23	96	5,730
無料ゾーン					3,779
招待等					3,233
合 計 (A)					12,742
令和元年度合計 (B)					29,492
合計比較 (A) - (B)					△16,750

(2) 入館料

区分	個人	団体	年間入館券	共通入館券	計
一般	円 1,151,580	円 538,330	円 28,060	円 71,260	円 1,789,230
中高校生	6,510	76,020	0	0	82,530
小学生	11,840	174,130	0	310	186,280
小計	1,169,930	788,480	28,060	71,570	2,058,040
合 計 (A)					2,058,040
令和元年度合計 (B)					7,138,940
合計比較 (A) - (B)					△5,080,900

(3) 入館者数・入館料過去5年の推移

年 度	入館者数	入館料収入
人		円
平成28年度	32,027	9,165,450
平成29年度	35,035	9,357,800
平成30年度	28,382	7,220,500
平成元年度	29,492	7,138,940
令和2年度	12,742	2,058,040

農 林 水 產 課

第1 概説

農林水産課では、農地の保全、農林水産業の振興、市有林や分収造林事業、鳥獣保護等に関する業務を執行した。

農業振興では、農業の担い手育成・確保策として、認定新規就農者への農業次世代人材投資事業、女性農業組織への支援のほか、「サポートファーム（栽培指導者付き市民農園）事業」を実施した。

地産地消の推進では、「農産物直売所活性化（野菜の日）事業」の実施、学校給食への地元農産物提供の促進を図るとともに、サツマ芋「シルクスイート」の特産品化に向けた普及活動を行った。新型コロナウイルス感染症の影響により、販売機会や販路が断たれてしまった農業者を応援するため、「オープンエアマーケット（青空市場）事業」を開催し、市内農業生産物の販売促進、農業振興を図った。

生産振興の推進では、農業関係団体の育成強化、農作物食害防止対策支援、園芸施設の省エネ対策支援、養蚕団体支援等を行った。農地保全対策として市民農園の普及を促進した。

鳥獣被害対策では、国の交付金により電気柵を設置したほか、ニホンザルの防除委託を行い、農作物等への被害の防止と農地の保全に努めた。また、ニホンジカを捕獲する鳥獣被害対策実施隊を組織し農林業被害の軽減に努めたほか、CSF（豚熱）感染拡大防止のための捕獲を実施した。

水産振興では、諏訪湖の水産振興に向け、公魚卵放流事業及び外来魚の駆除対策事業を支援した。

農業基盤整備では、農道維持管理のための碎石敷均しや農業用水路の改修等のほか、防災重点ため池耐震性点検調査を実施した。

林業関係では、雨氷による市有林の被害木処理や保育事業、林道横河山線観音橋架替工事（下部工）を実施したほか、森林経営管理に係わる諏訪地域6市町村共同研修の実施や民有林の間伐及び森林保育に努めた。

松くい虫防除対策では、引き続き早期発見に向けた監視に努めるとともに、枯損木の伐倒を行った。

分収造林事業では、森林研究・整備機構と分収造林契約を結んでいる横川山において保育事業等を実施した。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
市有林管理事業	<p>市有林の健全な育成及び管理を図るための事業を実施した。</p> <p>1 整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨水被害地処理（パークライン） 1. 18 ha 下刈、生物害防除 ・搬出間伐（パークライン） 11. 07 ha <p>2 管理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市有林境界手入れ 3, 000 m (7,127,729 円)
農業振興事業	<p>1 農業担い手の育成、確保</p> <p>(1) サポートファーム（栽培指導者付き市民農園）事業</p> <p>農業に関心のある市民等を対象に農業の基礎を習得する機会を提供し、農業担い手育成、地産地消の推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期間 4月から10月まで（14回） ・時間 隔週木曜日午前9時から11時まで ・区画 8区画（8組） <p>(2) 関係補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> 女性農業組織育成事業補助金 (70,000 円) 環境保全型農業直接支払交付金 (266,400 円) 農業次世代人材投資事業補助金 (1,500,000 円) <p>2 地産地消の推進</p> <p>(1) 農産物直売所活性化（野菜の日）事業</p> <p>健康推進策「もっと野菜を食べよう運動」と連携して「野菜の日」に合わせ直売所の活性化を図った。</p> <p>(2) 学校給食地元農産物利用推進事業</p> <p>学校側と生産者とのコーディネートに努め、市内小中学校に地元農産物の提供を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者：個人23人、団体2団体 ・出荷期間：6月から3月まで ・出荷量：8, 497. 9 kg <p>(3) 岡谷市農業振興連絡協議会事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡谷農業フェスティバル2020 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ・岡谷市収穫祭 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ・第21回岡谷市農業シンポジウム 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 <p>(4) オープンエアマーケット（青空市場）事業</p> <p>（新型コロナウイルス感染症対応事業）</p> <p>販売機会や販路が断たれてしまった農業者を応援するため、事業を開催し、生産者と消費者とが直接ふれあえる対面販売を、岡谷蚕糸博物館マルベリー広場で実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月19日（土） 6団体出展 参加者：206名 ・10月 4日（日） 5団体出展 参加者：193名 ・10月24日（土） 8団体出展 参加者：238名 ・11月14日（土） 11団体出展 参加者：243名

	<p>(5) 応援します農業者支援事業（新型コロナウイルス感染症対応事業） マルシェやイベントの中止により農産物の販売機会や販路が縮小している農業者が行う直売及び収穫体験のほか、インターネットによる通信販売の支援を実施した。 ・岡谷市農産物販売促進応援事業補助金 (832,490 円)</p> <p>(6) 岡谷市農業技術者連絡協議会事業 12月から2月までの毎月16日を「いもの日」とし、シルクスイート販売、学校給食への販売、OKAYAシルクスイートフェア、新たなレシピの開発・研究、料理講習会を実施し普及活動を行った。</p> <p>3 生産振興の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業活性化事業補助金 (300,000 円) ・農業協同組合指導費補助金 (1,440,000 円) ・農業共済組合育成補助金 (2,808 円) ・生産物直売所活性化事業補助金 (84,600 円) ・桑園等整備事業補助金 (300,000 円) ・農業振興事業補助金 (1,640,995 円) <p>4 農地保全対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民農園 市管理 18箇所 107区画 個人型 9箇所 79区画 計 27箇所 186区画 ・中山間地域等直接支払事業 湊柄久保集落交付金 対象面積 65, 453 m² 参加農家数 21戸 (996,990 円) ・鳥獣被害防止総合対策交付金 電気柵設置 新倉地区 512m 今井地区 350m サル防除対策委託 くくりわな 35基 トランシーバー 3基 首輪 1基 (3,134,000 円) <p>5 米の生産数量目標及び経営所得安定対策 需要量に合った水稻生産数量目標及び作付面積目標の配分を生産者に対して行うとともに、経営所得安定対策交付金交付申請事務等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水田戦略作物該当者 4人(大豆) ・産地資金該当者 15人(花き、野菜、果樹) ・経営所得安定対策等推進事業費補助金 (493,000 円)
水産振興事業	<p>1 諏訪湖公魚卵放流事業補助金 2 諏訪湖外来魚駆除対策事業補助金 (940,000 円)</p>
農地管理事業	<p>農業用水の安定確保のため、揚水ポンプの維持管理等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用水施設維持管理業務委託 間下田用水、バイパス関連、小井川沖田用水 (4,474,891 円)
農道水路維持管理事業	<p>1 農道水路修繕 ・東堀汐改修工事他 計 12 件 2 維持補修原材料費等 (6,936,999 円)</p>

農道水路整備事業	1 142号B Pポンプ更新工事（中屋No.1） 2 小田野汐下（五兵衛汐）取水口改修工事（ゲート設置） 3 栄久保地区水路整備工事 4 西林ため池廃止工事 5 農業水利施設個別施設計画策定業務委託 6 前年度縢越事業 ・防災重点ため池耐震性点検調査委託業務（6箇所） （34,236,000円）
林務管理事業	1 鳥獣による農林業被害軽減のため、岡谷獵友会への委託及び鳥獣被害対策実施隊を組織し捕獲を実施した。 2 C S F（豚熱）感染拡大防止のため、野生イノシシの捕獲を実施した。 （12,974,543円）
林道等維持管理事業	1 林道修繕 ・林道横河山線修繕工事他 計5件 2 林道補修用材料等 ・林道赤渋山線他碎石敷均し、水切り材料他 （5,608,940円）
松くい虫防除対策事業	松くい虫被害の早期発見のための監視及び枯損木の処理を行った。 ・監視員4名による被害木周辺区域及び市内全域の巡視（4月～11月） ・枯損木の伐倒及びビニール被覆処理 ・被害状況 被害木数：なし 検体採取：41本 （1,984,942円）
林道整備事業	1 林道常現寺線舗装工事 ・舗装工 L=80m A=240m ² 2 林道横河山線観音橋架替事業 （1）前年度縢越工事 ・下部工（左岸） ・監督員補助委託 （2）翌年度縢越事業 ・橋梁上部工 ・監督員補助委託 （34,573,000円）
水源の森保全事業	横川山水源かん養林土地借上地の健全な森林の育成を行った。 1 水源の森保全事業 ・下刈 7.0ha 2 横川山水源かん養林管理事業 ・つる切り 20.0ha ・除伐 10.0ha 3 横川山水源かん養林土地借上げ ・横川山 3,771,400m ² ・岡谷区 123,200m ² ・四ヶ区 74,380m ² （8,740,000円）

林業振興事業	健全な森林づくりを推進するため、民有林の整備に対し補助を行った。 1 森林環境保全直接支援事業 ・搬出間伐 6 件 50.79 ha ・更新伐 2 件 6.77 ha 2 市単森林造成事業 ・除伐 10 件 27.47 ha ・下刈 1 件 0.30 ha (5,999,000 円)
川岸地区山林火災復旧事業	新倉山復旧協議会による生物害防除及び下刈りを実施した。 (0 円)
分収造林事業	横川山 ・生物害防除 1 2.50 ha ・生物害防除 2 4.25 ha ・下刈 4.25 ha ・切捨て間伐 12.85 ha ・地拵、植栽、生物害防除 3.90 ha ・作業道開設・造材 1071 m、95 m ³ ・機械道開設・造材修繕 116.9 m、1 m ³ (18,062,289 円)

第3 主要な統計、行政資料等

1 米の生産数量目標実施状況

区分	令和2年度(A)	令和元年度(B)	比較(A)-(B)
目標配分戸数	戸 944	戸 955	戸 △11
生産数量目標	t 266.000	t 275.000	t △9.000
作付面積目標	ha 42.617	ha 44.141	ha △1.524
実収穫量	t 256.791	t 268.495	t △11.704
実質作付面積	ha 41.021	ha 43.028	ha △2.007

2 全農販売米の状況 (JA 信州諏訪農協)

区分	実績					
	戸数	数量	等級別			
			1	2	3	規格外
令和2年度(A)	戸 29	俵 216	俵 216	俵 0	俵 0	俵 0
令和元年度(B)	戸 28	俵 339	俵 339	俵 0	俵 0	俵 0
前年度比較 (A)-(B)	戸 1	△俵 123	△俵 123	俵 0	俵 0	俵 0

3 有害鳥獣捕獲実績

(単位:頭)

年度	合計	ニホンジカ	イノシシ	ハクビシン	タヌキ	アナグマ	カラス	キツネ	カモシカ	ニホンザル
28	454	356	23	40	20	10	0	—	3	2
29	455	375	13	40	20	4	0	—	0	3
30	483	412	11	35	20	4	0	—	0	1
元	588	515	21	17	20	14	0	—	0	1
2	657	539	11	20	49	7	2	27	0	2

4 岡谷市分収造林事業特別会計

(1) 契約面積

内訳 団地名	契約面積 ha	植栽面積 ha	本年度改植 ha	除地 ha
横川山	484.35	463.66	0	20.69
新倉山	56.41	56.41	0	0.00
大沢山	103.48	101.14	0	2.34
横川山市有林	13.05	13.05	0	0.00
合計	657.29	634.26	0	23.03

(2) 契約の内容

団地名	契約番号	契約面積 (ha)	契約 年月日	契約期間	土地所有者
横川山	28号	426.45	S36.12.5	契約日から満160年間 (R103.12月)	横川山運営委員会
	601号	20.55	S45.11.14	〃 105年間 (R57.11月)	〃
	654号	37.35	S46.12.2	〃 135年間 (R88.12月)	〃
	小計	484.35			
横川山市有林	29号	13.05	S36.10.18	契約日から満70年間 (R13.10月)	岡谷市
大沢山	284号	97.86	S40.8.9	〃 満70年間 (R17.8月)	新倉林野組合 三沢区、岡谷区
	888号	5.62	S51.3.10	〃 55年間 (R13.3月)	新倉林野組合
	小計	103.48			
新倉山	1013号	56.41	S53.6.27	契約日から満120年間 (R80.6月)	新倉林野組合
合計		657.29			

建 設 水 道 部

都 市 計 画 課

第1 概説

都市計画課では、将来を見据えた都市計画業務や都市計画道路等の都市基盤整備のほか、市営住宅の管理、空き家対策、建築確認審査、耐震改修促進、建築工事の設計・監督等の業務を執行した。

- 1 人口減少や高齢化に対応したコンパクトなまちの維持を図るため、都市機能誘導区域、居住誘導区域を定めた「岡谷市立地適正化計画」を策定・公表した。
- 2 長野県及び諏訪湖周の二市一町で、「諏訪湖周自転車活用推進計画」に基づき、諏訪湖周サイクリングロードの工事に着手し、一部区間（下諏訪町境から約460m区間）が開通した。
- 3 （仮称）諏訪湖スマートインターチェンジ整備事業について、測量、詳細設計業務を行うとともに、諏訪市、長野県および中日本高速道路（株）と事業用地の買収に着手したほか、事業推進を図るため、地元（小坂区）対策委員会との連携、情報共有に努めた。
- 4 （都）岡谷川岸線（県街路事業）について、川岸小学校先線（新倉地籍）の事業化に向けて、長野県とともに地元や関係機関との調整を行う中、地元説明会を開催し、幅員を14mとする都市計画変更、それに伴う用途地域の変更を行った。
また、（主）下諏訪辰野線（駒沢地籍）道路拡幅の事業実施に向け、長野県及び地元（駒沢区）と協議を行った。
- 5 市営住宅の適正管理とサービス向上を図るため、家賃等の決定、請求及び減免に関する手続きを除いた事務について、長野県住宅供給公社へ管理代行及び管理委託し、市営住宅の管理と市営住宅長寿命化計画に基づく大規模修繕工事や解体工事を実施した。
- 6 市営住宅の管理効率化と有効活用を図るため、廃止予定の市営住宅入居者に対し、他の市営住宅等への移転を誘導する老朽団地住替事業、子育て世帯が安心して快適に生活できるよう施設整備を行い、優先入居を行う子育て世帯支援事業のほか、諏訪東京理科大学の学生入居により、若年者入居によるコミュニティの活性化、移住促進等を図るため、学生居住事業を実施した。
- 7 空き家の適正管理、有効活用を目的に、専門機関と岡谷市空き家対策連絡会を運営し、所有者等からの相談に対応したほか、岡谷市空き家・特定住宅用地情報バンクの運営、バンク活用推進奨励金の交付、また、老朽危険空き家対策として空き家の解体

工事費用の一部を助成した。

- 8 地震災害等による建物被害の軽減やブロック塀等の撤去促進を図るため、住宅の無料耐震診断を実施し、耐震改修工事やブロック塀の除却費の一部を補助したほか、耐震改修促進計画（第Ⅲ期）の改定に向け、耐震化の現状や被害想定の把握、施策の検討等の取り組みを行った。また、大規模盛土造成地10箇所について、現地踏査等による地盤調査のための優先度調査を実施した。
- 9 建築基準法の規定に基づく建築物等の建築確認及び完了検査等の審査業務を実施した。また、新西堀保育園・発達支援施設建設工事、岡谷市文化会館大ホール舞台機構設備改修工事、旧岡谷塩嶺病院看護宿舎他解体工事、川岸小学校トイレ改修工事等、公共建築物の營繕工事の設計、監督を行った。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
都市計画事務	<p>1 立地適正化計画策定</p> <p>(1) 岡谷市立地適正化計画案の周知</p> <ul style="list-style-type: none">・市民説明会 4月15日（水）～18日（土） →新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 代替としてシルキーチャンネルにて計画案の内容説明を放映(2) 計画公表 5月18日（月）(3) その他協議<ul style="list-style-type: none">・行政管理委員会 計画案報告・決定 5月 1日（金）・議会産業建設委員会 計画説明 6月 22日（月）・岡谷宅地建物取引業協会 届出制度説明 7月 21日（火） <p>2 都市計画用途地域の変更</p> <p>都市計画道路岡谷川岸線の幅員変更に伴い、川岸中二、三丁目一部地域の用途地域変更手続きを行った。</p> <ul style="list-style-type: none">・計画素案の閲覧 12月4日（金）～25日（金） 閲覧者 0名・計画案の縦覧 1月8日（金）～22日（金） 縦覧者 0名・岡谷市都市計画審議会での諮問・答申 1月29日（金） <p>3 都市計画道路の見直し</p> <p>部内で道路座談会による意見交換を行ったほか、長野県都市・まちづくり課と見直しに向けた協議を行った。</p> <p>4 諏訪湖総合開発</p> <ul style="list-style-type: none">・諏訪湖創生ビジョン推進会議 11月5日（木）ほか1回・諏訪湖の日 10月1日（木） <p>5 都市再生機構（UR）によるまちづくり支援</p> <p>UDC信州の構成団体である、都市再生機構（UR）によるまちづくり支援を受け、中心市街地に関わるまちづくりを研究した。</p> <p>(1) 庁内各課アンケート及びヒアリング 中心市街地における各課の取り組み抽出</p>

	<p>(2) まちづくり勉強会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期日 11月4日(水) ・参加者 26名
諏訪湖周サイクリングロード整備事業	<p>1 工事業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイクリングロード整備工事 L=460m W=4.0m ・" (その2) L=86m W=3.0m (繰越額 219,000,000円) (11,968,000円) <p>2 委託業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイクリングロード測量・設計業務 ・補償料算定業務 (繰越額 23,000,000円) (25,520,000円) <p>3 サイクリングロード検討会議</p> <p>(第17回) 6月16日(火) (第18回) 10月28日(水) (第19回) 2月12日(金)</p> <p>4 開通式典(下諏訪町境～約460m区間) 11月4日(水)</p> <p>5 関係機関協議</p> <p>湊行政協説明 7月16日(木) 漁協協議 3月19日(金) 関係団体、他自治体等との協議 随時</p>
スマートインターチェンジ整備事業	<p>1 関係機関との協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長野県、諏訪市、中日本高速道路協議 随時 ・関係団体、機関等協議 随時 ・地区協議会担当者会議・現地視察 2月15日(月) ・第2回地区協議会 書面開催 <p>2 地元対応</p> <p>【区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小坂区、花岡区協議 随時 ・小坂区対策委員会 5月26日(火) ほか8回 ・区民要望書提出(市長、議長、諏訪建設事務所) 10月21日(水) <p>【地権者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・湧水等関係者説明会 6月18日(木) ・地元(小坂区)説明会 6月29日(月) ・境界・幅杭立会 9月2日(水)～3日(木) ・幅杭現地立会 9月9日(水) ・サービスエリア付近地権者単価等説明会 10月14日(水) ・サービスエリア付近地権者合同調印式 11月6日(金) ～7日(土) ・用地取得 契約済み8名 (繰越額 6,257,000円) (8,821,656円) <p>3 業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NEXCO中日本事業用地の用地事務 ・(仮称)諏訪湖SIC計画に伴う測量業務 (10,818,000円) ・(仮称)諏訪湖SIC計画に伴う設計業務 (8,910,000円) ・不動産鑑定業務(中日本高速道路分) (1,381,600円) ・補償料算定業務 (198,000円) (繰越額 1,000,000円) (1,579,600円)
都市景観整備事業	<p>都市サイン修繕・点検</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車両誘導サインの修繕 6か所 (495,000円) ・都市サイン撤去工事 1か所(無電柱化工事関連) (440,000円) ・都市サイン保守点検業務 (1,243,000円)

地域幹線道路整備促進事業	<p>1 国道20号下諏訪岡谷バイパス（1工区） 湖北トンネル南交差点から下諏訪方面、約250m区間の道路改良工事</p> <p>2 (都) 岡谷川岸線（川岸小学校～観螢橋） L = 920m W = 14.0m (計画幅員) 第3期工区に引き続き事業化が図られるよう、計画線及び幅員変更に関して長野県及び地元関係者と調整を行った。</p> <p>3 (主) 下諏訪辰野線（川岸駒沢区） L = 730m W = 12.0m 道路が狭いで過去に死亡事故も発生していることもあり、道路整備を必要としていることから、長野県、地元駒沢区と事業実施に向けた協議、意見交換を行った。</p> <p>4 (主) 岡谷停車場線（岡谷駅前交差点～本町一丁目交差点） L = 100m (無電柱化) W = 13.0m 平成28年度より実施していた無電柱化工事が地上機器設置、電柱撤去工事等を除く部分の工事が概ね完了した。</p> <p>5 諏訪都市国道20号改修・バイパス建設促進期成同盟会 ・事業促進要望（国土交通省、財務省ほか） 10月6日（火）</p> <p>6 県道下諏訪辰野線整備促進期成同盟会 ・事業促進要望（長野県建設部） 7月28日（火） ・交通量調査 期日 10月1日（木）、2日（金） 24時間調査 場所 5か所（岡谷市3か所、辰野町2か所）</p> <p>7 新和田トンネル有料道路利用者負担軽減事業 ・販売実績 普通車 6,340枚（販売単価315円） 軽自動車 2,020枚（販売単価260円） (8,856,701円)</p>
湖畔若宮地区整備事業	地区住民の要望に応じて、地区計画に基づく道路整備と湖畔若宮地区内の開発を進めるため、地権者交渉、関係課協議を行った。 (79,445円)
市営住宅管理事業	<p>1 市営住宅管理代行委託業務 (166,413,810円) 大規模修繕工事等 加茂A団地屋根外壁改修 中村A団地ユニットバス等設置（4戸） (市営住宅子育て世帯支援事業) 小萩市営住宅解体（12戸） 高尾市営住宅解体（8戸） (89,052,150円)</p>
建築指導事務	<p>1 確認申請（計画変更含む） 97件</p> <p>2 位置指定道路申請 6件</p> <p>3 長期優良住宅認定（計画変更含む） 37件</p>
耐震診断事業	<p>1 耐震診断委託 12件 (780,000円)</p> <p>2 個人住宅等耐震補強補助 1件 (693,000円)</p> <p>3 ブロック塀等除却事業補助 10件 (798,000円)</p> <p>4 大規模盛土優先度調査委託業務 (2,167,000円) (1.5次スクリーニング調査10箇所)</p>
空き家対策事業	<p>1 空き家・特定住宅用地情報バンク登録 27件（内成約15件）</p> <p>2 空き家・特定住宅用地情報バンク活用推進奨励金 15件 (750,000円)</p> <p>3 不良住宅判定委託 13件 (214,500円)</p> <p>4 老朽危険空き家対策補助金 9件 (1,800,000円)</p> <p>5 空き家対策連絡会相談取次 7件</p>

公共用地取得事業	1 公共事業用地等の賃貸収入及び用地売却収入					
	・賃貸件数	7 か所		2, 380, 050円		
	・用地売却	4 件	671. 45m ² (公簿)	9, 976, 946円		
				(12, 356, 996円)		

第3 主要な統計、行政資料等

1 団地別管理戸数等

(令和3年3月31日現在)

団地名	建設年度	入居戸数	管理戸数		
		R 2年度	R 2年度	R元年度	増減
出の洞	S29	募集停止	3	4	4
橋詰	S28	募集停止	3	6	8
高尾	S30～	募集停止	8	22	28
中村	S35～	募集停止	3	5	5
小萩	S38	募集停止	1	4	16
富士見ヶ丘	S39～	募集停止	42	54	54
上ノ原	S41～	募集停止	49	102	102
加茂A	S45～		94	100	100
加茂B	S47～		57	61	61
学ヶ丘	S53		29	35	35
堂前	S54		13	18	18
中村A	S56		17	24	24
高尾T	S57		17	24	24
小萩K	S58～		51	64	64
中村C	S61～		30	42	42
田中線	H15～		16	16	16
合計			433	581	601
					▲20

※募集停止団地等を除いた入居可能戸数482戸

2 地域開発事業特別会計残財産表

(令和3年3月31日現在)

No	箇所名等	面積		筆数 (筆)	備考
		実測 (m ²)	公簿 (m ²)		
1	東中央通線関連公共事業用地	302. 37	299. 99	2	塚間町一丁目
2	小井川西町線関連公共事業代替地	44. 34	45. 00	1	田中町三丁目
3	東堀線関連公共事業代替地	33. 68	33. 68	1	長地柴宮一丁目
4	東町線関連公共事業用地	246. 71	246. 71	1	赤羽三丁目
5	湖岸線関連公共事業用地	157. 64	170. 00	2	湖畔四丁目
6	岡谷川岸線関連公共事業代替地	414. 15	414. 15	2	川岸東五丁目ほか
7	湖畔公園関連公共事業用地・代替地	2, 435. 39	2, 259. 36	6	長地権現町三丁目ほか
8	国道20号バイパス関連公共事業用地・代替地	449. 16	480. 00	2	長地出早一丁目ほか
9	駅南地区関連公共事業用地	673. 51	673. 51	5	天竜町一丁目
10	湖畔若宮地区関連公共事業代替地	182. 46	191. 00	1	若宮二丁目
11	湊三丁目公共事業残地	38. 43	38. 00	1	湊三丁目
合計		4, 977. 84	4, 851. 40	24	

土 木 課

第1 概説

土木課では、道路、橋梁、水路、公園等の整備及び維持管理業務を執行した。

- 1 道水路の新設改良事業では、各区からの要望や地域活性化と安全でよりよい生活環境の確保のための道路改良や溢水軽減対策工事等を行った。また、社会資本整備総合交付金を受け、道路後退整備事業及び通学路等の安全・安心な通行空間確保を図るため、市内各所において通学路や生活道路の交通安全対策工事を実施した。
- 2 河川改修事業では、中の沢川の河床改修工事などを実施した。
- 3 道水路等維持補修事業では、主要幹線道路である6号線（天竜川通り線）等の舗装維持工事を行うとともに、自然災害時の停電や道路の寸断等を防止するため、ライフラインに支障を及ぼす立木を伐採した。また、舗装や側溝等の損傷箇所を早期に発見するため、日常点検や月3回の定期パトロールに加え、「道路情報投稿アプリ」を導入して損傷箇所の維持補修に努めた。さらに、新規事業として、環境負荷の軽減や維持管理費削減のため、道路照明灯をリース方式によってLED灯に更新した。
- 4 冬期の道路管理では、4業者に委託して凍結防止剤散布を実施した。除排雪業務としては、除雪重機等所有の48業者と委託契約し、市が指定する雪捨場の整地作業を実施した。
- 5 橋梁維持補修事業では、橋梁の点検結果や岡谷市橋梁長寿命化修繕計画（第二期）に基づき滝ノ沢第三橋等の橋梁修繕工事に着手した。
- 6 道水路の管理業務では、境界査定、市道の認定と変更事務、道路台帳の補正等整備のほか、道水路管理に必要な事務を行った。また、道水路の占用許可及び自営工事承認に関する事務を行い、占用料の徴収事務等を実施した。
- 7 都市公園管理では19公園の清掃や剪定等の維持管理を実施したほか、公園施設長寿命化計画の策定に着手した。また、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を実施した。
- 8 緑化推進では街路樹の剪定、消毒等の樹木管理のほか、ふれあい花壇づくり事業を実施し、住民参加による緑化運動の推進啓発に努めた。
- 9 学校跡地保全対策事業では、岡谷小学校跡地の軟弱盛土について、安全・安心を確保するため、安全対策工事を行った。
- 10 県事業では、道路や河川の改修、砂防等の事業に係る協議、連絡調整を行った。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容	
道路新設改良事業	<p>1 請負工事 39件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学路交通安全対策工事 <ul style="list-style-type: none"> 車止め設置工 N = 8 本 ・通学路交通安全対策（その2）工事 <ul style="list-style-type: none"> 路肩塗装工 A = 20 m² ・通学路交通安全対策（その3）工事 <ul style="list-style-type: none"> 区画線設置工 L = 829 m 溶融式カラー塗装工 A = 39 m² ・通学路交通安全対策（その4）工事 <ul style="list-style-type: none"> 薄層カラー舗装工 A = 53 m² 路肩塗装工 A = 57 m² ・生活道路安全対策工事 <ul style="list-style-type: none"> 舗装工 A = 363 m² 側溝工（300型） L = 52 m ・岡谷22号線改良工事 <ul style="list-style-type: none"> 側溝工（300型） L = 7.5 m ・岡谷8号線改良工事 <ul style="list-style-type: none"> 側溝工（300型） L = 4.4 m 舗装工 A = 45 m² ・112号線（東堀東山田線）他2路線改良工事 <ul style="list-style-type: none"> 舗装工 A = 3,280 m² ・長地135号線安全施設設置工事 <ul style="list-style-type: none"> 転落防止柵設置 L = 196 m ガードレール設置 L = 5 m ・川岸242号線改良工事 <ul style="list-style-type: none"> 側溝工（300型） L = 6 m ・長地301号線改良工事 <ul style="list-style-type: none"> 側溝工（300型） L = 43.9 m ・川岸163号線改良工事 <ul style="list-style-type: none"> 側溝工（300型） L = 40 m ・湊77号線改良工事 <ul style="list-style-type: none"> 側溝工（300型） L = 50 m ・長地195号線改良工事 <ul style="list-style-type: none"> 側溝工（300型） L = 53 m 舗装工 A = 86 m² ・湊107号線支線改良（その2）工事 <ul style="list-style-type: none"> 水路工（VUφ200） L = 66 m ・岡谷605号線改良工事 <ul style="list-style-type: none"> 側溝工（300型） L = 52 m ・岡谷142号線改良工事 <ul style="list-style-type: none"> 側溝工（300型） L = 94 m 側溝工（400型） L = 98 m 舗装工 A = 333 m² ・川岸336号線改良工事 <ul style="list-style-type: none"> 歩道整備工 L = 95 m ・川岸106号線改良工事 <ul style="list-style-type: none"> 側溝工（300型） L = 69.1 m 	

- ・ 110号線（小野道線）改良工事
側溝工（300型） L = 56m
- ・ 岡谷139号線改良工事
舗装工 A = 274 m²
- ・ 岡谷655号線改良工事
側溝工（300型） L = 33m
- ・ 長地162号線改良工事
路肩塗装工 A = 105 m²
- ・ 岡谷320号線改良工事
側溝工（300型） L = 60m
- ・ 岡谷360号線改良工事
側溝工（300型） L = 47m
舗装工 A = 73 m²
- ・ 長地209号線改良工事
側溝工（300型） L = 33m
- ・ 岡谷218号線改良工事
側溝工（300型） L = 70m
- ・ 18号線（能登舟線）改良工事
側溝工（300型） L = 20m
擁壁工 L = 15m
- ・ 川岸142号線改良工事
側溝工（300型） L = 54m
- ・ 湊118号線支線改良工事
水路工（350型） L = 154m
- ・ 川岸211号線支線改良工事
柵設置工 L = 200m
- ・ 岡谷606号線改良工事
側溝工（300型） L = 20.8m
舗装工 A = 101 m²
- ・ 長地135号線交差点改良（その2）工事
歩道整備工 L = 6.1m
- ・ 長地38号線改良工事
側溝工（450型） L = 38m
- ・ 2号線（山の手線）支線改良工事
防災無線移設工 N = 1基
- ・ 岡谷679号線他1路線改良工事
側溝工（300型） L = 45m
法面工 A = 460 m²
- ・ 岡谷90号線改良工事
内水排除ポンプ設置工 N = 1基
- ・ その他小規模工事 2件

(136, 783, 900 円)

2 道路後退舗装工事 4件

- ・ 長地37号線道路後退舗装工事
舗装工 A = 25 m²
- ・ 岡谷183号線道路後退舗装工事
舗装工 A = 25 m²
- ・ 側溝工（400型） L = 8m
- ・ 長地161号線他1路線道路後退舗装工事
舗装工 A = 138 m²

	<ul style="list-style-type: none"> ・岡谷559号線道路後退舗装工事 舗装工 $A = 102 \text{ m}^2$ (5,368,000円)
3	<ul style="list-style-type: none"> 委託業務 19件 <ul style="list-style-type: none"> ・長地35号線測量設計業務 ・109号線（天白西線）測量設計業務 ・その他小規模業務 17件
4	<ul style="list-style-type: none"> 財産購入 12件 <ul style="list-style-type: none"> ・長地106号線道路後退整備事業に伴う用地代 ・岡谷559号線道路後退整備事業に伴う用地代 ・その他 10件
5	<ul style="list-style-type: none"> 補償 7件 <ul style="list-style-type: none"> ・岡谷142号線改良工事に伴う電柱の移転工事補償料 ・長地135号線交差点改良工事における電柱の移転工事補償料 ・長地135号線交差点改良（その2）工事における電柱の移転工事補償料 ・岡谷559号線道路後退整備事業に伴う補償 ・その他 3件
6	<ul style="list-style-type: none"> 前年度繰越工事 3件 <ul style="list-style-type: none"> ・長地135号線改良工事 <ul style="list-style-type: none"> 道路改良工 $L = 166.5 \text{ m}$ 擁壁工 ($H = 3500$) $L = 150.3 \text{ m}$外 ・長地135号線交差点改良工事 <ul style="list-style-type: none"> 交差点改良工 $L = 245.4 \text{ m}$ 路面切削工 $A = 1,530 \text{ m}^2$外 ・長地135号線信号機改良工事 <ul style="list-style-type: none"> 交通安全施設移設工 $N = 4$基
7	<ul style="list-style-type: none"> 前年度繰越補償 1件 <ul style="list-style-type: none"> ・長地135号線交差点改良工事における電柱の撤去工事補償料
河川改修事業	<ul style="list-style-type: none"> 1 請負工事 1件 <ul style="list-style-type: none"> ・中の沢改修工事 <ul style="list-style-type: none"> 河川土工 $V = 250 \text{ m}^3$外 2 補償 3件 <ul style="list-style-type: none"> ・中の沢改修工事に伴う立木補償料 3件
道水路等維持補修事業	<ul style="list-style-type: none"> 1 請負工事 82件 <ul style="list-style-type: none"> ・4号線（間下道線）舗装維持工事 <ul style="list-style-type: none"> 舗装工 $L = 195 \text{ m} A = 886 \text{ m}^2$ ・6号線（天竜川通り線）舗装維持工事 <ul style="list-style-type: none"> 舗装工 $L = 186 \text{ m} A = 1,800 \text{ m}^2$ ・32号線（湖岸通り線）側溝維持工事 <ul style="list-style-type: none"> 舗装工 $L = 341 \text{ m} A = 2,190 \text{ m}^2$

- ・ 2号線（山の手線）舗装維持工事
舗装工 L = 1 2 5 m A = 8 9 8 m²
- ・ 3号線（鳴沢通り線）舗装維持工事
舗装工 L = 3 3 6 m A = 1, 6 9 0 m²
- ・ 1 4号線（横道線）舗装維持工事
舗装工 L = 3 5 0 m A = 1, 8 7 0 m²
- ・ 1 5号線（旧国道通り線）舗装維持工事
舗装工 L = 2 7 5 m A = 1, 4 7 0 m²
- ・ 1 7号線（鶴峯天白線）舗装維持工事
舗装工 L = 2 4 4 m A = 1, 2 9 4 m²
- ・ 2 2号線（横川東堀線）舗装維持工事
舗装工 L = 3 9 5 m A = 2, 3 2 0 m²
- ・ 1 1 0号線（小野道線）舗装維持工事
舗装工 L = 6 2 m A = 3 3 1 m²
- ・ 1 1 4号線（間下東街道線）舗装維持工事
舗装工 L = 2 0 4 m A = 1, 2 4 0 m²
- ・ 1 1 5号線（下横道線）舗装維持工事
舗装工 L = 1 8 2 m A = 8 9 1 m²
- ・ 1 1 6号線（中浦通り線）舗装維持工事
舗装工 L = 2 1 7 m A = 1, 6 8 0 m²
- ・ 1 1 9号線（成田町線）舗装維持工事
舗装工 L = 1 1 4 m A = 4 5 7 m²
- ・ 1 2 0号線（矢垂峠線）舗装維持工事
舗装工 L = 1 1 3 m A = 3 7 4 m²
- ・ 岡谷 5 2 9号線舗装維持工事
舗装工 L = 2 1 5 m A = 1, 8 2 0 m²
- ・ 長地 6 0号線舗装維持工事
舗装工 L = 2 6 7 m A = 1, 6 6 4 m²
- ・ 長地 8 8号線舗装維持工事
舗装工 L = 2 9 2 m A = 1, 8 7 0 m²
- ・ 川岸 2 2 6号線舗装維持工事
舗装工 L = 3 6 4 m A = 2, 1 3 0 m²
- ・ 岡谷 6 4 4号線擁壁維持工事
擁壁工 L = 4 0 m
- ・ 3 2号線（湖岸通り線）路肩維持工事
排水管布設工 L = 3 1 m
- ・ 湊 1 0 0号線路肩維持工事
法面工 A = 2 8 m²
- ・ 川岸 2 9号線外 2路線舗装維持工事
舗装工 L = 1 3 8 m A = 5 5 3 m²
- ・ 2 9号線（沢入道線）舗装維持工事
舗装工 L = 6 4 m A = 2 1 4 m²
- ・ 2 9号線（沢入道線）路面維持工事
不陸整正工 L = 7 0 0 m A = 2, 0 5 0 m²
- ・ 湊 2 6号線法面維持工事
法面工 A = 6 2 m²
- ・ その他小規模工事 5 6 件

(344, 581, 600 円)

2 施設等修繕

- ・ 道路照明灯、道路付属物、交通安全施設、薬剤散布装置、ロータリー除雪自動車等

(4, 237, 004 円)

	<p>3 委託業務 29件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・121号線（追鶴線）ライフライン等危険木伐採業務 立木伐採 N = 54本 ・長地242号線ライフライン等危険木伐採業務 立木伐採 N = 16本 ・121号線（追鶴線）ライフライン等危険木伐採（その2）業務 立木伐採 N = 29本 ・32号線（湖岸通り線）土質調査業務 CBR試験 N = 3箇所 ・その他 25件 昇降機設備保守点検、支障木等伐採、産業廃棄物処理、路盤調査、除雪車管理、側溝浚渫土砂等運搬 (10,929,218円) ・雪寒業務 除雪路線 87路線 延長 86.34km 凍結防止剤散布業務 延べ 95回 雪捨て場整地等業務 延べ 3回 (9,459,601円) <p>4 貸貸借契約 5件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公用車両貸貸借契約 貸貸借台数 3台 ・岡谷市LED道路照明灯貸貸借契約 道路照明灯 N = 470灯 ・その他 1件 (2,667,366円) <p>5 直営工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・舗装及び側溝等補修、道水路等清掃、草刈伐採、泥上げ、土のう配布、凍結防止剤散布及び配布、焼き砂配布等
橋梁維持補修事業	<p>1 請負工事 2件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡谷駅歩道橋天井維持工事 天井張替工 A = 25m² ・岡谷駅歩道橋外壁維持工事 外壁目地補修工 L = 122m (979,000円) <p>2 委託業務 6件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧道東堀橋測量業務 橋梁測量 一式 ・第二天竜川人道橋橋梁補修設計業務 橋梁補修設計 一式 ・その他 4件 (8,001,048円) <p>3 補償 1件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滝ノ沢第三橋橋梁修繕工事に伴う電柱の移転工事補償料 (823,770円) <p>4 翌年度繰越事業 4件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滝ノ沢第三橋橋梁修繕工事 ボックスカルバート工 (2,000×1,600) L = 11.0m

	<ul style="list-style-type: none"> ・旧道東堀橋橋梁修繕工事 ボックスカルバート工 (1, 600×1, 200) L = 6. 8 m ・鳴沢橋橋梁修繕工事 ボックスカルバート工 (1, 200×1, 200) L = 2. 4 m ・中村役場橋橋梁修繕工事 ボックスカルバート工 (4, 000×2, 100) L = 9. 0 m <p style="text-align: right;">(54,500,000 円)</p>
道水路管理事務	<p>道路台帳補正業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路網図等修正一式 業務箇所 岡谷市内一円 (3,960,000円)
都市公園管理事業	<ol style="list-style-type: none"> 1 指定管理者による公園管理 <ul style="list-style-type: none"> ・鳥居平やまびこ公園、岡谷湖畔公園、高架下公園 (88,379,000 円) 2 直営による公園管理 <ul style="list-style-type: none"> ・蚕糸公園外 15 公園 (22,473,967 円) 3 観光地等魅力向上森林景観整備業務 (花岡公園) <ul style="list-style-type: none"> ・立木伐採N = 31本、竹林整備A = 1, 190 m² (5,093,000円) 4 請負工事 3 件 <ul style="list-style-type: none"> ・鳥居平やまびこ公園サマー ボブスレー リフト 主電動機修理 一式 搬器更新 15 台、監視室更新 1 棟 ・鳥居平やまびこ公園センターハウス中央階段防水改修工事 防水工事A = 55. 4 m² (12,111,000円) 5 出早公園関連用地取得 <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場用地 325. 09 m² (8,229,456円) 6 公園施設管理に関する対応 <p>以下のとおり新型コロナウィルス感染症の予防対策に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥居平やまびこ公園 開園日 4月19日 (日) から 5月17日 (日) まで休園。 5月18日 (月) より部分開園し平日のみ営業、有料施設は5月31日 (日) まで閉鎖。6月1日 (月) から 6月14日 (日) までボブスレー、レストラン、どんぐりポップを休止しミュージアムは平日のみ営業。6月15日 (月) から通常営業とした。 ・岡谷湖畔公園 4月5日 (日) からマレットゴルフ場の閉鎖と大型遊具(①温泉スタンド付近、②マレットゴルフ場付近、③オアシス広場船形遊具、④湊側遊具広場)の使用禁止を実施した。 4月27日 (月) からジョギングロードへの啓発看板設置、5月9日 (土) から大型遊具について使用後注意喚起掲示のうえ開放。6月1日 (月) からマレットゴルフ場へ手指消毒液を設置し開放した。

	<ul style="list-style-type: none"> ・高架下公園 <p>4月7日（火）から5月31日（日）までテニスコートを閉鎖した。</p> ・公園トイレ <p>4月6日（月）から手洗い啓発掲示と固体石鹼を設置した。</p> 				
7	<p>翌年度繰越事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高架下公園撤去工事 <p>長野自動車道大規模改修工事の実施に伴い支障となる噴水、テニスコート、トイレ、樹木等の公園施設を撤去。</p> 				
	(26,400,000円)				
都市公園整備事業	<p>1 公園施設長寿命化計画策定業務</p>				
	(12,320,000円)				
緑化推進事業	<p>1 街路樹等管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丸山橋線沿線、イルフプラザ周辺、中浦通り線周辺街路樹の剪定ほか消毒、伐採等 ・中道町線、下諏訪辰野線、東堀線ほか8路線植樹帯の除草、低木の剪定等 				
	(4,962,345円)				
	<p>2 ふれあい花壇づくり事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プランター貸与、花苗助成 認定団体数 38団体 				
	(592,400円)				
土地保全事業	<p>1 請負工事（債務負担行為） 1件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校跡地保全対策（その2）工事 令和2年度分 <table> <tr> <td>切土工</td> <td>V = 36,600m³</td> </tr> <tr> <td>盛土工</td> <td>V = 34,200m³</td> </tr> </table>	切土工	V = 36,600m ³	盛土工	V = 34,200m ³
切土工	V = 36,600m ³				
盛土工	V = 34,200m ³				
	(113,400,000円)				
県執行事業	<p>1 河川事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塚間川 (河道拡幅工事) <p>2 砂防事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柄久保川 (堰堤工事) ・竹の沢川 (調査・測量・設計) ・蟹沢 (調査・測量・設計) <p>3 急傾斜地崩壊対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山手町 (調査・測量・設計) <p>4 維持補修事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡谷下諏訪線 (舗装補修工事) ・岡谷茅野線 (街路樹整備) ・釜口橋 (橋梁補修工事) 				

第3 主要な統計、行政資料等

1 道路延長等の状況

	令和2年度	令和元年度	増 減
総延長（m）	393,713.8	393,482.6	231.2
実延長（m）	382,305.1	382,163.8	141.3
舗装整備率（%）	84.5	84.4	0.1
道路敷面積（m ² ）	1,900,974	1,899,755	1,219
橋梁総個所数（箇所）	198	198	0
路線数（本）	1,705	1,702	3

2 有料公園施設の利用状況

施設名	利用者数等			使用料収入 令和 2 年度
	令和 2 年度 (A)	令和元年度 (B)	増減 (A) - (B)	
鳥居平やまびこ公園	8,067 人	11,686 人	△3,619 人	3,060,000 円
サマー ボブスレー	4,752 人	7,199 人	△2,447 人	2,400,290 円
サイクリング	2,776 人	3,719 人	△943 人	468,430 円
テニスコート	126 人	203 人	△77 人	51,460 円
望遠鏡	331 人	382 人	△51 人	33,100 円
ロッカー	34 人	89 人	△55 人	1,700 円
スポーツ広場	48 件	94 件	△46 件	105,020 円
塩嶺閣	2 件	1 件	1 件	330 円
鶴峯会館	0 件	2 件	△2 件	0 円

水道課

第1 概説

温泉事業特別会計では、市内施設への給湯・温泉使用料の徴収、温泉スタンド等の施設維持管理及び利用促進事業を行った。

- 1 おかや総合福祉センター（諏訪湖ハイツ）、岡谷市民水泳プール、岡谷健康福祉施設（ロマネット）、温泉デイサービス湯けむりの4施設への給湯及び温泉スタンドによる温泉の販売を行った。
- 2 源泉ポンプ取替工事を行った。
- 3 温泉スタンドの利用状況は、1日平均34.7件であった。
- 4 温泉給湯収入は、15,202,800円となり、温泉スタンドのメタル販売数は、200リットル（100円）が8,552枚、300リットル（150円）が3,576枚で、その収入は1,391,600円となった。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容	
温泉施設管理事業	1 温泉給湯事業	
	おかや総合福祉センター	100円/分
	岡谷市民水泳プール	15円/分 (4~9月) 20円/分 (10~3月)
	ロマネット	100円/分
	温泉デイサービス湯けむり	40円/分
	上記4施設に最大260円/分を給湯した。	
	2 温泉スタンド事業	
	温泉スタンド利用件数	
	200円	8,960件
	300円	3,697件
	合 計	12,657件
	3 主な工事・修繕	
	・源泉ポンプ取替工事	一式 (8,525,000円)

会 計 課

第1 概説

会計課では、現金及び有価証券並びに物品に関する事務や決算の調製などの会計事務を行った。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
会計事務	<p>1 現金及び有価証券の出納、保管</p> <p>(1) 収入、支出関係書類の審査、確認事務</p> <p>(2) 諸帳簿への記録、管理</p> <p>(3) 職員に対する会計事務の指導、研修会の開催</p> <p>(4) 各課手持現金の確認、検査（隨時）</p> <p>2 物品の出納及び保管</p> <p>(1) 不用物品の売却（車両1台ほか）</p> <p>(2) 共通消耗品の払出（151件）</p> <p>3 決算の調製</p> <p>(1) 決算数値の確認</p> <p>(2) 決算関係資料のとりまとめ</p> <p>(3) 決算書及び決算附属書類の作成、市長への提出（7月）</p>

第3 主要な統計、行政資料等

1 支払状況

区分	支払件数	支払方法	件 数	比 率
一般会計	45,171 件	窓口払	731 件	1.6%
		口座振込	44,440 件	98.4%
特別会計	5,383 件	窓口払	92 件	1.7%
		口座振込	5,291 件	98.3%
合 計	50,554 件	窓口払	823 件	1.6%
		口座振込	49,731 件	98.4%

2 会計別資金運用状況（定期預金）

会計名	運用回数	運用延金額	運用利子額
靈園事業特別会計	2	80,000,000	6,786
温泉事業特別会計	2	10,000,000	848
湊財産区一般会計	2	16,000,000	1,357
水道事業会計	7	1,501,000,000	261,252
下水道事業会計	6	1,600,000,000	291,074
病院事業会計	1	1,000,000	142
歳入歳出外現金	1	10,000,000	1,420
合 計	21	3,218,000,000	562,879

教 育 委 员 会

教 育 部

教 育 總 務 課

第1 概説

教育総務課では、岡谷市教育大綱の教育理念の下、学校における子どもたちの基礎的学力を保障し、個性の伸長や社会性の育成をはじめとした調和ある心身の成長発達支援のほか、魅力と活力ある学校づくり、文化や伝統を尊重した教育の推進に向けて、学校・家庭・地域・関係機関・諸団体との連携を深めながら各種事業を推進した。

新型コロナウイルス感染症への対応に関しては、国の緊急事態宣言の発令等を受け、4月7日から5月31日までの間、市内小中学校を臨時休校とし、休校期間中の学童クラブの臨時開設、学習支援のための図書カード配布等の対応を図った。

学校再開後は、臨時休校に伴う学びへの影響を取り戻すため、学校行事の見直しや夏休みの短縮等を図り、児童生徒の学びを保障したほか、国の補助金を活用して学習環境の充実と感染防止対策を徹底しながら学校運営を行った。

その他の主要事業のうち、チーム岡谷による学力向上推進事業では、引き続き県教育委員会から派遣された主任指導主事を課に配置し、専任の学力向上アドバイザーとともに学力向上に向けた各校への巡回訪問や指導等を行った。

教員働き方改革推進事業では、各校への留守番電話の設置や部活動指導員の配置を継続したほか、出退勤システムの本格運用等を通じて、教員が授業づくりや児童生徒への指導に専念できる環境づくりに努めた。

施設整備では、「岡谷市魅力と活力ある学校づくり推進プラン」のハード整備版に基づく岡谷東部中学校管理教室棟の長寿命化大規模改修工事を実施したほか、川岸小学校トイレ改修工事を実施し、安全・安心の教育環境の充実に努めた。

また、国のGIGAスクール構想に基づき、児童生徒に1人1台のタブレット端末を配備し、併せて、校内に高速通信ネットワーク環境を整備した。

子ども総合相談センターでは、様々な悩みを抱える児童生徒に対してチームによる総合的な相談支援を行ったほか、フレンドリー教室及び中学校の中間教室を活用して、長期欠席傾向にある子どもたちに対する自立支援や学習支援に努めた。

また、障がいのある子ども一人ひとりに応じた特別支援教育の充実を図ったほか、悩みを打ち明けることの大切さを学ぶSOSの出し方に関する授業等を実施した。

更に、入学時の環境変化に適応できない小1プロブレムの解消、改善を図るため、保育園と学校関係者による委員会を設け、幼保小接続期におけるアプローチ&ストラタカリキュラムの構築に向けた検討を進めた。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容								
教育委員会運営事務	<p>1 教育委員会会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例教育委員会 12回開催 (4月の定例教育委員会については、書面決議とした。) ・教育委員協議会 1回開催 <p>2 総合教育会議</p> <p>教育行政等に関わる事項について、協議・調整を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催期日：令和2年11月5日 ・構成員：市長、教育委員会 計7人 								
地域に開かれた学校づくり事業	<p>学校評議員</p> <p>11小中学校 65人 委嘱</p>								
新型コロナウイルス感染症対策	<p>1 国の緊急事態宣言等を受け、市内小中学校を臨時休校とした。</p> <p>臨時休校：4月7日（火）～5月31日（日）</p> <p>2 臨時休校に伴い学童クラブを臨時開設した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開設期間 4月7日から5月31日の平日 35日 ・開設時間 午前7時45分から午後6時45分 <p>臨時休校中の使用料は保護者の負担軽減策として全額減免とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延べ利用人数：4,931名 ・各クラブ一日平均：11名 <p>3 臨時休校中の家庭学習を支援するため、市内在住の小中学生に図書カード（3,000円分）を配布した。</p> <p>配布数</p> <table> <tbody> <tr> <td>市内小学校在籍児童</td> <td>2,279人</td> </tr> <tr> <td>市内中学校在籍生徒</td> <td>1,278人</td> </tr> <tr> <td>市外小中学校在籍者</td> <td>122人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,679人</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">(11,037,000円)</p> <p>4 臨時休校中の保護者との連絡に対応するため、各校に携帯電話を臨時増設した。</p> <p>長地小・岡谷東部中に各2台、その他9校に各1台、計13台</p> <p style="text-align: right;">(218,555円)</p> <p>5 臨時休校からの学校再開に向けて実施した分散登校時の給食提供については、家庭支援の一環として公費負担を行った。</p> <p>小学校 290円×7,068食分=2,049,720円</p> <p>中学校 330円×3,786食分=1,249,380円</p> <p style="text-align: right;">(3,299,100円)</p> <p>6 小中学校への感染症対策用品配備事業</p> <p>登校時等に安全かつ効率的に体温確認を行うため、学校に非接触型体温計等を配備した。</p> <p style="text-align: right;">(1,189,687円)</p> <p>7 学校再開後の学校における感染症対策や学びを保障するため必要となる経費について、国の補助金を活用して学校配当予算を追加した。</p> <p>1,000千円：湊小・上の原小・岡谷西部中・岡谷南部中</p> <p>1,500千円：川岸小・神明小・小井川小・岡谷田中小・岡谷北部中・岡谷東部中</p> <p>2,000千円：長地小</p> <p style="text-align: right;">(14,700,997円)</p>	市内小学校在籍児童	2,279人	市内中学校在籍生徒	1,278人	市外小中学校在籍者	122人	計	3,679人
市内小学校在籍児童	2,279人								
市内中学校在籍生徒	1,278人								
市外小中学校在籍者	122人								
計	3,679人								

	<p>8 中学校の修学旅行の県内への変更や小学校の長野旅行の中止に伴うキャンセル料について、保護者負担を軽減するため、公費負担を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 修学旅行の県内旅行への変更 全中学校 長野旅行の中止 渋小学校 (1,404,456 円) <p>9 夏休み中に予定した小学生対象の「やってみようおかやキッズラボ事業」及び「平和体験研修」による広島市への中学2年生の派遣については、感染症対策として中止した。</p> <p>10 学童クラブの感染症対策として、各クラブに座卓、サーティーレーティー、非接触型体温計などの備品や、消毒用エタノール、手洗い用せっけんなどの消耗品を購入した。 (6,386,927 円)</p> <p>11 臨時休校による学びへの影響を取り戻すため、教員の協力により岡谷子ども未来塾拡大版として、小学6年生、中学3年生の希望者を対象に補習を行った。</p> <p>実施回数：91回 延べ参加者数：1,851人 (649,937 円)</p> <p>12 令和3年度に係る国補助金の前倒し採択により、令和3年度で学校が購入する感染症対策用の物品、教職員研修費、学習用物品等に係る補正予算を行い、令和3年度へ全額繰越した。 (12,000,000 円)</p>
チーム岡谷による学力向上推進事業	<p>1 県教育委員会から派遣された主任指導主事と専任の学力向上アドバイザーが連携して各学校を訪問し、教員の授業改善に向けた指導や助言を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 巡回指導 94回 <p>2 教員の資質向上を図るため、外部講師等による学力向上のための教員研修を実施した。</p> <p>3 全国一斉に実施される4月の「全国学力・学習状況調査」は、新型コロナウィルス感染症の影響により中止となった。</p>
ふるさと岡谷に学ぶ学習の推進事業	<p>1 地域資源を活用した岡谷ならではの学習スタイル「岡谷スタンダードカリキュラム」の実践を通して、岡谷の「ひと・もの・こと・こころ」に学び郷土を愛する心を育み、ふるさと回帰の教育を推進した。 (1,777,800 円)</p> <p>2 魅力ある学校づくり交付金 魅力と活力ある学校づくりを推進するため、小中学校がそれぞれの特色を活かして取り組む総合的な学習の時間の活動に対し、学級数に応じて交付金を交付した。 (2,827,200 円)</p>
教員働き方改革推進事業	<p>「岡谷市学校における働き方改革推進のための基本方針」に基づき多忙な教員が本来の授業づくりや児童生徒の指導に専念できる環境を整えるため、教員の働き方改革を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 小中学校への留守番電話の設置 全11校 中学校への部活動指導員の配置 8名 長期休業中の完全閉学日の設定 学校の出退勤システムの本格運用

児童生徒の安全対策事業	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校安全対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・学校での安全確保の取り組み <p>災害や不審者等の緊急時に対応するため、各校において危機管理マニュアルを点検・見直したほか、学校施設・設備の安全点検や児童生徒による避難訓練等を実施した。</p> ・地域との連携 <p>各校において、通学路の危険箇所を点検し、「子どもを守る地域安全指導マップ」を作成したほか、警察による「安心の家」との連携や、地域ボランティアによる登下校時の見守り、パトロール活動等の取り組みを進めた。</p> ・通学路の交通安全対策 <p>第3次「岡谷市通学路交通安全プログラム」に基づき、3カ年計画で進める安全対策の予定箇所となっている市道通学路41箇所のうち、令和2年度は8箇所の安全対策を実施した。</p> <p>川岸小 4箇所 神明小、岡谷田中小、長地小、上の原小 各1箇所</p> 2 ふれあいたいむ推進事業 <ul style="list-style-type: none"> 登下校時の子どもたちの安全を確保するため、市民が散歩やジョギング、清掃などをを行いながら子どもたちを見守る活動を啓発する「ふれあいたいむ推進旬間」を実施した。 ・推進旬間 春季：小中学校の臨時休校に伴い中止 秋季：10月12日（月）～10月23日（金）
子ども総合相談センター事業	<ol style="list-style-type: none"> 1 子ども総合相談センターの運営 <ul style="list-style-type: none"> ・子育て・子育ちに関する総合的な相談・支援を行った。 ・センター長、子ども教育支援相談員等、計10名体制 ・相談実件数597件 延べ回数1,746回 うち、ケース会議218回 2 フレンドリー教室・中学校中間教室の運営 <ul style="list-style-type: none"> ・実通室数 フレンドリー教室3人、校内中間教室17人 ・親のまなざしの会（不登校を考える親の会）支援（10回） 3 カウンセリング等の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・県費のスクールカウンセラー2人（市費で兼務委嘱）及び臨床心理士1人を「専門カウンセラー」として配置した。 ・教育相談室で専門カウンセラー1人による教育相談を、月2回実施した。（相談延べ件数103件） ・心の教室相談員を4中学校に各1名配置し、生徒の悩み相談等に対応したほか、小学校の児童や保護者の相談支援を行った。 ・県費のスクールソーシャルワーカー1人に市費で兼務を委嘱し、継続的な長期欠席ケースや、学校だけでは対応困難な事例への支援対応を図った。
特別支援教育、就学支援事業	<ol style="list-style-type: none"> 1 特別支援教育推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・専門カウンセラーによる専門性の高い発達検査の実施と、保護者や関係者への説明及び助言を行った。 ・東部中学校の特別支援学級増設のための補正予算を行った。 2 就学支援委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を必要とする園児、児童生徒の適正な就学を進めるため、岡谷市就学支援委員会を開催した。 年6回開催 判断延べ件数63件 ・通級による指導が必要な児童生徒について、小委員会を開催し丁寧に審議した。年4回 判断延べ件数19件 3 特別支援教育コーディネーター等連絡会 計5回開催

子ども教育支援チーム会議	行政担当者や校長会等の連携のもと、「長期欠席」「いじめ・人権」の2部会に分かれて協議を行った。(全体会の開催 計3回) うち2回は、「岡谷市いじめ問題対策連絡協議会」との合同会議とし、地域の関係団体、保護者代表、有識者も参画して実施した。
生徒指導支援	1 生徒指導推進委員会 小・中・高等学校、地域、家庭で密接な連携を図り、問題行動等に対する指導の充実・徹底、健全な児童生徒の育成に努めるため、生徒指導推進委員会を開催した。年4回開催 ・生徒指導の推進と学校間の情報交換 ・長期休業中の生徒指導 ・あいさつ運動の推進 2 子どもの自立支援委員会 すべての小・中学校でソーシャルスキルトレーニング(SST)に取り組み、人間関係力や自己肯定感の高揚に努めるとともに、長期欠席児童生徒への対策の充実を図るため、子どもの自立支援委員会を開催した。年3回開催 ・SSTの実施 ・Q-U、アセスの実施 ・長期欠席児童生徒への対応事例研究
いじめ防止対策	1 いじめ防止対策推進委員会 ・いじめの防止等の対策の向上に努めた。年5回開催 ・新型コロナウイルス感染症対策として、小中学生による「いじめ根絶子ども会議」については、開催時期や開催方法を見直し、11月27日に開催した。参加児童生徒数47人 2 岡谷市いじめ問題対策連絡協議会 条例に基づく「岡谷市いじめ問題対策連絡協議会」を開催し、いじめ防止対策等を推進するための関係機関や団体相互の連絡調整及び協議を行った。任期1年、年2回開催 3 岡谷市いじめ問題対策調査委員会 ・条例に基づく「岡谷市いじめ問題対策調査委員会」を開催し、重大事案の発生時に備え、調査研究を実行的に行えるよう、いじめ防止対策等に関する審議を行った。任期2年、年1回開催
聞いて！気づいて！わたしのサイン事業	岡谷市自殺対策計画に基づき、小学6年生、中学生1年生を対象に「SOSの出し方に関する教育」として、悩みを打ち明けることの大切さを学ぶ授業を実施したほか、学校職員を対象とする研修会を実施した。
教職員研修・学校支援指導	教職員の資質向上を図るため、校長会との共催により、各種研修会等を実施したほか、学校訪問等により学校経営に対する助言、指導等を行った。 新型コロナウイルス感染症対策として、4月の新任校長・教頭研修会、5月の新任学校教職員研修会等の大人数による研修会は中止とした。代替事業として、各校においてリモート方式等を取り入れた研修を実施した。
平和体験研修事業	新型コロナウイルス感染症対策として、広島市への生徒の派遣は中止とし、代替事業として広島平和記念館から平和学習用の資料を借用し、各中学校の2年生を中心に平和学習を実施した。 ・平和資料の巡回 7月13日(月)～8月31日(月) (50,000円)

学校図書館活用 推進事業	<p>学校及び家庭における児童生徒の読書活動の充実を図り、「豊かな心」と「自ら学ぶ力」の育成を図るため、読書・学習・情報センターとして機能する学校図書館づくりを市立岡谷図書館と連携をとりながら推進した。</p> <p>1 学校図書館司書の配置 全11校に学校図書館司書を配置し、司書教諭等をサポートするとともに、図書館の環境整備を行った。</p> <p>2 学校図書館教育推進委員会 各校の図書館や読書活動等に関する情報交換・研究を行い、読書指導等の充実を図った。委員会 6回開催</p>												
教員住宅管理事 業	<p>間下教員住宅の維持管理を行った。（間下教員住宅：38戸）</p> <p>1 入居状況 ・入居者数 28名（単身用25名、世帯用3名） ・入居率 73.7%</p> <p>2 施設管理及び維持補修 ・教員住宅修繕 16件 (950,803円)</p>												
外国語授業支援 事業	<p>小学校における外国語活動及び国際理解教育、中学校における英語教科指導の補助のため、ALT（外国語指導助手）を配置した。</p> <p>新学習指導要領に伴う外国語授業の充実や小学校での教科化等に対応するため、ALTを1名増の5名体制とし、外国語授業への支援体制の強化を図った。 (27,165,600円)</p>												
情報教育推進事 業	<p>1 GIGAスクール構想への対応 国のGIGAスクール構想に基づき、学習者用タブレット端末、貸出用モバイルルーター等を整備したほか、校内への高速通信ネットワークの構築、端末充電用の充電保管庫の設置等を進めた。 ・情報機器等</p> <table border="1" data-bbox="466 1140 1346 1260"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1人1台学習者用端末</td> <td>2,278台</td> <td>1,278台</td> <td>3,556台</td> </tr> <tr> <td>貸出用モバイルルーター</td> <td>182台</td> <td>264台</td> <td>446台</td> </tr> </tbody> </table> <p>(200,436,000円)</p> <p>・校内への高速通信ネットワーク整備 国基準に基づき、校内に10Gbps対応の高速通信網を整備した。 タブレット端末充電用の充電保管庫を各教室等に整備した。 (121,000,000円)</p> <p>・校外ネットワーク整備 校内に接続する校外の教育用ネットワークについて、庁内回線から分離し、回線強化の工事を行った。 (6,564,800円)</p> <p>・岡谷市小中学校教育ICT環境整備計画 GIGAスクール構想への対応を踏まえ岡谷市総合教育会議での協議、調整を経て「岡谷市小中学校ICT環境整備計画」を策定した。</p> <p>2 情報教育の推進 教職員等に対して、情報教育指導員による情報機器の操作支援、教職員向け研修、授業サポート等を行い、情報教育を推進した。</p> <p>3 情報教育委員会（年4回） 各校の担当教員で構成する情報教育委員会を中心に、児童生徒及び教職員の情報活用能力を高めるための研修等を実施した。 また、情報モラル教育についての実践発表やセキュリティ・モラル対策についての講習会等、情報モラル教育の充実を図った。</p>	区分	小学校	中学校	合計	1人1台学習者用端末	2,278台	1,278台	3,556台	貸出用モバイルルーター	182台	264台	446台
区分	小学校	中学校	合計										
1人1台学習者用端末	2,278台	1,278台	3,556台										
貸出用モバイルルーター	182台	264台	446台										

保健体育科指導事業	<p>地域伝統のスポーツ文化であるスケートを授業や部活動に取り入れ、児童生徒の健康増進、体力向上に努めた。</p> <p>屋内屋外リンクを利用して、小学校は体育科の授業として、中学校はスケート部活動の中でインストラクターによる指導を行った。</p> <table border="1" data-bbox="462 294 1314 512"> <thead> <tr> <th>区分</th><th>屋内リンク</th><th>屋外リンク</th><th>計</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td><td>人 661</td><td>人 2,529</td><td>人 3,190</td></tr> <tr> <td>中学校</td><td>0</td><td>117</td><td>117</td></tr> <tr> <td>計</td><td>661</td><td>2,646</td><td>3,307</td></tr> <tr> <td colspan="4">(4,640,051円)</td></tr> </tbody> </table>	区分	屋内リンク	屋外リンク	計	小学校	人 661	人 2,529	人 3,190	中学校	0	117	117	計	661	2,646	3,307	(4,640,051円)			
区分	屋内リンク	屋外リンク	計																		
小学校	人 661	人 2,529	人 3,190																		
中学校	0	117	117																		
計	661	2,646	3,307																		
(4,640,051円)																					
岡谷東部中学校管理教室棟長寿命化大規模改修事業	<p>岡谷東部中学校管理教室棟の長寿命化大規模改修工事を実施したほか、エレベーター増築工事に向けて実施設計を行った。</p> <p>また、工事実施に伴いエアコン未設置となっている校舎の夏場の熱中症対策として、仮設冷房設備を整備した。</p> <p>令和3年度に係る工事の国補助金の前倒し採択に伴い、工事費に関わる補正予算を行い、令和3年度に繰り越した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理教室棟長寿命化大規模改修工事 <ul style="list-style-type: none"> 監理委託業務 2,080,000円 建築工事 118,200,000円 電気設備工事 8,200,000円 機械設備工事 6,600,000円 仮設冷房設備工事 4,994,000円 ・エレベーター増築工事実施設計 1,650,000円 																				
川岸小学校トイレ改修工事	<p>安全で快適な学校環境を整備するため、川岸小学校のトイレを洋式化する工事を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事前 洋式 4カ所、和式69カ所 ・工事後 洋式44カ所、和式10カ所 (19,085,000円) <p>令和3年度に係る工事の国補助金の前倒し採択に伴い、長地小学校の工事に関わる補正予算を行い、令和3年度に全額繰り越した。</p> <p>(13,200,000円)</p>																				
小中学校施設整備	<p>1 小井川小学校給湯ボイラー入換工事 3,223,000円 2 小中学校防火設備改修工事（繰越事業） 9,130,000円 3 主な修繕工事（50万円以上） ・岡谷北部中学校給食室床改修工事 2,640,000円</p>																				
小中学校備品整備	<p>主な購入備品（単価10万円以上）</p> <p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川岸小 食器洗浄機 1台 2,090,000円 ・岡谷田中小 ジェットヒーター 1台 176,000円 ・長地小 調理室3層シンク 1台 473,000円 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡谷南部中 屋内用ウレタンマット 1台 156,200円 																				
要保護及び準要保護児童生徒就学援助費、特別支援教育就学奨励費支給事業	<p>要保護及び準要保護児童生徒の保護者に対し必要な就学援助を行い、義務教育の円滑な実施を図った。保護者負担を軽減するため、令和2年度から校外活動費を支給対象に加え、支援拡充を図った。</p> <p>また、特別支援学級に入級する児童生徒の保護者に対し、就学等に要する経費に対する奨励費を支給し経済的負担の軽減を図った。</p> <p>【就学援助費】 小学校: 18,601,144円、中学校: 18,681,908円、計: 37,283,052円</p> <p>【特別支援教育就学奨励費】 小学校: 2,822,380円、中学校: 2,741,396円、計: 5,563,776円</p>																				

岡谷市育英基金 奨学金事業	<p>高校、大学等への進学者に対し、選考委員会による選考の上、岡谷市育英基金による奨学金貸付者を決定し、対象者への貸付及び償還事務等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度貸付者 39人（うち新規貸付者 9人） (大学 5人、短大 1人、専門学校 2人、医師養成課程 1人) ・当年度貸付額 34,296,000円 ・償還免除額 5,308,250円 																																																					
放課後子どもの 居場所づくり事 業	<p>市内全7小学校で、全ての児童を対象に、放課後に学校施設を活用して子どもたちの安全・安心な居場所を提供した。地域住民の知識や教養を伝える交流活動等を通じて、地域社会の中で子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、1学期中は中止とし、夏休み明けの2学期から事業を実施した。</p> <table border="1" data-bbox="430 592 1346 1051"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">実施 回数</th> <th colspan="3">延べ参加児童数</th> </tr> <tr> <th>令和 2年度</th> <th>令和 年度</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>とちっ子ひろば（川岸小）</td> <td>9</td> <td>467</td> <td>1,096</td> <td>△629</td> </tr> <tr> <td>神明っ子はばたきラボ（神明小）</td> <td>10</td> <td>642</td> <td>1,211</td> <td>△569</td> </tr> <tr> <td>おいかわっこ（小井川小）</td> <td>5</td> <td>214</td> <td>508</td> <td>△294</td> </tr> <tr> <td>あやめ基地（岡谷田中小）</td> <td>7</td> <td>1,030</td> <td>1,847</td> <td>△817</td> </tr> <tr> <td>あそぼう日（湊小）</td> <td>7</td> <td>314</td> <td>719</td> <td>△405</td> </tr> <tr> <td>おさっちあ（長地小）</td> <td>7</td> <td>1,129</td> <td>2,024</td> <td>△895</td> </tr> <tr> <td>うえのはらっぱ（上の原小）</td> <td>7</td> <td>422</td> <td>1,543</td> <td>△1,121</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>52</td> <td>4,218</td> <td>8,948</td> <td>△4,730</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(3,302,303円)</td> </tr> </tbody> </table>	名称	実施 回数	延べ参加児童数			令和 2年度	令和 年度	増減	とちっ子ひろば（川岸小）	9	467	1,096	△629	神明っ子はばたきラボ（神明小）	10	642	1,211	△569	おいかわっこ（小井川小）	5	214	508	△294	あやめ基地（岡谷田中小）	7	1,030	1,847	△817	あそぼう日（湊小）	7	314	719	△405	おさっちあ（長地小）	7	1,129	2,024	△895	うえのはらっぱ（上の原小）	7	422	1,543	△1,121	合計	52	4,218	8,948	△4,730					(3,302,303円)
名称	実施 回数			延べ参加児童数																																																		
		令和 2年度	令和 年度	増減																																																		
とちっ子ひろば（川岸小）	9	467	1,096	△629																																																		
神明っ子はばたきラボ（神明小）	10	642	1,211	△569																																																		
おいかわっこ（小井川小）	5	214	508	△294																																																		
あやめ基地（岡谷田中小）	7	1,030	1,847	△817																																																		
あそぼう日（湊小）	7	314	719	△405																																																		
おさっちあ（長地小）	7	1,129	2,024	△895																																																		
うえのはらっぱ（上の原小）	7	422	1,543	△1,121																																																		
合計	52	4,218	8,948	△4,730																																																		
				(3,302,303円)																																																		
学童クラブ管理 運営事業	<p>保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生を対象に、放課後時間等に適切な遊びと生活の場を与え、その健全な育成を図った。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策として、クラブ室の消毒や換気等を十分に行いながら、市内小学校で13の学童クラブを運営した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 開設日は学校登校日及び学校休業日とし、土曜日は岡谷田中小学校と障がい児学童ひかりクラブを開設した。（63,735,366円） ボランティア参画 <ul style="list-style-type: none"> ・長期休業中の読み聞かせボランティアは中止とした。 中学生「学童WOR^ワORK^ワORK^ワ体験事業」 <ul style="list-style-type: none"> ・場所 11学童クラブ、8月11日（火）～8月18日（火） ・人数 申込者57人（延べ108人、延べ時間187.5時間） ・内容 中学生による学童クラブの職場体験 																																																					
岡谷子ども未来 塾事業	<p>市内中学校において、苦手科目の解消や学習の習慣付けができるよう、教員OB等が講師となり、英語・数学の学習支援ソフトによる学習や自主学習への学習支援を行った。</p> <p>(1,543,332円)</p> <table border="1" data-bbox="430 1641 1346 1956"> <thead> <tr> <th rowspan="3">学校名</th> <th colspan="2">実施回数</th> <th colspan="4">延べ参加生徒数</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">英語</th> <th rowspan="2">数学</th> <th colspan="2">英語</th> <th colspan="2">数学</th> </tr> <tr> <th>2年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岡谷西部中</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>12</td> <td>35</td> <td>14</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>岡谷北部中</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>10</td> <td>39</td> <td>14</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>岡谷南部中</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>45</td> <td>43</td> <td>28</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>岡谷東部中</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>29</td> <td>39</td> <td>40</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>96</td> <td>156</td> <td>96</td> <td>199</td> </tr> </tbody> </table> <p>臨時休校による学びへの影響を取り戻すため、小学6年生、中学3年生の希望者を対象に、岡谷子ども未来塾拡大版を実施した。</p>	学校名	実施回数		延べ参加生徒数				英語	数学	英語		数学		2年度	元年度	2年度	元年度	岡谷西部中	3	3	12	35	14	38	岡谷北部中	3	3	10	39	14	64	岡谷南部中	3	3	45	43	28	46	岡谷東部中	3	3	29	39	40	51	合計	12	12	96	156	96	199	
学校名	実施回数		延べ参加生徒数																																																			
	英語		数学	英語		数学																																																
		2年度		元年度	2年度	元年度																																																
岡谷西部中	3	3	12	35	14	38																																																
岡谷北部中	3	3	10	39	14	64																																																
岡谷南部中	3	3	45	43	28	46																																																
岡谷東部中	3	3	29	39	40	51																																																
合計	12	12	96	156	96	199																																																

第3 主要な統計、行政資料等

1 小学校児童数及び学級数

(令和2年5月1日現在)

区分	1年		2年		3年		4年		5年		6年		特別支援		合計	
	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数										
川岸小	2	60	2	55	2	42	2	61	2	45	2	56	4	20	16	339
神明小	2	46	2	58	2	59	2	50	3	84	3	71	3	16	17	384
小井川小	2	55	2	46	2	51	2	44	2	38	2	63	3	14	15	311
岡谷田中小	2	57	2	64	2	52	2	62	2	55	2	60	3	19	15	369
湊小	1	18	1	6	1	15	1	18	1	24	1	18	1	5	7	104
長地小	3	73	3	79	3	75	3	89	3	93	3	103	5	28	23	540
上の原小	1	32	1	33	1	31	1	32	2	43	2	49	2	11	10	231
合計	13	341	13	341	13	325	13	356	15	382	15	420	21	113	103	2,278

2 中学校生徒数及び学級数

(令和2年5月1日現在)

区分	1年		2年		3年		特別支援		合計	
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
西部中	2	51	3	72	2	64	3	17	10	204
北部中	3	96	4	119	4	109	4	22	15	346
南部中	3	79	3	84	3	76	3	11	12	250
東部中	5	157	5	158	4	139	4	24	18	478
合計	13	383	15	433	13	388	14	74	55	1,278

3 要保護及び準要保護児生徒就学援助費等の支給状況

	平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	小学校	中学校	計												
学用品費 (A)	328	203	531	317	198	515	270	178	448	247	183	430	241	178	419
新入学学用品費 (1学年)	42	50	92	37	61	98	9	3	12	15	6	21	16	6	22
新入学学用品費 (来入児)				16	-	16	15	-	15	11	-	11	19	-	19
新入学学用品費 (新中1)				-	60	60	-	57	57	-	50	50	-	53	53
学校給食費	328	196	524	316	193	509	270	176	446	247	179	426	240	171	411
校外活動費(宿泊を伴わないもの)													31	6	37
校外活動費(宿泊を伴うもの)													0	0	0
医療費	8	1	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
修学旅行費	57	66	123	59	73	132	54	51	105	49	57	106	49	46	95
特別支援教育就学奨励費(人)	75	23	98	88	28	116	84	38	122	85	49	134	79	52	131
通級指導交通費(人)	21	-	21	22	-	22	19	-	19	17	-	17	18	-	18
計(人)	859	539	1398	855	613	1,468	721	503	1,224	671	524	1,195	693	512	1,205
5月1日現在児童生徒数(人)(B)	2,682	1,350	4,032	2,609	1,308	3,917	2,490	1,223	3,713	2,351	1,287	3,638	2,278	1,278	3,556
受給率(%) (A) / (B)	12.23	15.04	13.17	12.15	15.14	13.15	10.84	14.55	12.07	10.51	14.22	11.82	10.58	13.93	11.78
歳出決算額(千円)	24,232	20,884	45,116	27,742	22,855	50,597	24,389	17,860	42,249	20,230	22,893	43,123	21,424	21,423	42,847
歳入決算額(千円)	1,814		2,065				2,297			2,729					

4 学童クラブ登録児童生徒数

(令和3年3月31日現在)

(1) 学校登校日

単位：人

区分	児童生徒数			指導員	補助指導員	備考
	R2	R元	増減			
川岸小第1学童クラブ	51	61	△10	1	2	教室使用
川岸小第2学童クラブ	27	—	27	1	2	
神明小第1学童クラブ	34	32	2	1	2	独立施設
神明小第2学童クラブ	35	37	△2	1	2	教室使用
小井川小第1学童クラブ	28	23	5	1	1	独立施設
小井川小第2学童クラブ	33	26	7	1	2	教室使用
岡谷田中小第1学童クラブ	34	34	0	1	2	独立施設
岡谷田中小第2学童クラブ	33	41	△8	1	2	
湊小学童クラブ	19	18	1	1	1	独立併用施設
長地小第1学童クラブ	40	43	△3	1	3	独立施設
長地小第2学童クラブ	38	43	△5	1	3	
上の原小学童クラブ	34	37	△3	1	3	教室使用
障がい児学童ひかりクラブ	5	5	0	1	1	独立施設
合 計	411	400	11	13	26	

(2) 学校休業日

単位：人

区分	児童生徒数			指導員	補助指導員	備考
	R2	R元	増減			
川岸小第1学童クラブ	66	102	△36	1	2	教室使用
川岸小第2学童クラブ	53	—	53	1	2	
神明小第1学童クラブ	52	57	△5	1	2	独立施設
神明小第2学童クラブ	45	49	△4	1	2	教室使用
小井川小第1学童クラブ	35	31	4	1	1	独立施設
小井川小第2学童クラブ	45	45	0	1	2	教室使用
岡谷田中小第1学童クラブ	50	54	△4	1	2	独立施設
岡谷田中小第2学童クラブ	66	63	3	1	2	
湊小学童クラブ	34	34	0	1	1	独立併用施設
長地小第1学童クラブ	77	73	4	1	3	独立施設
長地小第2学童クラブ	72	85	△13	1	3	
上の原小学童クラブ	62	79	△17	1	3	教室使用
障がい児学童ひかりクラブ	9	9	0	1	1	独立施設
合 計	666	681	△15	13	26	

(3) 土曜日

単位：人

区分	児童生徒数			指導員	補助指導員	備考
	R2	R元	増減			
土曜学童クラブ (岡谷田中小で拠点実施)	61	68	△7	1	1	

生 涯 學 習 課

第1 概説

生涯学習課では、岡谷市学びの紡ぎ応援プラン（第6次岡谷市生涯学習推進計画）に基づき、生涯にわたり学び続け、地域に根ざす『ひと、もの、こと、こころ』の資源を活用しながら、生涯学習活動センター、公民館（湊、川岸、長地）、美術考古館、図書館において生涯学習の推進を図るとともに、青少年健全育成及び文化財保護に関する諸事業を実施した。

新型コロナウイルス感染症への対応としては、国の緊急事態宣言の発令等を受け施設を閉鎖し、再開後は徹底した感染拡大防止対策を行ったうえで各施設の適正な運営に努めた。また令和3年成人式については、全国的に感染症が拡大し収束がみられないことから、令和3年5月2日に延期することとした。

生涯学習活動センターでは、これからのお「人生100年時代」に向け「豊かな人生を紡ぐ岡谷学講座」をはじめとする各種講座を実施した。また、地域の生涯学習拠点である郷土学習館の増築工事に対し、補助金を交付した。

また、9月24日にカノラホールを会場として、第68回長野県公民館大会が開催された。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、カノラホールと県下53か所をオンラインで結ぶ初の試みでの実施となった。

文化財保護事業では、旧林家住宅応急修繕工事にあたり、公益財団法人 東日本鉄道文化財団の「地方文化事業支援」の採択を受け、事業を実施する旧林家住宅応急修繕事業実行委員会に対し、工事費として負担金を交付した。また、旧山一林組製糸事務所の窓枠の改修工事も実施した。遺跡緊急発掘事業では、（仮称）諏訪湖スマートインターチェンジ整備事業による道路整備に伴い、小坂区にある小坂上垣外遺跡と円道久保遺跡の発掘調査を行い、記録保存を実施した。

美術考古館では、武井直也展ほか多くの企画やイベントを開催したほか、図書館では、セカンドブック事業として読書体験を主眼とした「ファーストチョイスブック」を開始するとともに、市内小学校1・2年全ての教室に学級文庫として「おかやとしょかんアネックス」を設置した。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
社会教育振興事業	1 社会教育委員の会議 社会教育関連事業について、視察や研修などの研究活動をする中で協議・検討・意見集約を行い、教育委員会へ助言・提言を行った。 (1) 教育委員会からの諮問 無

	<p>(2) 教育委員会へ提案書の提出 ・「地域のみんなが集い・いきいきと活動するための公民館（湊・川岸・長地）を目指して」</p> <p>(3) 会議等 ・全体会議 5回 ・公民館職員との懇談 湊・川岸・長地公民館の視察</p> <p>(4) 研究活動 ・長野県社会教育研究大会、諏訪・上伊那地区社会教育委員連絡協議会合同研修会等への参加</p> <p>(5) 社会教育委員連絡協議会負担金 (委員割・人口割・県負担金) 62, 975円</p>
2 郷土学習館活動支援	<p>郷土の先人に学び、地域から生涯学習活動を発信している特定非営利活動法人郷土学習館運営委員会の活動について助成・支援を行った。</p> <p>・郷土学習館活動支援事業補助金 1, 800, 000円 ・郷土学習館建設補助金 2, 000, 000円</p> <p>郷土学習館建設から、20年が経過し、重要文献や資料などが増えたことから、要綱に基づき館の増築にかかる費用の一部を補助した。</p> <p>(4, 108, 435円)</p>
成人式開催事業	<p>令和3年1月10日（日）に開催を予定していたが、全国的な新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、参加者及び関係者の安全と安心を最優先に考え、令和3年5月2日（日）に延期することとした。</p> <p>・延期日 令和3年5月2日（日） ・会場 岡谷市文化会館（カノラホール） ・対象者 平成12年4月2日から平成13年4月1日までの出生者で市内に在住する者及び市内に親等が在住する者 ・対象人数 568名</p> <p>(531, 569円)</p>
生涯学習推進事業	<p>1 「成長樹（期）子育て実践ポイント」活用事業 おかげや子育て憲章具現化の取り組みとして、子育てのポイントを年齢期毎にまとめたパンフレット「成長樹（期）子育て実践ポイント」を、母子手帳交付時や子ども課「こんにちは赤ちゃん事業」の訪問時等に配布した。</p> <p>2 岡谷市職員出前講座（市民と歩むまちづくり講座）開催事業 市民の生涯学習活動を推進するため、職員が地域へ講師として出向き、行政の仕組みや各課の業務内容等について説明した。</p> <p>・メニュー 8部門、95講座 ・派遣件数 17件 ・参加者数 延べ417人</p> <p>3 学びのおかげやサポート事業 地域の教育力を学校教育、社会教育、社会体育の場で活用するため、ボランティア保険への加入費用を公費負担し、広くボランティア活動への参画を進めた。</p> <p>・加入者数 134人</p> <p>(141, 358円)</p>
人権教育推進事業	「岡谷市人権に関する基本方針」に基づき、市民一人ひとりがかけがえのない存在として尊重される社会の実現に向けて、各種人権教育講座を実施した。

	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育学級における人権講座 2回（岡谷田中小学校、川岸小学校） 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 長地保育園、つるみね保育園、夏明保育園 ・いちい学級 1回（湊公民館） ・学童クラブ指導員・放課後子どもの居場所づくりスタッフ対象 2回（市役所大会議室） 	(57,796円)
湊公民館管理事業	<p>生涯学習を通じて幅広い知識を得られるよう、市民のニーズに即した学習機会を提供し、生涯学習の充実と利用促進を図った。また施設の適切な維持管理を行った。</p> <p>1 子育て応援講座（輝く子育て支援学級代替事業） <ul style="list-style-type: none"> ・バルーンで作ろう！アンパンマン 絵本+ふれあい遊び+etc 9月16日 参加人数 20人 ・のんびり親子散歩！みなとなぎさパーク 諏訪湖からの壮観な景色&ミニ遊具ひろば 9月28日 参加人数 8人 ・親子で Enjoy 音楽♪ ダンス×楽器+英語♪ 遊びで育てよう音楽心 10月14日 参加人数 21人 ・親子でピラティス 体をほぐしてリラックス 10月28日 参加人数 16人 </p> <p>2 いちい学級 9月24日～11月15日 8回 参加延人数 84人</p> <p>3 生活講座 「きのこ（シイタケ）の菌打ち体験」 2月28日 1回 参加人数 11人</p> <p>4 読書活動推進事業 登録者数 528人 貸出数 2,937冊</p> <p>5 学習団体育成支援 <ul style="list-style-type: none"> ・湊公民館学習グループ 15グループ ・岡谷市3公民館芸能祭チャンネル（湊地区文化祭代替事業） 放映期間 11月1日～11月29日 湊公民館参加 4団体 ・湊公民館ロビー作品展（湊地区文化祭代替事業） 11月9日～2月28日 参加 8団体・個人 </p> <p>6 湊コミュニティスクール連携事業 湊小学校4学年 21人 公民館講座体験授業 9月30日 陶芸やきもの講座～ハロウィンランタン作り～ 作品展示（ロビー作品展で展示）</p> <p>7 新型コロナウイルス感染症対応 <ul style="list-style-type: none"> ・休館 4月5日～5月31日 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した事業 生活講座3講座 子ども学級（山つ湖学級） 7月29日・30日、8月5日 (5,409,209円) </p>	
川岸公民館管理事業	<p>生涯学習を通じて幅広い知識を得られるよう、市民のニーズに即した学習機会を提供し、生涯学習の充実と利用促進を図った。また施設の適切な維持管理を行った。</p> <p>1 子育て応援講座（輝く子育て支援学級代替事業） <ul style="list-style-type: none"> ・映える ハーバリウム～綺麗を瓶に閉じ込めて 9月3日 参加人数 7人 </p>	

	<ul style="list-style-type: none"> ・点から始まる瞑想アート 点描曼荼羅に挑戦 9月17日 ・天然石×レジン=onlyone のアクセサリー 10月1日 ・贅沢 天然オイルで作るアロマ石鹼 10月23日 	参加人数 14人 参加人数 18人 参加人数 19人
2	子ども学級	
	<ul style="list-style-type: none"> ・広畠遺跡子どもチャレンジ教室 10月18日 	参加人数 13人
3	いちい学級	
	<ul style="list-style-type: none"> 9月4日～11月20日 8回 	参加延人数 107人
4	生活講座	
	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢リフォーム体操 3月17日・24日・31日 3回 	参加延人数 56人
5	読書活動推進事業	
	<ul style="list-style-type: none"> 登録者数 753人 貸出冊数 3,309冊 	
6	学習団体育成支援	
	<ul style="list-style-type: none"> ・川岸公民館学習グループ 17グループ ・岡谷市3公民館芸能祭チャンネル（文化祭芸能祭代替事業） 放映期間 11月1日～11月29日 川岸公民館参加 6団体 ・川岸公民館ロビー作品展（文化祭作品展代替事業） 10月13日～3月23日 参加 7団体 	
7	新型コロナウイルス感染症対応	
	<ul style="list-style-type: none"> ・休館 4月5日～5月31日 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した事業 生活講座 4講座 	

(4,745,807円)

長地公民館管理事業	<p>生涯学習を通じて幅広い知識を得られるよう、市民のニーズに即した学習機会を提供し、生涯学習の充実と利用促進を図った。また施設の適切な維持管理を行った。</p> <p>1 子育て応援講座（輝く子育て支援学級代替事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロから学ぼう♪親子写真撮影教室 9月8日 参加人数 8人 ・親子ふれあいヨガ 9月30日 参加人数 14人 ・親子リトミック de ふれあい遊び 10月20日 参加人数 12人 ・親子で楽しむ3B体操 11月10日 参加人数 8人 <p>2 いちい学級</p> <ul style="list-style-type: none"> 9月4日～11月20日 8回 参加延人数 202人 <p>3 生活講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・煎茶道体験講座 10月27日・11月10日・17日 3回 参加延人数 12人 ・ヨガ基本講座 11月21日・28日・12月5日 3回 参加延人数 60人 ・初心者向け編み物講座 2月20日・27日・3月13日・27日 4回 参加延人数 34人 ・楽しく学ぶ写真講座 2月20日・3月6日・13日・27日 4回 参加延人数 37人 <p>4 読書活動推進事業</p> <p>登録者数 773人 貸出冊数 5,004冊</p>
-----------	---

	<p>5 学習団体育成支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長地公民館学習グループ 35 グループ ・岡谷市3公民館芸能祭チャンネル（文化祭芸能祭代替事業） 放映期間 11月1日～11月29日 長地公民館参加 5団体 ・長地公民館ロビー作品展（文化祭作品展代替事業） 11月9日～3月23日 参加 14団体 <p>6 新型コロナウイルス感染症対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休館 4月5日～5月31日 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した事業 子ども学級 	(7,249,094円)																														
美術考古館管理事業	<p>1 美術考古館の管理・運営及び収蔵作品等の適切な管理を行った。</p> <p>2 「黒曜石とシカ角のストラップ」などの新しいグッズを制作した。 美術考古館の「絵はがき」、「一筆箋」、「クリアファイル」、「顔面把手・土偶グッズ」などの資料販売を行い、「黒曜石の砂時計」、「ストラップ」などの委託販売も行った。</p> <p>3 岡谷美術考古館だより Vol. 10 を発行し、事業や展示、学習事業などの情報発信を行った。</p> <p>4 美術考古館の市民ギャラリーや交流ひろば等の貸出を行った。</p> <p>5 志村一男の作品他、美術作品の寄贈を計39点受けた。</p> <p>6 11月3日文化の日に無料公開をし、161人の入館者があった。</p> <p>7 新型コロナウイルス感染症対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨時休館 4月5日～5月31日 ・閉館時間を午後7時から午後5時へ変更 6月1日～3月31日 	(5,928,968円)																														
美術考古館学習事業	来館者等を対象としたワークショップなどのイベントを開催し、もののづくりの体験や芸術・文化等に触れる学習会を開催した。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>イベント名</th> <th>開催日</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館長のワークショップ 「縄文風ネームプレートをつくろう」</td> <td>8月8日 16日</td> <td>10人 3人</td> </tr> <tr> <td>館長のワークショップ 「身近な材料でつくるクリスマスツリー」</td> <td>11月21日 22日</td> <td>8人 1人</td> </tr> <tr> <td>体験的絵画講座 「鉛筆デッサンの基礎」</td> <td>12月5日 12日 19日</td> <td>12人 10人 12人</td> </tr> <tr> <td>「消しゴムはんこをつくろう」</td> <td>12月6日</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>「ネーベルスロイドをつくろう」</td> <td>12月13日</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>体験的絵画教室 「なつかしの石膏像デッサン」</td> <td>1月16日 23日 30日</td> <td>10人 10人 11人</td> </tr> <tr> <td>「透明粘土でランタンをつくろう」</td> <td>1月31日</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>「貯金箱に色をぬろう」</td> <td>2月6日</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>小林美希ワークショップ 「点描曼荼羅アート体験」</td> <td>2月21日 3月28日</td> <td>14人 12人</td> </tr> </tbody> </table>	イベント名	開催日	参加人数	館長のワークショップ 「縄文風ネームプレートをつくろう」	8月8日 16日	10人 3人	館長のワークショップ 「身近な材料でつくるクリスマスツリー」	11月21日 22日	8人 1人	体験的絵画講座 「鉛筆デッサンの基礎」	12月5日 12日 19日	12人 10人 12人	「消しゴムはんこをつくろう」	12月6日	6人	「ネーベルスロイドをつくろう」	12月13日	11人	体験的絵画教室 「なつかしの石膏像デッサン」	1月16日 23日 30日	10人 10人 11人	「透明粘土でランタンをつくろう」	1月31日	6人	「貯金箱に色をぬろう」	2月6日	10人	小林美希ワークショップ 「点描曼荼羅アート体験」	2月21日 3月28日	14人 12人
イベント名	開催日	参加人数																														
館長のワークショップ 「縄文風ネームプレートをつくろう」	8月8日 16日	10人 3人																														
館長のワークショップ 「身近な材料でつくるクリスマスツリー」	11月21日 22日	8人 1人																														
体験的絵画講座 「鉛筆デッサンの基礎」	12月5日 12日 19日	12人 10人 12人																														
「消しゴムはんこをつくろう」	12月6日	6人																														
「ネーベルスロイドをつくろう」	12月13日	11人																														
体験的絵画教室 「なつかしの石膏像デッサン」	1月16日 23日 30日	10人 10人 11人																														
「透明粘土でランタンをつくろう」	1月31日	6人																														
「貯金箱に色をぬろう」	2月6日	10人																														
小林美希ワークショップ 「点描曼荼羅アート体験」	2月21日 3月28日	14人 12人																														
美術考古館展示事業	<p>1 収蔵作品展の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「春をいろいろ 花の絵画展」令和2年3月 5日～ 5月10日 新型コロナウイルス感染症対応のための臨時休館により 4月4日で会期終了 ・「志村一男 新収蔵作品展」 6月 1日～ 8月 2日 ・「没後80年 武井直也のいた時代」 9月 17日～10月 18日 	(98,597円)																														

	<ul style="list-style-type: none"> ・「新収蔵作品展」 	1月 15日～ 3月 9日						
2	<ul style="list-style-type: none"> ・「新収蔵作品展」 ・「交流ひろば・企画展示室展示 ・「第64回花岡哲象絹本日本画展」 9月 17日～ 9月 24日 ・「高林宏巳 油彩 こころの風景展」 10月 6日～10月 13日 ・「株式会社ツクイ 長野南信エリア作品展」 	10月 20日～10月 24日						
	<ul style="list-style-type: none"> ・「越山公夫展」 ・「創作年賀版画出版記念展 小林理一60年の鼓動1960-2021」 	11月 5日～11月 9日						
3	<ul style="list-style-type: none"> ・「花岡克行展 回顧—未完の色彩」 	1月 5日～ 1月 11日						
	<ul style="list-style-type: none"> ・「花岡克行展 回顧—未完の色彩」 	3月 25日～ 3月 30日						
4	<ul style="list-style-type: none"> ・市内遺跡から出土の縄文～平安時代までの土器石器類の展示 							
	<ul style="list-style-type: none"> ・若手アーティスト育成公募展 ・宮坂絵美「絵画は、歌う。」 	2月 19日～ 3月 21日						
	関連イベントの開催							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>イベント名</th> <th>開催日</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アーティストトーク</td> <td>3月 7日</td> <td>15人</td> </tr> </tbody> </table>	イベント名	開催日	参加人数	アーティストトーク	3月 7日	15人	
イベント名	開催日	参加人数						
アーティストトーク	3月 7日	15人						
5	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した事業							
	<ul style="list-style-type: none"> ・貸館展示 1回 	(288, 405円)						

美術考古館企画展等開催事業	1	美術特別企画展							
		<ul style="list-style-type: none"> ・「没後80年 武井直也のいた時代」 8月 8日～ 9月 13日 ・「今に生きる縄文」 10月 22日～ 1月 11日 							
	2	関連イベントの開催							
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>イベント名</th> <th>開催日</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ギャラリートーク</td> <td>11月 3日</td> <td>10人</td> </tr> </tbody> </table>	イベント名	開催日	参加人数	ギャラリートーク	11月 3日	10人	
イベント名	開催日	参加人数							
ギャラリートーク	11月 3日	10人							
		<ul style="list-style-type: none"> ・からくりとコラージュ 	3月 15日～ 4月 18日						
	2	考古特別企画展等の開催							
		<ul style="list-style-type: none"> ・「橋原遺跡 弥生後期の農耕集落」 8月 21日～10月 18日 ・「園山俊二がえがく縄文時代の生活」 10月 22日～ 1月 11日 							
	3	岡谷市内小学校児童版画展							
		<ul style="list-style-type: none"> ・第27回岡谷市内小学校児童版画展 小学校巡回展 11月～1月 ・第28回岡谷市内小学校児童版画展 1月 17日～ 2月 14日 							
	4	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した事業							
		<ul style="list-style-type: none"> ・講演会「アートの摇籃—大正期の信州諏訪」 ・第28回岡谷市内小学校児童版画展表彰式 	(1, 050, 307円)						

生涯学習館管理事業	乳幼児から高齢者までが集い、学ぶための施設である生涯学習館の維持、管理を行った。		
	1	生涯学習館の施設運営管理業務（窓口業務等）について民間委託を実施した。	11, 187, 000円
	2	生涯学習館の適正な管理、施設の整備を実施した。	
		<ul style="list-style-type: none"> ・音楽スタジオ利用者用のベースアンプ1台を購入した。 ・窓口用パソコン2台を老朽化に伴い入れ替えた。 	43, 780円 297, 220円
	3	新型コロナウイルス感染症対応	
		<ul style="list-style-type: none"> ・全館を閉鎖 4月 5日～5月 31日 	

- ・収容率を1/2以下として、6月1日から一部再開（調理室、学習室、憩いの広場、音楽スタジオを除く）。貸館にあたり、マスクの着用及び手指消毒、3密の回避など、カルチャーセンターを利用する上でのチェックリストを作成し、利用者に徹底を図るとともに、施設の消毒を毎朝、職員において実施した。
- ・収容率を1/2以下として、調理室等を7月10日から再開（音楽スタジオのみ8月1日から1日1組限定とし再開）、10月より、収納率を6割程度まで緩和した。
- ・換気を実施するため、窓のある研修室へ網戸を設置したほか、窓口用に飛沫防止のパーティションを設置した。

(16, 188, 543円)

生涯学習館運営事業(各種学級・講座)	1 輝く子育て支援学級	・9月4日～10月16日 6回 参加延人数 53人															
	2 保育園・幼稚園家庭教育学級	保育園、幼稚園毎に学級を設け、保護者を対象に開設															
		・瑞穂幼稚園ほか2園（私立） 3回 参加延人数 129人															
	3 小学校家庭教育学級	小学校毎に学級を設け、保護者を対象に開設															
		・長地小学校ほか2校 4回 参加延人数 839人															
	4 世代間交流講座	・～みんなでつくってみよう！たのしいおひがみ～ 2月7日 参加人数 21人															
	5 季節の教養講座																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>講座名</th> <th>期 間</th> <th>回数</th> <th>延人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>竹ひご作りから学ぶ 竹細工講座</td> <td>9月25日～10月9日</td> <td>3回</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>多文化を学ぼう！ ダーニング講座</td> <td>11月7日～12月5日</td> <td>3回</td> <td>34人</td> </tr> <tr> <td>大人のための そろばん講座</td> <td>3月4日～3月18日</td> <td>3回</td> <td>26人</td> </tr> </tbody> </table>	講座名	期 間	回数	延人数	竹ひご作りから学ぶ 竹細工講座	9月25日～10月9日	3回	30人	多文化を学ぼう！ ダーニング講座	11月7日～12月5日	3回	34人	大人のための そろばん講座	3月4日～3月18日	3回
講座名	期 間	回数	延人数														
竹ひご作りから学ぶ 竹細工講座	9月25日～10月9日	3回	30人														
多文化を学ぼう！ ダーニング講座	11月7日～12月5日	3回	34人														
大人のための そろばん講座	3月4日～3月18日	3回	26人														
6 若者向け講座	・「思考の整理で効率改善 リバウンドしないデスクの片付け講座」 12月6日～12月20日 3回 参加延人数 22人																
7 生涯学習大学	・「子どもにスマホを持たせる前に」 NTTドコモ スマホ・ケータイ安全教室インストラクター 石野田ゆう子 氏 3月6日 参加人数 17人																
8 豊かな人生を紡ぐ“岡谷学”講座	・「じっくり学習！岡谷学～日本遺産編～ぱーと2」 11月6日～12月10日 6回 参加延人数 206人																
9 いちい学級	9月3日～11月19日 8回 参加延人数 129人																
10 共催講座（生涯学習館で活動中のグループ等との共催）	・「やさしい 和紙絵講座」（和紙絵の会） 9月5日～10月17日 4回 参加延人数 36人																
	・「はじめての水墨画講座」（イルフ墨友会） 1月8日～3月5日 4回 参加延人数 39人																
	・「春の生け花講座」（水仙の会） 2月27日～3月13日 2回 参加延人数 23人																

- 11 ロビー展事業
 • 14団体参加 各7日間～14日間展示
- 12 学習グループの育成および活性化
 • 110グループ 1,387人
- 13 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した事業
 (1) キッズクラブ（子ども学級）～岡谷の自然たんけん隊～
 (2) 共催事業（伝統文化や残しておきたい事業を共催）
 • 「ビデオ作品上映会&おもしろ背景映像合成の紹介、実演デモ（岡谷映像サークル）」
 • 「百人一首カルタ大会」（歌月会）
 (3) 共催講座
 • 「癒しの煎茶体験講座」（桜草の会）
 (4) 地域共催事業
 • 「夏の学び舎」（今井区）4回
 (5) ボランティア講座
 • 「地域活動いとぐち教室」（社協との共催）
 (6) 文化祭
 • 7演目（演劇祭、音楽祭、舞踊祭、伝統音楽芸能祭、朗吟祭、作品展、岡谷展）すべて
 (7) 季節の教養講座
 • 3講座
- 14 新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う新規代替事業
 (1) 季節の教養講座を動画配信へ変更し実施

講座名	シルキー・チャンネル放送期間
マネしてみよう！自宅で出来る運動不足解消法～バレトン編～	5月 1日～6月15日
パッチワークでマスク入れを作ってみよう♪	6月 16日～7月15日
コロナと暑さに負けるな！家庭でできる免疫力UP料理	7月 16日～7月31日
衣類リメイク術 夏にぴったり♪スカーフからボレロを作ろう	8月 1日～8月31日

- (2) ホリデイスクエア事業を動画配信へ変更し実施

出演団体	シルキー・チャンネル放送期間
あひるコーラス	11月 1日～11月15日

- (3) 生涯学習大学を動画配信へ変更し実施

出演団体	シルキー・チャンネル放送期間
郷土学習館の紹介	10月中

(1,550,808円)

青少年活動育成支援事業	<p>1 岡谷市子ども会育成連絡協議会支援事務（市内20地区子ども会育成会組織） 「子どもの手による子ども会」をめざして活動を実施した。 • 令和3年3月 「子ども会だより」発行 ◎岡谷市リーダーズ俱楽部事業 中学1年生から高校3年生で組織し、わんぱくアドベンチャー・通学合宿などの野外体験活動や、クリスマス会の企画、運営、清掃奉仕活動、夏休み子ども交流事業の協力参加等を行う中で、小・中学生を指導し、また楽しませることにより、自分自身の資質の向上、豊かな人間性の形成を図った。</p>
-------------	---

	<p>2 地域子ども事業安全保険料負担金 「地区育成会活動」及び「放課後子どもの居場所づくり事業」に参加する子どもと育成会役員の安全を担保するため、全国子ども会安全共済会への加入費用を公費負担した。</p> <p>加入者数 4, 544人</p> <p>3 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年問題協議会 ・岡谷市子ども会育成連絡協議会支援事務 応急手当講習会 県外研修事業（静岡県焼津市での研修） ・輝けおかやっ子G O G O チャレンジ事業 わんぱくアドベンチャー 第56回岡谷市少年スポーツ大会 通学合宿（エンジョイ&G Oスクール） ・夏休み子ども交流事業（東伊豆町との交流） 	(1, 495, 770円)
子育て土壤育成事業	<p>乳幼児親子ふれあい事業補助金 各区等や、子育て中の親等が自主的に作ったグループが、親同士の交流や情報交換、伝統行事や伝統食の継承等を行う「乳幼児親子ふれあい事業」に対し助成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各区乳幼児親子ふれあいの集い 21グループ 	(196, 000円)
環境浄化・青少年非行防止活動事業	<p>1 愛護パトロール 少年愛護センターでは、青少年の非行防止を図り、心身ともにたくましく健やかな青少年の育成を目標に、愛護パトロールにより愛護指導を計画的に実施した。</p> <p>〔活動状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日数 79日 ・従事委員数 延べ 225人 ・声かけした子どもの数 延べ 120人 ・深夜パトロール 実施せず <p>2 環境浄化活動 コンビニエンスストアや、ビデオレンタル店、カラオケボックス、酒の自動販売機等について、全市的に調査を行い、その結果をもとに関係業者へ自主規制等の協力依頼を行うとともに、青少年健全育成協力店のステッカー貼付を行い、青少年に有害な社会環境を排除する環境浄化活動を行った。</p> <p>3 街頭啓発活動 「子ども・若者育成支援強調月間」における街頭啓発活動 内閣府の実施する活動の一環で、子ども・若者の育成支援に対する理解を深めるため、岡谷東高等学校と岡谷東部中学校の全生徒に啓発物品を配付した。</p> <p>配布日 11月2日 配付数 岡谷東高等学校 450個 岡谷東部中学校 560個 また、JR岡谷駅前に桃太郎旗を1か月間設置した。</p>	(796, 590円)
図書館管理事業	<p>図書館の運営・維持管理を行った。</p> <p>1 建物や設備の老朽化による改修箇所を整備した。</p> <p>(1) 学習室エアコン入替工事 (2) 新聞雑誌閲覧コーナー椅子座面破損によるクッション設置 (3) 開架スペース照明取替工事</p>	

	<p>(4) 暖房時期を避ける必要性から繰越明許で対応した地下タンク壁腐食防止対策等の対応をするための改修工事の完了</p> <p>2 書架スペース不足によるサービス低下を防ぐため、市の空き施設（岡谷市看護専門学校旧カルテ庫・休憩室等）を活用し閉架書架とした。（5月1日～）</p> <p>3 ブックカートの寄贈 匿名希望の市民から「利用者が岡谷図書館をより良い環境で利活用できるように」とブックカート20台を寄贈いただいた。（3/16）</p> <p>4 新型コロナウイルス感染症対応</p> <p>(1) 対応経過</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月 5日～5月17日 休館。「すわズラー」休止。 ・5月18日 平日における午後3時までの段階的開館を実施。 ・6月 2日～19日 開館日を通常どおり（※月曜日休み）とし、閉館時間を平日午後5時、土日午後3時に拡充。 ・6月20日～ 閉館時間を、土日についても午後5時とした。 ・7月10日～ ソーシャルディスタンスを保つ中で、座席数を半分の7席にした上で閲覧コーナーを再開。他の座席は館内に点在するように配置。会議室貸し出し再開。今年度より導入したセルフコピー機による図書資料の複写サービス開始。閉館時間を午後6時とした。 ・8月1日～ 閉館時間を通常に戻した（午後6時→午後7時） 学習室、レファレンスコーナー、検索機の再開、入館者名簿撤去 ・9月1日～ 行事、会議再開 <p>(2) 対応経費 カウンター用ビニールカーテン、フェイスシールド等を購入した。 (51,639,416円)</p>												
図書資料等整備事業	<p>多くの新刊図書が発刊されるなか、図書館司書が、利用者が好む本や、タイムリーな情報を取り入れることなど各分野の特徴を意識した選書に努め、図書資料の整備を行った。</p> <p>1 図書資料の購入等</p> <table> <tbody> <tr> <td>・図書</td> <td>7, 541, 895円</td> </tr> <tr> <td>・保育園、幼稚園親子文庫用図書</td> <td>958, 004円</td> </tr> <tr> <td>・紙芝居</td> <td>4, 541円</td> </tr> <tr> <td>・新聞、雑誌</td> <td>951, 580円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 視聴覚資料購入</p> <table> <tbody> <tr> <td>・D V D</td> <td>176, 101円</td> </tr> <tr> <td>・C D</td> <td>33, 442円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(9,982,106円)</p>	・図書	7, 541, 895円	・保育園、幼稚園親子文庫用図書	958, 004円	・紙芝居	4, 541円	・新聞、雑誌	951, 580円	・D V D	176, 101円	・C D	33, 442円
・図書	7, 541, 895円												
・保育園、幼稚園親子文庫用図書	958, 004円												
・紙芝居	4, 541円												
・新聞、雑誌	951, 580円												
・D V D	176, 101円												
・C D	33, 442円												
読書普及活動事業	<p>第3次岡谷市子ども読書活動推進計画に基づいた事業や生涯を通じて読書に親しむ機会を創出し実施した。また、新型コロナウイルス感染症対応のため、例年実施している行事を一部中止した。</p> <p>1 岡谷市子ども読書活動推進会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回（10月6日）（委員委嘱、推進会議の任務及び具体的な活動内容について、実施施策の進捗状況とコロナ禍における各委員の周りの様子及び読書活動における「w i t h コロナ」に必要を感じている「物」や「環境」について） ・第2回（3月12日）（「第3次岡谷市子ども読書活動推進計画令和元年度P D C A」をメールなどで各委員へ送付し、委員からのコメントを収集） 												

2 学校図書館との連携

(1) 市立図書館返却ポストの設置及び物流システム

市立図書館で借りた本を自分の通う学校の図書館へ返却できるよう、学校図書館指導員や業務員の業務内で行える体制を学校と協力し整えた。また、教職員が求める図書資料などの相談、検索、資料貸出などのレファレンス機能（リクエスト）も備え事業の充実を図った。

- ・市内 11 小中学校図書館返却ポスト設置数 11 個

・利用状況

①小学校 1,865 (返却数: 746、リクエスト: 1,119)

②中学校 210 (返却数: 70、リクエスト: 140)

小学校	川岸	神明	小井川	岡谷田中	湊	長地	上原
返却	110	35	144	191	0	266	0
リクエスト	100	35	251	261	0	472	0
計	210	70	395	452	0	738	0

中学校	岡谷西部	岡谷北部	岡谷南部	岡谷東部
返却	39	3	26	2
リクエスト	38	14	58	30
計	77	17	84	32

(2) 1・2年生学級文庫「おかやとしょかんアネックス」の新設

絵本や様々な分野の本を市内1・2年生の全学級に30冊ずつ置き「おかやとしょかんアネックス」として利用してもらうことで、子どもたちが本を身近に感じられる環境を整備した。本の交換は1か月毎とし、エプロンシアター（童話などのエプロン人形）も併せて貸し出した。

- ・開始時期 令和2年12月末～
- ・配架学級数 26 (3クラス×1校×2学年、2クラス×4校×2学年、1クラス×2校×2学年)
- ・貸出冊数 1,560冊

3 おはなしの森シリーズ

行 事	実 施	参 加 人 数
おはなしの森 ちいさなおはなしの森 日曜日のちいさなおはなしの森	毎週土曜日 毎月第3火曜日 9月20日・11月29日	376人
第32回としょかん子ども読書まつり ・のびのび、たのしき、本とふれあう「こども図書館」 ・午後のスペシャルおはなし会	11月1日	170人 59人 111人
クリスマス特集おはなしの森 ・絵本及び大型絵本の読み聞かせ、 ブラックパネルシアター	12月19日	20人

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、8月末まで中止。

4 「うち読でエコ読」事業

- ・広報への掲載、うち読本コーナーの設置

5 ファーストブックプレゼント事業 (9~10か月児健診時配布)

配布数 241冊

	<p>6 ファーストチョイスブック（セカンドブック）事業（新規事業） 3歳児を対象に初めて本を「自由に選び」「借りる」機会を創出し、本の楽しさから読書習慣の定着と読書を通じた豊かな感性の醸成を図るため、オリジナルキャラクター付き図書館利用カード及びアニバーサリーカードをプレゼントし読書体験型事業を9月（3歳児健診時）より実施した。 引換券配布人数 205人、実施者数 82人</p> <p>7 としょかん子ども読書まつり ・関係11団体と協力し、11月1日に開催。 参加人数延べ 170人</p> <p>8 職員派遣等による普及活動 ・乳幼児学級、乳幼児サークル、9～10か月健診での読み聞かせ等 実施回数 5回 参加者数 155人</p> <p>9 ぬいぐるみのおとまり会 11月21日～22日 参加人数 10人</p> <p>10 まちかど図書館事業 ・市内公共施設に設置（ロマネット、諏訪湖ハイツ、生涯学習活動センター、勤労青少年ホーム、市役所ロビー、市民総合体育館、美術考古館、岡谷市民病院前バス停）</p> <p>11 図書リサイクル事業（読書サークル協議会との協働事業） ・実施日：9月27日 ・来館者延べ 121人 リサイクル図書数 1,213冊</p> <p>12 本の福袋 1月5日～23日 172冊</p> <p>13 図書館DE講座 (兼テーマブックスコーナー※特設コーナー設置期間) ・食育月間 5月30日～6月25日 ・男女共同参画週間 6月27日～7月30日 ・岡谷市防災の日 6月27日～7月30日 ・健康増進月間 9月11日～9月24日 ・自殺予防週間 9月11日～9月24日 ・世界アルツハイマー月間 9月11日～9月24日 ・自殺対策強化月間 2月27日～3月25日</p> <p>14 はづらつ来（らい）ぶらり事業 高齢者の方々に本への関心をもっていただくため、いきいきライフコーナー（大活字本・年金等シニア向けの書棚）を設置した。</p> <p>15 「岡谷図書館公式ツイッター」の運営 SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を活用し、新コーナーの紹介やイベントの案内、その他あらゆる情報等を掲載し、幅広い層へ市立図書館の認知度向上を図った。 ・ツイート数 193ツイート ・閲覧回数 184,841回</p> <p>16 読み聞かせ活動用機材整備事業（新型コロナウイルス感染症対応事業） コロナ禍における読書活動を支援するため、携帯型パーティションとハンズフリータイプの拡声器を9月補正予算にて各23個購入し、読書活動団体や学校等に貸し出した。 ・パーティション貸出件数及び台数 10件 延べ107台 ・拡声器貸出件数及び台数 16件 延べ282台 (675,099円)</p>
図書館情報ネットワークシステム管理事業	諏訪地域公共図書館情報ネットワークシステムの維持管理を行った。 (4,525,201円)

指定文化財管理事業	1 市管理の指定史跡梨久保遺跡、姥ヶ懐古墳、唐櫃石古墳、スクモ塚古墳、広畑遺跡の草刈、アメシロ駆除等の管理を行った。 2 市指定文化財保護事業では東堀区へ補助金交付要綱に基づき文化財の保護に要する経費について補助金を交付した。 ・東堀区正八幡宮拝殿修繕工事	4 9 3 , 0 0 0 円 (626, 565円)
旧林家住宅管理事業	1 施設の維持管理、公開を行った。 ・旧林家住宅応急修繕事業実行委員会負担金を交付した。 1 , 4 0 3 , 8 9 3 円 2 施設を活用した行事を開催した。 ・10月31日 岡谷工業高校茶道部による茶会 2 3 人 ・10月31日～11月1日 小原流岡谷の会による伝統文化いけ花親子教室発表会 延べ101人 ・11月3日 文化の日に無料公開 4 7 人 ・2月25日～4月12日 雛人形の展示 3 新型コロナウイルス感染症対応 ・休館 4月5日～5月31日 ・4月29日のシルクフェア中止により無料公開を中止にした。	(6, 110, 354円)
旧渡辺家住宅管理事業	1 施設の維持管理、公開を行った。 2 施設を活用した行事を開催した。 11月3日 文化の日に無料公開 2 4 人 3 新型コロナウイルス感染症対応 ・休館 4月5日～5月31日 ・5月5日の無料開放を中止した。	(714, 543円)
旧山一林組製糸事務所管理事業	1 施設の維持管理を行った。 2 窓木製建具等修繕工事を実施した。 請負業者 株式会社 サイト 工 期 令和2年4月20日～7月10日 請負金額 7, 6 8 8 , 3 4 0 円 3 建物1・2階を岡谷絹工房として施設の活用を図った。	(9, 506, 076円)
有形文化財保護・保全事業	1 6月30日 岡谷市文化財保護審議会を開催した。 2 生涯学習課分室・公用車両の管理を行った。	(4, 761, 105円)
遺跡発掘調査事業	1 個人住宅等小規模開発・公共事業に伴う試掘調査を実施した。 ・調査件数 10件 1, 0 4 0 m ² 2 (仮称)諏訪湖スマートインターチェンジ整備事業に伴う発掘調査を実施した。 ・小坂上垣外遺跡 3 2 m ² ・円道久保遺跡 1 4 2 m ²	(11, 817, 266円)

塩嶺野外活動センター管理事業	自然環境の中で野外活動や宿泊を通して、豊かな情操と心身の健全育成を図るための生涯学習活動施設としての運営を行った。 開設期間 6月1日～10月31日 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開設日を1か月遅らせた。センターハウスでの宿泊受け入れは開設期間を通して中止した。キャンプ場は開設当初日帰り利用のみ受け入れていたが、7月10日より宿泊受け入れを再開した。 マレットゴルフ場利用は6月1日から受け入れた。 ・利用者数 502人
	(4,697,465円)

第3 主要な統計、行政資料等（令和3年3月31日現在）

1 生涯学習館・公民館利用状況

区分	利用件数	うち有料		利用人員	使用料
		件	件		
生涯学習館	4,059	2,095		35,817	3,470,125
湊公民館	332	10		3,488	123,150
川岸公民館	528	58		4,360	303,590
長地公民館	1,102	354		13,048	963,025
合計	令和2年度(A)	6,021	2,517	56,713	4,859,890
	令和元年度(B)	10,560	4,336	125,919	7,489,263
	増減(A)-(B)	△4,539	△1,819	△69,206	△2,629,373

2 図書館

(1) 総蔵書冊数等（総蔵書冊数 231, 884冊）

分類別蔵書冊数、受入及び除籍冊数 () 内の数字は寄贈数

分類	蔵書冊数	令和2年度受入冊数		移管	除籍冊数
		構成比	構成比		
0 総記	冊 4,853	% 2.8	冊 97 (6)	% 2.3	冊 67
1 哲学	5,868	3.4	117 (9)	2.8	12
2 歴史	14,416	8.3	285 (9)	6.8	191
3 社会科学	20,305	11.7	520 (45)	12.4	52
4 自然科学	7,415	4.3	288 (8)	6.9	17
5 技術	7,316	4.2	345 (13)	8.2	220
6 産業	4,445	2.6	113 (7)	2.7	75
7 芸術	11,768	6.8	241 (13)	5.7	46
8 言語	1,772	1.0	33	0.8	9
9 文学	43,133	24.9	706 (94)	16.8	129
外国語	29	0.0	1	0.0	0
大活字	691	0.4	0	0.0	4
コミック	2,859	1.6	99 (26)	2.4	800
児童	48,428	28.0	1,355 (105)	32.2	277
小計	173,298	100.0	4,200 (335)	100.0	57 1,899
団体貸出用	4,233		1		1,731

公民館図書室	21, 254	△	444	△	△57	1, 227
紙芝居	1, 263	△	0	△		0
保育園・幼稚園 親子文庫	31, 836	△	726	△		1, 282
合計	令和2年度 (A)	231, 884	△	5, 371 (335)	△	6, 139
	令和元年度 (B)	232, 652	△	5, 740 (143)	△	6, 630
	増減 (A)-(B)	△768	△	△369 (192)	△	△491

再掲	区分	蔵書冊数	令和2年度受入冊数	移管	除籍冊数
	郷土	16, 762	203(116)		24
	点字	631	0		0
	洋書	1, 702	1		0
	公民館図書室				
	湊公民館	7, 100	143	△57	484
	川岸〃	6, 102	150		345
	長地〃	8, 052	151		398

(2) 館外貸出利用状況 (登録者数 33, 348人(内児童数 1, 841人))

区分	貸出冊数	利用者別貸出冊数		
		内児童図書	中学生以上	児童
本館計	159, 912	62, 334	123, 311	26, 601
個人貸出※	144, 735	58, 848	118, 134	26, 601
団体貸出※	4, 064	1, 662	4, 064	
相互貸借※	11, 113	1, 824	1, 113	
湊公民館	2, 937	2, 898	1, 319	1, 618
川岸公民館	3, 309	3, 195	1, 846	1, 463
長地公民館	5, 004	4, 960	1, 378	3, 626
保育園幼稚園 親子文庫	36, 070	36, 070	6, 438	29, 632
合計	令和2年度(A)	207, 232	109, 457	134, 292
	令和元年度(B)	279, 438	148, 248	190, 531
	増減(A)-(B)	△72, 206	△38, 791	△56, 239
				△25, 967

※個人貸出の内、視聴覚資料利用数 4,917点

(内訳 ビデオ: 16点、カセット: 78点、CD: 1,319点、DVD: 3,504点)

※団体貸出: 小学校 P T A図書委員会、学級文庫、市内施設等への貸出

※相互貸借: 諏訪5市町村や県内外図書館への貸出

(3) 入館者数 35, 621人 (開館日 247日)

(単位: 人)

1日平均入館者数	令和2年度(A)	144.2
	令和元年度(B)	186.9
	増減(A)-(B)	△42.7

3 美術考古館

(1) 収蔵資料数

ア 美術関係資料

(単位:点)

種類		点数	種類	点数	種類	点数
彫刻	石膏	71	デッサン	16	工芸	13
	セメント	1	日本画	20	書	40
	大理石	7	油彩画	346	版画	86
	ブロンズ	91	水彩画	58	複製画	12
	木彫	3	水墨画	4	造形資料	1
	テラコッタ	2	中国画	1	刀剣	8
合 計						780

イ 考古関係資料

(単位:点)

種類	縄文時代	弥生時代	古墳時代以降	計
土器	1,706	759	2,543	5,008
土製品	1,136	95	579	1,810
石器	16,043	465	33	16,541
金属器	0	9	853	862
レプリカ	2	0	0	2
その他	八幡一郎資料			1,024
計	18,887	1,328	4,008	25,247

ウ 民俗関係資料

種類	点数
民俗関係資料	1,748点

(2) 美術考古館入館状況 (開館日数248日)

	個人		団体		年間券 (販売)	共通券 (販売)	減免割 入館者	無料入館者	入館者合計	入館料合計
	高校生以上	小中学生	高校生以上	小中学生						
令和2年度 (A)	人 959	人 18	人 40	人 0	人 376 (11)	人 132 (77)	人 501	人 4,625	人 6,651	円 527,230
令和元年度 (B)	1,334	15	143	0	386 (12)	271 (170)	585	9,160	11,894	789,390
増減 (A)-(B)	△375	3	△103	0	△10 (△1)	△139 (△93)	△84	△4,535	△5,243	△262,160

(3) 美術考古館利用状況

	市民ギャラリー			交流ひろば			多目的スペース			使用料合計
	有料	減免	使用料	有料	減免	使用料	有料	減免	使用料	
令和2年度 (A)	日 35	日 0	円 170,000	日 21	日 26	円 45,990	日 2	日 0	円 1,395	円 217,385
令和元年度 (B)	48	0	293,665	40	51	106,915	2	1	3,180	403,760
増減 (A)-(B)	△13	0	△123,665	△19	△25	△60,925	0	△1	△1,785	△186,375

4 旧渡辺家住宅 公開日数 103日（11月4日～3月19日休館）

年度	入館者数(人)						
	個人	団体	減免入館者	小中高校生無料	共通入館券		合計
					共通入館券購入者	他館での購入者	
令和2年度(A)	16	7	56	31	0	11	121
令和元年度(B)	44	69	54	12	0	8	187
増減(A)-(B)	△28	△62	2	19	0	3	△66

(円)

年度	入館料		会場使用料			入館料・使用料合計
	合計	部分使用	全館使用	合計		
令和2年度(A)	6,390	0	0	0	0	6,390
令和元年度(B)	28,220	0	0	0	0	28,220
増減(A)-(B)	△21,830	0	0	0	0	△21,830

5 旧林家住宅 公開日数 254日

年度	入館者数(人)						
	個人	団体	減免入館者	小中高校生無料	共通入館券		合計
					共通入館券購入者	他館での購入者	
令和2年度(A)	209	117	194	64	66	75	725
令和元年度(B)	336	272	570	84	153	299	1,714
増減(A)-(B)	△127	△155	△376	△20	△87	△224	△989

(円)

年度	入館料		会場使用料			入館料・使用料合計
	合計	部分使用	全館使用	合計		
令和2年度(A)	213,240	0	0	0	0	213,240
令和元年度(B)	395,700	3,090	0	3,090	3,090	398,790
増減(A)-(B)	△182,460	△3,090	0	△3,090	△3,090	△185,550

6 塩嶺野外活動センター利用状況

(1) センターハウス(宿泊)

市内		市外			減免	人数計	使用料合計
無料	有料	使用料	有料	使用料			
高校生以下	一般		高校生以下	一般			
人	人	円	人	人	円	人	円
0	0	0	0	0	0	0	0

(2) センターハウス(日帰り)

市内			市外			減免	人数計	使用料合計
無料	有料	使用料	有料	使用料	使用料			
高校生以下	一般	使用料	高校生以下	一般	使用料			
人	人	円	人	人	円	人	人	円
99	0	0	0	0	0	39	138	0

(3) キャンプ場（日帰り）

単位						利用人数	使用料
	1~10人	11~20人	21~30人	31~40人	41人~		
有料	組 5	組 0	組 4	組 1	組 1	人 277	円 14,040
無料	0	0	0	0	0	0	0

(4) キャンプ場（宿泊）

テント数			利用人数			
有料		減免	使用料	有料	減免	計
貸出	持込					
張 0	張 52	張 0	円 40,560	人 87	人 0	人 87

(5) 合計

	利用人数	センターハウス等使用料
令和2年度 (A)	人 502	円 54,600
令和元年度 (B)	1,645	676,190
増減 (A) - (B)	△1,143	△621,590

ス ポ 一 ツ 振 興 課

第1 概説

スポーツ振興課では、令和2年3月に策定した第2次岡谷市スポーツ推進計画である「はつらつ岡谷スポーツプラン」における「スポーツに親しみ 夢と感動が生まれるまち」の基本理念のもと、「市民ひとり1スポーツの実現」、「競技力の向上」、「子どものスポーツ機会の充実」、「スポーツ環境の整備・充実」の4つを柱に、前計画（平成27年度～令和元年度）を継承するなかで、これまでの取り組みを一層推進するとともに、すべての市民が「する」「みる」「ささえる」といった様々な形で積極的にスポーツに参画できるよう、公益財団法人岡谷市スポーツ協会をはじめとする関係団体等と連携を図り、各種事業を実施した。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症が全国で感染拡大し、市民生活にも大きな影響を及ぼすなか、本市では市民をはじめ利用者等の安全を図るため、4月上旬から5月末までの間、市内のスポーツ施設の全てを閉鎖した。再開にあたっては、施設内の感染予防対策を徹底するとともに、スポーツ施設の使用指針を策定し、感染拡大防止に努めた。

また、市主催のスポーツ大会やイベント、教室を中止または延期するとともに、他の大会等についても、リスクへの対応が整わない場合には、活動及び開催の中止または延期するなど慎重な対応をお願いした。

その他、昭和56年3月の竣工以来、築40年を迎える岡谷市民水泳プールの長寿命化に向けた大規模改修工事に伴う施設の劣化調査を行ったほか、岡谷市やまびこ国際センター照明制御システム機器改修工事を実施した。

スポーツ施設の利用状況については、新型コロナウイルス感染症の影響による約2か月間のスポーツ施設の閉鎖や市民の感染症に対する不安から、大会やイベント等の中止や延期の対応がなされたほか、個人での施設利用者等も大幅に減少した。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
スポーツ推進委員活動支援事業	スポーツ推進委員（13人）によるニュースポーツの普及や市民のスポーツ推進のための行事や事業への協力、障がい者のスポーツニーズの把握に努めた。 なお、参加予定であった大会等のうち、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったものがあった。 <ul style="list-style-type: none">・諏訪地方ヘルスバレー大会 6月（中止）・体力、運動能力調査 1回 9月・長野県スポーツ推進委員研究協議会 10月（中止）

	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリースポーツプログラム 3回 8、10、2月 ・親子で氷上運動会 1回 11月 ・市民ボッチャ体験会 1回 12月 ・市民ボッチャ交流大会 1回 3月 <p style="text-align: right;">(848, 225 円)</p>
陸上競技場管理事業	<p>市営陸上競技場の利用者が安全で快適に利用できるよう施設の適正な管理に努めた。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施予定であった市民陸上大会2大会を中止した。</p> <p style="text-align: right;">(17, 031 円)</p>
やまびこ国際スケートセンター管理事業	<p>岡谷市やまびこ国際スケートセンターの管理を株式会社やまびこスケートの森に指定管理者として業務委託を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷凍機エンジン修繕工事 4, 173, 400 円 ・やまびこ国際スケートセンター指定管理委託業務 77, 464, 000 円 ・照明制御システム機器改修工事 4, 180, 000 円 <p style="text-align: right;">(90, 201, 808 円)</p>
学校体育施設開放管理事業	<p>学校体育施設の利用者が安全で快適に利用できるよう適正な管理運営を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学校体育館、校庭等 <p style="text-align: right;">(641, 059 円)</p>
アイスアリーナ維持事業	<p>岡谷市やまびこアリーナの利用者が安全で快適に利用できるよう施設の適正な管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床面改修工事 <p style="text-align: right;">(2, 090, 000 円)</p>
スポーツ施設管理事業	<p>市営岡谷球場、岡谷市民湖畔広場、岡谷市民川岸スポーツ広場、岡谷市民総合体育館、岡谷市営庭球場、岡谷市民水泳プールの管理をシンコースポーツ株式会社に指定管理者として業務委託を行った。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止対応として施設を閉鎖した期間などにより、指定管理委託料の精算を行った。</p> <p>1 主な修繕等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市営庭球場人工芝修繕工事 495, 000 円 ・市民水泳プール劣化調査委託業務 1, 265, 000 円 ・スポーツ施設指定管理委託業務 109, 796, 000 円 ・備品購入（綱引ロープ大人用2本、子ども用1本、 アンカーブロテクター4ヶ） 292, 000 円 <p style="text-align: right;">(112, 251, 098 円)</p> <p>2 前年度繰越工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民総合体育館防火設備修繕工事 <p style="text-align: right;">(1, 892, 000 円)</p>
スポーツ振興事業	<p>岡谷市教育委員会主催大会、長野県エースドッジボール協会主催大会、各種スポーツ教室を(公財)岡谷市スポーツ協会に委託し開催した。</p> <p>また、子どもから大人まで多様なスポーツ機会の充実を図るとともに、スケート及びバレーボールの推進に向けた普及や競技力向上のため、各種教室や大会を実施した。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定した大会、教室等を中止または定員、回数、時期を変更して実施した。</p>

1	スポーツ大会（主催大会等） ・各区対抗体育大会 ・市民スポーツ普及大会 ・競技力向上大会 ・長野県エースドッジボール協会主催大会	60大会 11大会（全大会中止） 37大会（うち22大会中止） 9大会（うち6大会中止） 3大会（全大会中止）	1,275,890円
2	おかやファミリースポーツプログラム ・体験型スポーツイベント	全4回（うち1回中止）	451,660円
3	スポーツ教室（主催教室） ・少年スポーツ教室 ・女性スポーツ教室 ・一般スポーツ教室 ・市民全般スポーツ教室 ・託児付きスポーツ教室	10種目11教室（うち7教室中止） 2種目2教室 1種目1教室（中止） 3種目3教室（うち1教室中止） 1種目1教室	1,653,520円
4	おかや小学生体育塾 前期7回、後期10回	各2クラス	816,000円
5	ジュニアアスリートのためのパフォーマンスアップ教室 ・小学生コース ・中学生コース	全15回 全6回	320,000円
6	かがやけおかやキッズ体力アッププログラム事業 ・小学生1、2年生 ・指導者講習会 ・体力向上プラン支援事業	26クラス 各クラス年6回派遣 中止 各小学校に資料配布	1,328,000円
7	スポーツ&健康 高齢者運動促進事業 ・元気いきいき岡谷シニアスポーツデー	4回（うち2回中止） 参加者36人	154,000円
8	スケート振興事業 ・多種目スケート教室 ・おかやスピードスケートトータルサポートクラブ 初心者～上級者コース アスリートコース ・親子で氷上運動会 ・ファミリースケートデー	3種目3教室 全30回 全50回 全1回 全4回 入場者259人	2,939,000円
9	バレーボールのまちづくり事業 ・第19回岡谷カップ・フレンドシップバレーボール大会 ソフトバレーボールの部 ママさんの部 高校生男子の部 高校生女子の部 中学生の部 小学生の部 ・中学生男子バレーボール教室 ・中学生女子バレーボール教室 ・小中学生バレーボール教室	中止 中止 中止 参加者16チーム 中止 参加者20チーム 参加者27人 参加者24人 参加者144人	186,458円 (11,729,660円)

第3 主要な統計、行政資料等

1 市営岡谷球場利用状況

	専用使用						照明施設					
	有料		減免		使用料	有料			減免			使用料
	全面	半面	全面	半面		野球	ソフト全面	ソフト半面	野球	ソフト全面	ソフト半面	
h	h	h	h	h	円	h	h	h	h	h	h	円
2年度(A)	237.0	8.0	190.0	8.0	303,660	93.0	15.0	0.0	0.0	0.0	0.0	239,940
元年度(B)	417.5	0.0	340.5	0.0	518,350	148.0	11.0	0.0	0.0	0.0	0.0	352,140
増 減 (A)-(B)	△ 180.5	8.0	△ 150.5	8.0	△ 214,690	△ 55.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 112,200

	放送施設		用 具		施設使用料 合 計	行政財産 使 用 料	使用料合計	利用者合計
	件数	使用料	件数	使用料				
2年度(A)	2	4,200	0	0	547,800	17,380	565,180	5,688
元年度(B)	33	68,340	2	200	939,030	21,384	960,414	12,675
増 減 (A)-(B)	△ 31	△ 64,140	△ 2	△ 200	△ 391,230	△ 4,004	△ 395,234	△ 6,987

2 岡谷市営庭球場利用状況

	開場 日数	専用使用			個人使用			
		有料	減免	使用料	小中学生	一般	市内小中 (無料)	使用料
2年度(A)	278	1,322.5	808.5	1,031,550	303	3,079	1,350	710,710
元年度(B)	342	2,152.0	1,700.0	1,660,275	804	3,231	708	774,710
増 減 (A)-(B)	△ 64	△ 829.5	△ 891.5	△ 628,725	△ 501	△ 152	642	△ 64,000

	通年使用			回数券			照明施設				
	小中 学生	一般	使用料	小中 学生	一般	使用料	有 料		減 免		
							300Lx	500Lx	300Lx	500Lx	
2年度(A)	12	151	1,713,800	1	96	212,300	931.0	209.0	48.0	0.0	673,740
元年度(B)	1	177	1,862,600	6	89	197,300	1,212.0	216.0	32.0	0.0	831,140
増 減 (A)-(B)	11	△ 26	△ 148,800	△ 5	7	15,000	△ 281.0	△ 7.0	16.0	0.0	△ 157,400

	用 具		施設使用料 合 計	行政財産 使 用 料	使用料 合 計	利用者 合 計
	件数	使用料				
2年度(A)	1	110	4,342,210	20,570	4,362,780	27,256
元年度(B)	61	6,250	5,332,275	35,640	5,367,915	37,869
増 減 (A)-(B)	△ 60	△ 6,140	△ 990,065	△ 15,070	△ 1,005,135	△ 10,613

3 岡谷市民湖畔広場利用状況

	専用使用				用 具		施設使用料 合 計	利用者 合 計	
	有 料		減 免		使用料	件数	使用料		
	全面	半面	全面	半面					
2年度(A)	68.0	118.5	97.0	137.5	106,890	0	0	106,890	
元年度(B)	137.5	213.0	144.5	16.0	200,205	1	100	200,305	
増 減 (A)-(B)	△ 69.5	△ 94.5	△ 47.5	121.5	△ 93,315	△ 1	△ 100	△ 93,415	
								△ 6,858	

4 岡谷市民川岸スポーツ広場利用状況

	専用使用						照明施設			
	有料		減免		使用料	有料			使用料	
	全面	半面	全面	半面		ソフト全面	ソフト半面	サッカー		
2年度(A)	82.5	81.5	46.5	65.5	円	39.5	17.0	4.0	円	82,285
元年度(B)	107.5	30.5	666.5	18.5	113,260	43.0	3.0	0.0		64,820
増 減 (A)-(B)	△ 25.0	51.0	△ 620.0	47.0	2,595	△ 3.5	14.0	4.0		17,465

	用 具		施設使用料 合 計	行政財産 使 用 料	使用料 合 計		利用者 合 計
	件数	使 用 料	円	円	円	円	
2年度(A)	2	220	198,360	0	198,360	198,360	2,715
元年度(B)	4	400	178,480	14,256	192,736	192,736	4,397
増 減 (A)-(B)	△ 2	△ 180	19,880	△ 14,256	5,624	5,624	△ 1,682

5 岡谷市やまびこ国際スケートセンター利用状況

(1) 使用料収入状況

	1 回 券				回 数 券			
	大 人	高 校 生	中 学 生 以 下	使 用 料	大 人	高 校 生	中 学 生 以 下	使 用 料
2年度(A)	824	86	688	1,251,480	39	13	71	417,200
元年度(B)	917	68	755	1,364,320	37	20	59	410,800
増 減 (A)-(B)	△ 93	18	△ 67	△ 112,840	2	△ 7	12	6,400

	シーザン券				入 場 券			
	大 人	高 校 生	中 学 生 以 下	使 用 料	シーザン券	回 数 券	1 回 券	使 用 料
2年度(A)	11	21	62	1,022,625	28	73	589	363,880
元年度(B)	11	27	75	1,200,000	39	64	592	415,140
増 減 (A)-(B)	0	△ 6	△ 13	△ 177,375	△ 11	9	△ 3	△ 51,260

	専用使用	貸 靴	ロッカ一等	施設使用料合計	行政財産使用料	使 用 料 合 計
2年度(A)	454,240	1,771,790	10,000	5,291,215	987,159	6,278,374
元年度(B)	748,160	1,971,070	18,400	6,127,890	1,159,400	7,287,290
増 減 (A)-(B)	△ 293,920	△ 199,280	△ 8,400	△ 836,675	△ 172,241	△ 1,008,916

(2) 利用者数等状況

	開 場 日 数	大 人	高 校 生	中 学 生 以 下	学校授業		入 場 者	大 会 等	利 用 者 合 計	うち無料 (小中学生)
					市 内	市 外				
2年度(A)	83	2,640	854	5,015	3,238	159	2,626	3,506	18,038	1,397
元年度(B)	86	3,369	1,137	7,122	3,087	170	3,230	6,250	24,365	2,288
増 減 (A)-(B)	△ 3	△ 729	△ 283	△ 2,107	151	△ 11	△ 604	△ 2,744	△ 6,327	△ 891

6 岡谷市学校体育施設利用状況

(1) 使用料収入状況

	体育館			校庭			施設使用料合計		
	小学校	中学校	合計	小学校	中学校	合計	小学校	中学校	合計
2年度(A)	円 340,085	円 829,950	円 1,170,035	円 109,230	円 0	円 109,230	円 449,315	円 829,950	円 1,279,265
元年度(B)	円 568,820	円 1,394,400	円 1,963,220	円 150,670	円 2,940	円 153,610	円 719,490	円 1,397,340	円 2,116,830
増 減 (A)-(B)	△ 228,735	△ 564,450	△ 793,185	△ 41,440	△ 2,940	△ 44,380	△ 270,175	△ 567,390	△ 837,565

(2) 利用時間等状況

・体育館

	専用使用				照明施設				利用者 合計
	有料	減免	合計	使用料	有料	減免	合計	使用料	
小学校	h 372.0	h 4,370.0	h 4,742.0	円 160,160	h 1,441.5	h 3,300.5	h 4,742.0	円 179,925	人 24,717
中学校	h 1,835.0	h 884.0	h 2,719.0	円 506,400	h 2,181.5	h 537.5	h 2,719.0	円 323,550	人 18,485
2年度(A)	h 2,207.0	h 5,254.0	h 7,461.0	円 666,560	h 3,623.0	h 3,838.0	h 7,461.0	円 503,475	人 43,202
元年度(B)	h 4,004.5	h 6,308.5	h 10,313.0	円 1,180,230	h 5,988.0	h 4,325.0	h 10,313.0	円 782,990	人 82,849
増 減 (A)-(B)	△ 1,797.5	△ 1,054.5	△ 2,852.0	△ 513,670	△ 2,365.0	△ 487.0	△ 2,852.0	△ 279,515	△ 39,647

・校庭

	専用使用				照明施設				利用者 合計
	有料	減免	合計	使用料	有料	減免	合計	使用料	
小学校	h 19.5	h 4,221.5	h 4,241.0	円 8,580	h 183.0	h 167.0	h 350.0	円 100,650	人 19,740
中学校	h 0.0	h 0.0	h 0.0	円 0	h 0.0	h 0.0	h 0.0	円 0	人 0
2年度(A)	h 19.5	h 4,221.5	h 4,241.0	円 8,580	h 183.0	h 167.0	h 350.0	円 100,650	人 19,740
元年度(B)	h 90.0	h 3,571.0	h 3,661.0	円 39,330	h 180.5	h 142.5	h 323.0	円 114,280	人 28,191
増 減 (A)-(B)	△ 70.5	△ 650.5	△ 580.0	△ 30,750	△ 2.5	△ 24.5	△ 27.0	△ 13,630	△ 8,451

7 岡谷市民総合体育館利用状況

(1) 使用料収入状況

開館 日数	専用使用			個人使用				使用料	
	有料	減免	使用料	有料	無料	市内小中	その他		
2年度(A)	日 282	h 10,274.5	h 1,695.5	円 5,445,045	人 644	人 9,837	人 1,717	人 2,064	円 2,234,980
元年度(B)	日 335	h 11,694.5	h 3,297.5	円 5,760,006	人 1,123	人 14,920	人 2,404	人 2,382	円 3,316,690
増 減 (A)-(B)	△ 53	△ 1,420.0	△ 1,602.0	△ 314,961	△ 479	△ 5,083	△ 687	△ 318	△ 1,081,710

	回数券			照明施設			設備		用具	
	小中学生	一般	使用料	有料	減免	使用料	件数	使用料		
2年度(A)	件 0	件 380	円 836,000	h 6,480.0	h 582.0	円 1,681,480	件 1,148.5	円 482,995	件 783	円 86,130
元年度(B)	件 4	件 799	円 1,712,700	h 6,880.0	h 898.0	円 1,797,390	件 1,434	円 475,880	件 1,736	円 181,120
増 減 (A)-(B)	△ 4	△ 419	△ 876,700	△ 400.0	△ 316.0	△ 115,910	△ 286	△ 7,115	△ 953	△ 94,990

	施設使用料合計	行政財産使用料	使用料合計
2年度(A)	円 10,766,630	円 370,260	円 11,136,890
元年度(B)	円 13,243,786	円 339,120	円 13,582,906
増 減 (A)-(B)	△ 2,477,156	△ 31,140	△ 2,446,016

(2) 利用者数等状況

	専用使用		個人使用			回数券使用			利用者 合計	
	件数	人數	小中学生	一般	無料	合計	小中学生	一般		
2年度(A)	4,749	80,546	644	9,835	3,781	14,260	7	4,033	4,040	98,846
元年度(B)	5,921	144,629	1,123	14,892	4,785	20,800	29	8,094	8,123	173,552
増減 (A)-(B)	△ 1,172	△ 64,083	△ 479	△ 5,057	△ 1,004	△ 6,540	△ 22	△ 4,061	△ 4,083	△ 74,706

8 岡谷市民水泳プール利用状況

開場 日数	コース専用使用			個人使用					回数券			
	有料	減免	使用料	小中 学生	一般	市内 小中 (無料)	その他 無料 減免	使用料	小中 学生	一般	使用料	
2年度(A)	256	2,203.0	220.0	4,626,300	574	2,054	717	319	1,120,360	5	216	1,028,700
元年度(B)	307	2,918.0	204.0	6,055,960	1,005	3,013	1,795	471	1,656,490	18	246	1,188,800
増減 (A)-(B)	△ 51	△ 715.0	16.0	△ 1,429,660	△ 431	△ 959	△ 1,078	△ 152	△ 536,130	△ 13	△ 30	△ 160,100

	施設使用料合計	行政財産使用料	使用料合計	利用者合計
2年度(A)	6,775,360	143,760	6,919,120	31,933
元年度(B)	8,901,250	96,132	8,997,382	41,698
増減 (A)-(B)	△ 2,125,890	47,628	△ 2,078,262	△ 9,765

9 スポーツ教室等

(1) スポーツ教室

○少年スポーツ教室

教室名	日程	会場	回数	2年度延人数(A)	元年度延人数(B)	増減(A)-(B)
多種目スポーツ教室	4~6月	市民総合体育館	回 0	人 0	人 一	人 一
バスケットボール	5~7月	岡谷田中小学校体育館	回 0	人 0	人 188	△ 188
バレーボール	5~8月	岡谷田中小学校体育館	回 0	人 0	人 24	△ 24
テニス	5~8月	市営庭球場	回 0	人 0	人 154	△ 154
フットサル	1~3月	市民総合体育館	回 8	人 120	人 75	人 45
水泳(1回目)	5月	市民屋内水泳プール	回 0	人 0	人 89	△ 89
水泳(2回目)	6月	市民屋内水泳プール	回 0	人 0	人 262	△ 262
剣道	5~7月	市民総合体育館剣道場	回 0	人 0	人 16	△ 16
バドミントン	9~11月	市民総合体育館	回 8	人 147	人 197	△ 50
ソフトテニス	7~8月	市営庭球場	回 8	人 75	人 104	△ 29
新体操	11~12月	市民総合体育館	回 5	人 60	人 31	人 29
Hip Hop ダンス	一	一	回 一	人 一	人 90	△ 90
合 計			回 29	人 402	人 1,230	△ 828

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、11教室のうち7教室を中止とした。

○女性スポーツ教室

教室名	日程	会場	回数	2年度延人数(A)	元年度延人数(B)	増減(A)-(B)
ヨガ	8~10月	市民総合体育館	回 8	人 68	人 141	人 △ 73
キックボクシングエクササイズ	10~11月	市民総合体育館	回 8	人 96	人 144	人 △ 48
合 計			回 16	人 164	人 285	人 △ 121

○一般スポーツ教室

教室名	日程	会場	回数	2年度延人数(A)	元年度延人数(B)	増減(A)-(B)
ゴルフ	5~7月	みどり湖ゴルフセンター	回 0	人 0	人 199	人 △ 199

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。

○市民全般スポーツ教室

教室名	日程	会場	回数	2年度延人数(A)	元年度延人数(B)	増減(A)-(B)
柔道	6月	市民総合体育館柔道場	回 0	人 0	人 46	人 △ 46
卓球	9~11月	市民総合体育館	回 8	人 86	人 173	人 △ 87
ソフトバレー	12~1月	市民総合体育館	回 8	人 155	人 154	人 1
合 計			回 16	人 241	人 373	人 △ 132

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、柔道教室を中止とした。

○託児付きスポーツ教室

教室名	日程	会場	回数	2年度延人数(A)	元年度延人数(B)	増減(A)-(B)
ママスポ広場ピラティス	1~3月	市民総合体育館	回 8	人 20	人 54	人 △ 34
ママスポ広場テニス	一	一	回 一	人 一	人 36	人 △ 36
合 計			回 8	人 20	人 90	人 △ 70

(2) おかや小学生体育塾

対象者	日程	会場	回数	2年度延人数(A)	元年度延人数(B)	増減(A)-(B)
前期(1~3年生)2クラス	8~9月	やまびこ国際スケートセンター他	14	123	346	△ 223
後期(1~6年生)2クラス	10~12月	やまびこ国際スケートセンター他	20	275	342	△ 67
合計			34	398	688	△ 290

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、前期教室を10回から7回とした。

(受講者数：前期各10人、後期各16人)

(3) ジュニアアスリートのためのパフォーマンスアップ教室

対象者	日程	会場	回数	2年度延人数(A)	元年度延人数(B)	増減(A)-(B)
小学生コース(4~6年生)	11~3月	岡谷田中小学校他	15	197	222	△ 25
中学生コース	11~1月	岡谷田中小学校他	6	19	10	9
合計			21	216	232	△ 16

(受講者数：小学生18人、中学生4人)

(4) おかやファミリースポーツプログラム

教室名	日程	会場	回数	2年度延人数(A)	元年度延人数(B)	増減(A)-(B)
親子でバスケット体験(小学生)	6月21日	市民総合体育館	0	0	73	△ 73
親子でナイター野球体験(小学生)	8月1日	市営岡谷球場	1	48	26	22
親子でサッカーアクティビティ(年長~小学生)	10月11日	湖畔広場	1	32	51	△ 19
親子で卓球体験(小学生)	2月7日	市民総合体育館	1	41	69	△ 28
合計			3	121	219	△ 98

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、親子でバスケット体験を中止とした。

(5) スケート教室

○多種目スケート教室

教室名	日程	会場	回数	2年度延人数(A)	元年度延人数(B)	増減(A)-(B)
初心者スケート(小中学生)	10~11月	やまびこスケートの森アイスアリーナ	4	84	65	19
アイスホッケー(小中学生)	12月	やまびこスケートの森アイスアリーナ	2	51	33	18
カーリング(市民全般)	12~2月	やまびこスケートの森アイスアリーナ	3	39	22	17
合計			9	174	120	54

○おかやスピードスケートトータルサポートクラブ

対象者	日程	会場	回数	2年度延人数(A)	元年度延人数(B)	増減(A)-(B)
初心者~上級者(小学生)	8~2月	やまびこ国際スケートセンター他	30	732	509	223
アスリート(小学3年~中学生)	8~2月	やまびこ国際スケートセンター他	50	431	474	△ 43
合計			80	1,163	983	180

(受講者数：初心者~上級者30人、アスリート12人)

○親子で氷上運動会

対象者	日程	会場	回数	2年度延人数(A)	元年度延人数(B)	増減(A)-(B)
年少~小学3年生	11月3日	やまびこスケートの森アイスアリーナ	1	82	35	47

選 挙 管 理 委 員 会

第1 概説

選挙管理委員会では、選挙人名簿の調製のほか、明るい選挙推進協議会と協力して、選挙に対する意識の向上、明るい選挙の推進を目的とした啓発事業を行った。

- 1 永久選挙人名簿の定時登録は、年4回（6、9、12、3月）あり、各月の1日を基準日として登録を行った。
- 2 海外在住の有権者のための在外選挙人名簿の登録は、本年度中に1人を登録し、累計で31人となった。
- 3 常時啓発として、未来を担う児童・生徒を対象に「明るい選挙啓発ポスター」の作品を募集し、レイクウォーク岡谷催事場において表彰式を行うとともに応募のあった全作品を展示し、啓発を図った。また、明るい選挙推進協議会長賞等を受賞した作品については、選挙啓発イメージポスターとして採用した。
- 4 18歳となり、今後の選挙で初めて投票する市内の高校生等に対し、投票の流れを分かりやすく示した「選挙啓発カード」を発送し、投票意識の向上を図った。
- 5 檢察審査員候補者予定者の選定については、松本検察審査会から本市割当人員27人の通知を受け、所定の方法、手続きにより該当者を抽出し報告した。
- 6 裁判員候補者予定者の選定については、長野地方裁判所松本支部から本市割当人員61人の通知を受け、所定の方法、手続きにより該当者を抽出し報告した。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
参議院長野県選出議員補欠選挙	令和3年4月25日に執行される参議院長野県選出議員補欠選挙の準備に着手した。 (2,177,243円)
選挙啓発	1 令和2年度明るい選挙啓発ポスター募集 5月7日から8月27日の募集期間中に、小・中学校の児童、生徒から109点の応募があり、市の審査において16点の入選作品を決定し、表彰と記念品授与を行った。また、全応募作品をレイクウォーク岡谷に展示した。 県の地方審査（第1次審査）では、小学校の部で2点、中学校の部で1点が入選した。 2 18歳となり、今後の選挙で初めて投票する市内の高校生等に対し、「選挙啓発カード」を発送した。 発送数 510 3 児童会・生徒会役員選挙に対して、投票箱及び記載台の貸し出しを実施した。 中学校4校、高等学校1校 (96,875円)

第3 主要な統計、行政資料等

1 永久選挙人名簿登録人員

区分	6月1日	9月1日	12月1日	3月1日
男	人 20,136	人 20,089	人 20,060	人 20,021
女	21,435	21,368	21,331	21,306
計	41,571	41,457	41,391	41,327

2 在外選挙人名簿登録人員(令和3年3月1日現在)

区分	人員
男	人 10
女	21
計	31

3 選挙管理委員会委員等の任期

選任区分	氏名	選任年月日	任期
委員長	中島 弘雄	令和2年2月8日	令和6年2月7日
同職務代理	小口 啓子		
委員	山田 一彦		
委員	小口 喜視		
補充員	松下 正樹		
補充員	濱 道夫		
補充員	高林あつ子		
補充員	小坂 勝樹		

監　　查　　委　　員

第1 概説

関係法令等に基づき、定例監査、行政監査、財政援助団体等に対する監査、例月出納検査、決算審査及び財政健全化判断比率等審査を実施した。

1 監査

地方自治法第199条の規定により、財務に関する事務の執行と経営に係る事業の管理について、期日を定め各課等（出先機関、施設を含む。）の定例監査を実施した。

監査の実施に当たっては、地方自治法第2条第14項及び第15項並びに地方公営企業法第3条に規定する趣旨にのっとり、事務事業が適正に処理されるとともに効率的に執行されているかを監査するため、各課等から事前に資料の提出を受け、事務事業の概要、職員の事務分担、予算の執行状況、工事の実施状況、財産及び主要備品の購入状況等について、証憑書類の審査や担当職員からの事務事業執行状況等の事情聴取により監査を実施した。

行政監査については、テーマを「任意団体の会計事務等の執行について」と定め、定例監査と同時に実施したほか、財政援助団体等に対する監査は、「公益財団法人岡谷市スポーツ協会」及び「特定非営利活動法人 郷土学習館運営委員会」を対象に実施した。また、工事監査は、「新西堀保育園・発達支援施設建設工事」について実施した。

2 例月出納検査

地方自治法第235条の2第1項の規定により、会計管理者（企業出納員）の行う現金（歳入歳出外現金及び基金に属する現金を含む。）の出納事務について、毎月例日を定め検査を実施した。

3 決算審査

地方自治法第233条第2項及び第241条第5項並びに地方公営企業法第30条第2項の規定により、市長から提出された決算書及び関係書類の審査を実施した。

4 財政健全化判断比率等審査

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び第22条第1項の規定に基づき、市長から提出された実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率及び資金不足比率並びにその算定の基礎となる事項を記載した書類についての審査を実施した。

第2 実績総括

監査、検査及び審査を次のとおり実施した。

主要な事務事業	内 容
定例監査	・一般会計、特別会計、基金（学校、保育園含む。） ・企業会計
行政監査	・任意団体の会計事務等の執行について
財政援助団体等に対する監査	・公益財団法人 岡谷市スポーツ協会 ・特定非営利活動法人 郷土学習館運営委員会
工事監査	・新西堀保育園・発達支援施設建設工事 (委託料82,500円)
例月出納検査	・月1回
決算審査及び財政健全化判断比率等審査	・一般会計、特別会計、基金 ・企業会計

* 監査結果等については、公告するとともに岡谷市ホームページにも掲載した。

第3 主要な統計、行政資料等

監査委員

選任区分	氏名	選任年月日	任期
識見監査委員 (代表監査委員)	小口 明彦	平成29年 6月 1日 (平成25年 6月 1日)	令和 3年 5月31日 (2期目)
識見監査委員	宮坂 正志	令和元年 6月 1日	令和 5年 5月31日 (1期目)
議会選出監査委員	中島 保明	令和元年 5月21日	議員の任期

公 平 委 員 會

第1 概説

公平委員会では、職員団体登録事項変更届に関する審査を行った。また、人事行政の運営等の状況に係る公平委員会報告事項について、報告を行った。

当委員会に登録してある団体は、次の2組合である。

- 1 岡谷市職員労働組合
- 2 岡谷市公立学校教職員組合

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
職員団体登録 事項変更	<ul style="list-style-type: none">・5月7日に岡谷市公立学校教職員組合から登録事項変更届が提出され、5月29日の委員会において受理した。・6月1日に岡谷市職員労働組合から役員変更届が提出され、6月12日の委員会において受理した。 <p>(168,496円)</p>

第3 主要な統計、行政資料等

1 公平委員会開催 3回

2 委員の任期

選任区分	氏名	選任年月日	任期
委員長	林 和子	平成29年4月1日	令和3年3月31日 (1期)
同職務代理	三枝 正幸	平成30年4月1日	令和4年3月31日 (1期目)
委員	宮坂 大吾	令和2年4月1日	令和6年3月31日 (1期目)

農業員會

第1 概説

農業委員会では、農地法（以下「法」という。）に基づく権利の許可関係事務のほか、農業者の農地利用の調整、農業振興に関する調査、研究等を行った。

令和2年度は、岡谷市農業委員会の委員等に関する条例等に基づき7月に改選があり、農業委員8名、農地利用最適化推進委員3名による新体制で第25期の活動を開始した。

農地等の利用の最適化の推進については、農地の利用状況調査及び意向調査により農地の状況を把握し、貸したい農地と耕作希望者をマッチングする貸し借り相談会を開催するとともに、貸出し農地希望者には、農地バンクへの登録を勧め、農地の有効利用及び遊休農地の発生防止、解消を図った。

また、専門部会のうち、農産物振興対策部会は、昨年度に引き続き、エゴマの試験栽培や収穫方法についての研究を行うとともに、今後の方向性について検討した。農業組織育成部会では、担い手組織の強化等農業組織を支援するとともに、農業団体と交流を行うなど農業組織等との連携に努めた。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容	
法各条処理	1 農地権利移転関係（法第3条） 2 権利移転のない転用関係（法第4条） 3 権利移転の伴う転用関係（法第5条） 4 貸付地の解約関係（法第18条） 5 農地転用許可後の計画変更 6 許可取り消し関係 7 許可不要事案	7件 5件 75件 4件 4件 0件 3件
調停・あっせん・啓発・答申等	1 農業に関する啓発 2 農業委員会委員研修 3 農業者年金関係説明会 4 農業団体との懇談会 5 農地相談事業	4件 7回 1回 1回 20件
諸証明	1 法に基づく証明 2 その他の証明	3件 34件
会議関係・その他	1 農業委員会等開催状況 (1) 農地調整、農業振興関係総会 (2) 地区別現地調査 2 その他の会議 (1) 農産物振興対策部会 (2) 農業組織育成部会	13回 12回 13回 2回 (7,646,274円)

第3 主要な統計、行政資料等

1 農地権利移転関係（法第3条）状況

権利別	区分		受理	処理	許可			取り消し
	田	畠			計			
所有権 移転	自作地	有償	件 4	件 4	件 4	m ² 511.00	m ² 772.00	m ² 1,283.00 件 0
		無償	件 3	件 3	件 3	m ² 0.00	m ² 2,298.00	m ² 2,298.00 件 0
	貸付地		件 0	件 0	件 0	m ² 0.00	m ² 0.00	m ² 0.00 件 0
	小計		件 7	件 7	件 7	m ² 511.00	m ² 3,070.00	m ² 3,581.00 件 0
賃借権	設定		件 0	件 0	件 0	m ² 0.00	m ² 0.00	m ² 0.00 件 0
	移転		件 0	件 0	件 0	m ² 0.00	m ² 0.00	m ² 0.00 件 0
	小計		件 0	件 0	件 0	m ² 0.00	m ² 0.00	m ² 0.00 件 0
使用 貸借権	設定		件 0	件 0	件 0	m ² 0.00	m ² 0.00	m ² 0.00 件 0
	移転		件 0	件 0	件 0	m ² 0.00	m ² 0.00	m ² 0.00 件 0
	小計		件 0	件 0	件 0	m ² 0.00	m ² 0.00	m ² 0.00 件 0
合 計			件 7	件 7	件 7	m ² 511.00	m ² 3,070.00	m ² 3,581.00 件 0

2 農地転用関係（法第4条及び第5条）状況

目的別	区分		受理	処理	許可			取り消し
	田	畠			計			
地方公共団体	件 0	件 0	件 0	件 0	m ² 0.00	m ² 0.00	m ² 0.00	件 0
	宅地造成	0			m ² 0.00	m ² 0.00	m ² 0.00	件 0
	その他	0			m ² 0.00	m ² 0.00	m ² 0.00	件 0
地方公共団体以外	80	80	80	80	m ² 15,716.41	m ² 29,370.53	m ² 45,086.94	0
宅地造成	11	11	11	11	m ² 6,042.41	m ² 6,461.00	m ² 12,503.41	0
住宅	30	30	30	30	m ² 2,853.00	m ² 5,415.39	m ² 8,268.39	0
工員・社員社宅	0	0	0	0	m ² 0.00	m ² 0.00	m ² 0.00	0
その他の住宅	2	2	2	2	m ² 546.00	m ² 982.00	m ² 1,528.00	0
工場・その他	3	3	3	3	m ² 27.00	m ² 1,067.00	m ² 1,094.00	0
その他の建物	4	4	4	4	m ² 418.00	m ² 5,410.00	m ² 5,828.00	0
道水路	0	0	0	0	m ² 0.00	m ² 0.00	m ² 0.00	0
その他の施設	30	30	30	30	m ² 5,830.00	m ² 10,035.14	m ² 15,865.14	0
植林	0	0	0	0	m ² 0.00	m ² 0.00	m ² 0.00	0
合 計	80	80	80	80	m ² 15,716.41	m ² 29,370.53	m ² 45,086.94	0

3 貸付地の解約関係（法第18条）状況

目的別	区分		受理	処理	許可			取り消し
	田	畠			計			
許可	耕作目的	件 0	件 0	件 0	m ² 0.00	m ² 0.00	m ² 0.00	件 0
	転用目的	件 0	件 0	件 0	m ² 0.00	m ² 0.00	m ² 0.00	件 0
通知	耕作目的	件 2	件 2	件 2	m ² 1,130.00	m ² 265.00	m ² 1,395.00	件 0
	転用目的	件 2	件 2	件 2	m ² 0.00	m ² 1,285.00	m ² 1,285.00	件 0
合 計		件 4	件 4	件 4	m ² 1,130.00	m ² 1,550.00	m ² 2,680.00	件 0

4 農地転用許可後の計画変更

許可別	区分		受理	処理	許可		
	田	畠			計		
法第4条	件	件	0	0	m ²	0.00	m ²
法第5条	4	4	4	4	209.00	1,711.00	1,920.00
合計	4	4	4	4	209.00	1,711.00	1,920.00

5 許可不要事案（法施行規則第29条第1号の届出）処理状況

目的別	区分		受理	処理		
	田	畠		計		
農業用施設	件	件	3	m ²	511.00	m ²
					375.00	886.00

6 農地転用状況（法第4条、第5条関係分のみ）

年度別	区分	件数	面積		
			田	畠	計
平成23年度		件	m ²	m ²	m ²
平成23年度		48	3,901.71	12,213.11	16,114.82
平成24年度		82	17,486.23	16,226.92	33,713.15
平成25年度		56	16,006.62	11,503.85	27,510.47
平成26年度		80	9,513.56	22,269.57	31,783.13
平成27年度		62	10,060.37	16,814.87	26,875.24
平成28年度		64	7,797.06	22,300.23	30,097.29
平成29年度		68	7,459.00	22,616.09	30,075.09
平成30年度		59	9,252.66	20,058.97	29,311.63
令和元年度		59	17,232.25	22,726.47	39,958.72
令和2年度		80	15,716.41	29,370.53	45,086.94

7 農業委員会の構成

(令和3年3月31日現在)

選出区分	定数	現在数	備考
農業委員	人	人	うち女性2名
農地利用最適化推進委員	8	8	
計	3	3	
計	11	11	

(注) 第25期農業委員会 会長 宮澤淑 会長代理 井上昌輝

